

uCosminexus EUR メッセージ

操作書

3020-7-714-30

対象製品

適用 OS : Windows XP Professional , Windows 7 x86 , Windows 7 x64 ¹ , Windows 8 x86 ² , Windows 8 x64 ^{1 2}

P-2CD2-5694 uCosminexus EUR Designer 09-60

P-2CD2-5D9L uCosminexus EUR Developer ³ 09-60

P-2CD2-5394 uCosminexus EUR Viewer 09-60

適用 OS : Windows Server 2008 R2 , Windows Server 2012

P-29D2-5994 uCosminexus EUR Server Standard ⁴ 09-60

P-29D2-5E9L uCosminexus EUR Server Enterprise ⁴ 09-60

P-29D2-5794 uCosminexus EUR Server Print Edition ⁴ 09-60

P-29D2-5C94 uCosminexus EUR Server - Cipher option 09-00

適用 OS : HP-UX 11i V3(IPF)

P-1JD2-5991 uCosminexus EUR Server Standard 09-60

P-1JD2-5A91 uCosminexus EUR Server Enterprise 09-60

P-1JD2-5791 uCosminexus EUR Server Print Edition 09-60

P-1JD2-5C91 uCosminexus EUR Server - Cipher option 09-00

適用 OS : AIX V6.1 , AIX V7.1

P-1MD2-5991 uCosminexus EUR Server Standard 09-60

P-1MD2-5A91 uCosminexus EUR Server Enterprise 09-60

P-1MD2-5791 uCosminexus EUR Server Print Edition 09-60

P-1MD2-5C91 uCosminexus EUR Server - Cipher option 09-00

適用 OS : Red Hat Enterprise Linux Server 6 (64-bit x86_64)

P-82D2-5991 uCosminexus EUR Server Standard 09-60

P-82D2-5A91 uCosminexus EUR Server Enterprise 09-60

P-82D2-5791 uCosminexus EUR Server Print Edition 09-60

P-82D2-5C91 uCosminexus EUR Server - Cipher option 09-00

注 1

WOW64 (Windows On Windows 64) 環境だけで使用できます。

注 2

Windows 8 Modern UI design には対応していません。

注 3

次に示す製品を同梱しています。

・ P-2463-2354 DABroker

注 4

次に示す製品を同梱しています。

・ P-2963-2354 DABroker(64)

これらの製品は、ISO9001 および TickIT の認証を受けた品質マネジメントシステムで開発されました。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

ActiveX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、および Flash は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Adobe, および Reader は, Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

AIX は, 米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

BSAFE は, EMC Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

BSP-RM は, 株式会社ビーエスピーの登録商標です。

ESC/P は, セイコーエプソン(株)の商標です。

GIF は, 米国 CompuServe Inc. が開発したフォーマットの名称です。

HP-UX は, Hewlett-Packard Development Company, L.P. のオペレーティングシステムの名称です。

Itanium は, アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Linux は, Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

LIPSIII は, キヤノン(株)が開発した言語仕様です。

Microsoft および Internet Explorer は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および MS-DOS は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Visual Basic は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Visual C++ は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft .NET は, お客様, 情報, システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。

Microsoft Office は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Office および Excel は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Office Word は, 米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft Word は, 米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

ODBC は, 米国 Microsoft Corporation が提唱するデータベースアクセス機構です。

OLE は, 米国 Microsoft Corporation が開発したソフトウェア名称です。

Oracle と Java は, Oracle Corporation 及びその子会社, 関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

PostScript は, 米国 Adobe Systems, Inc. が開発した言語仕様です。

QR コードは, 株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Red Hat は, 米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

RPM は, RPM Package Manager の略称です。

RSA および BSAFE は, 米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SQL Server は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は, The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

中ゴシック BBB は, 株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントで承認外の複製は禁止されており, それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。

リュウミン L-KL は, 株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントで承認外の複製は禁止されており, それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。

その他記載の会社名, 製品名は, それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://>

/java.apache.org/).

This product includes software developed by Andy Clark.



本製品は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE(R) ソフトウェアを搭載しています。

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記			製品名称
.NET			Microsoft(R) .NET
ActiveX			ActiveX(R)
Excel			Microsoft(R) Excel Version 2002 Microsoft(R) Office Excel 2003 Microsoft(R) Office Excel 2007 Microsoft(R) Office Excel 2010
Internet Explorer			Microsoft(R) Internet Explorer(R) Windows(R) Internet Explorer(R)
SQL Server			Microsoft(R) SQL Server 2005 Microsoft(R) SQL Server 2008 Microsoft(R) SQL Server 2008 R2 Microsoft(R) SQL Server 2012
VBScript			Microsoft(R) Visual Basic(R) Scripting Edition
Visual Basic			Microsoft(R) Visual Basic(R)
Visual C++			Microsoft(R) Visual C++(R)
Windows	Windows 7	Windows 7 x86	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional(32 ビット版) Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise(32 ビット版) Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate(32 ビット版)
		Windows 7 x64	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional(64 ビット版) Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise(64 ビット版) Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate(64 ビット版)
	Windows 8	Windows 8 x86	Windows(R) 8 Pro(32 ビット版) Windows(R) 8 Enterprise(32 ビット版)
		Windows 8 x64	Windows(R) 8 Pro(64 ビット版) Windows(R) 8 Enterprise(64 ビット版)

表記		製品名称
	Windows Server 2008	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter
	Windows Server 2012	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter
	Windows XP	Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System
Word		Microsoft(R) Word Version 2002 Microsoft(R) Office Word 2003 Microsoft(R) Office Word 2007 Microsoft(R) Office Word 2010

発行

2014年1月 3020-7-714-30

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, 2014, Hitachi, Ltd.

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, 2014, Hitachi Solutions, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-7-714-30)

uCosminexus EUR Designer 09-60

uCosminexus EUR Developer 09-60

uCosminexus EUR Viewer 09-60

uCosminexus EUR Server Standard 09-60

uCosminexus EUR Server Enterprise 09-60

uCosminexus EUR Server Print Edition 09-60

追加・変更内容	変更箇所
LDAP 接続情報暗号化ツール (eurssecd コマンド) の説明を追加しました。	1.1.2, 2.2(1), 18.1
コマンドの実行でエラーが発生した場合の説明を変更しました。	1.1.2, 2.2(1)
監査ログファイルの出力項目に出力される次のメッセージを追加しました。 KEEU4001-I, KEEU4002-I, KEEU4003-E, KEEU4004-E, KEEU4005-W, KEEU4006-E, KEEU4007-I, KEEU4008-I	1.1.2, 23.
次のメッセージを追加しました。 KEEU093-E, KEEU322-W, KEEY276-W, KEEY552-E, KEEY553-W, KEEY858-E, KEEY859-E, KEEY860-S, KEEY861-E, KEEY862-W, KEEY951-E, KEEY952-E	11.1, 13.1, 27.1, 30.1, 33.1, 34.1, 付 録 B, 付録 D.2, 付録 D.3, 付録 D.4, 付録 D.5
次のメッセージを変更しました。 KEEU300-W, KEEU321-W, KEEU801-E, KEEU802-E, KEEU803-E, KEEU804-E, KEEU807-E	13.1, 18.1
エラー発生条件の動作に監査ログ切り替えを追加しました。	付録 D.4, 付録 D.5
利用できるデータベースに Microsoft(R) SQL Server 2012 を追加しました。	-

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトで出力するメッセージについて説明したものです。

- uCosminexus EUR Designer
- uCosminexus EUR Developer
- uCosminexus EUR Viewer
- uCosminexus EUR Server Standard
- uCosminexus EUR Server Enterprise
- uCosminexus EUR Server Print Edition
- uCosminexus EUR Server - Cipher option

対象読者

このマニュアルは、次のような方を対象としています。

- Windows(R) 環境で EUR 帳票作成機能を使用して帳票を設計する方
- Windows 環境で設計した帳票を、Windows 環境、UNIX 環境、または Linux(R) 環境で出力する方

そのため、次に示す内容を理解されていることを前提としています。

- 使用する OS に関する基本的な知識
- 使用するプログラム言語に関する基本的な知識

このマニュアルの GUI の説明で使用する記号

このマニュアルでは、次に示す記号を使用して GUI を説明しています。

記号	意味
[]	メニュー項目、ダイアログ名、ダイアログのボタンを表します。

目次

第 1 編 メッセージの概要

1	メッセージの形式	1
1.1	メッセージの出力形式	2
1.1.1	EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ形式	2
1.1.2	EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ形式	3
1.2	メッセージの記載形式	5
2	メッセージの出力先	7
2.1	EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ出力先	8
2.2	EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ出力先	9

第 2 編 EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ

3	1000 ~ 1999	11
3.1	1000 ~ 1999 のメッセージ	12
4	4500 ~ 4599	17
4.1	4500 ~ 4599 のメッセージ	18
5	4600 ~ 4699	41
5.1	4600 ~ 4699 のメッセージ	42
6	英字	75
6.1	A で始まるメッセージ	76
6.2	E で始まるメッセージ	77
6.3	O で始まるメッセージ	80
6.4	W で始まるメッセージ	81
7	和文字	83
7.1	あ行のメッセージ	84
7.2	か行のメッセージ	89

7.3	さ行のメッセージ	93
7.4	た行のメッセージ	106
7.5	な行のメッセージ	115
7.6	は行のメッセージ	116
7.7	ま行のメッセージ	127
7.8	や行のメッセージ	129
7.9	ら行のメッセージ	130

8	KEES001 ~ KEES099	135
8.1	KEES001 ~ KEES099 のメッセージ	136

9	KEES101 ~ KEES199	139
9.1	KEES101 ~ KEES199 のメッセージ	140

10	KEES201 ~ KEES299	143
10.1	KEES201 ~ KEES299 のメッセージ	144

第3編 EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ

11	KEEU001 ~ KEEU099	145
11.1	KEEU001 ~ KEEU099 のメッセージ	146

12	KEEU100 ~ KEEU199	199
12.1	KEEU100 ~ KEEU199 のメッセージ	200

13	KEEU300 ~ KEEU399	211
13.1	KEEU300 ~ KEEU399 のメッセージ	212

14	KEEU400 ~ KEEU499	219
14.1	KEEU400 ~ KEEU499 のメッセージ	220

15	KEEU500 ~ KEEU599	225
15.1	KEEU500 ~ KEEU599 のメッセージ	226

16	KEEU600 ~ KEEU699	229
16.1	KEEU600 ~ KEEU699 のメッセージ	230
17	KEEU700 ~ KEEU799	235
17.1	KEEU700 ~ KEEU799 のメッセージ	236
18	KEEU800 ~ KEEU899	239
18.1	KEEU800 ~ KEEU899 のメッセージ	240
19	KEEU900 ~ KEEU999	247
19.1	KEEU900 ~ KEEU999 のメッセージ	248
20	KEEU1000 ~ KEEU1099	251
20.1	KEEU1000 ~ KEEU1099 のメッセージ	252
21	KEEU1500 ~ KEEU1599	263
21.1	KEEU1500 ~ KEEU1599 のメッセージ	264
22	KEEU3000 ~ KEEU3099	271
22.1	KEEU3000 ~ KEEU3099 のメッセージ	272
23	KEEU4000 ~ KEEU4099	279
23.1	KEEU4000 ~ KEEU4099 のメッセージ	280
24	KEEU F0001 ~ KEEU F0999	283
24.1	KEEU F0001 ~ KEEU F0999 のメッセージ	284
25	KEEY001 ~ KEEY099	287
25.1	KEEY001 ~ KEEY099 のメッセージ	288
26	KEEY101 ~ KEEY199	299
26.1	KEEY101 ~ KEEY199 のメッセージ	300

27	KEEY201 ~ KEEY299	321
27.1	KEEY201 ~ KEEY299 のメッセージ	322
28	KEEY301 ~ KEEY399	349
28.1	KEEY301 ~ KEEY399 のメッセージ	350
29	KEEY401 ~ KEEY499	377
29.1	KEEY401 ~ KEEY499 のメッセージ	378
30	KEEY501 ~ KEEY599	405
30.1	KEEY501 ~ KEEY599 のメッセージ	406
31	KEEY601 ~ KEEY699	425
31.1	KEEY601 ~ KEEY699 のメッセージ	426
32	KEEY701 ~ KEEY799	427
32.1	KEEY701 ~ KEEY799 のメッセージ	428
33	KEEY801 ~ KEEY899	429
33.1	KEEY801 ~ KEEY899 のメッセージ	430
34	KEEY901 ~ KEEY999	435
34.1	KEEY901 ~ KEEY999 のメッセージ	436

第 4 編 その他のメッセージ

35	EUR が提供するツールのメッセージ	441
35.1	給紙トレイ一覧ツールのメッセージ	442
35.2	EUR サーバ環境設定ファイルエディタのメッセージ	443
35.3	複数様式定義作成ツールのメッセージ	446

付録	453
付録 A 保守情報の採取	454
付録 A.1 EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能の場合	454
付録 A.2 EUR サーバ帳票出力機能の場合	455
付録 B KEEU001 ~ KEEU999 のメッセージで終了コード 4 を返された場合の要因	457
付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード	459
付録 D KEEY で始まるメッセージのエラー発生条件	460
付録 D.1 EUR Client でのエラー発生条件	460
付録 D.2 EUR Server - Adapter でのエラー発生条件	466
付録 D.3 EUR Server Service でのエラー発生条件	472
付録 D.4 EUR Server - Spool Service でのエラー発生条件	479
付録 D.5 EUR Server - Spool Service Adapter でのエラー発生条件	489
付録 E このマニュアルの参考情報	497
付録 E.1 関連マニュアル	497
付録 E.2 EUR バージョン 9 での製品体系の変更	499
付録 E.3 EUR バージョン 9 でのマニュアル体系の変更	500
付録 E.4 このマニュアルでの表記	502
付録 E.5 このマニュアルで使用する略語	503
付録 E.6 KB (キロバイト) などの単位表記について	504

1

メッセージの形式

この章では、EUR が出力するメッセージの形式について説明します。

1.1 メッセージの出力形式

1.2 メッセージの記載形式

1.1 メッセージの出力形式

EUR で表示されるメッセージの形式を次に示します。

1.1.1 EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ形式

(1) EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能操作時のメッセージ形式

EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能の操作時に出力されるメッセージの形式を次に示します。

メッセージ文

メッセージの表示内容を項目ごとに次の表に示します。

表 1-1 メッセージの表示内容 (EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能の操作時の場合)

形式の項目	説明
メッセージ文	メッセージ文を示します。

(2) OLE オートメーション，および DLL インターフェース関数のメッセージ形式

OLE オートメーション，および DLL インターフェース関数を使用した，EUR 帳票作成機能の操作時に出力されるメッセージの形式を次に示します。なお，メッセージは標準エラー出力に表示されます。

xxxx メッセージ文

メッセージの表示内容を項目ごとに次の表に示します。

表 1-2 メッセージの表示内容 (OLE オートメーション，および DLL インターフェース関数の場合)

形式の項目	説明
xxxx	xxxx は，メッセージ番号を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

(3) 帳票定義情報ファイルの入出力コマンドのメッセージ形式

帳票定義情報ファイルの入出力コマンドの操作時に出力されるメッセージの形式を次に示します。なお，メッセージはダイアログまたは標準エラー出力に表示されます。

KEESxxx-y メッセージ文

メッセージの表示内容を項目ごとに次の表に示します。

表 1-3 メッセージの表示内容（帳票定義情報ファイルの入出力コマンドの場合）

形式の項目	説明
KEESxxx-y	メッセージ ID を示します。 xxx は、メッセージ番号を示します。 0xx：変換エラーに関するメッセージ 1xx：処理の中断に関するエラーメッセージ 2xx：インフォメーションに関するメッセージ y は、レベル（I（Information）、W（Warning）、または E（Error））を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

1.1.2 EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ形式

EUR サーバ帳票出力機能で表示されるメッセージの形式を次に示します。

aa...aa: メッセージ ID メッセージ文

メッセージの表示内容を項目ごとに次の表に示します。

表 1-4 メッセージの表示内容（EUR サーバ帳票出力機能の場合）

形式の項目	説明
aa...aa	eurps eurps コマンドを実行しているときに出力されます。 eurecpdf PDF パスワード暗号化ツール（eurecpdf コマンド）を実行しているときに出力されま す。 eurecdif 接続情報パスワード暗号化ツール（eurecdif コマンド）を実行しているときに出力さ れます。 eurssecd LDAP 接続情報暗号化ツール（eurssecd コマンド）を実行しているときに出力されま す。 eursmpr BSP-RM 連携コマンド（eursmpr コマンド）を実行しているときに出力されます。 上記以外の場合、文字列は出力されません。

1. メッセージの形式

形式の項目	説明
メッセージ ID	<p>KEEUxxx-y eurps コマンド, PDF パスワード暗号化ツール (eurecpdf コマンド), 接続情報パスワード暗号化ツール (eurecdif コマンド), または LDAP 接続情報暗号化ツール (eurssecd コマンド) で処理を実行しているときに出力されます。 xxx は, メッセージ番号を示します。 y は, レベル (I (Information), W (Warning), E (Error) または S (System Error)) を示します。</p> <p>KEEUxxxx-y ファイル監視サービス, ジョブ実行プログラム, または BSP-RM 連携コマンド (eursmpr コマンド) で処理を実行しているとき, および監査ログファイルの出力項目に出力されます。 xxxx は, メッセージ番号を示します。 y は, レベル (I (Information), W (Warning), E (Error) または S (System Error)) を示します。</p> <p>KEEU Fxxx-y EUR フォントファイル作成ツール (expedf32 コマンド) を実行しているときに出力されます。 xxx は, メッセージ番号を示します。 y は, レベル (I (Information), W (Warning), E (Error), または S (System Error)) を示します。</p> <p>KEEYxxx-y 上記以外のコンポーネントで処理を実行しているときに出力されます。 xxx は, メッセージ番号を示します。 y は, レベル (I (Information), W (Warning), E (Error), または S (System Error)) を示します。</p>
メッセージ文	<p>メッセージ文を示します。 なお, 監査ログファイルの出力項目の場合, メッセージ ID だけが出力され, メッセージ文は出力されません。</p>

なお, eurps コマンドを実行しているときにエラーが発生した場合, 標準ではメッセージは出力されません。/message オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -message オプション) を指定すると, メッセージが標準エラー出力に表示されます。

1.2 メッセージの記載形式

このマニュアルでのメッセージの記載形式について説明します。

メッセージ ID

メッセージ文 (エラーコード)

詳細情報

メッセージの詳細情報を示します。

説明

メッセージの説明を示します。

要因

メッセージの要因を示します。

対処

表示されたメッセージに対する対処方法を示します。

対処の参照先

対処するための参照先を示します。

対処時に関係するプロパティ、メソッドおよび関数を示します。

レベル

メッセージのレベルを示します。

詳細コード

メッセージの詳細コードを示します。

終了コード

メッセージ ID の終了コードを示します。

注意

対処する場合の注意事項を示します。

補足

メッセージの補足説明を示します。

メッセージ記載形式の各項目の意味を次に示します。

表 1-5 メッセージ記載形式の項目

項目名	意味	
メッセージ ID	メッセージ ID を示します。メッセージ ID がない場合は、メッセージ ID の代わりにメッセージ文を示します。	
メッセージ文 (エラーコード)	メッセージ文を示します。 OS 上のシステム関数エラーリターン時の error 情報を示します。エラーコードについては、OS のヘッダファイル、または OS のヘルプファイルを参照してください。	
詳細情報	イベントログ、または EUR で出力するログ (eurps ログなど) に出力される詳細情報を示します。	
	U	実行ユーザアカウント
	R	フォームシートファイル名

1. メッセージの形式

項目名	意味	
	F	帳票機能名
	P	ページ番号
	D	対象のマッピングデータファイル名, またはユーザ定義データファイル名
	DI	入力データ値 (正)
	DO	欠落などで不正出力となった出力値
	E	終了時の終了コード (10 進数表示)
	C	指定されたコマンド文字列
説明	メッセージのレベルが「I (Information)」の場合, メッセージの説明を示します。	
要因	メッセージが出力された要因を示します。	
対処	メッセージのレベルが「W (Warning)」, 「E (Error)」および「S (System Error)」の場合, メッセージの対処を示します。	
対処の参照先	対処に必要な情報を示します。	
レベル	メッセージのレベルを示します。I (Information), W (Warning), E (Error), および S (System Error) があります。	
終了コード	<p>終了コードを示します。終了コードは, コマンドの /nomessage オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -nomessage オプション) が指定されていても設定されます。ただし, 終了コードだけでは, エラーの詳細が判別できないため, /message オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -message オプション) を指定して, 出力されるメッセージを参照して解析するか, またはログ機能で出力されるエラー情報で調査してください。ログのエラー情報については, マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。</p> <p>主な終了コードとその意味を次に示します。</p>	
	0	正常終了しました。
	4	警告が発生しました。 なお, KEEU から始まるメッセージの場合で, 警告が発生する要因について知りたいときは, 「付録 B KEEU001 ~ KEEU999 のメッセージで終了コード 4 を返された場合の要因」を参照してください。
	8	システムエラーが発生しました。または, 出力でエラーが発生しました。
	10	データベースアクセスでエラーが発生しました。
	12	データエラーが発生しました。
	16	コマンド, メソッドでの設定値, またはプリンタ定義ファイル内で文法エラーがあります。
	2008	ActiveX オブジェクトによる起動で, 起動時にシステムエラーが発生しました。
	2016	ActiveX オブジェクトによる起動で, プロパティの指定でエラーが発生しました。
	32	上記以外のエラーが発生しました。
注意または補足	メッセージの注意事項, 補足情報を示します。	

2

メッセージの出力先

この章では、EUR が出力するメッセージの出力先について説明します。

2.1 EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ出力先

2.2 EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ出力先

2.1 EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ出力先

EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能では，メッセージをダイアログやログに出力します。メッセージの出力先を次に示します。

(1) ダイアログ

EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能の画面を操作している場合，ダイアログにメッセージが表示されます。

(2) イベントログ

Windows 環境では，コマンド実行中にエラーが発生した場合，エラーレベル（レベル：Error）のメッセージが，Windows のイベントログへアプリケーションのイベントとして出力されます。ログには，エラーの発生要因となったエラーメッセージのメッセージ文に加えて，詳細情報が出力されます。なお，イベントログの参照は，Windows 上の管理ツールのイベント ビューアで参照できます。

(3) EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能が出力するログ

ログ採取機能を利用できる EUR では，ユーザがログ採取の情報を設定する必要はありません。EUR の処理中にエラーを感知した場合，システムの一時フォルダにファイル名「HIEUR.LOG」が自動生成されて，エラーの個所とその内容がログファイルに出力されます。

参考

システムの一時フォルダについては，[システムのプロパティ] ダイアログで環境変数 TMP または TEMP の設定を確認してください。

なお，出力先は環境変数 TMP または TEMP の設定によって次の順に決定されます。

1. 環境変数 TMP で指定されているフォルダ
2. 環境変数 TMP が指定されていない場合，環境変数 TEMP で指定されているフォルダ
3. 環境変数 TMP と TEMP がどちらも指定されていない場合，Windows のフォルダ

2.2 EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ出力先

EUR サーバ帳票出力機能では、メッセージをログに出力します。メッセージの出力先を次に示します。なお、KEEY で始まるメッセージの出力先については、「付録 D KEEY で始まるメッセージのエラー発生条件」を参照してください。

(1) 標準エラー出力の場合

eurps コマンドを実行しているときにエラーが発生した場合、標準ではメッセージは出力されません。/ message オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -message オプション) を指定すると、メッセージが出力されます。

なお、eurpmc コマンド、eurpmlsc コマンド、PDF パスワード暗号化ツール (eurecpdf コマンド)、接続情報パスワード暗号化ツール (eurecdif コマンド)、EUR フォントファイル作成ツール (expedf32 コマンド)、LDAP 接続情報暗号化ツール (eursseed コマンド)、BSP-RM 連携コマンド (eursmpr コマンド)、Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド)、および Spool Service 制御コマンド (eurpmlsctrl コマンド) を実行しているときにエラーが発生した場合は、標準でメッセージが出力されます。

(2) イベントログの場合

Windows 環境では、実行中にエラーが発生した場合、エラーレベル (レベル: Error) のメッセージが、Windows のイベントログへアプリケーションのイベントとして出力されます。ログには、エラーの発生要因となったエラーメッセージのメッセージ文に加えて、詳細情報が出力されます。なお、イベントログの参照は、Windows 上の管理ツールのイベント ビューアで参照できます。

(3) eurps ログの場合

システム上で動作する EUR サーバ帳票出力機能の帳票出力要求の実行ログが、eurps ログとして出力されます。ログ採取レベルは、環境変数 EURPS_LOGFILELEVEL で変更できます。実行時のログ情報には、メッセージ文のほか、出力日時、プロセス番号などの共通情報が付加されて出力されます。

(4) EPS-XLSX ログの場合

EUR サーバ帳票出力機能を使って帳票を Excel 形式ファイルに出力するときに、エラーレベル (レベル: Error) またはワーニングレベル (レベル: Warning) のメッセージが出力されます。ログ採取レベルは、環境変数 EURPS_EXCELLOGFILELEVEL で変更できます。

(5) EURPM ログの場合

システム上で動作する EUR サーバ帳票出力機能の帳票出力要求の実行ログが、EURPM ログとして出力されます。ログ採取レベルは、次のどちらかの方法で変更できます。

- 各コンポーネントの環境設定ファイルの LOGLEVEL キー
- EUR Web Plug-In の LogLevel パラメタ

実行時のログ情報には、メッセージ文のほか、出力日時、プロセス番号などの共通情報が付加されて出力されます。

ログファイルの出力時にエラーが発生し、エラーによってログファイルにメッセージを書き込めなかった場合、EUR Server Service と EUR Server - Spool Service は、そのメッセージをイベントログ (Windows 環境の場合) または syslog (UNIX / Linux 環境の場合) に出力します。

3

1000 ~ 1999

1000 ~ 1999 のメッセージについて説明します。

3.1 1000 ~ 1999 のメッセージ

3.1 1000 ~ 1999 のメッセージ

1005

メモリ不足が発生しました。

要因

実行中にメモリ不足が発生しました。

対処

幾つかのアプリケーションを終了させてメモリを確保したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

すべてのプロパティ、およびメソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、ReportPrintWithView 関数、および ReportView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワードすべて

1020

印刷中にエラーが発生しました。

要因

次に示す要因によって、印刷中にエラーが発生しました。

- プリンタ、およびプリンタドライバの環境に不備があります。
- EUR での印刷処理中に要因が特定できないエラーが発生しました。

対処

プリンタ、およびプリンタドライバを調査し、エラーの要因を取り除いたあと、プログラムを再度実行してください。PrintFileOut プロパティで True を指定している場合は、PrintFileName プロパティの指定が必要です。PrintFileName プロパティで印刷出力ファイル名を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド、PrintOut メソッド、PrintFileOut プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

1130

画面描画処理中にエラーが発生しました。

要因

Application オブジェクトの Editable プロパティで、編集ウィンドウと確認ウィンドウを切り替える処理中に、ツールバーの切り替えに失敗しました。

対処

EUR を終了したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション
Editable プロパティ

1131

現在、スプールに必要なディスクスペースが存在しません。

要因

スプールに必要なディスクスペースがないので、スペースが回復される見込みがありません。

対処

不要なファイルを削除するなどをして、ディスクスペースを確保したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション
Print メソッド, PrintOut メソッド
DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

1132

スプールに必要なメモリが存在しません。

要因

スプールに必要なメモリがありません。

対処

幾つかのアプリケーションを終了させてメモリを確保したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション
Print メソッド, PrintOut メソッド
DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

1133

ページ番号の設定でエラーが発生しました。

要因

ページ番号の設定処理でエラーが発生しました。

対処

EUR を終了したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PageSetup オブジェクトのプロパティすべて

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定

Numbering, NumberingPos, NumberingFormat, NumberingFrom, NumberingReset

1134

処理中にエラーが発生しました。

要因

EUR 帳票作成機能の起動中にエラーが発生しました。次に示す要因が考えられます。

- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。
- リソースが不足しています。

対処

不要なファイルを削除したり, 実行に必要なメモリを確保したりしたあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数を起動したとき

1135

Windows でエラーが発生しました。

要因

次に示す要因が考えられます。

- システムの一時フォルダの容量が不足しているか, または書き込み権限がないので, 一時ファイルの作成ができません。
- Windows でそのほかのエラーが発生しました。

対処

システムの一時フォルダの容量を増やすか, または書き込み権限を与えてください。どちらの場合も対処できないときは, 再度システムを起動させてください。

対処の参照先

OLE オートメーション

すべてのプロパティ, およびメソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワードすべて

参考

システムの一部フォルダについては、[システムのプロパティ] ダイアログで環境変数 TMP または TEMP の設定を確認してください。

なお、出力先は環境変数 TMP または TEMP の設定によって次の順に決定されます。

1. 環境変数 TMP で指定されているフォルダ
 2. 環境変数 TMP が指定されていない場合、環境変数 TEMP で指定されているフォルダ
 3. 環境変数 TMP と TEMP がどちらも指定されていない場合、Windows のフォルダ
-

1136

EUR の動作環境が正しくありません。

要因

EUR の動作環境に必要なファイルがない、または不正なファイルがあるため、EUR を起動できません。

対処

EUR を再インストールしたあと、再度 EUR を起動してください。

4

4500 ~ 4599

4500 ~ 4599 のメッセージについて説明します。

4.1 4500 ~ 4599 のメッセージ

4.1 4500 ~ 4599 のメッセージ

4503

レポート (レポート名) が見つかりません。

要因

指定されたレポートファイルがありません。

対処

存在するレポート名を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReportBasePath プロパティ, Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定

ReportFilePath

4504

レポート (レポート名) には読み込み権限がありません。

要因

指定されたレポートファイルに読み込み権限がありません。

対処

レポートファイルに読み込み権限を与えるか, または読み込み権限のあるレポートファイルを指定したあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4506

データファイル (データファイル名) が見つかりません。

要因

指定されたデータファイル, または可変記号値定義ファイルがありません。

対処

存在するデータファイル名、または可変記号値定義ファイルを指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先**OLE オートメーション**

DataFile プロパティ, DataFileName プロパティ, VarDataFile プロパティ,
MapDataBasePath プロパティ, UserDataBasePath プロパティ, Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する,
オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile
- ファイルのパス指定
MappingDataPath, UserDefDataPath

4507

レポート名 (レポート名) が正しくありません。

要因

指定されたレポートファイル名に誤りがあります。

対処

正しいレポートファイル名を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先**OLE オートメーション**

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の filename で指定する
ファイル名

4508

データファイル名 (データファイル名) が正しくありません。

要因

指定されたデータファイル名、または可変記号値定義ファイル名に誤りがあります。

対処

正しいデータファイル名、または可変記号値定義ファイル名を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先**OLE オートメーション**

DataFile プロパティ, DataFileName プロパティ, VarDataFile プロパティ, Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

4510

不正なオプションが指定されました。

要因

オプション記述ファイル中に, 文法上の誤り, 指定するファイル名の誤りなどがあります。

対処

オプション記述ファイルの指定を見直したあと, 誤りを訂正してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルすべて

4513

ズーム倍率は 10 ~ 800 の値で指定してください。

要因

ズーム倍率に 10 ~ 800 の範囲外の値が指定されました。

対処

ズーム倍率の値を 10 ~ 800 の値に変更したあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Zoom プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ズーム倍率の指定
ZoomRate

4514

指定されたページ数に誤りがあります。

要因

指定された印刷開始ページ, または印刷終了ページが 1 ~ 32,767 の範囲を超えています。または, 指定された印刷開始ページがレポートの全ページ数を超えています。

対処

印刷開始ページ, または印刷終了ページを 1 ~ 32,767 の値に変更したあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先**OLE オートメーション**

Print メソッド, および PrintOut メソッドの第 1 引数 (from : 印刷開始ページ) と第 2 引数 (to : 印刷終了ページ)

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- 印刷ページの選択
PrintStartPage, PrintEndPage

4515

印刷部数は 1 ~ 99 の値で指定してください。

要因

指定された印刷部数が 1 ~ 99 の範囲を超えています。

対処

印刷部数を 1 ~ 99 の値に変更したあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先**OLE オートメーション**

Print メソッド, および PrintOut メソッドの第 3 引数 (copies : 印刷部数)

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- 印刷ページの選択
PrintSet

4516

印刷開始番号は 1 ~ 32767 の値で設定してください。

要因

指定された印刷開始番号が 1 ~ 32,767 の範囲を超えています。

対処

印刷開始番号の設定値を 1 ~ 32,767 の値に変更したあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先**OLE オートメーション**

FirstPageNumber プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
NumberingFrom

4517

レポート名が指定されていません。

要因

レポートファイル名を指定しないで、ファイルを開こうとしました。

対処

レポートファイル名を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4518

データファイル名が指定されていません。

要因

データファイル名, または可変記号値定義ファイル名が指定されていません。

対処

データファイル名, または可変記号値定義ファイル名を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ, DataFileName プロパティ, VarDataFile プロパティ, Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定

MappingDataFile

- ユーザ定義データ用のファイルの指定

UserDefDataFile

4521

プリンタが存在しません。

要因

システムにプリンタが 1 台も登録されていないか, 指定したプリンタがないので, 印刷できません。

対処

プリンタの環境設定をしたあと, またはプリンタ名を確認したあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PrinterName プロパティ, Print メソッド, PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

4522

通常使うプリンタが設定されていません。

要因

通常使うプリンタが設定されていません。

対処

[プリンタ] フォルダを開いて [通常使うプリンタに設定] を設定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド, PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

4523

プリンタのハードマージンを取得できませんでした。

要因

プリンタのハードマージンを取得できません。

対処

プリンタのハードマージンを確認したあと、問題なければ、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド, PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

4524

印刷ジョブがキャンセルされたので印刷処理を中止します。

要因

出力先プリンタの印刷待ちの一覧ウィンドウ (フォルダウィンドウ)、またはプリンタアイコンから、レポートの印刷を中断する操作がされたので、印刷処理が中断されました。

対処

必要ならば、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

- OLE オートメーション
 - Print メソッド, PrintOut メソッド
- DLL インターフェース関数
 - ReportPrint 関数

4529

データファイル (データファイル名): n 行目 記述に誤りがあります。

要因

- 次に示す要因が考えられます。
 - 1 行当たりの最大バイト数を超過している行があります。
 - フィールド数が上限値を超過しています。
 - 文字列データが記号 (") で囲まれていません。
 - そのほかの個所の記述に誤りがあります。

対処

エラーの要因を取り除いたあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

- OLE オートメーション
 - DataFile プロパティ, DataFileName プロパティ, VarDataFile プロパティ, Import メソッド
- DLL インターフェース関数
 - ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード
 - マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile
 - ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

4531

データファイル (データファイル名) がオープンできません。

要因

指定されたファイルがフォルダだったので、データファイル、または可変記号値定義ファイルの設定処理が中止されました。

対処

データファイル、または可変記号値定義ファイルを指定し直したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

- OLE オートメーション
 - DataFile プロパティ, DataFileName プロパティ, VarDataFile プロパティ, Import メソッド
- DLL インターフェース関数
 - ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する,

オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

4534

レポートが不完全です。

要因

指定されたレポートが破壊されているか、またはレポートファイルではないので、ファイルを開けません。

対処

正しいレポートファイルを指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4545

印刷可能なページ数の上限値を超えています。

要因

レポートの印刷時に指定されたページ範囲が、一度に印刷できる最大ページ数を超えていたので、印刷処理を中止します。

- OLE オートメーションで印刷できる最大ページ数は、9,999 ページです。
- OCX オブジェクトで印刷できる最大ページ数は、9,999 ページです。
- DLL インターフェース関数で印刷できる最大ページ数は、32,767 ページです。

対処

印刷開始ページと印刷終了ページ、または部数の指定を見直して、印刷できる最大ページ数以内になるように修正したあと、プログラムを再度実行してください。必要ならば、数回に分けて印刷してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド, PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- 印刷ページの選択
PrintStartPage, PrintEndPage, PrintSet

4546

ページ番号印刷形式は 510 文字以内で指定してください。

要因

ページ番号印刷形式に指定した文字列が 510 文字を超えているので、ページ番号印刷形式の設定処理を中止します。

対処

指定する文字列を 510 文字以内の文字列に修正したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PageNumberFormat プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷形式
NumberingFormat

4551

ページ番号印刷位置の指定に誤りがあります。

要因

OLE オートメーションの場合

ページ番号印刷位置に 1 ~ 6 以外の値が指定されたので、ページ番号印刷位置の設定処理を中止しました。

DLL インターフェース関数の場合

オプション記述ファイルのキーワード「NumberingPos」に、topr, topc, topl, btmr, btmc, および btml 以外の値が指定されたので、ページ番号印刷位置の設定処理を中止しました。

対処

OLE オートメーションの場合

ページ番号印刷位置に指定する値を 1 ~ 6 に修正したあと、プログラムを再度実行してください。

DLL インターフェース関数の場合

オプション記述ファイルのキーワード「NumberingPos」に、topr, topc, topl, btmr, btmc, および btml の値を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PageNumberLocation プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
NumberingPos

4552

レポート（レポート名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因によって、レポートファイルを開けません。

- 指定されたレポートファイル名がフォルダです。
- 指定されたレポートファイル名が、ほかのプログラムで使用中です。
- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

次のように対処したあと、プログラムを再度実行してください。

- 正しいレポート名を指定してください。
- 不要なファイルを削除してください。
- 実行に必要なメモリを確保してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、ReportPrintWithView 関数、および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4553

データファイル（データファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定されたデータファイル、または可変記号値定義ファイルには読み込み権限がないので、処理を中止します。

対処

次のどちらかの方法で対処したあと、プログラムを再度実行してください。

- データファイルまたは可変記号値定義ファイルに、読み込み権限を与えてください。
- 読み込み権限のあるデータファイルまたは可変記号値定義ファイルを指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ、DataFileName プロパティ、VarDataFile プロパティ、Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、ReportPrintWithView 関数、および ReportView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

4555

ウィンドウハンドルに NULL が指定されました。

要因

ウィンドウハンドルに NULL が指定されました。

対処

ウィンドウハンドルを指定し直してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の hwnd で指定する,
起動元のウィンドウハンドル

4556

ウィンドウ形式の値が不正です。

要因

ウィンドウ形式の値が不正です。

対処

ウィンドウ形式を指定し直してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の windowstyle で指定
する, ウィンドウの形式

4557

ページ番号印刷オプションの指定に誤りがあります。

要因

ページ番号印刷オプションの指定が違います。

対処

ページ番号印刷オプションを正しく指定し直してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
Numbering

4558

印刷単位の指定に誤りがあります。

要因

印刷単位の指定に誤りがあります。

対処

印刷単位の指定を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- 印刷ページの選択
PrintFinishing

4559

改ページ時のページ番号初期化指定に誤りがあります。

要因

改ページごとにページ番号を初期化するかどうかの指定に誤りがあります。

対処

ページ番号の初期化指定を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
NumberingReset

4560

指定ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定されたファイルには読み込み権限がないので、EUR の起動処理を中止します。

対処

ファイルに読み込み権限を与えるか、または読み込み権限のあるファイルを指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、ReportPrintWithView 関数、および ReportView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile
- 接続情報ファイルの指定
DBInfoFileName
- ファイルのパス指定
ImageFilePath, MappingDataPath, UserDefDataPath, DBInfoFilePath

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile，MultiReportSetPath，MultiFormInfoDefFile，MultiFormInfoDefPath

4561

指定ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定されたファイルがないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

存在するファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

- 接続情報ファイルの指定
DBInfoFileName

- ファイルのパス指定

ImageFilePath，MappingDataPath，UserDefDataPath，DBInfoFilePath

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile，MultiReportSetPath，MultiFormInfoDefFile，MultiFormInfoDefPath

4562

指定ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定されたファイルがフォルダだったので，ファイルを開けません。

対処

正しいファイル名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

- 接続情報ファイルの指定
DBInfoFileName
 - ファイルのパス指定
ImageFilePath, MappingDataPath, UserDefDataPath, DBInfoFilePath
- ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述
ファイルのキーワード
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile, MultiReportSetPath, MultiFormInfoDefFile, MultiFormInfoDefPath

4563

EUR はすでに起動されています。

要因

EUR はすでに起動されています。

対処

すでに起動されている EUR を中止したあと, プログラムを再度実行してください。

4564

表示するエディタ画面の種類に誤りがあります。

要因

OLE オートメーションの場合
ウィンドウ形式に 1, 2, 3 以外の値が指定されました。

DLL インターフェース関数の場合
ウィンドウ形式に 0, 1, 2, 3 以外の値が指定されました。

対処

OLE オートメーションの場合
ウィンドウ形式に 1, 2, または 3 の値を指定したあと, プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
1	レポート編集ウィンドウで表示されます。
2	レポート確認ウィンドウで表示されます。
3	レポート印刷ウィンドウで表示されます。

DLL インターフェース関数の場合
ウィンドウ形式に 0, 1, 2, または 3 の値を指定したあと, プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
0	バックグラウンド印刷します。Windows のリストの, 最初のウィンドウをアクティブにします。
1	フォーカスを持った通常のウィンドウで表示されます。
2	フォーカスを持ち, アイコン化されているウィンドウで表示されます。
3	フォーカスを持ち, 最大表示されているウィンドウで表示されます。

対処の参照先

OLE オートメーション

WindowStyle プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の windowstyle で指定する, ウィンドウの形式

4565

用紙向きの指定に誤りがあります。

要因

OLE オートメーションの場合

用紙の向きの指定で, 0, 1, 2 以外の値が指定されました。

DLL インターフェース関数の場合

オプション記述ファイルのキーワード「PaperOrientation」の指定で, portrait, landscape 以外の値が指定されました。

対処

OLE オートメーションの場合

PaperOrientation に 0, 1, または 2 の値を指定したあと, プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
0	用紙の向きは, 帳票の属性に従います。
1	用紙の向きは, 縦です。
2	用紙の向きは, 横です。

DLL インターフェース関数の場合

オプション記述ファイルのキーワード「PaperOrientation」に, portrait, または landscape の値を指定したあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PaperOrientation プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- 用紙の向きの指定

PaperOrientation

4566

レポートファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

レポートファイルのパスが指定されていません。

対処

レポートファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReportBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
ReportFilePath

4567

レポートファイルの場所に指定されたパス (パス名) が見つかりません。

要因

存在しないレポートファイルのパスが指定されました。または、指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

レポートファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。または、指定したパスの文字列を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReportBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
ReportFilePath

4568

マッピングデータファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

マッピングデータファイルのパスが指定されていません。

対処

マッピングデータファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MapDataBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MappingDataPath

4569

マッピングデータファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しないマッピングデータファイルのパスが指定されました。または、指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

マッピングデータファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。または、指定したパスの文字列を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MapDataBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、ReportPrintWithView 関数、および ReportView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MappingDataPath

4574

ユーザ定義データファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

ユーザ定義データファイルのパスが指定されていません。

対処

ユーザ定義データファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

UserDataBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、ReportPrintWithView 関数、および ReportView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
UserDefDataPath

4575

ユーザ定義データファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しないユーザ定義データファイルのパスが指定されました。または、指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

ユーザ定義データファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。または、指定したパスの文字列を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

UserDataBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定

UserDefDataPath

4580

画像ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

画像データファイルのパスが指定されていません。

対処

画像データファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ImageBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定

ImageFilePath

4581

画像ファイルの場所に指定されたパス (パス名) が見つかりません。

要因

存在しない画像データファイルのパスが指定されました。または、指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

画像データファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。または、指定したパスの文字列を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ImageBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する,

オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
ImageFilePath

4582

レポート (レポート名) は使用中です。

要因

指定したレポート名が、ほかのアプリケーション (EUR を含む) で使用中です。

対処

指定したレポート名が使用できるのを待ち、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4588

データベースアクセス定義実行でエラーが発生しました。

要因

EUR のログファイルに、要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと、その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要 因
メモリが不足しています。	メモリが不足しました。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	一時ファイル (aa...aa) の出力先フォルダに書き込み権限がありません。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> 一時ファイル (aa...aa) のオープンに失敗しました。 一時ファイルの作成に失敗しました。
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目 (aa...aa) に設定した文字列の長さが制限値を超えました。
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ: aa...aa コード: nnn,mmm	データベースアクセス定義でデータの抽出中に、エラーが発生しました。
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	SQL 文の長さが上限値を超えました。
実行値のない可変記号 (可変記号) があるため実行できません。	可変記号に対する実行値がありません。

対処

表示されたメッセージによって、次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対 処
メモリが不足しています。	ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、再実行してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対 処		
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> メッセージに表示されている一時ファイル (aa...aa) の出力先フォルダに、書き込み権限を与えてください。 保守用の情報が「(error=nnn)」に表示されます。 		
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> 一時ファイル (aa...aa) の出力先フォルダの空き容量を見直してください。 保守用の情報が「(error=nnn)」に表示されます。 		
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目 (aa...aa) に指定した文字列が、上限値の nnn バイトを超えていないかどうかを見直してください。		
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ：aa...aa (メッセージ文) コード：nnnn,mmmmm	表示されたコードによって、次のように対処してください。		
	コード	説 明	
	nnnn (リターンコード)	mmmmm (詳細コード)	
	-1001 -1003 -1008	DABroker, もしくは接続先データベースのエラーコード, または 0	<p>DABroker, または接続先データベースでエラーが発生したことを示します。</p> <p>「メッセージ：aa...aa」には、エラーの内容が表示されます。詳細コードと表示されるメッセージについては、次に示すマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細コードが KFDBxxxx の場合 DABroker のマニュアル 詳細コードが KFPxxxxx の場合 マニュアル「HiRDB メッセージ」 詳細コードが ORA-xxxx の場合 Oracle のマニュアル
	-1004	接続管理情報のコード	接続情報に誤りがないかどうかを見直してください。
	-1005 -1009	システムコールのエラー値	<p>応答監視時間内に、DABroker から応答がなかったか、またはプログラムの呼び出しでエラーが発生したことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続先 DABroker を起動させてください。 接続先 DABroker のホスト名, または IP アドレスを正しく設定してください。 接続先 DABroker にホスト名を使用している場合, hosts ファイルにホスト名を指定してください。hosts ファイルに指定したホスト名の IP アドレスを正しく設定してください。 接続先 DABroker に IP アドレスを使用している場合 hosts ファイルにホスト名を指定し, 接続先 DABroker にホスト名を使用してください。 services ファイルに DBPARTNER_SV を指定してください。 services ファイルに指定した DBPARTNER_SV のポート番号, および通信プロトコル種別を正しく指定してください。 hosts ファイル, および services ファイルにアクセス権を与えてください。
	-1006	領域管理情報のコード	メモリが不足しています。ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、再実行してください。
	-1010	10083	<p>応答監視時間内に、DABroker から応答がなかったことを示します。</p> <p>接続先の DABroker が起動されているかどうかを確認してください。また、接続先の DABroker のホスト名, または IP アドレスに誤りがないのかも確認してください。</p>

ログファイルに表示されるメッセージ	対 処
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	設定した条件式の長さが、上限値を超えていないかどうかを見直してください。
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号値定義ファイルを指定したあと、再実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド, PrintOut メソッド, PrintReport メソッド, ViewReport メソッド

4589

レポートデータ読み込み中にエラーが発生しました。

要因

読み込みもうとしたレポートファイルが、一部破壊されているおそれがあります。

対処

レポートを作成し直して、再度プログラムを実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4590

特殊編集レベルとして認識できないデータがありました。

要因

特殊編集レベルのフィールドのデータに、0 ~ 99 以外の値が設定されています。

対処

特殊編集レベルのフィールドのデータを、0 ~ 99 の値に変更したあと、再度データを読み込んでください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ, DataFileName プロパティ, VarDataFile プロパティ, Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile

- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

4593

印刷処理がキャンセルされました。

要因

出力先プリンタのスプールに印刷指示を送っているときに表示される、メッセージボックスの [キャンセル] ボタンがクリックされたので、印刷処理が中断されました。

対処

必要ならば、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド, PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

5

4600 ~ 4699

4600 ~ 4699 のメッセージについて説明します。

5.1 4600 ~ 4699 のメッセージ

5.1 4600 ~ 4699 のメッセージ

4600

指定した出力ファイルに書き込めませんでした。

要因

次に示す要因によって、印刷出力ファイルに書き込めません。

- 指定した印刷出力ファイルがありません。
- 指定した印刷出力ファイルのパスが不正です。
- 指定した印刷出力ファイルの書き込み権限がありません。

対処

次のように対処したあと、プログラムを再度実行してください。

- 存在する印刷出力ファイルを指定してください。
- 印刷出力ファイルのパスを見直してください。
- 指定する印刷出力ファイルに書き込み権限を与えてください。

対処の参照先

OLE オートメーション
PrintFileName プロパティ

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4601

MainWindowStatus プロパティの指定値が不正です。

要因

MainWindowStatus に 1, 2, 3 以外の値が指定されました。

対処

MainWindowStatus に 1, 2, または 3 の値を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
1	フォーカスを持った、通常のウィンドウで表示されます。
2	フォーカスを持ち、アイコン化されているウィンドウで表示されます。
3	フォーカスを持ち、最大表示されているウィンドウで表示されます。

対処の参照先

OLE オートメーション
MainWindowStatus プロパティ

4602

SubWindowStatus プロパティの指定値が不正です。

要因

SubWindowStatus に 1, 2, 3 以外の値が指定されました。

対処

SubWindowStatus に 1, 2, または 3 の値を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
1	フォーカスを持った、通常のウィンドウで表示されます。
2	フォーカスを持ち、アイコン化されているウィンドウで表示されます。
3	フォーカスを持ち、最大表示されているウィンドウで表示されます。

対処の参照先

OLE オートメーション

SubWindowStatus プロパティ

4603

FrontSubWindow プロパティの指定値が不正です。

要因

FrontSubWindow に 1, 2, 3 以外の値が指定されました。

対処

FrontSubWindow に 1, 2, または 3 の値を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
1	帳票ウィンドウを表示します。
2	マッピングデータウィンドウを表示します。
3	ユーザ定義データウィンドウを表示します。

対処の参照先

OLE オートメーション

FrontSubWindow プロパティ

4610

指定したサブウィンドウは存在しません。

要因

指定したサブウィンドウがないので、最前面にできません。

レポート確認ウィンドウとレポート印刷ウィンドウの場合は、帳票ウィンドウだけ表示されます。マッピングデータウィンドウとユーザ定義データウィンドウは表示されません。

対処

FrontSubWindow の設定を見直し、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

FrontSubWindow プロパティ

4613

給紙トレイ選択オプションの指定に誤りがあります。

要因

TraySelection に 0, 1, 2 以外の値が指定されました。

対処

TraySelection に 0, 1, または 2 の値を指定したあと、再度実行してください。

指定値	説明
0	給紙トレイ選択機能を使いません。出力先プリンタのデフォルトのトレイに印刷されます。
1	給紙トレイ選択機能を使います。ただし、「TrayCode」で指定されたコードが、出力先プリンタにない場合は、エラーになります。
2	給紙トレイ選択機能を使います。ただし、「TrayCode」で指定されたコードが、出力先プリンタにない場合は、プリンタの既存値で印刷されます。

対処の参照先

OLE オートメーション

TraySelection プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- 給紙トレイの指定

TraySelection

4614

指定したトレイコードはサポートされていません。

要因

TrayCode に、使用できない給紙トレイコードが指定されました。

対処

TrayCode に正しい値を指定したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

TrayCode プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- 給紙トレイの指定

TrayCode

4620

帳票セット指定ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定された帳票セット指定ファイルがないので、EUR の起動処理を中止します。

対処

存在する帳票セット指定ファイルを指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ, MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile

4621

帳票セット指定ファイル (ファイル名) をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因によって、帳票セット指定ファイルを開けません。

- 指定された帳票セット指定ファイルがフォルダです。
- 指定された帳票セット指定ファイルがほかのプログラムで使用中です。
- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

次のように対処したあと、プログラムを再度実行してください。

- 正しい帳票セット指定ファイル名を指定してください。
- 不要なファイルを削除してください。
- 実行に必要なメモリを確保してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

MultiReportSetBasePath プロパティ, MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile

4622

帳票セット指定ファイル (ファイル名) には読み込み権限がありません。

要因

指定された帳票セット指定ファイルには読み込み権限がないので、EUR の起動処理を中止します。

対処

帳票セット指定ファイルに読み込み権限を与えるか、または読み込み権限のある帳票セット指定ファイルを指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、および ReportPrintWithView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定

MultiReportSetFile

4623

指定した帳票セット指定ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって、EUR の起動処理を中止します。

- 指定された帳票セット指定ファイルの内容に誤りがあります。
- 一つ以上の帳票セットが指定されていません。
- 帳票セットの指定のうち、帳票ファイル名（フォームシートファイル名）が指定されていません。

対処

帳票セット指定ファイルの指定内容を確認したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、および ReportPrintWithView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定

MultiReportSetFile

4624

帳票セット指定ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

帳票セット指定ファイルのパスが指定されていません。

対処

帳票セット指定ファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ

4625

帳票セット指定ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない帳票セット指定ファイルのパスが指定されました。または、指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

帳票セット指定ファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。または、指定したパスの文字列を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション
MultiReportSetBasePath プロパティ

4626

複数様式情報定義ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定された複数様式情報定義ファイルがないので、EUR の起動処理を中止します。

対処

存在する複数様式情報定義ファイルを指定したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション
MultiFormInfoDefBasePath プロパティ, MultiFormInfoDefFile プロパティ

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiFormInfoDefPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiFormInfoDefFile

4627

複数様式情報定義ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因によって、複数様式情報定義ファイルを開けません。

- 指定された複数様式情報定義ファイルがフォルダです。
- 指定された複数様式情報定義ファイルがほかのプログラムで使用中です。
- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

次のように対処したあと、プログラムを再度実行してください。

- 正しい複数様式情報定義ファイル名を指定してください。

- 不要なファイルを削除してください。
- 実行に必要なメモリを確保してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ , MultiFormInfoDefFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述

ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定

MultiFormInfoDefPath

- 複数様式での帳票出力の指定

MultiFormInfoDefFile

4628

複数様式情報定義ファイル (ファイル名) には読み込み権限がありません。

要因

指定された複数様式情報定義ファイルには読み込み権限がないので, EUR の起動処理を中止します。

対処

複数様式情報定義ファイルに読み込み権限を与えるか, または読み込み権限のある複数様式情報定義ファイルを指定したあと, プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述

ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定

MultiFormInfoDefFile

4629

複数様式情報定義ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

複数様式情報定義ファイルのパスが指定されていません。

対処

複数様式情報定義ファイルが格納されているパスを指定して, 再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ

4630

複数様式情報定義ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない複数様式情報定義ファイルのパスが指定されました。または、指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

複数様式情報定義ファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。または、指定したパスの文字列を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ

4631

指定した複数様式情報定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（エラー番号：nn 行：yy）

要因

このメッセージは、「(エラー番号：nn)」に示されたエラー番号によって要因が異なります。複数様式情報定義ファイルに不正行が一つある場合は、エラー番号のあとに、不正行を「行：yy」で示します。不正行が複数ある場合は、エラー番号だけ表示されます。

エラー番号とその要因を次に示します。

エラー番号	要 因
1	必ず指定するキーワードの指定がありません。 <ul style="list-style-type: none"> • group 文（様式グループ番号の指定）の指定がありません。 • formfilename 文（帳票ファイル名の指定）、または subgroup 文（サブ様式グループ番号の指定）の指定がありません。
2	不正なキーワードが指定されました。
3	区切り文字の数が不正です。
4	オペランドに数字以外の文字が指定されました。 <ul style="list-style-type: none"> • group に指定する様式グループ番号の値が、数字（整数）ではありません。

エラー番号	要 因
5	<p>オペランドの指定が不正です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • {} の対応が取れていません。 • キーワードのオプション指定に誤りがあります。 • group 文の様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に、KBNF または EOFN 以外の値が指定されています。 • subgroup 文の様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に、KBNF 以外の値が指定されています。 • 様式間遷移条件 (formtransfercondition) のキーブレイク改ページ指定 (keybreaktopform) に、ON または OFF 以外の値が指定されています。 • group 文の様式遷移条件 (formfilename) の遷移条件 (transfercondition) に、NPNF、KBNF または EOFN 以外の値が指定されています。 • subgroup 文の様式遷移条件 (formfilename) の遷移条件 (transfercondition) に、NPNF、または KBNF 以外の値が指定されています。 • 様式遷移条件 (formfilename) の両面印刷空白ページ挿入指定 (printnewspaper) に、ON または OFF 以外の値が指定されています。 • 様式遷移条件 (formfilename) のページ番号リセット指定 (resetpagenumber) に、ON または OFF 以外の値が指定されています。 • 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF が指定されていますが、様式遷移条件 (formfilename) の遷移条件 (transfercondition) には EOFN が指定されています。 • group 文と subgroup 文の様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) のフィールド名 (fieldname) に同じ文字列が指定されています。
6	ファイルの途中で EOF を検出しました。
7	キーワードが複数指定されました。
8	<p>グループ番号が昇順に指定されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 複数様式グループ内の様式グループ番号 (group) が昇順になっていません。 • group 文の中に複数のサブ様式グループが指定されている場合、サブ様式グループ番号 (subgroup) が group 文の中で昇順になっていません。
9	<p>フィールド名の指定が要らないのに、フィールド名が指定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に EOFN が指定されていますが、キーブレイク対象フィールド (fieldname) に指定があります。 • 様式間遷移条件 (formtransfercondition) のキーブレイク改ページ指定 (keybreaktopform) に OFF が指定されていますが、キーブレイク対象フィールド (fieldname) に指定があります。
10	<p>フィールド名の指定が要るのに、フィールド名が指定されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF が指定されていますが、キーブレイク対象フィールド (fieldname) の指定がありません。
11	不正な給紙トレイ番号が指定されました。
12	<p>同時に指定できないキーワードが指定されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • group 文 (様式ファイル名の指定) の中に subgroup 文 (サブ様式グループ番号の指定) と formfilename 文 (様式ファイル名の指定) が同時に指定されています。 • group 文 (様式ファイル名の指定) の中に subgroup 文 (サブ様式グループ番号の指定) と formtransfercondition 文 (様式間遷移条件の指定) が同時に指定されています。

対処

複数様式情報定義ファイルの記述を見直したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、および ReportPrintWithView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
MultiFormInfoDefFile

4632

帳票セット指定ファイルと複数様式情報定義ファイル間で記述に誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 複数様式情報定義ファイルの formfilename に記述されている帳票ファイル名（フォームシートファイル）と、帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイル名（フォームシートファイル）が異なります。
- 複数様式情報定義ファイルの formfilename に記述されている帳票ファイル名（フォームシートファイル）と、帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイル名（フォームシートファイル）の数が異なります。
- 複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の formfilename に記述されている帳票ファイル（フォームシートファイル）に対応しているデータファイル（マッピングデータファイル、ユーザ定義データファイル）が異なります。

対処

帳票セット指定ファイルと複数様式情報定義ファイルの記述を見直したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ, MultiFormInfoDefFile プロパティ,
MultiReportSetBasePath プロパティ, MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiFormInfoDefPath, MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiFormInfoDefFile, MultiReportSetFile

4633

複数様式はレポート印刷ウィンドウで指定してください。

要因

EUR を起動するとき, レポート印刷ウィンドウ以外のウィンドウが指定されています。

対処

複数様式で帳票出力するときは, レポート印刷ウィンドウを指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

WindowState プロパティ

4634

複数様式ではレポートファイル (*.agr) は指定できません。

要因

帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイル名が、レポートファイル名です。

対処

複数帳票で帳票出力ができるのは、フォームシートファイルだけです。

帳票セット指定ファイルの帳票セットに指定する帳票ファイル名には、フォームシートファイル (*.fms) を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ , MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数 , および ReportPrintWithView 関数の option で指定する , オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile

4635

様式グループ内では集計行の指定は統一してください。(XX)

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の formfilename が複数記述されている帳票ファイル (フォームシートファイル) に集計行が指定されていますが、各帳票ファイルで次の要因のどれかについて異なる定義がされています。

XX には、様式グループ内の各帳票ファイルでの集計行の指定を示すコードが表示されます。

表 5-1 コードと要因

コード	要因
01	総集計の指定の有無が異なります。
02	キー集計の指定の個数が異なります。
03	キー集計のキーに指定したアイテムの数が異なります。
04	キー集計のキーに指定したアイテムのフィールド名が異なります。
05	ページ集計の指定の有無が異なります。
06	「1 件のときキー集計行を削除する」の指定の有無が異なります。

ただし、集計ページの指定、集計行の位置固定の指定については、各帳票ファイルで異なっても正しく出力されます。

対処

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内に複数の帳票ファイルが指定されており、かつ各帳票ファイルに集計行がある場合は、上記の要因に記述した集計行の指定が同じになるようにフォーム

シートファイルの設定を見直してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ, MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile

4636

様式遷移条件に KBNF を指定する場合は, フォームシートで指定するキーブレイクは統一してください。

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の transfercondition に記述されている遷移条件に KBNF が指定されていますが, 各帳票ファイル(フォームシートファイル)で異なるキーブレイクが指定されています。

対処

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内に複数の帳票ファイルが指定されており, かつ各帳票ファイルの transfercondition に遷移条件「KBNF」を指定する場合は, 同じキーで改ページされるように帳票ファイルの設定を見直してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ, MultiFormInfoDefFile プロパティ,
MultiReportSetBasePath プロパティ, MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiFormInfoDefPath, MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiFormInfoDefFile, MultiReportSetFile

4637

様式グループ遷移条件または様式間遷移条件の指定に KBNF が指定されているが, フォームシートにキーブレイクの指定がありません。

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の transfercondition に記述されている遷移条件に KBNF が指定されていますが, 帳票ファイルにキーブレイクが指定されていません。

対処

複数様式情報定義ファイルの transfercondition に遷移条件「KBNF」を指定する場合は、キーブレイクが指定されている帳票ファイルを指定してください。また、指定する帳票ファイルは、同じキーで改ページされるように設定されているかどうかを見直してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ , MultiFormInfoDefFile プロパティ ,
MultiReportSetBasePath プロパティ , MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数 , および ReportPrintWithView 関数の option で指定する , オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiFormInfoDefPath , MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiFormInfoDefFile , MultiReportSetFile

4638

不正なファイル名 (ファイル名) が指定されました。

要因

次に示す要因が考えられます。

- ファイル名の長さが上限値を超えています。
- 指定したファイル名が正しくありません。
- 帳票セットに指定するファイルの個数が正しくありません。
- ドライブ名のある相対パスが指定されました。
- ドライブ名を省略したフルパスが指定されました。

対処

次のように対処したあと、プログラムを再度実行してください。

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名の長さは、255 字以内で指定してください。
- 指定した内容を、もう一度見直してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ , MultiReportSetFile プロパティ , DBInfoFileName プロ
パティ , DBInfoFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数 , および ReportPrintWithView 関数の option で指定する , オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiReportSetPath , DBInfoFilePath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile
- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile

- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile
- 接続情報ファイルの指定
DBInfoFileName

4639

帳票ファイル名が指定されていません。

要因

帳票セットに、帳票ファイル名（フォームシートファイル）が指定されていません。

対処

帳票セット指定ファイルの記述を見直したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ, MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile

4640

複数様式情報定義ファイルと帳票セット指定ファイルが対で指定されていません。

要因

複数様式情報定義ファイルと帳票セット指定ファイルが対で指定されていないので、EUR の起動処理
を中止します。

対処

複数様式で帳票出力する場合は、複数様式情報定義ファイルと帳票セット指定ファイルを対にして指
定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ, MultiFormInfoDefFile プロパティ,
MultiReportSetBasePath プロパティ, MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiFormInfoDefPath, MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiFormInfoDefFile, MultiReportSetFile

4641

複数様式で指定されたデータファイルのプロパティに誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- [データのプロパティ] ダイアログ - [データ情報] タブで設定する「空レコードを無視する」指定が統一されていません。
- [データのプロパティ] ダイアログ - [データ情報] タブで設定する「文字コード (0x00) だけのレコードを無視する」指定が統一されていません。
- 基準レコード位置の指定が統一されていません。
- 基準レコード幅に 1 以外の値が指定されています。

対処

複数のデータファイルを指定して、複数様式で帳票出力する場合は、データファイルのデータ情報を合わせてください。

基準レコード幅を設定した帳票は、複数様式では出力できません。基準レコード幅の値は「1」を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ, MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, および ReportPrintWithView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile

4642

様式グループの遷移条件に KBNF が指定されているが、複数様式情報定義ファイルでのキーブレイク指定が統一されていません。

要因

様式グループ内、またはサブ様式グループ内で、様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF (キーブレイク改ページ) が指定されていますが、帳票ファイル名に対する遷移条件 (transfercondition) とキーブレイク対象フィールド名 (fieldname) が対応していないので、EUR の起動処理を中断します。

対処

様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF を指定する場合は、様式グループ内、またはサブ様式グループ内に指定する fieldname には、同じキーブレイク対象フィールド名を指定し、帳票ファイル名に対する遷移条件 (transfercondition) に KBNF を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ , MultiFormInfoDefFile プロパティ ,
MultiReportSetBasePath プロパティ , MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数 , および ReportPrintWithView 関数の option で指定する , オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiFormInfoDefPath , MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiFormInfoDefFile , MultiReportSetFile

4643

複数様式では帳票ヘッダ領域の指定はできません。

要因

帳票ヘッダ領域のある帳票ファイル (フォームシートファイル) を , 複数様式で出力しようとした。

対処

帳票ヘッダ領域のある帳票ファイル (フォームシートファイル) は , 複数様式で出力できません。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ , MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数 , および ReportPrintWithView 関数の option で指定する , オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiReportSetFile

4644

様式遷移条件に KBNF を指定する場合は , フォームシートで指定するフィールド属性は統一してください。

要因

指定された帳票ファイルが , 同じキーフィールドの属性で改ページするように設計されていないので ,
EUR の起動処理を中断します。

対処

様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF を指定
する場合は , 様式グループ内に指定する fieldname には , 同じフィールド属性のキーブレイク対象
フィールド名を指定し , 帳票ファイル名に対する遷移条件 (transfercondition) に KBNF を指定して
ください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ , MultiFormInfoDefFile プロパティ ,
MultiReportSetBasePath プロパティ , MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数 , および ReportPrintWithView 関数の option で指定する , オプション記述
ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MultiFormInfoDefPath , MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
MultiFormInfoDefFile , MultiReportSetFile

4645

一時ファイルを出力できませんでした。(機能コード:エラーコード)

要因

次に示す要因によって、一時ファイル(作業用ファイル)が出力できません。

- 一時ファイルの出力先デバイスに、空き容量がありません。
- 一時ファイルの出力先フォルダに、書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして、空き容量を確保してください。
- 一時ファイルの出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。

補足

このメッセージは、EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) でバックグラウンドのインポート、または編集するときに、EUR が表示する固有のメッセージです。また、保守用の情報が「(機能コード:エラーコード)」に表示されます。

4646

アイテム枠に指定した桁数を超えるデータが指定されています。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された桁数を超えるデータが、アイテム枠内にあります。
- [アイテムのプロパティ] ダイアログの [文字配置] タブで、アイテム枠内にあるデータの桁数に満たない値が指定されました。

対処

アイテム枠内にあるデータの桁数と、[アイテムのプロパティ] ダイアログの [文字配置] タブで指定されている桁数の値に問題がないかどうかを確認してください。

4647

接続情報ファイル(接続情報ファイル名)をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された接続情報ファイルがフォルダです。
- 指定された接続情報ファイルが、ほかのプログラムで使用中です。

対処

次のように対処してください。

- 接続情報ファイルの指定を見直してください。
- ほかのプログラムが終了するのを待ってから、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- 接続情報ファイルの指定
DBInfoFileName

4648

接続情報ファイル（接続情報ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定された接続情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

接続情報ファイルに読み込み権限を与えるか、または読み込み権限のある接続情報ファイルを指定したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- 接続情報ファイルの指定
DBInfoFileName

4649

接続情報ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

接続情報ファイルのパスが指定されていません。

対処

接続情報ファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定

DBInfoFilePath

4650

接続情報ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない接続情報ファイルのパスが指定されました。または、指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

接続情報ファイルが格納されているパスを指定して、再度実行してください。または、指定したパスの文字列を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定

DBInfoFilePath

4651

指定した接続情報ファイル（接続情報ファイル名）の内容が不正です。（エラーコード：キーワード）

要因

このメッセージは、「(エラーコード：キーワード)」に示されたエラーコードによって、要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

エラーコード	要 因
1	「キーワード」に示されたキーワードが指定されていません。
2	<ul style="list-style-type: none"> • 「キーワード」に示されたキーワードの値が不正です。 • 「キーワード」に示されたキーワードに値が指定されていません。
3	不正な「キーワード」が指定されました。
4	「キーワード」のキーワードが2個以上指定されています。
5	<ul style="list-style-type: none"> • 「キーワード = 値」の形式で指定されていません。 • エラーコード「5」のときは、キーワードは表示されません。

「キーワード」には、次に示すどれかのキーワードが表示されます。

DABrokerHost , DBType , SendBufferSize , TimeoutInterval , Hostname , ConnectInfo , User , Password , QueryExclusiveString

対処

接続情報ファイルの記述を見直したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数 , ReportPrintWithView 関数 , および ReportView 関数の option で指定する , オプション記述ファイルのキーワード

- 接続情報ファイルの指定
DBInfoFileName

4653

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイル (可変記号値定義ファイル名) が見つかりません。

要因

可変記号値定義ファイル名に指定されたファイルがありません。

対処

存在する可変記号値定義ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

DataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数 , ReportPrintWithView 関数 , および ReportView 関数の option で指定する , オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile

4654

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイル (可変記号値定義ファイル名) をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された可変記号値定義ファイルがフォルダです。
- 指定された可変記号値定義ファイルが、ほかのプログラムで使用中です。

対処

次のように対処してください。

- 可変記号値定義ファイルの指定を見直してください。
- ほかのプログラムが終了するのを待ってから、再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

DataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile

4655

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイル(可変記号値定義ファイル名)には読み込み権限がありません。

要因

指定された可変記号値定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

可変記号値定義ファイルに読み込み権限を与えるか, または読み込み権限のある可変記号値定義ファイルを指定したあと, 再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

DataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
MappingDataFile

4656

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

可変記号値定義ファイルのパスが指定されていません。

対処

可変記号値定義ファイルが格納されているパスを指定して, 再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MapDataBasePath プロパティ

OCX オブジェクト

DataFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MappingDataPath

4657

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイルの場所に指定されたパス (パス名) が見つかりません。

要因

存在しない可変記号値定義ファイルのパスが指定されました。または, 指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

可変記号値定義ファイルが格納されているパスを指定して, 再度実行してください。または, 指定したパスの文字列を見直したあと, 再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MapDataBasePath プロパティ

OCX オブジェクト

DataFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
MappingDataPath

4658

指定したマッピングデータ用の可変記号値定義ファイル (可変記号値定義ファイル名) の内容が不正です。(エラーコード: 変数名)

要因

このメッセージは, 「(エラーコード: 変数名)」に示されたエラーコードによって, 要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

エラーコード	要因
1	「変数名」に, 未知の変数名が指定されています。
2	「変数名」に示された変数に値が指定されていません。
3	<ul style="list-style-type: none"> • 「変数名 = 値」の形式で指定されていません。 • エラーコード「3」のときは, 変数名は表示されません。
4	「変数名」に示された変数に使用できない可変記号値が指定されています。

EUR のログファイルに, 要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと, その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
数値データのけた落ちが発生しました	有効範囲を超えた値が指定されました。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	<ul style="list-style-type: none"> 文字定数の中のアポストロフィが二つ続けて指定されていません。 文字列なしの定数 (") が指定されました。
指定された値は列の属性と合っていません	指定された値は列の属性と合いません。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	有効範囲を超えた値が指定されました。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	列の定義長または指定範囲を超えています。

対処

可変記号値定義ファイルの記述を見直したあと、プログラムを再度実行してください。
EUR のログファイルに表示されたメッセージによって、次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対処
数値データのけた落ちが発生しました	値を範囲内で指定してください。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	<ul style="list-style-type: none"> アポストロフィを文字データとして使う場合は、二つ続けて指定してください。 文字列を指定してください。
指定された値は列の属性と合っていません	値を変更して、列の属性と合わせてください。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。

各条件の設定できる値については、マニュアル「EUR データベース連携ガイド」を参照してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

DataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する,
オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定

MappingDataFile

4667

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイル (可変記号値定義ファイル名) が見つかりません。

要因

可変記号値定義ファイル名に指定されたファイルがありません。

対処

存在する可変記号値定義ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ユーザ定義データ用のファイルの指定

UserDefDataFile

4668

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイル (可変記号値定義ファイル名) をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された可変記号値定義ファイルがフォルダです。
- 指定された可変記号値定義ファイルが, ほかのプログラムで使用中です。

対処

次のように対処してください。

- 可変記号値定義ファイルの指定を見直してください。
- ほかのプログラムが終了するのを待ってから, 再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ユーザ定義データ用のファイルの指定

UserDefDataFile

4669

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイル (可変記号値定義ファイル名) には読み込み権限がありません。

要因

指定された可変記号値定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

可変記号値定義ファイルに読み込み権限を与えるか, または読み込み権限のある可変記号値定義ファイルを指定したあと, 再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

4670

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

可変記号値定義ファイルのパスが指定されていません。

対処

可変記号値定義ファイルが格納されているパスを指定して, 再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

UserDataBasePath プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
UserDefDataPath

4671

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイルの場所に指定されたパス (パス名) が見つかりません。

要因

存在しない可変記号値定義ファイルのパスが指定されました。または, 指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

可変記号値定義ファイルが格納されているパスを指定して, 再度実行してください。または, 指定したパスの文字列を見直したあと, 再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

UserDataBasePath プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
UserDefDataPath

4672

指定したユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイル (可変記号値定義ファイル名) の内容が不正です。(エラーコード: 変数名)

要因

このメッセージは、「(エラーコード: 変数名)」に示されたエラーコードによって、要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

エラーコード	要因
1	「変数名」に、未知の変数名が指定されています。
2	「変数名」に示された変数に値が指定されていません。
3	<ul style="list-style-type: none"> • 「変数名 = 値」の形式で指定されていません。 • エラーコード「3」のときは、変数名は表示されません。
4	「変数名」に示された変数に使用できない可変記号値が指定されています。

EUR のログファイルに、要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと、その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
数値データのけた落ちが発生しました	有効範囲を超えた値が指定されました。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	<ul style="list-style-type: none"> • 文字定数の中のアポストロフィが二つ続けて指定されていません。 • 文字列なしの定数 (") が指定されました。
指定された値は列の属性と合っていません	指定された値は列の属性と合いません。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	有効範囲を超えた値が指定されました。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	列の定義長または指定範囲を超えています。

対処

可変記号値定義ファイルの記述を見直したあと、プログラムを再度実行してください。
EUR のログファイルに表示されたメッセージによって、次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対処
数値データのけた落ちが発生しました	値を範囲内で指定してください。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	<ul style="list-style-type: none"> • アポストロフィを文字データとして使う場合は、二つ続けて指定してください。 • 文字列を指定してください。
指定された値は列の属性と合っていません	値を変更して、列の属性と合わせてください。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。

各条件の設定できる値については、マニュアル「EUR データベース連携ガイド」を参照してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、ReportPrintWithView 関数、および ReportView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- ユーザ定義データ用のファイルの指定
UserDefDataFile

4676

接続情報ファイル（接続情報ファイル名）が見つかりません。

要因

接続情報ファイル名に指定されたファイルがありません。

対処

存在する接続情報ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数、ReportPrintWithView 関数、および ReportView 関数の option で指定する、オプション記述ファイルのキーワード

- 接続情報ファイルの指定
DBInfoFileName

4683

指定した置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって、置き換え表管理情報ファイルの内容が不正です。

- 置き換え表名が 50 桁を超えています。
- 置き換え表ファイル名が 256 文字を超えています。
- 置き換え表ファイル名がフルパス、または相対パスです。
- 置き換え表名、または置き換え表ファイル名の中に改行コードがあります。
- 置き換え表に、置き換え表名または、置き換え表ファイルの記述がありません。
- 「"」が閉じていません。

対処

次のように対処してください。

- 正しい置き換え表名を指定してください。

- 正しい置き換え表ファイル名を指定してください。
- 一つの行に置き換え表名と置き換え表ファイル名を一つずつ指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

- ReplaceItemCntlFile プロパティ
- ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

- ReplaceItemCntlFileName プロパティ
- ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

- ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード
- 置き換え表管理情報ファイルの指定
 - ReplaceItemCntlFile
 - ReplaceItemCntlFilePath

4684

指定した置き換え表ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって、置き換え表ファイルの内容が不正です。

- キーデータ, または置き換えデータが 256 文字を超えています。
- キーデータ, または置き換えデータの中に改行コードがあります。
- キーデータと置き換えデータが, 一つの行に一つずつありません。
- キーデータ, または置き換えデータの間にコンマがありません。コンマは, 空データの場合でも必要です。

対処

次のように対処してください。

- 正しいキーデータを指定してください。
- 正しい置き換え表データを指定してください。
- 一つの行にキーデータ, または置き換えデータを一つずつ指定してください。
- コンマを入れてください。

対処の参照先

OLE オートメーション

- ReplaceItemCntlFile プロパティ
- ReplaceItemCntlFilePath プロパティ
- ReplaceItemFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

- ReplaceItemCntlFileName プロパティ
- ReplaceItemCntlFilePath プロパティ
- ReplaceItemFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

- ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
ReplaceItemCntlFile
ReplaceItemCntlFilePath
ReplaceItemFilePath

4685

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

指定した置き換え表管理情報ファイル読み込み権限があるかどうかを確認してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

- ReplaceItemCntlFile プロパティ
- ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

- ReplaceItemCntlFileName プロパティ
- ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

- ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード
- 置き換え表管理情報ファイルの指定
ReplaceItemCntlFile
ReplaceItemCntlFilePath

4686

置き換え表ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定した置き換え表ファイルに読み込み権限がありません。

対処

指定した置き換え表ファイルに読み込み権限があるかどうかを確認してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

- ReplaceItemFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

- ReplaceItemFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

- ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード
- 置き換え表管理情報ファイルの指定
ReplaceItemFilePath

4687

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルがありません。

対処

指定した置き換え表管理情報ファイルがあるかどうかを確認してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
ReplaceItemCntlFilePath

4688

置き換え表ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定した置き換え表ファイルがありません。

対処

指定した置き換え表ファイルがあるかどうかを確認してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
ReplaceItemFilePath

4689

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルがフォルダです。

対処

正しい置き換え表管理情報ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemCntlFile プロパティ

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定

ReplaceItemCntlFile

ReplaceItemCntlFilePath

4690

置き換え表ファイル (ファイル名) をオープンできませんでした。

要因

指定した置き換え表ファイルがフォルダです。

対処

正しい置き換え表ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する, オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定

ReplaceItemFilePath

4693

バーコードパターンファイル (ファイル名) を入力できません。(エラーコード)

要因

指定されたバーコードパターンファイルでエラーが発生しました。

対処

指定したバーコードパターンファイルが正しいかどうか確認してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル
CODE128PATTERN

OLE オートメーション
Print メソッド, PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4694

バーコードパターンファイル (ファイル名) が不正です。

要因

指定されたバーコードパターンファイルの内容に誤りがあります。

対処

指定したバーコードパターンファイルが正しいかどうか確認してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル
CODE128PATTERN

OLE オートメーション
Print メソッド, PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4695

プリンタ (プリンタ名) とバーコードパターンファイル (ファイル名) が適合しません。

要因

指定されたプリンタに対応したバーコードパターンファイルがありません。

対処

正しいバーコードパターンファイルを指定してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル
CODE128PATTERN

OLE オートメーション
Print メソッド, PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4696

文字幅計算方法の指定に誤りがあります。

要因

OLE オートメーション, または OCX オブジェクトの場合
文字幅計算方法の指定で, 0, 1 以外の値が指定されました。

DLL インターフェース関数の場合
文字幅計算方法の指定で, static, dynamic 以外の値が指定されました。

対処

OLE オートメーション, または OCX オブジェクトの場合
指定値に 0 または 1 を指定してください。

DLL インターフェース関数の場合
指定値に static または dynamic を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

FontWidthMode プロパティ

OCX オブジェクト

FontWidthMode プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数, ReportPrintWithView 関数, および ReportView 関数の option で指定する,
オプション記述ファイルのキーワード

- 固定ピッチフォントの文字幅計算方法の指定
FontWidthMode

6

英字

この章では、英字で始まるメッセージについて説明します。

6.1 Aで始まるメッセージ

6.2 Eで始まるメッセージ

6.3 Oで始まるメッセージ

6.4 Wで始まるメッセージ

6.1 A で始まるメッセージ

apgrpt.exe の実行に失敗しました。(エラーコード :WW)

要因

次に示す要因によって EUR クライアント帳票出力機能を実行できませんでした。

- インストール先に apgrpt.exe が存在しません。
- apgrpt.exe に実行権限がありません。
- その他

メッセージの WW には、GetLastError 関数から取得したエラーコードが表示されます。

このメッセージダイアログに対して [OK] ボタンをクリックすると、帳票を表示しないで EUR クライアント帳票出力機能を終了します。

対処

EUR Designer または EUR Viewer を再インストールし、apgrpt.exe に実行権限を与えてください。

An attempt to load string resource DLL has failed.

要因

DLL ファイルが読み込めません。

対処

EUR を再インストールしてください。

6.2 E で始まるメッセージ

EUR Print Service 実行環境が不正です。(エラーコード:XX)

YY

要因

[コマンド実行] ボタンをクリックしましたが、次に示す要因によって処理が実行できませんでした。

- インストール先に eurps.exe が存在しません。
- eurps.exe に実行権限がありません。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX : eurps.exe 起動失敗時のエラーコード (GetLastError 関数から取得)

YY : エラーコードに対応するメッセージ (FormatMessage 関数から取得)

対処

メッセージダイアログで [OK] ボタンをクリックして、[EUR サーバ帳票出力コマンド指定] ダイアログに戻ってください。その後、次の問題がないか確認してください。

- インストール先フォルダに eurps.exe が存在することを確認してください。
- eurps.exe に実行権限があることを確認してください。

[EUR サーバ帳票出力コマンド指定] ダイアログは、V8 互換機能として提供しています。詳細については、バージョン 8 対応のマニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

EUR Viewer の実行中にエラーが発生しました。(エラーコード:WW)

要因

EUR クライアント帳票出力機能の実行中にエラーが発生しました。

メッセージの WW には、GetLastError 関数から取得したエラーコードが表示されます。

このメッセージダイアログに対して [OK] ボタンをクリックすると、帳票を表示しないで EUR クライアント帳票出力機能を終了します。

対処

障害情報を取得して、システム管理者に連絡してください。

EUR 形式ファイルが読み込めませんでした。

要因

次に示す要因によって、EUR 形式ファイルが読み込めません。

- 指定した EUR 形式ファイルがありません。
- 指定した EUR 形式ファイルに読み込み権限がありません。
- ブラウザを使用して EUR 形式ファイルを表示・印刷した場合、EUR 形式ファイルはブラウザのダウンロードファイルとして一時的に格納されます。フォルダの容量不足などの要因でファイルが格納できなかったときは、EUR 形式ファイルを読み込めないことがあります。

対処

次のように対処したあと、再度実行してください。

- 存在する EUR 形式ファイルを指定してください。
- EUR 形式ファイルに読み込み権限を与えてください。
- ブラウザを使用して EUR 形式ファイルを表示・印刷する場合は、ダウンロードファイルの格納フォルダに空き容量があるかどうかを確認してください。また、インターネット一時ファイルを削除して、EUR 形式ファイルが読み込めるようになるかどうか確認してください。

終了コード

8 (システムエラーが発生したことを示します)

EUR 形式ファイル名が指定されていません。

要因

EUR 形式ファイル名を指定しないで、コマンドが実行されました。

対処

EUR 形式ファイル名を指定してコマンドを実行してください。

終了コード

16 (コマンドの文法にエラーがあったことを示します)

EUR 帳票出力中にエラー (XXXX) が発生しました。

要因

EUR クライアント帳票出力機能、または EUR 帳票作成機能で、帳票のプレビュー、または印刷の実行中にエラーが発生しました。

XXXX には、次に示すコード番号が表示されます。

1005 ~ 1135, 4503 ~ 4520, 4521 ~ 4534, 4545 ~ 4560, 4561 ~ 4580, 4581 ~ 4600, 4601 ~ 4644, 4650 ~ 4690

対処

コード番号のエラーの要因を取り除いたあと、再度実行してください。コード番号の要因とその対処については、次に示す個所を参照してください。

「3.1 1000 ~ 1999 のメッセージ」

「4.1 4500 ~ 4599 のメッセージ」

「5.1 4600 ~ 4699 のメッセージ」

終了コード

1005 ~ 1135, 4503 ~ 4520, 4521 ~ 4534, 4545 ~ 4560, 4561 ~ 4580, 4581 ~ 4600, 4601 ~ 4649, 4650 ~ 4690

EUR の動作環境が正しくありません。

要因

EUR の動作環境に必要なファイルがない、または不正なファイルがあるため、EUR を起動できません。

対処

EUR を再インストールしたあと、再度 EUR を起動してください。

EUR ログオプションの設定が失敗しました。

要因

EUR が正しくインストールされていないため、EUR ログオプションの設定に失敗しました。

対処

EUR が正しくインストールされているかどうかを確認したあと、再度実行してください。

6.3 O で始まるメッセージ

ODBC ドライバでデータベースにアクセス中にエラーが発生しました。

メッセージ：ODBC ドライバから出力されるメッセージ SQLState：メッセージ ID SQL サーバエラー：詳細コード

要因

ODBC ドライバでデータベースにアクセス中、エラーが発生しました。

対処

接続先の ODBC ドライバによって、ODBC ドライバから出力されるメッセージが異なります。なお、対処したあとも同じエラーが発生する場合は、システム管理者に連絡してください。

OLE 埋め込みオブジェクトが使用されているレポートファイルを読み込みました。本バージョンの EUR では OLE オブジェクトは表示されません。画像アイテムなどで再定義してください。

要因

旧バージョンの EUR で保存されたレポートファイルを開きました。レポートファイルには、OLE 埋め込みオブジェクトが含まれていますが、このバージョンでは、OLE 埋め込みオブジェクトの読み込みや印刷はできません。

対処

[OK] ボタンをクリックして、メッセージダイアログを閉じてください。画像アイテムなどで再定義してください。

6.4 Wで始まるメッセージ

Windows でエラーが発生しました。

要因

レポートの編集処理中にエラーが発生しました。

対処

EUR 帳票作成機能を終了させたあと、再度システムを起動させてください。

Word/Excel 文書（ファイル名）が読み込めません。（YY：ZZ）

要因

次に示す要因によって、指定した Word/Excel 文書が読み込めません。変換を中断します。

- 指定した Word/Excel 文書に読み込み権限がありません。
- 指定した Word/Excel 文書が、フォルダにありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が、ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

次のように対処したあと、再度実行してください。

- 指定した Word/Excel 文書に読み込み権限を与えてください。
- 指定した Word/Excel 文書が、フォルダにあるかどうかを確認してください。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき、途中のファイルでエラーが発生すると、エラーメッセージが表示され、[Word/Excel 文書の変換] ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは、削除されません。

7

和文字

この章では、和文字で始まるメッセージについて説明します。

7.1 あ行のメッセージ

7.2 か行のメッセージ

7.3 さ行のメッセージ

7.4 た行のメッセージ

7.5 な行のメッセージ

7.6 は行のメッセージ

7.7 ま行のメッセージ

7.8 や行のメッセージ

7.9 ら行のメッセージ

7.1 あ行のメッセージ

(1) あで始まるメッセージ

アイテム枠に指定した桁数を超えるデータが指定されています。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された桁数を超えるデータが、アイテム枠内にあります。
- [アイテムのプロパティ] ダイアログの [文字配置] タブで、アイテム枠内にあるデータの桁数に満たない値が指定されました。

対処

アイテム枠内にあるデータの桁数と、[アイテムのプロパティ] ダイアログの [文字配置] タブで指定されている桁数の値に問題がないかどうかを確認してください。

(2) いで始まるメッセージ

以下の部品が部品庫に存在しません。

部品アイテムの内容は表示されません。

[部品名 A]

[部品名 B]

:

要因

部品庫にない部品を貼り付けたため、部品を表示できません。アイテム枠だけが表示されます。

対処

必要な部品が登録された部品庫をインポートしてください。アイテム枠を削除し、再度部品を貼り付け直してください。

位置固定が設定されている集計行があります。集計ページは設定できません。

要因

集計行に位置固定が設定されているので、集計ページの設定はできません。帳票に、一つでも位置固定が設定されている場合、集計ページは設定できません。

対処

位置固定が設定されている集計行を確認したあと、集計ページを設定する場合は、位置固定を解除してください。

位置固定も解除されます。よろしいですか？

要因

改ブロック、または改ページを解除すると、位置固定も解除されます。

対処

解除する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。解除しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

一時ファイルが作成できませんでした。

要因

次に示す要因によって、一時ファイルが作成できなかったため、EUR 形式ファイルが出力できません。

- テンポラリフォルダに書き込み権限がありません。
- テンポラリフォルダのディスク容量が不足しています。
- 前回起動中に、Windows をログオフ、またはシャットダウンしたので、テンポラリフォルダに一時ファイルが残っています。
- システム環境変数 TMP、または TEMP に、存在しないテンポラリフォルダが指定されています。

対処

次のように対処してください。

- テンポラリフォルダの書き込み権限、またはディスク容量を確認してください。
- テンポラリフォルダに残されたフォルダ（フォルダ名は tmpxxx）を削除してください。フォルダ名 tmpxxx の xxx は、1 桁以上の数値です。
- システム環境変数 TMP、または TEMP の設定を確認して、存在するテンポラリフォルダを指定してください。

終了コード

8（システムエラーが発生したことを示します）

一時ファイルが作成できませんでした。(ZZ)(エラーコード :WW)

要因

次に示す要因によって、[OK] ボタンをクリックしてもオプション記述ファイルの作成ができませんでした。

- オプション記述ファイルの作成場所にアクセス権がありません。
- オプション記述ファイルの作成場所が存在しません。
- オプション記述ファイルにアクセス権がありません。
- オプション記述ファイルがすでにオープンされています。
- その他

メッセージの ZZ の意味は次のとおりです。

- 01：オプション記述ファイルの生成に失敗
- 02：オプション記述ファイルのオープンに失敗

メッセージの WW には、GetLastError 関数から取得したエラーコードが表示されます。

このメッセージダイアログに対して [OK] ボタンをクリックすると、帳票を表示しないで EUR クライアント帳票出力機能を終了します。

対処

次のように対処してください。

- ZZ が「01」の場合
オプション記述ファイルの作成場所にアクセス権を付加してください。

環境変数の TMP に実在するパスを指定してください。

- ZZ が「02」の場合
動作環境を見直し、再実行してください。

一時ファイルの削除に失敗しました。(エラーコード :WW)

要因

次に示す要因によって、EUR 帳票作成機能 (apgrpt.exe) 終了時にオプション記述ファイルを削除できませんでした。

- オプション記述ファイルが存在しません。
- オプション記述ファイルにアクセス権がありません。
- その他

メッセージの WW には、GetLastError 関数から取得したエラーコードが表示されます。
このメッセージダイアログに対して [OK] ボタンをクリックすると、帳票を表示しないで EUR クライアント帳票出力機能を終了します。

対処

環境変数 TMP のフォルダに残っているオプション記述ファイルを削除してください。

印刷開始番号は 1 ~ 32767 の値で指定してください。

要因

[印刷] ダイアログのページ指定に入力された印刷開始ページ番号のテキストボックスの値が 1 ~ 32,767 の範囲外なので、印刷できません。

対処

印刷する開始ページを指定し直したあと、再度実行してください。

印刷ジョブがキャンセルされたので印刷処理を終了します。

要因

[印刷中止] ダイアログ以外で、印刷処理が中止されました。

対処

メッセージダイアログを閉じてください。

印刷単位の指定に誤りがあります。

要因

起動オプションで指定した、印刷単位の指定に誤りがあります。

対処

印刷単位の指定を見直したあと、再度実行してください。

印刷中にエラーが発生しました。

要因

レポートの印刷中にエラーが発生しました。

対処

エラーの要因を調べ、エラーの要因を取り除いたあと、再度実行してください。

(3) おで始まるメッセージ

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルがありません。

対処

正しいファイル名を指定してください。

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

指定した置き換え表管理情報ファイルに読み込み権限があるかどうかを確認してください。

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルはフォルダです。

対処

正しい置き換え表管理情報ファイル名を指定してください。

置き換え表管理情報ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

置き換え表管理情報ファイルのパスの指定が正しくありません。

対処

指定した置き換え表管理情報ファイルのパスが正しいかどうか確認してから、プログラムを再実行してください。

置き換え表ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイルがありません。

対処

- 置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイル名を見直してください。
- 指定した置き換え表ファイルがあるかどうかを確認してください。

置き換え表ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイルに読み込み権限がありません。

対処

置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイルに読み込み権限があるかどうかを確認してください。

置き換え表ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイルはフォルダです。

対処

正しい置き換え表ファイル名を指定してください。

置き換え表ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

置き換え表ファイルのパスの指定が正しくありません。

対処

指定した置き換え表ファイルのパスが正しいかどうか確認してから、プログラムを再実行してください。

同じ名称のレポートが存在します。上書きしてよろしいですか？

要因

[名前を付けて保存] ダイアログで指定されたレポート名は、すでにレポート保存ファイルにあります。

対処

上書きする場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。上書きしない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

7.2 か行のメッセージ

(1) かで始まるメッセージ

改ページ時のページ番号初期化指定に誤りがあります。

要因

起動オプションに指定されている、改ページごとにページ番号を初期化するかどうかの指定に誤りがあります。

対処

起動オプションのページ番号の初期化指定を見直したあと、再度実行してください。

画像のサイズが用紙のサイズより大きいのでマッピングできません。

要因

画像のサイズが用紙のサイズより大きいので、画像を貼り付けられません。

対処

用紙サイズを大きくするか、または画像のサイズを小さくしてください。

画像ファイル（画像ファイル名）が異常です。

要因

指定された画像ファイルは、EUR で扱えないフォーマットであるか、または何らかの問題があるので、画像を貼り付けられません。

対処

画像ファイルのフォーマットを見直してください。

画像ファイル（画像ファイル名）が見つかりません。

要因

指定された画像ファイルが見つからないので、画像を貼り付けられません。

対処

画像ファイルを用意してください。

画像ファイル（画像ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定された画像ファイルには読み込み権限がないので、画像を貼り付けられません。

対処

画像ファイルに読み込み権限を与えてください。

画像ファイル（画像ファイル名）のデータは、サポートしていません。

要因

使用できないデータタイプの画像ファイルが指定されました。

対処

画像ファイルのフォーマットを見直してください。

画像ファイルが見つかりません。

要因

画像ファイルがないので、画像を貼り付けられません。

対処

画像ファイルを用意してください。

(2) きで始まるメッセージ

基準レコード幅が2以上なので、指定した操作はできません。

要因

基準レコード幅が2以上なので、集計、集計行編集、改ブロック、または改ページができません。

対処

基準レコード幅を1に設定し直したあと、再度実行してください。

基準レコードは変更できません。

要因

- ポインタが+に変わる文字生成、マッピング、繰り返し位置の指定、集計行アイテムの選択時、または貼り付けの操作中なので、基準レコード位置変更、および基準レコード幅の変更ができません。
- 集計行の編集中なので、基準レコード位置変更、および基準レコード幅の変更ができません。

対処

- ポインタが+に変わる操作を終了したあと、または< Esc >キーで解除したあと、再度実行してください。
- 集計行の編集を終了したあと、再度実行してください。

給紙トレイ選択オプションの指定に誤りがあります。

要因

起動オプションで指定した TraySelection に、0、1、2以外の値が指定されました。

対処

TraySelection に正しい値を指定してから、再度実行してください。

(3) くで始まるメッセージ

クエリファイルが使用されているレポートファイルを読み込みました。本バージョンの EUR ではクエリファイルは使用できません。データベースアクセス定義で再定義してください。

要因

旧バージョンの EUR で保存されたレポートファイルを開きました。レポートファイルには、クエリファイルが含まれていますが、このバージョンでは、クエリファイルを読み込めません。

対処

[OK] ボタンをクリックして、メッセージダイアログを閉じてください。データベースアクセス定義で再定義してください。

繰り返しアイテムが存在しません。

要因

繰り返し位置、または繰り返し個数を指定されたが、繰り返しアイテムが指定されていないので、アイテムの繰り返しができません。

対処

繰り返すアイテムを指定したあと、再度実行してください。

繰り返し位置が指定されてません。

要因

- [繰り返し] メニューの [個数] を選択されたが、繰り返し位置が指定されていないので、[繰り返し個数指定] ダイアログが表示できません。
- 繰り返し位置が指定されていないので、集計行編集ができません。

対処

- 繰り返し位置を指定したあと、再度実行してください。
- 繰り返し位置を指定したあと、集計行編集を再度実行してください。

繰り返し個数の指定方法が任意なので、繰り返し下限位置を指定できません。

要因

- 位置固定を指定されたが、[繰り返し個数指定] ダイアログで指定されている個数が「任意設定」なので、繰り返し下限位置を指定できません。
- 繰り返し下限位置を指定されたが、[繰り返し個数指定] ダイアログで指定されている個数が「任意指定」なので、繰り返し下限位置を指定できません。

対処

下限位置を指定する場合は、[繰り返し個数指定] ダイアログで繰り返す個数を「自動設定」に設定し直したあと、再度実行してください。

(4) けで始まるメッセージ

現在、スプールに必要なディスクスペースが存在しません。

要因

スプールに必要なディスクスペースがないので、印刷を続行できません。

対処

スプールに必要なディスクスペースができるまで印刷を待ってください。

現在編集中の集計データがあるページを表示します。

要因

繰り返し下限位置、または位置固定が指定されたので、現在編集中の集計アイテムがあるページが変更されました。

対処

[OK] ボタンをクリックすると、現在編集中の集計アイテムがあるページが表示されます。

(5) こで始まるメッセージ

このファイルは読み込み専用です。レポート(レポート名)

要因

上書き保存をしようとしたところ、レポートに書き込み権限がないため、保存できませんでした。

対処

レポートファイルのアクセス権を確認し、再度実行してください。

コメントに使用できない文字が指定されています。

要因

コメントに指定した文字列に使用できない文字が含まれていたため、部品が登録できません。

対処

正しいコメントを指定して再度実行してください。

7.3 さ行のメッセージ

(1) さで始まるメッセージ

最上位結合項目（項目名）が更新されています。フィールド定義情報を再作成しますか？フィールド定義情報を再作成すると帳票の再設計が必要となる場合があります。

要因

開いた帳票ファイルと関連づけされている最上位結合項目が更新されています。

対処

最新の最上位結合項目からフィールド定義情報を再作成する場合は、[OK] ボタンをクリックします。帳票ファイルを保存したときの最上位結合項目からフィールド定義情報を作成する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

最上位結合項目（項目名）からフィールド定義情報作成中にエラーが発生しました。フィールド定義情報を作成できません。

要因

選択されている最上位結合項目からフィールド定義情報を作成しているとき、エラーが発生しました。

対処

SEWB+/REPOSITORY のデータ項目の分類が正しく設定されていない、またはメモリやディスク不足が考えられます。SEWB+/REPOSITORY のデータ項目の分類を正しく設定するか、幾つかのアプリケーションを終了させたあと、再度レポートの操作をしてください。

最上位結合項目（項目名）からフィールド定義情報を作成します。帳票の再設計が必要となる場合がありますがよろしいですか？

要因

[データ]メニューから[最上位結合項目]の[更新]が指定されました。

対処

最新の最上位結合項目を基にフィールド定義情報を更新する場合は、[OK] ボタンをクリックします。フィールド定義情報を更新しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

最上位結合項目（項目名）に対するアクセス権がありません。フィールド定義情報を作成できません。

要因

選択された最上位結合項目にアクセス権がないので、フィールド定義情報を作成できません。

対処

最上位結合項目にアクセス権を指定してください。

最上位結合項目（項目名）のフィールド数が上限値を超えました。フィールド定義情報を作成できません。

要因

選択された最上位結合項目からフィールド定義情報を作成しているとき、フィールド数が上限値を超えました。

対処

最上位結合項目の項目数を減らしてください。

最上位結合項目（項目名）は更新されていません。

要因

[データ]メニューから[最上位結合項目]の[更新]が選択されましたが、最上位結合項目は更新されていません。

対処

最上位結合項目を確認してください。

最上位結合項目（項目名）は登録されていません。フィールド定義情報を作成できません。

要因

選択された最上位結合項目が登録されていません。

対処

最上位結合項目が登録されているかどうかを確認してください。

作成済みの画像アイテムが表示されなくなります。よろしいですか？

要因

レポートに生成済みの画像ファイルがあるのに、その画像ファイルとは異なるパスの画像ファイルを生成しようとしてしました。

対処

画像生成を続行する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。画像生成を取り消す場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

削除します。よろしいですか？

要因

選択されたアイテムを、貼付域から本当に削除してもよいかどうかを問い合わせます。

対処

削除する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。削除しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

サポートしていないバージョンの帳票ファイル (XX) が指定されました。

要因

帳票ファイルから帳票定義情報ファイルへの変換時に、サポートしていないバージョンの帳票ファイルが指定されたため、変換できません。エラーが発生した帳票ファイルの変換は実行しないで、次の帳票ファイルの変換を続行します。

XX には、変換できなかった帳票ファイルのファイル名が表示されます。

対処

正常な帳票ファイルを指定して、再度変換を実行してください。

(2) しで始まるメッセージ

システムのリソース不足のため実行に失敗しました。(XX)

要因

リソース不足によって、EUR クライアント帳票出力機能、または EUR 帳票作成機能を起動できません。

XX には、内部処理で発生したエラーコードが表示されます。

対処

ほかのアプリケーションを終了させるなどしてリソースを解放してください。

終了コード

8 (システムエラーが発生したことを示します)

下敷きに指定された画像データ (ファイル名) にサイズ情報が含まれていません。画像データのサイズを指定してください。

要因

下敷きに指定された画像ファイルがサイズ情報を持っていないので、下敷きの画像ファイルとして表示できません。

対処

[下敷きの設定] ダイアログの表示位置に、画像サイズを指定してください。

下敷きに指定された画像ファイル (ファイル名) は、下敷きとして使用可能な画像ファイル形式ではありません。

要因

下敷きに指定された画像ファイルは、EUR が認識できる画像ファイルの形式ではありません。

対処

EUR が認識できる画像ファイルの形式で保存し直したあと、再度実行してください。

下敷きに指定された画像ファイル (ファイル名) を開くことができません。

要因

次に示す要因によって、画像ファイルを開けません。

- 指定した画像ファイルがフォルダにありません。
- 指定した画像ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 画像ファイルがフォルダにあるかどうかを確認してください。
- 画像ファイルに読み込み権限を与えてください。

指定された EUR ログオプションファイルが存在しません。

要因

指定された EUR ログオプションファイルがありません。

対処

存在する EUR ログオプションファイルを指定したあと、再度実行してください。

指定された EUR ログオプションファイルにアクセス権がありません。

要因

指定された EUR ログオプションファイルに読み込み権限がありません。

対処

EUR ログオプションファイルに読み込み権限を与えたあと、再度実行してください。

指定された EUR ログオプションファイルの内容が不正です。

要因

指定された EUR ログオプションファイルの内容に誤りがあります。

対処

指定した EUR ログオプションファイルの内容を確認したあと、再度実行してください。

指定された EUR ログオプションファイルは保存できませんでした。

要因

指定された EUR ログオプションファイルは、保存できません。

対処

指定した EUR ログオプションファイル、または保存先フォルダに書き込み権限が設定されているかどうかを確認したあと、再度実行してください。

指定されたプリンタ（プリンタ名）が存在しません。

要因

指定されたプリンタが、システム上にありません。

対処

指定したプリンタが、システム上にあるかどうかを確認してください。

指定されたページ数に誤りがあります。

要因

[印刷] ダイアログのページ指定のテキストボックスに入力された値が、数値以外の値、存在しないページ、または印刷の開始ページが印刷終了ページよりも大きい値なので、印刷できません。

対処

印刷するページを指定し直したあと、再度実行してください。

指定した EUR 形式ファイルは上位のバージョンで作成されています。本バージョン機能で表示します。

要因

指定した EUR 形式ファイルは、上位バージョンの EUR サーバ帳票出力機能で出力されています。そのため、本バージョンで使用できる範囲で表示されます。

対処

EUR 形式ファイルを出力した EUR サーバ帳票出力機能と同じか、または上位バージョンの EUR クライアント帳票出力機能で実行してください。

終了コード

4 (警告があったことを示します)

指定した EUR 形式ファイルは、本バージョンで読み込めない上位バージョンの機能で作成されているため、表示できません。

要因

指定した EUR 形式ファイルは、上位バージョンの EUR サーバ帳票出力機能で出力されています。そのため、本バージョンでは読み込めない機能が使用されているので表示できません。

対処

EUR 形式ファイルを出力した EUR サーバ帳票出力機能と同じか、または上位バージョンの EUR クライアント帳票出力機能で実行してください。

終了コード

12 (データエラーが発生したことを示します)

指定したアイテムは、既にキー集計されています。

要因

集計、または総集計を指定されたが、指定されたアイテムは、すでにキー集計されているので集計できません。

対処

すでにキー集計されていることを確認してください。

指定した置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって、置き換え表管理情報ファイルの内容が不正です。

- 置き換え表名が 50 桁を超えています。
- 置き換え表ファイル名が 256 文字を超えています。
- 置き換え表ファイル名がフルパス、または相対パスです。
- 置き換え表名、または置き換え表ファイル名の中に改行コードがあります。
- 置き換え表に、置き換え表名または、置き換え表ファイルの記述がありません。
- 「"」が閉じていません。

対処

次のように対処してください。

- 正しい置き換え表名を指定してください。
- 正しい置き換え表ファイル名を指定してください。
- 一つの行に置き換え表名と置き換え表ファイル名を一つずつ指定してください。

指定した置き換え表ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって、置き換え表ファイルの内容が不正です。

- キーデータ、または置き換えデータが 256 文字を超えています。
- キーデータ、または置き換えデータの中に改行コードがあります。
- キーデータと置き換えデータが、一つの行に一つずつありません。
- キーデータ、または置き換えデータの間にはコンマがありません。コンマは、空データの場合でも必要です。

対処

次のように対処してください。

- 正しいキーデータを指定してください。
- 正しい置き換え表データを指定してください。
- 一つの行にキーデータ、または置き換えデータを一つずつ指定してください。
- コンマを入れてください。

指定した出力先ファイルに書き込めませんでした。

要因

印刷出力ファイルのパスが不正、または書き込み権限がないので、指定した出力先ファイルに書き込めません。

対処

起動オプションの PrintFileName の指定を見直したあと、再度実行してください。

指定したトレイコードはサポートされていません。

要因

TrayCode に、使用できない給紙トレイコードが指定されました。

対処

起動オプションの TrayCode に正しい値を指定したあと、再度実行してください。

指定したファイルパス (XX) が 255 文字を超えています。

要因

次の項目で、ファイルパスの入力制限である 255 文字を超えています。

1. 帳票ファイル
2. マッピングデータ
3. ユーザ定義データ
4. 接続情報ファイル

メッセージの XX には、255 文字を超えた上記の項目名が表示されます。255 文字を超えた項目が複数ある場合はコンマ (,) で区切って表示されます。

XX の表示順位は上記の項目名の番号順です。

このメッセージダイアログに対して [OK] ボタンをクリックすると、帳票を表示しないで [EUR クライアント帳票出力機能] ダイアログに戻ります。

対処

ファイルパスを 255 文字以内で指定してください。

指定した文書は変換できません。

要因

[Word/Excel 文書の変換] ダイアログで、Word/Excel 文書以外のファイルが指定されました。変換を中断します。

対処

変換対象となる Word/Excel 文書を指定してください。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき、途中のファイルでエラーが発生すると、エラーメッセージが表示され、[Word/Excel 文書の変換] ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは、削除されません。

指定したレポートは上位バージョン機能で作成されています。本バージョン機能で表示します。

説明

指定されたレポートは、上位バージョン機能で作成されています。このバージョンで表示できるデータだけが表示されます。

識別できないデータを無視して、レポートが表示されます。

指定ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定されたファイルがないので、EUR の起動処理を中止します。

対処

存在するファイルを指定したあと、プログラムを再度実行してください。

指定ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定されたファイルには読み込み権限がないので、EUR の起動処理を中止します。

対処

ファイルに読み込み権限を与えるか、または読み込み権限のあるファイルを指定したあと、プログラムを再度実行してください。

指定ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定されたファイルがフォルダだったので、ファイルを開けません。

対処

正しいファイル名を指定したあと、プログラムを再度実行してください。

指定ファイル形式では保存されない情報があります。

要因

[名前を付けて保存] ダイアログで指定されたファイル形式では、レポート上のデータ、画像データがファイル中に保存されないので、指定された形式で保存してよいかを問い合わせます。

対処

指定されたファイル形式でレポートを保存する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。保存処理を中止する場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

集計可能な数値フィールドがないため実行できません。

要因

集計アイテム生成を指定されたが、集計できる数値フィールドがマッピングデータにないので、集計アイテムは生成できません。

対処

集計できる数値フィールドがないことを確認して、[OK] ボタンをクリックしてください。

集計行（集計行名）を解除します。よろしいですか？

要因

指定された集計行の集計行編集を、本当に解除してもよいかどうかを問い合わせます。削除する対象がキー集計行の場合、()の内容は(キー：キーフィールド名)となります。

対処

解除する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。解除しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

集計行、改ブロック又は改ページがあるため1以外は設定できません。

要因

集計、集計行編集、改ブロック、または改ページされているので、基準レコード幅に1以外は設定できません。

対処

基準レコード幅が設定できないことを確認してください。

集計行が生成されたページを表示しますか？

要因

集計、または総集計の結果、現在編集中のページ以外に集計行が生成されました。

対処

集計行が生成されたページを表示する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。集計行が生成されたページを表示しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

集計行が存在しません。

説明

集計行がないので集計行編集ができません。

集計行の編集のため、終了できません。

要因

メインウィンドウの[×] ボタン、またはメインウィンドウのコントロールメニューの[閉じる] を選択しましたが、集計行を編集しているので、EUR 帳票作成機能を終了できません。

対処

集計行の編集を終了したあと、EUR 帳票作成機能を終了してください。

集計対象フィールドが選択されていません。

要因

[集計アイテム] ダイアログで[OK] ボタンをクリックされましたが、集計対象フィールドが選択されていないので、集計アイテムを生成できません。

対処

集計対象フィールドを選択して、再度実行してください。

集計できるアイテムがありません。

説明

キー集計、または総集計が指定されましたが、集計できるアイテムがないので集計できません。

集計ページが設定されている集計行があります。位置固定は設定できません。

要因

集計ページが設定されている集計行があるので、集計行の位置固定の設定はできません。

対処

集計ページが設定されている集計行を確認したあと、集計行の位置固定を設定する場合は、集計ページを解除してください。

集計ページです。集計行編集モードでしか操作できません。

要因

集計ページは、アイテムの編集ができません。アイテムの編集は、集計行編集モードで操作してください。

対処

アイテムの編集は、集計行編集モードで操作してください。

集計ページを解除すると、集計行を作成したときの状態に戻ります。集計ページを解除しますか？

要因

集計ページを解除すると、集計行への編集をすべて破棄して集計行を作成したときの状態に戻るので、解除してよいかどうかを問い合わせます。

対処

集計ページを解除する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。集計ページを解除しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

集計ページを設定した後解除すると、集計行を作成したときの状態に戻ります。集計ページを設定しますか？

要因

集計ページは、設定したあとで解除すると、集計行への編集をすべて破棄して集計行を作成したときの状態に戻ります。集計ページを設定する前に確認します。

対処

集計ページを設定する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。集計ページを設定しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

出力先フォルダの名称が長すぎます。

要因

出力先ファイル名（フォルダ+帳票ファイル名）の長さが、拡張子（*.fms）を含めて、255 字を超えています。

対処

出力先ファイル名は、255 文字以内で指定してください。

処理中にエラーが発生しました。

要因

レポートの編集処理中にエラーが発生しました。次に示す要因が考えられます。

- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

不要なファイルを削除したり、実行に必要なメモリを確保したりしたあと、プログラムを再度実行してください。

(3) すで始まるメッセージ

ズーム倍率は 10 ~ 800 の値で指定してください。

要因

ツールバーの表示倍率テキストボックスに指定できる値は 10 ~ 800 です。それ以外の倍率では表示できません。

対処

表示倍率を 10 ~ 800 に指定し直してください。

全てのデータを貼り付けることができませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 全データのうち、一つのデータも帳票上に貼り付けられません。
- 貼り付けようとした画像アイテムのサイズが用紙サイズを超えています。

対処

データウィンドウから画像ファイルを貼り付けるとき、EUR は、画像の大きさ（幅と高さ）を、そのまま画像アイテムのサイズ（幅と高さ）とします。そのため、用紙サイズ（幅と高さ）より大きな画像ファイルは貼り付けられません。画像の大きさを小さくするなど加工してください。

スプールに必要なメモリが存在しません。

要因

[新規作成], [開く], または [Report の終了] を指定したとき, 今まで修正していたレポートを保存するかどうかを問い合わせます。

対処

修正したレポートを上書き保存する場合は, [はい] ボタンをクリックしてください。ただし, レポートが「新規作成」の場合は, [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。レポートを保存しない場合は, [いいえ] ボタンをクリックしてください。処理を取り消す場合は, [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

(4) せで始まるメッセージ

選択したアイテムのデータにフィールドが指定されていません。

要因

集計または総集計が指定されましたが, 指定したアイテムにはデータのフィールドが存在しないため, 集計できません。キー集計の実行を中止します。

対処

アイテムのデータにフィールドを指定してください。

選択できるデータソースが存在しません。

要因

ODBC データソースに, ODBC Driver がありません。

対処

ODBC データソースの設定を確認したあと, 再度実行してください。

前提の EUR 製品がインストールされていません。

要因

EUR Designer, EUR Developer または EUR Viewer がインストールされていないので, 帳票のプレビュー, または印刷ができません。

対処

EUR Designer, EUR Developer または EUR Viewer をインストールしてください。

終了コード

32 (警告, システムエラー, データエラー, およびコマンドのエラー以外のエラーが発生したことを示します)

(5) そで始まるメッセージ

操作対象レコード数が上限値を超えました。

要因

レポート操作中に、操作対象レコード数が上限値を超えました。

対処

レポートの操作を、一度中止してください。基準レコードの変更、対象テーブルの変更によって操作対象レコード数を減らしたあと、再度レポートの操作をしてください。

7.4 た行のメッセージ

(1) たで始まるメッセージ

他プログラムで印刷を実行中です。

要因

ほかのアプリケーションプログラムで印刷実行しているため、Word/Excel 文書から EUR 帳票への変換ができません。変換を中断します。

対処

ほかのアプリケーションプログラムの印刷が終わったあと、再度実行してください。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき、途中のファイルでエラーが発生すると、エラーメッセージが表示され、[Word/Excel 文書の変換] ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは、削除されません。

(2) ちで始まるメッセージ

帳票定義情報ファイル (ファイル名) が出力できません。(YY:ZZ)

要因

次に示す要因によって、変換後の帳票定義情報ファイルが出力できません。

- ディスクの容量不足です。
- 出力先フォルダにファイルの出力権限がありません。
- 既存の帳票定義情報ファイルに上書きしようとしたが、書き込み権限がありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が、ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

- 空き容量を見直してください。
- 書き込み権限があるフォルダを指定してください。

注意

複数の帳票ファイルを指定した場合、エラー発生以降の帳票ファイルは変換しません。エラーが発生する直前までに正常に出力された帳票定義情報ファイルは、削除されないでそのまま残ります。エラーが発生したとき、途中まで出力された帳票定義情報ファイルは削除されます。

帳票定義情報ファイル (ファイル名) が読み込めません。(YY:ZZ)

要因

次に示す要因によって、帳票定義情報ファイルを変換できません。エラーが発生した帳票定義情報ファイルの変換は実行しないで、次の帳票定義情報ファイルの変換を実行します。

- 読み込み権限がありません。
- ファイルがありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が、ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

読み込み権限がある既存の帳票定義情報ファイルを指定して、再度変換を実行してください。

帳票定義情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（YY[:ZZ]）

要因

次に示す要因によって、帳票定義情報ファイルから帳票ファイルに変換できません。

- 帳票定義情報ファイルの内容が不正です。
- 帳票定義情報ファイルに記述されたファイルのうち、どれかが読み込めません。
- 帳票定義情報ファイルに記述されたファイルのうち、どれかの内容が不正です。

YY にはコード、ZZ には詳細情報が表示されます。コードと詳細情報を次に示します。

表 7-1 コードと詳細情報

コード (YY)	説明	詳細情報 (ZZ)
00	帳票定義情報ファイルの内容が不正です。	表示されません。
01	次のどれかが読み込めません。 <ul style="list-style-type: none"> • 帳票全体定義情報ファイル • ブレイク定義情報ファイル • アイテム定義情報ファイル • 部品定義情報ファイル • フィールド定義情報ファイル • 補足情報ファイル 	読み込めなかったファイルのファイル名が出力されます。
02	次のどれかの内容が不正です。 <ul style="list-style-type: none"> • 帳票全体定義情報ファイル • ブレイク定義情報ファイル • アイテム定義情報ファイル • 部品定義情報ファイル • フィールド定義情報ファイル 	不正な内容が記述された個所が表示されます。 出力形式 ファイル名：行番号：項目名 項目名が特定できない場合、行番号だけが表示されます。

対処

正常な帳票定義情報ファイルを指定して、再度変換を実行してください。

帳票ファイル（帳票ファイル名）が出力できません。（YY:ZZ）

要因

次に示す要因によって、帳票定義情報ファイルから帳票ファイルへの変換時に、変換後の帳票ファイルが出力できません。

- ディスクの容量不足です。
- 出力先フォルダにファイルの読み込み権限がありません。
- 既存の帳票ファイルに上書きしようとしたますが、書き込み権限がありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が、ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

- 空き容量を見直してください。
- 書き込み権限があるフォルダを指定してください。

注意

複数の帳票定義情報ファイルを指定した場合、エラー発生以降の帳票定義情報ファイルは変換しません。エラーが発生する直前までに正常に出力された帳票ファイルは、削除されないでそのまま残ります。エラーが発生したとき、途中まで出力された帳票ファイルは削除されます。

帳票ファイル（ファイル名）が読み込めません。（YY:ZZ）

要因

次に示す要因によって、帳票ファイルを変換できません。エラーが発生した帳票ファイルの変換はしないで、次の帳票ファイルの変換を続行します。

- 読み込み権限がありません。
- ファイルがありません。

YY には読み込みに使用した関数の `errno` が、ZZ には `errno` に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

読み込み権限がある既存の帳票ファイルを指定して、再度変換を実行してください。

帳票ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

帳票ファイルの内容が不正です。エラーが発生した帳票ファイルの変換は実行しないで、次の帳票ファイルの変換を続行します。

対処

正しい帳票ファイルを指定して、再度変換を実行してください。

帳票ヘッダのアイテムはすべて削除されます。よろしいですか？

要因

帳票ヘッダ領域を削除されました。

対処

[はい] ボタンをクリックすると、帳票ヘッダ領域を削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、帳票ヘッダ領域を削除しません。

帳票ヘッダ領域を削除すると、帳票内の任意の位置に貼り付けられていた帳票ヘッダ集計の集計アイテムも削除されます。

帳票ヘッダ領域を挿入するための十分な領域を確保できません。帳票ヘッダ領域を挿入できません。

要因

繰り返し領域のアイテムのサイズなどが大きいので、帳票ヘッダ領域が挿入できません。

対処

繰り返し領域のアイテムのサイズを変更するなどをして、改ページ見出しが挿入できる領域を確保してから、再度実行してください。

(3) つで始まるメッセージ

通常使うプリンタが設定されていません。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 通常使用するプリンタが指定されていないので、印刷処理ができません。
- 通常使用するプリンタが指定されていないので、Word/Excel 文書から EUR 帳票への変換ができません。

対処

[プリンタ] フォルダを開いてプリンタを選択したあと、ポップアップメニューから「通常使うプリンタに設定」を選択してください。

(4) てで始まるメッセージ

ディクショナリファイル(ディクショナリファイル名)が見つかりません。

要因

[データのプロパティ] ダイアログで指定したディクショナリファイルが存在しません。

対処

- ディクショナリファイルが存在するかどうかを確認してください。
- 指定したディクショナリファイルのファイル名が正しいかどうかを確認してください。

ディクショナリファイル(ディクショナリファイル名):n 行目 記述に誤りがあります。

要因

[データのプロパティ] ダイアログで指定したディクショナリファイルの、n 行目の記述に誤りがあります。

対処

ディクショナリファイルの誤りを訂正してください。

ディクショナリファイル(ディクショナリファイル名): フィールドが重複しています。

要因

次の要因が考えられます。

- CSV 形式のディクショナリファイルの場合
同じフィールドの位置を参照する、複数のフィールドが存在します。
- FIX 形式のディクショナリファイルの場合
重複したフィールドが存在します。

対処

ディクショナリファイルの誤りを訂正してください。

ディクショナリファイル(ディクショナリファイル名)をオープンできませんでした。

要因

[データのプロパティ]ダイアログで指定したディクショナリファイルが、読み込み権限がないので開けません。

対処

ディクショナリファイルの読み込み権限を確認してください。

ディクショナリファイル名(ディクショナリファイル名)が正しくありません。

要因

[データのプロパティ]ダイアログで指定したディクショナリファイル名が正しくありません。

対処

正しいディクショナリファイル名を指定してください。

ディクショナリファイル名が指定されていません。

要因

ディクショナリファイル名を指定していません。[データのプロパティ]ダイアログの[データ情報]ページで、フィールド定義情報の定義方法を「ディクショナリファイルを使用」にしている場合は、ディクショナリファイル名の指定が必要です。

対処

- ディクショナリファイル名を指定してください。
- [データのプロパティ]ダイアログの[データ情報]ページで、フィールド定義情報の定義方法を「標準」に指定してください。

ディスクの容量不足が発生しました。

要因

指定されたレポートの保存処理中にディスクの容量が足りなくなったので、保存できません。

対処

不要なファイルを削除して、再度実行してください。

データが保存されたレポートファイルを読み込みました。本バージョンの EUR ではレポートファイル中のデータは読み込まれません。サンプルのデータで表示します。

要因

旧バージョンの EUR で保存されたレポートファイルを開きました。レポートファイルには、帳票設計時に使用したデータが保存されていますが、このバージョンでは、データウィンドウに表示できません。

対処

[OK] ボタンをクリックして、メッセージダイアログを閉じてください。データウィンドウに、サンプルデータが表示されます。

データファイル (データファイル名): n 行目 記述に誤りがあります。

要因

指定されたデータファイルの記述に誤りがあるので、データが表示できません。

対処

データファイルの誤りを訂正してください。

データファイル (データファイル名) がオープンできませんでした。

要因

コマンド、または [データのプロパティ] ダイアログで指定されたデータファイルは、読み込み権限がないので開けません。

対処

データファイルの読み込み権限を確認してください。

データファイル (データファイル名) が見つかりません。

要因

指定されたデータファイルが見つかりません。

対処

指定したデータファイルがないことを確認してください。

データベースアクセス定義実行でエラーが発生しました。

要因

EUR のログファイルに、要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと、その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要 因
メモリが不足しています。	メモリが不足しました。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	一時ファイル (aa...aa) の出力先フォルダに書き込み権限がありません。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> 一時ファイル (aa...aa) のオープンに失敗しました。 一時ファイルの作成に失敗しました。
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目 (aa...aa) に設定した文字列の長さが制限値を超えました。
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ: aa...aa コード: nnn,mmm	データベースアクセス定義でデータの抽出中に、エラーが発生しました。

7. 和文字

ログファイルに表示されるメッセージ	要 因
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	SQL 文の長さが上限値を超えました。
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号に対する実行値がありません。

対処

表示されたメッセージによって、次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対 処	
メモリが不足しています。	ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、再実行してください。	
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> メッセージに表示されている一時ファイル (aa...aa) の出力先フォルダに、書き込み権限を与えてください。 保守用の情報が「(error=nnn)」に表示されます。 	
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> 一時ファイル (aa...aa) の出力先フォルダの空き容量を見直してください。 保守用の情報が「(error=nnn)」に表示されます。 	
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目 (aa...aa) に指定した文字列が、上限値の nnn バイトを超えていないかどうかを見直してください。	
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ：aa...aa (メッセージ文) コード：nnnn,mmmmm	表示されたコードによって、次のように対処してください。	
コード		説 明
nnnn (リターンコード)		mmmmm (詳細コード)
-1001 -1003 -1008	DABroker, もしくは接続先データベースのエラーコード, または 0	<p>DABroker, または接続先データベースでエラーが発生したことを示します。</p> <p>「メッセージ：aa...aa」には、エラーの内容が表示されません。詳細コードと表示されるメッセージについては、次に示すマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細コードが KFDBxxxx の場合 DABroker のマニュアル 詳細コードが KFPxxxxx の場合 マニュアル「HiRDB メッセージ」 詳細コードが ORA·xxxx の場合 Oracle のマニュアル
-1004	接続管理情報のコード	接続情報に誤りがないかどうかを見直してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対 処		
	-1005 -1009	システムコール のエラー値	<p>応答監視時間内に、DABroker から応答がなかったか、またはプログラムの呼び出しでエラーが発生したことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続先 DABroker を起動させてください。 • 接続先 DABroker のホスト名、または IP アドレスを正しく設定してください。 • 接続先 DABroker にホスト名を使用している場合、hosts ファイルにホスト名を指定してください。hosts ファイルに指定したホスト名の IP アドレスを正しく設定してください。 • 接続先 DABroker に IP アドレスを使用している場合 hosts ファイルにホスト名を指定し、接続先 DABroker にホスト名を使用してください。 • services ファイルに DBPARTNER_SV を指定してください。 • services ファイルに指定した DBPARTNER_SV のポート番号、および通信プロトコル種別を正しく指定してください。 • hosts ファイル、および services ファイルにアクセス権を与えてください。
	-1006	領域管理情報の コード	メモリが不足しています。ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、再実行してください。
	-1010	10083	<p>応答監視時間内に、DABroker から応答がなかったことを示します。</p> <p>接続先の DABroker が起動されているかどうかを確認してください。また、接続先の DABroker のホスト名、または IP アドレスに誤りがないのかも確認してください。</p>
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	設定した条件式の長さが、上限値を超えていないかどうかを見直してください。		
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号値定義ファイルを指定したあと、再実行してください。		

データベースアクセス定義の実行に失敗しました。

要因

[データソースの選択] ダイアログに指定された情報から、データベースアクセス定義が起動できません。

対処

データベースアクセス定義ウィンドウで、データ抽出の操作時にエラーが発生しなかったかどうか、EUR のログファイルを参照して、エラーを取り除いてください。また、ディスクの空き容量も確認してください。

データを更新します。よろしいですか？

要因

[オプション] ダイアログの [ファイル] タブで、データファイルのパスが更新されました。

対処

[はい] ボタンをクリックすると、データを更新します。[いいえ] ボタンをクリックすると、データは更新されませんが、パスは更新されます。

(5) とで始まるメッセージ

特殊編集レベルが複数定義されています。フィールド名(フィールド名)を特殊編集レベルとします。よろしいですか？

要因

特殊編集レベルのフィールドが複数定義されている場合、最後に設定されたフィールドを特殊編集レベルのフィールドとして扱うかどうかを問い合わせます。

対処

[OK] ボタンをクリックすると、最後に設定されたフィールドを特殊編集レベルのフィールドとして、そのほかを数値とします。[キャンセル] ボタンをクリックすると、特殊編集レベルのフィールドを特定しません。

特殊編集レベルとして認識できないデータがありました。

要因

特殊編集レベルのフィールドのデータに、0 ~ 99 以外の値が指定されています。

対処

特殊編集レベルのフィールドのデータを、0 ~ 99 の値に変更したあと、再度データを読み直してください。

特殊編集レベル編集は実行できません。

要因

集計アイテム生成を指定されたが、特殊編集レベルを対象とした集計行編集では、集計アイテムは生成できません。

対処

特殊編集レベルを対象とした集計行編集であることを確認して、[OK] ボタンをクリックしてください。

7.5 な行のメッセージ

(1) にで始まるメッセージ

入力必須の項目 (XX) が指定されていません。

要因

[EUR サーバ帳票出力コマンド指定] ダイアログで実行した場合

[コマンド実行] ボタンまたは [バッチファイル生成] ボタンをクリックしましたが、コマンド実行に必要な項目が指定されなかったため、処理が実行できませんでした。

XX には、次の項目のうち指定されなかった項目名が表示されます。複数ある場合は、コンマ (,) で区切って出力されます。

- 帳票ファイル (直接指定の場合)
- 帳票セット指定ファイル (帳票セット指定ファイルを使用する場合)
- プリンタ名 (印刷を選択した場合)
- 出力先ファイル (PDF, EUR または XLSX を選択した場合)

[EUR クライアント帳票出力機能] ダイアログで実行した場合

[OK] ボタンをクリックしましたが、実行に必要な項目が指定されなかったため、処理が実行できませんでした。

XX には、次の項目のうち指定されなかった項目名が表示されます。複数ある場合は、コンマ (,) で区切って出力されます。

- 帳票ファイル
- 接続情報ファイル ([データベースから入力] チェックボックスがオンの場合)

対処

[EUR サーバ帳票出力コマンド指定] ダイアログで実行した場合

メッセージダイアログで [OK] ボタンをクリックして [EUR サーバ帳票出力コマンド指定] ダイアログに戻り、XX に表示された項目を指定してください。

[EUR サーバ帳票出力コマンド指定] ダイアログは、V8 互換機能として提供しています。詳細については、バージョン 8 対応のマニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

[EUR クライアント帳票出力機能] ダイアログで実行した場合

メッセージボックスで [OK] ボタンをクリックして [EUR クライアント帳票出力機能] ダイアログに戻り、XX に表示された項目を指定してください。

7.6 は行のメッセージ

(1) はで始まるメッセージ

バーコードパターンファイル（ファイル名）が不正です。

要因

指定されたバーコードパターンファイルの内容に誤りがあります。

対処

指定したバーコードパターンファイルが正しいかどうか確認してください。

バーコードパターンファイル（ファイル名）を入力できません。（エラーコード）

要因

指定されたバーコードパターンファイルでエラーが発生しました。

対処

指定したバーコードパターンファイルが正しいかどうか確認してください。

貼り付け領域からはみ出してしまうアイテムが存在します。アイテムの配置を設定できません。

要因

[編集]メニューの[アイテムの配置]から[繰り返し領域の左上を基準]を選択したが、次に示す要因によって、アイテムの配置ができません。

- 表紙ページで、アイテムが帳票ヘッダ領域にある場合は、そのアイテムが次紙ページで貼付域からはみ出してしまう。
- 次紙ページで、アイテムが用紙下端から帳票ヘッダ領域サイズ分の領域にある場合は、そのアイテムは表紙ページで貼付域からはみ出してしまう。

対処

アイテムを適切な位置に移動してから、再度実行してください。

(2) ひで始まるメッセージ

表示するエディタ画面の種類に誤りがあります。

要因

起動オプションで指定した、表示するエディタウィンドウの指定に誤りがあります。

対処

表示するエディタウィンドウの種類の見直しをあと、再度実行してください。

(3) ふで始まるメッセージ

ファイルを開くことができません。(エラーコード :XX)

YY

要因

[コマンド実行結果] ダイアログで [出力したファイルを開く] ボタンをクリックしましたが、次に示す要因でファイルを開けませんでした。

- ファイルの拡張子にプログラムが関連づけられていません。
- ファイルの拡張子に関連づけられたプログラムが正しくセットアップされていません。
- ファイルの拡張子に関連づけられたプログラムの実行権限がありません。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX : eurps.exe 起動失敗時のエラーコード (GetLastError 関数から取得)

YY : エラーコードに対応するメッセージ (FormatMessage 関数から取得)

対処

メッセージダイアログで [OK] ボタンをクリックして [コマンド実行結果] ダイアログに戻り、次の問題がないか確認してください。

- エクスプローラで、ファイルの拡張子にプログラムが関連づけられているか確認してください。
- 関連づけられたプログラムが動作するか確認してください。

[コマンド実行結果] ダイアログは、V8 互換機能として提供しています。詳細については、バージョン 8 対応のマニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

フィールド定義情報を自動作成しました。

要因

フィールド定義情報が未設定のままデータを読み込もうとしたので、フィールド定義情報を自動作成しました。

対処

表示されたメッセージダイアログを閉じてください。

フィールド名 (フィールド名) が重複しています。帳票に貼り付けられたデータが不正となる可能性があります。よろしいですか？

要因

フィールド名が重複している場合、フィールド定義情報を更新するかどうかを問い合わせます。

対処

[OK] ボタンをクリックすると、フィールド定義情報を更新します。[キャンセル] ボタンをクリックすると、フィールド定義情報は更新しません。

フォームシートファイル (ファイル名) が出力できません。(YY : ZZ)

要因

Word/Excel 文書からの変換中、次に示す要因によって、フォームシートファイルが出力できません。変換を中断します。

- ディスク容量が不足しています。
- 出力先フォルダに、書き込み権限がありません。
- 既存のフォームシートファイルに上書きしようとしたが、ファイルの書き込み権限がありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が、ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

次のように対処したあと、再度実行してください。

- ディスクに十分な空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存のフォームシートファイルに上書きする場合は、書き込み権限を与えてください。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき、途中のファイルでエラーが発生すると、エラーメッセージが表示され、[Word/Excel 文書の変換] ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは、削除されません。

フォームシートファイルへの変換中にエラー (XX) が発生しました。

要因

次に示す要因によって、フォームシートファイルへの変換中にエラーが発生しました。変換を中断します。XX には、次に示すコードを返します。

コード	説明
00	プリンタが、EMF スプーリングではないため、スプールファイルの解析がエラーになりました。
01	次に示す環境からスプール出力を実行しようとしたが、プロセス起動でエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft(R) Word Version 2002, Microsoft(R) Office Word 2003, Microsoft(R) Office Word 2007 または Microsoft(R) Office Word 2010 • Microsoft(R) Excel Version 2002, Microsoft(R) Office Excel 2003, Microsoft(R) Office Excel 2007 または Microsoft(R) Office Excel 2010
02	Word/Excel 文書を EMF スプーリングしようとしたが、次に示す要因によって、エラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • スプールフォルダ、またはスプールファイルの書き込み権限がありません。 • プリンタのアクセス権限がありません。
03	EUR のレジストリを参照したときにエラーが発生しました。
04	OS のバージョン情報を取得できません。

対処

次のように対処したあと、再度実行してください。

コード	説明
00	通常使うプリンタが、EMF スプーリングに設定されているかどうかを確認してください。

コード	説明
01	次に示す前提プログラムがインストールされていることを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft(R) Word Version 2002, Microsoft(R) Office Word 2003, Microsoft(R) Office Word 2007 または Microsoft(R) Office Word 2010 • Microsoft(R) Excel Version 2002, Microsoft(R) Office Excel 2003, Microsoft(R) Office Excel 2007 または Microsoft(R) Office Excel 2010
02	<ul style="list-style-type: none"> • スプールフォルダ, またはスプールファイルの書き込み権限があるかどうかを確認してください。 • プリンタのアクセス権限を確認してください。 出力プリンタの [プロパティ] ダイアログの [セキュリティ] タブで, 実行ユーザに対して「プリンタの管理」のアクセス許可を設定する必要があります。
03	EUR が正しくインストールされていることを確認してください。必要であれば, EUR を再インストールしてください。
04	OS が正しくインストールされていることを確認してください。前提 OS は, Windows XP, Windows 7, および Windows 8 です。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき, 途中のファイルでエラーが発生すると, エラーメッセージが表示され, [Word/Excel 文書の変換] ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは, 削除されません。

複数帳票はプレビューできません。

要因

複数の帳票ファイルを指定した EUR 形式ファイルを, プレビューしようとした。

対処

複数の帳票ファイルを指定した EUR 形式ファイルはプレビューできません。

部数指定は 1 ~ 99 の値で指定してください。

要因

[印刷] ダイアログの部数のテキストボックスに入力された値が 1 ~ 99 の範囲外なので, 印刷できません。

対処

印刷する部数を指定し直したあと, 再度実行してください。

不正な EUR 形式ファイルが指定されました。(XX)

要因

指定した EUR 形式ファイルが正しくありません。
XX には, 次に示すコードを返します。

コード	説明
1	圧縮ファイルの解凍に失敗しました。
2	圧縮ファイルのヘッダブロックが不正です。
3	圧縮ファイルのボディブロックが不正です。

7. 和文字

コード	説明
11	解凍後のヘッダブロックのフォーマットが不正です。
21	解凍後の帳票ファイルブロックのフォーマットが不正です。
31	解凍後のマッピングデータブロックのフォーマットが不正です。
41	解凍後のユーザ定義データブロックのフォーマットが不正です。
51	解凍後の画像データブロックのフォーマットが不正です。
61	空行，または識別不能なフォーマットがありました。

対処

正しい EUR 形式ファイルを指定してください。

終了コード

12 (データエラーが発生したことを示します)

不正な EUR 形式ファイル名が指定されました。

要因

指定した EUR 形式ファイル名の長さが、255 文字を超えています。

対処

EUR 形式ファイル名を 255 文字以内で指定し直したあと、再度実行してください。

終了コード

16 (コマンドの文法にエラーがあったことを示します)

不正なオプション (オプション名) が指定されました。

要因

EUR 形式ファイルを出力するとき、eurer コマンドに不正なオプションを指定して実行しようとした。

対処

eurer コマンドに指定したオプションの指定を見直したあと、再度実行してください。

終了コード

16 (コマンドの文法にエラーがあったことを示します)

不正なオプションが指定されました。

要因

apgrpt コマンドに指定したオプションが不正です。

対処

apgrpt コマンドの指定を見直したあと、誤りを訂正してください。

不正なプリンタ名が指定されました。

要因

指定したプリンタ名の長さが、259 文字を超えています。

対処

プリンタ名を 259 文字以内で指定し直したあと、再度実行してください。

終了コード

16 (コマンドの文法にエラーがあったことを示します)

部品 (XX) は部品 (YY) から参照されているため削除できません。

要因

部品 XX が、部品 YY から参照されているために削除できません。

対処

参照している部品 YY を削除してから、部品 XX を削除してください。

部品アーカイブファイルが読み込めません。(エラーコード:メッセージ文)

要因

次の要因によって部品アーカイブファイルをインポートできません。

- 部品アーカイブファイルがありません。
- 部品アーカイブファイルに読み込み権限がありません。

対処

ファイルおよびフォルダがあるかどうか、または読み込み権限があるかどうかを見直したあと、再度インポートを実行してください。

部品アーカイブファイルに出力できません。(エラーコード:メッセージ文)

要因

部品アーカイブファイルをエクスポートしようとしたますが、次の要因によってエクスポートできません。

- 部品アーカイブファイルの出力先フォルダに書き込み権限がありません。
- 上書きしようとした既存のファイルに、書き込み権限がありません。
- ディスクの容量に空きがありません。

対処

- ファイルおよびフォルダの書き込み権限を見直したあと、再度エクスポートを実行してください。
 - 空き容量を見直してください。
-

部品アーカイブファイルの内容が不正です。

7. 和文字

要因

部品アーカイブファイルの内容が正しくなかったため、インポートできません。

対処

部品パレットウィンドウで、エクスポートした部品アーカイブファイルであることを確認し、再度インポートを実行してください。

部品アイテムを貼り付けることができません。

要因

次の要因によって部品を貼り付けられません。

- 部品のサイズが貼り付け域のサイズを超えました。
- 常に指定位置に貼り付ける部品を貼り付けようとして、部品が貼付域を超えました。

対処

部品を貼り付けられる用紙サイズに変更したあと、部品を貼り付けてください。

部品名に使用できない文字が指定されています。

要因

次の要因によって、部品の登録、または部品名の変更ができません。

- 部品名が未指定です。
- 部品名に使用できない文字が含まれています。

対処

正しい部品名を指定して再度実行してください。

部品に登録できるアイテム数の上限を超えています。

要因

次のアイテムのどれかが上限数の 100 個を超えているため、部品を登録できません。

- 文字アイテム
- 線アイテム
- 図形アイテム
- 画像アイテム
- 部品

対処

部品に登録するアイテムの数を減らして、部品の登録を再度実行してください。

部品パレットウィンドウが表示できません。(要因コード: 詳細メッセージ)

要因

次の要因によって、部品パレットウィンドウを表示できません。

- 部品パレットウィンドウへのアクセス時にエラーが発生しました。
- 部品パレットウィンドウがありません。
- 部品パレットウィンドウの起動に失敗しました。

- メモリ不足が発生しました。

対処

次のように対処したあと、再度部品パレットウィンドウを表示させてください。

- 正しくインストールしてください。
- メモリ不足を解消してください。

部品を登録できる個数の上限を超えています。

要因

部品がすでに 1,000 個登録されているため、新たに部品を登録できません。

対処

不用な部品を削除して、部品の登録を再度実行してください。

部品を登録できません。(エラーコード:メッセージ文)

要因

次の要因によって部品を登録できません。

- 部品庫フォルダに書き込み権限がありません。
- 部品庫フォルダの容量が不足しています。
- 入れ子にした部品が、部品庫にありません。

対処

- 部品庫フォルダの書き込み権限を付けてください。
- 容量を見直してください。
- 入れ子にした部品を部品庫にインポートして、再度登録してください。

プリンター一覧の取得に失敗しました。(システムエラー番号, システムメッセージ)

要因

給紙トレイ一覧ツールの実行時にエラーが発生し、登録されているプリンタの一覧が取得できませんでした。給紙トレイ一覧ツールを終了します。

対処

メッセージに表示されたシステムエラー番号が 122 の場合、給紙トレイ一覧ツールを再度実行してください。

それ以外の場合は、システムエラー番号とシステムメッセージを基に対処し、給紙トレイ一覧ツールを再度実行してください。

プリンタ(プリンタ名)が存在しません。

要因

コマンドで指定されたプリンタは接続されていません。

対処

接続されているプリンタ名を指定し直したあと、再度実行してください。

プリンタ（プリンタ名）とバーコードパターンファイル（ファイル名）が適合しません。

要因

指定されたプリンタに対応したバーコードパターンファイルがありません。

対処

正しいバーコードパターンファイルを指定してください。

プリンタがサポートしていない画像ファイルは、出力することができませんでした。

要因

レポート内に、プリンタが使用できない画像ファイルがあるので、印刷できません。

対処

画像ファイルを印刷できるプリンタを設定してください。

プリンタが存在しません。

要因

システムにプリンタが登録されていないので印刷できません。

対処

プリンタの環境設定をしたあと、再度実行してください。

プリンタ情報を取得できません。

要因

指定されたプリンタ情報を取得するときにエラーが発生しました。

対処

指定されているプリンタドライバに問題がないかどうか確認してください。例えば、指定されたプリンタを使用して、ほかのプログラムプロダクトで出力してみたり、メモリが十分あるかどうかを確認してみたりしてください。

プリンタ定義ファイルのプリンタ（プリンタ名）に不正なプリンタ定義情報（キーワード名）が指定されました。

要因

プリンタ定義情報を指定するキーワードに不正な値が指定されています。

対処

正しい値を指定し直したあと、再度実行してください。

プリンタのハードマージンを取得できませんでした。

要因

プリンタのハードマージンを取得できないので、レポートが印刷されないか、印刷結果がずれる場合があります。

対処

印刷はそのまま続行されますが、使用するプリンタのハードマージンをもう一度確認してください。

(4) へで始まるメッセージ

ページ集計を表示できなくなるためページ集計行を解除します。よろしいですか？

要因

次の操作が要因で、ページ集計が表示できなくなりました。

- ページの繰り返し個数が、縦横ともに1個になりました。
- 集計対象フィールドの繰り返し定義を解除しました。

対処

解除する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。解除しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

ページ番号印刷オプションの指定に誤りがあります。

要因

起動オプションで指定した、ページ番号を印刷するときの印刷形式の指定に誤りがあります。

対処

ページ番号の印刷形式の指定を見直したあと、再度実行してください。

ページ番号印刷形式は510文字以内で指定してください。

要因

[印刷] ダイアログの、ページ番号の印刷形式のテキストボックスに入力された値が510文字を超えているので、印刷できません。

対処

ページ番号の印刷形式の値を指定し直したあと、再度実行してください。

ページ変更できません。

要因

集計行編集集中や内容が不正なレポートを読み込んだときは、ページを変更することはできません。

対処

[OK] ボタンをクリックしてください。

別の帳票で項目情報を設定中です。設定が終わってから、再度実行してください。

要因

EUR 帳票作成機能、または EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) の操作中以外の帳票で、データベース連携の設定中です。

対処

EUR 帳票作成機能でデータベースアクセス定義の設定、または EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) の操作中以外の帳票でデータベース連携の設定が終わったあと、再実行してください。

変更前の置き換え表管理情報ファイルに定義された置き換え表が使用されています。

要因

置き換えを指定したアイテムが帳票上にあるため、置き換え表管理情報ファイルの設定を変更できません。

対処

[OK] ボタンをクリックして、メッセージダイアログを閉じてください。置き換えを設定しているアイテムの [アイテムのプロパティ] ダイアログで [置き換え表] タブを選択し、[置き換える] チェックボックスをオフに設定してください。

編集した集計行がすべて解除されます。よろしいですか？

要因

繰り返しの優先方向の変更を指定されたので、編集した集計行がすべて解除されます。

対処

解除する場合は、[はい] ボタンをクリックします。解除しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。

編集した集計行が存在しません。

説明

編集した集計行がないので、集計行編集の解除ができません。

(5) ほで始まるメッセージ

本プログラムは本環境では動作いたしません。動作可能環境を確認した後、実行してください。

要因

Windows XP, Windows 7, および Windows 8 環境以外で、Word/Excel 文書を EUR 帳票に変換しようとした。

対処

Word/Excel 文書を EUR 帳票に変換する場合は、前提 OS 上で実行してください。

7.7 まりのメッセージ

(1) まり始めるメッセージ

マッピングデータのフィールド名(フィールド名)が一致しません。

要因

マッピングデータのフィールド名と日付データが一致しないので、[アイテムのプロパティ] ダイアログが表示できません。

対処

マッピングデータのフィールド名とデータタイプが一致する日付データを指定したあと、再度実行してください。

(2) めで始めるメッセージ

メモリが確保できませんでした。

要因

指定されたレポートの編集処理中にメモリが確保できません。

対処

EUR 帳票作成機能を終了させ、EUR 帳票作成機能の処理に必要なメモリを確保したあと、再度 EUR 帳票作成機能を起動させてください。

メモリ不足が発生しました。

要因

次に示す要因が考えられます。

EUR 帳票作成機能の場合

- Word/Excel 文書を EUR 帳票へ変換しているとき、メモリ不足が発生しました。変換を中断します。
- EUR 形式ファイルに出力しているとき、メモリ不足が発生しました。出力を中断します。
- 部品パレットウィンドウの操作中にメモリが不足しました。操作を中止します。
- 帳票定義ファイルの変換中にメモリが不足しました。変換を中断します。

EUR クライアント帳票出力機能の場合

- 帳票出力データ指定機能の実行中にメモリ不足が発生しました。メッセージの後ろに(エラーコード: WW)を出力します(WW: GetLastError 関数から取得したエラーコード)。

対処

ほかのアプリケーションを終了させるなどして、実行に必要なメモリを確保してください。

終了コード

EUR 形式ファイルに出力しているときは、終了コード「8(システムエラーが発生したことを示します)」を返します。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき、途中のファイルでエラーが発生すると、エラーメッセージが表示され、[Word/Excel 文書の変換] ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは、削除されません。

また、複数の帳票ファイル、または帳票定義情報ファイルを変換しているとき、途中のファイルでエラーが発生すると、エラー発生以降の帳票ファイル、または帳票定義情報ファイルは変換しません。

エラーが発生する直前までに正常に出力された帳票定義情報ファイル、帳票ファイルは、削除されないうでそのまま残ります。エラーが発生したとき、途中まで出力された帳票定義情報ファイル、または帳票ファイルは削除されます。

(3) もで始まるメッセージ

文字アイテムがないため集計行を解除します。よろしいですか？

要因

集計行編集の結果、現在編集対象の集計行に文字アイテムが一つもなくなったので、集計行が解除されます。

対処

解除する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。解除しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

文字幅計算方法の指定に誤りがあります。

要因

オプション記述ファイルのキーワード FontWidthMode に static, dynamic 以外の値が指定されました。

対処

指定値に static または dynamic を指定してください。

7.8 や行のメッセージ

(1) よで始まるメッセージ

用紙サイズが変更できませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 用紙のサイズを変更したので、実アイテム（仮想アイテムを含まない）、または線がはみ出してしまっています。
- 余白の値が正しくありません。

対処

用紙サイズが変更できない要因を確認したあと、再度実行してください。

用紙の向きの指定に誤りがあります。

要因

用紙の向きの指定に誤りがあります。

対処

起動オプションの PaperOrientation の指定を見直したあと、再度実行してください。

7.9 ら行のメッセージ

(1) れで始まるメッセージ

レジストリが読み込めません。(エラーコード:メッセージ文)

要因

EUR 帳票作成機能の場合

- 帳票ファイル, または帳票定義情報ファイルの初期フォルダの参照時に, レジストリを読み込めません。
- Microsoft(R) XML Parser (MSXML) 3.0 がない環境では, 帳票定義情報ファイルの入出力は実行できません。

EUR クライアント帳票出力機能の場合

- 帳票出力データ指定機能の使用時に, インストール先のフォルダをレジストリから取得できませんでした。

対処

- レジストリキーのアクセス権を確認し, 再度実行してください。
 - Microsoft 社のホームページから, Microsoft(R) XML Parser (MSXML) 3.0 のセットアップパッケージをインストールしてください。
-

レジストリに書き込みできません。(エラーコード:メッセージ文)

要因

帳票ファイル, または帳票定義情報ファイルのフォルダの変更時に, レジストリに書き込めません。

対処

レジストリキーのアクセス権を確認し, 再度実行してください。

レジストリにフォームシートファイルの出力先フォルダを保存できません。

要因

出力先フォルダを保存できません。選択した帳票ファイルの出力先フォルダは [Word/Excel 文書の変換] ダイアログの [出力先フォルダ] に設定されます。

対処

レジストリの書き込み権限を確認し, プログラムを再実行してください。

レポート (レポート名) が修正されています。保存しますか?

要因

[新規作成], [開く], または [Report の終了] を指定したとき, 今まで修正していたレポートを保存するかどうかを問い合わせます。

対処

修正したレポートを上書き保存する場合は,[はい] ボタンをクリックしてください。ただし, レポートが「新規作成」の場合は,[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。レポートを保存しない場合は,[いいえ] ボタンをクリックしてください。処理を取り消す場合は,[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

レポート(レポート名)が正しくありません。レポート名を指定しないで新規作成します。

要因

コマンドで指定したレポート名が正しくありません。レポートを新規作成します。

対処

EURを終了し, コマンドで指定した帳票ファイル名の誤りを訂正して再度実行するか, 新規作成のままレポートを作成して保存するときにレポート名を指定してください。

レポート(レポート名)が見つかりません。

要因

[ファイルを開く] ダイアログで指定されたファイルが見つかりません。

対処

ファイル名を確認したあと, 再度実行してください。

レポート(レポート名)が見つかりません。新規作成します。

要因

コマンドで指定した帳票ファイルが見つからないので, 指定された名称で帳票を新規作成します。

対処

[OK] ボタンをクリックしてください。

レポート(レポート名)には書き込み権限がありません。

要因

編集中のレポートを上書きして保存しようとしたが, 書き込み権限がないので保存できません。

対処

レポートファイルに書き込み権限があるかどうかを確認してください。

レポート(レポート名)には読み込み権限がありません。

要因

指定されたレポートには読み込み権限がありません。

対処

レポートファイルに読み込み権限があるかどうかを確認してください。

レポート (レポート名) は使用中です。

要因

指定されたレポートは、ほかのプロセスで使用されているので、開けません。

対処

指定されたレポートが使用できるまで、待ってください。

レポート (レポート名) をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因によって、ファイルを開けません。

- 指定したファイル名がフォルダです。
- 指定したファイルが、ほかのプログラムで使用しています。
- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

次のように対処をしたあと、プログラムを再度実行してください。

- 正しいファイル名を指定してください。
 - 不要なファイルを削除してください。
 - 実行に必要なメモリを確保してください。
-

レポートが不完全です。

要因

[ファイルを開く] ダイアログで指定されたレポートは、レポートが不完全か、またはレポートファイルではないので読み込めません。

対処

指定したファイルがレポートかどうかを確認したあと、指定し直してください。

レポートが保存できませんでした。

要因

次に示す要因によって、帳票定義ファイルが保存できませんでした。

- ディスクに空き容量がありません。
- 指定した帳票定義ファイルが存在しません。または、出力先フォルダへの書き込み権限がありません。
- 指定した帳票定義ファイルに書き込み権限がありません。

対処

要因に応じて、それぞれ次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして、ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存の帳票定義ファイルに上書きする場合は、書き込み権限を与えてください。

また、指定した帳票定義ファイルに保存できなくても、帳票定義ファイルと同じフォルダに一時ファ

イル「eurXX.tmp」(XXは桁数不定の16進数値)が残っている場合があります。一時ファイルには指定した帳票定義内容が保存されているので、一時ファイルを基に保存内容を復旧できます。

レポートデータ読み込み中にエラーが発生しました。

要因

読み込もうとしたレポートデータが、一部破壊されているおそれがあります。

対処

レポートを作成し直して、再度プログラムを実行してください。

レポート内に識別できないデータがありました。

説明

[ファイルを開く]ダイアログで指定したファイルに、識別できないデータがありました。

レポートファイルを読み込みました。本バージョンのEURではレポートファイルには保存できません。保存するときにはフォームシートファイルに保存してください。

要因

旧バージョンのEURで保存されたレポートファイルを開きました。このバージョンでは、開いたレポートファイルを編集しても、上書き保存できません。

対処

[OK]ボタンをクリックして、メッセージダイアログを閉じてください。

(2) ろで始まるメッセージ

ログオプション設定ツールが起動中です。

要因

すでにログオプション設定ツールが起動されているので、EURログオプションへの反映ができません。

対処

実行中のログメンテナンスツールを終了したあと、再度実行してください。

ログオプション設定ツールの動作環境が正しくありません。

要因

ログオプション設定ツールの動作環境が正しくないので、ログオプション設定ツールが動作できません。

対処

EURを再インストールしたあと、ログオプション設定ツールを再度実行してください。

ログメンテナンスツールの動作環境が正しくありません。

要因

ログメンテナンスツールの動作環境が正しくないので、ログメンテナンスツールが動作できません。

対処

EUR を再インストールしたあと、ログメンテナンスツールを再度実行してください。

8

KEES001 ~ KEES099

この章では、KEES001 ~ KEES099 のメッセージについて説明します。

8.1 KEES001 ~ KEES099 のメッセージ

8.1 KEES001 ~ KEES099 のメッセージ

KEES001-E

帳票ファイル (XX) が読み込めません。(YY:ZZ)

要因

指定した帳票ファイルの読み込みに失敗し、変換できませんでした。次の要因が考えられます。

- 読み込み権限がありません。
- ファイルが存在しません。

メッセージの XX, YY, ZZ には次の内容が表示されます。

- XX: 読み込めなかった帳票ファイルのファイル名
- YY: 読み込みに使用した関数の errno の値
- ZZ: errno に対応する strerror 関数の値

次の帳票ファイルの変換を続行します。

対処

読み込み権限のある既存の帳票ファイルを指定して、再変換してください。

KEES002-E

帳票定義情報ファイル (XX) が読み込めません。(YY:ZZ)

要因

指定した帳票定義情報ファイルの読み込みに失敗し、変換できませんでした。次の要因が考えられます。

- 読み込み権限がありません。
- ファイルが存在しません。

メッセージの XX, YY, ZZ の意味は次のとおりです。

- XX: 読み込めなかった帳票定義情報ファイルのファイル名
- YY: 読み込みに使用した関数の errno の値
- ZZ: errno に対応する strerror 関数の値

次の帳票定義情報ファイルの変換を続行します。

対処

読み込み権限のある既存の帳票定義情報ファイルを指定して、再変換してください。

KEES003-E

帳票ファイル (XX) の内容が不正です。

要因

帳票ファイルから帳票定義情報ファイルへ変換しようとしたところ、帳票ファイルの内容が壊れているため変換できませんでした。

メッセージの XX には、変換できなかった帳票ファイルのファイル名が表示されます。

対処

正常な帳票ファイルを指定して、再変換してください。

KEES004-E

サポートしていないバージョンの帳票ファイル (XX) が指定されました。

要因

サポートしていないバージョンの帳票ファイルが指定されたため、帳票定義情報ファイルへ変換できませんでした。帳票ファイルが次に示すバージョンのフォームシート形式でないことが考えられます。

- EUR Professional Edition 05-00 以降
- EUR Designer 08-00 以降
- EUR Developer 08-00 以降

メッセージの XX には、変換できなかった帳票ファイルのファイル名が表示されます。

対処

正常な帳票ファイルを指定して、再変換してください。

KEES005-E

帳票定義情報ファイル (XX) の内容が不正です。(YY[:ZZ])

要因

次に示す要因によって、帳票定義情報ファイルから帳票ファイルへ変換できませんでした。

- 帳票定義情報ファイルの内容が正しくありません。
- 帳票定義情報ファイルに記述されたファイルのうち、どれかが読み込めません。
- 帳票全体定義情報ファイルに記述されたファイルのうち、どれかの内容が不正です。

メッセージの XX, YY, ZZ の意味は次のとおりです。

- XX: 変換できなかった帳票定義情報ファイルのファイル名
- YY, ZZ: 次に示す要因コードと詳細情報

YY の値 (要因コード)	要因の意味	ZZ の値 (YY で出力した要因コードの詳細情報)
00	帳票定義情報ファイルの内容が正しくありません。	(出力しません)
01	次のファイルのどれかが読み込めません。 <ul style="list-style-type: none"> • 帳票全体定義情報ファイル • ブレイク定義情報ファイル • アイテム定義情報ファイル • 部品アイテム定義情報ファイル • フィールド定義情報ファイル • 補足情報ファイル 	読み込めなかったファイルのファイル名
02	次のどれかのファイル内容が不正です。 <ul style="list-style-type: none"> • 帳票全体定義情報ファイル • ブレイク定義情報ファイル • アイテム定義情報ファイル • 部品アイテム定義情報ファイル • フィールド定義情報ファイル 	項目名が特定できる場合 不正なデータが記述された「ファイル名 : 行番号 : 項目名」 項目名が特定できない場合 行番号だけ

対処

正常な帳票ファイルを指定して、再変換してください。

9

KEES101 ~ KEES199

この章では , KEES101 ~ KEES199 のメッセージについて説明します。

9.1 KEES101 ~ KEES199 のメッセージ

9.1 KEES101 ~ KEES199 のメッセージ

KEES101-E

不正なオプション (XX) が指定されました。

要因

不正なオプションを指定してコマンドを実行しました。eurspscv コマンドの実行を終了します。次の要因が考えられます。

- 指定したオプションが正しくありません。
- 指定したオプションの引数が正しくありません。
- 同じオプションが複数指定されています。
- オプションの引数以外で値が指定されています。
- 指定したパスが存在しません。
- 指定したパスが無効な値です。
- パス指定の文字数が、上限値である 259 文字を超えました。

メッセージの XX には、指定された不正なオプションが表示されます。

対処

正しいオプションを指定して実行してください。

KEES102-E

省略不可のオプションが指定されていません。

要因

指定を省略できないオプションを省略してコマンドを実行しました。eurspscv コマンドの実行を終了します。

対処

省略したオプションを指定して実行してください。指定必須のオプションとその意味は次のとおりです。

- /t : 変換形式
- /in : 入力元ファイル名
- /out : 出力先フォルダ名

KEES103-E

出力先フォルダの名称が長すぎます。

要因

出力先フォルダ名が長い場合、出力ファイル名のフルパス名の長さが 259 文字を超えてしまい、ファイルを出力できませんでした。eurspscv コマンドの実行を終了します。

対処

出力ファイル名のフルパス名の長さが 259 文字を超えないよう、出力先フォルダ名を指定し直してください。

KEES104-E

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリが不足したため変換を続行できませんでした。

次のように動作します。

- ダイアログの場合
[帳票定義情報ファイルの入出力] ダイアログに戻ります。
- コマンド実行の場合
変換を中断し、eurspcsv コマンドを終了します。

複数の帳票ファイルまたは帳票定義情報ファイルを指定した場合、次のように処理されます。

- エラー発生以降の帳票ファイルまたは帳票定義情報ファイルは変換されません。
- エラーが発生する直前までに正しく出力された帳票定義情報ファイルまたは帳票ファイルは、削除されないでそのまま残ります。
- エラー発生時に途中まで出力された帳票定義情報ファイルまたは帳票ファイルは、削除されます。

対処

ほかのプログラムを終了させるなどしてメモリに十分な空き容量を作り、再度変換してください。

KEES105-E

帳票ファイル (XX) が出力できません。(YY:ZZ)

要因

帳票定義情報ファイルから帳票ファイルへの変換を実施しましたが、変換後の帳票ファイルが出力できませんでした。次の要因が考えられます。

- ディスクの容量不足
- 出力先フォルダにファイルの出力権限がありません
- 既存の帳票ファイルに上書きしようとしたが書き込み権限がありません

メッセージの XX, YY, ZZ には次の内容が表示されます。

- XX: 出力できなかった帳票ファイルのファイル名
- YY: 出力に使用した関数の errno の値
- ZZ: errno に対応する strerror 関数の値

次のように動作します。

- ダイアログの場合
[帳票定義情報ファイルの入出力] ダイアログに戻ります。
- コマンド実行の場合
変換を中断し、eurspcsv コマンドを終了します。

複数の帳票ファイルまたは帳票定義情報ファイルを指定した場合、次のように処理されます。

- エラー発生以降の帳票定義情報ファイルは変換されません。
- エラーが発生する直前までに正しく出力された帳票ファイルは、削除されないでそのまま残ります。
- エラー発生時に途中まで出力された帳票ファイルは、削除されます。

対処

十分な空き容量があり、かつ書き込み権限のあるフォルダを指定して、再度変換を実行してください。

KEES106-E

帳票定義情報ファイル (XX) が出力できません。(YY:ZZ)

要因

帳票定義情報ファイルから帳票定義情報ファイルへの変換を実施しましたが、変換後の帳票定義情報ファイルが出力できませんでした。次の要因が考えられます。

- ディスクの容量不足
- 出力先フォルダにファイルの出力権限がなかった
- 既存の帳票定義情報ファイルに上書きしようとしたが書き込み権限がなかった

メッセージの XX, YY, ZZ の意味は次のとおりです。

- XX: 出力できなかった帳票定義情報ファイルのファイル名
- YY: 出力に使用した関数の errno の値
- ZZ: errno に対応する strerror 関数の値

次のように動作します。

- ダイアログの場合
[帳票定義情報ファイルの入出力] ダイアログに戻ります。
- コマンド実行の場合
変換を中断し、eurspcsv コマンドを終了します。

複数の帳票ファイルまたは帳票定義情報ファイルを指定した場合、次のように処理されます。

- エラー発生以降の帳票ファイルは変換されません。
- エラーが発生する直前までに正しく出力された帳票定義情報ファイルは、削除されないでそのまま残ります。
- エラー発生時に途中まで出力された帳票定義情報ファイルは、削除されます。

対処

十分な空き容量があり、かつ書き込み権限のあるフォルダを指定して、再度変換を実行してください。

KEES109-E

入力元フォルダの名称が長すぎます。

要因

入力元フォルダ名が長いと、入力元ファイル名のフルパス名の長さが 259 文字を超えました。eurspcsv コマンドの実行を終了します。

対処

入力元ファイル名のフルパス名の長さが 259 文字を超えないよう、入力元フォルダ名を指定し直してください。

10 KEES201 ~ KEES299

この章では、KEES201 ~ KEES299 のメッセージについて説明します。

10.1 KEES201 ~ KEES299 のメッセージ

10.1 KEES201 ~ KEES299 のメッセージ

KEES201-I

ユーザ名 =U : コマンド =C

要因

eurspcsv コマンドの実行ユーザ, 変換形式, 入力元フォルダ, および出力先フォルダを通知するメッセージです。メッセージの U, C の意味は次のとおりです。

U : 実行ユーザアカウント

C : /t {変換形式} /in {入力元フォルダ} /out {出力先フォルダ}
(は半角空白)

{変換形式} : 変換形式

{入力元フォルダ} : 入力元フォルダのフルパス

{出力先フォルダ} : 出力先フォルダのフルパス

KEES202-I

Eurspcsv のコマンドを開始しました。

要因

eurspcsv コマンドを開始したことを通知するメッセージです。

KEES203-I

Eurspcsv のコマンドを終了しました。

要因

eurspcsv コマンドを終了したことを通知するメッセージです。

KEES204-I

[WW] ファイルの変換処理を開始しました。

要因

ファイルの変換処理を開始したことを通知するメッセージです。

メッセージの WW には, 変換元ファイル名が表示されます。

KEES205-I

[WW] ファイルの変換処理が終了しました。

要因

ファイルの変換処理を終了したことを通知するメッセージです。

メッセージの WW には, 変換元ファイル名が表示されます。

11 KEEU001 ~ KEEU099

KEEU001 ~ KEEU099 のメッセージについて説明します。

11.1 KEEU001 ~ KEEU099 のメッセージ

11.1 KEEU001 ~ KEEU099 のメッセージ

KEEU001-E

帳票ファイル名が指定されていません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

帳票ファイル名が一つも指定されていません。

対処

帳票ファイル名を指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

帳票ファイル名

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_REPORTPATH

ActiveX オブジェクト

ReportFileName プロパティ,

ReportFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReportFileName メソッド (複数帳票指定の場合は setMultiReportFileName メソッド),

setReportFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

16

KEEU002-E

不正なオプション (オプション名) が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

コマンドに指定したオプションが不正です。

対処

コマンドの指定を見直し, 正しいオプションを指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

レベル
Error

終了コード
16

KEEU003-E

省略不可のオプション（オプション名）が指定されていません。

詳細情報

ユーザ=U：コマンド=C

要因

指定されていなければならないオプションが、コマンドに指定されていません。

対処

コマンドの指定を見直し、メッセージに表示されているオプションを指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

レベル
Error

終了コード
16

KEEU004-E

指定した出力ファイル（ファイル名）に出力できませんでした。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ=U：コマンド=C

要因

次に示す要因によって、ファイルへの出力ができません。

- 指定した出力先フォルダがありません。
- 指定した出力先ファイルがなく、また、その出力先フォルダには書き込み権限がありません。
- 指定した出力先ファイルはあるが、ファイルに書き込み権限がありません。
- ファイルの出力先デバイスに、空き容量がありません。
- 出力中の出力先ファイルに、ほかの EUR サーバ帳票出力機能からも出力しようとしてしました。この場合、（エラーコード）には「-2147483646」が表示されます。
- PDF 出力時または PDL 出力時に、印刷ライブラリで一時ファイルに出力できませんでした。この場合、（エラーコード）には「-2147483645」が表示されます。

対処

次のように対処してください。

- 出力先フォルダがない場合は、出力先フォルダを作成してください。
- 出力先フォルダに、書き込み権限を与えてください。
- 既存の出力先ファイルに上書きする場合は、ファイルに書き込み権限を与えてください。
- ファイル出力先のデバイスの空き容量を増やしてください。

- 同じ出力先ファイル名を指定して、同時にほかの EUR サーバ帳票出力機能から出力しないでください。
- 一時ファイル出力先のデバイスの空き容量を増やしてください。

対処の参照先

eurps コマンド

/pf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pf オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_OUTPUTPATH

ActiveX オブジェクト

OutFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setOutFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU005-E

指定した帳票ファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、帳票ファイルが読み込めません。

- 指定した帳票ファイルがありません。
- 指定した帳票ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する帳票ファイル名を指定してください。
- 指定する帳票ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

eurps コマンド

帳票ファイル名

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_REPORTPATH

ActiveX オブジェクト

ReportFileName プロパティ,

ReportFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReportFileName メソッド (複数帳票指定の場合は setMultiReportFileName メソッド),

setReportFilePath メソッド

レベル
Error

終了コード
8

KEEU006-E

指定したデータファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ=U：コマンド=C

要因

次に示す要因によって、データファイルが読み込めません。

- 指定したデータファイルがありません。
- 指定したデータファイルに読み込み権限がありません。
- プリンタ出力、または EUR 形式ファイルを出力するとき、マッピングデータファイルの指定を省略して実行しようとしたが、ユーザ定義データファイルの指定を省略したことを示すコンマ「,」の数が合っていません。
- PDF 形式ファイルを出力するとき、帳票ファイルとしおり定義ファイルを指定して実行しようとしたが、データファイルの指定を省略したことを示すコンマ「,」の数が合っていません。

対処

次のように対処してください。

- 存在するデータファイル名を指定してください。
- 指定するデータファイルに、読み込み権限を与えてください。
- プリンタ出力、または EUR 形式ファイルを出力する場合、マッピングデータファイルの指定を省略して実行するときは、コンマ「,」の数を見直してください。
- PDF 形式ファイルを出力する場合、データファイルの指定を省略して帳票ファイルとしおり定義ファイルを指定するときは、コンマ「,」の数を見直してください。

対処の参照先

データファイル

eurps コマンド

データファイル名（マッピングデータファイル名、ユーザ定義データファイル名）

環境変数、または環境設定ファイル

EURPS_MAPDATAPATH,

EURPS_USERDATAPATH

ActiveX オブジェクト

DataFileName プロパティ,

DataFilePath プロパティ,

UserDataFileName プロパティ,

UserDataFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDataFileName メソッド（複数帳票指定の場合は setMultiDataFileName メソッド）,

setDataFilePath メソッド,

setUserDataFileName メソッド（複数帳票指定の場合は setMultiUserDataFileName メソッド）

ド),
setUserDataFilePath メソッド

レベル
Error

終了コード
8

KEEU007-E

不正な帳票ファイル（ファイル名）が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

ファイルの種類が「フォームシートファイル (*.fms)」でない帳票ファイルが指定されました。

対処

ファイルの種類が「フォームシートファイル (*.fms)」の帳票ファイルを指定してください。
なお、複数の帳票ファイルが指定されている場合は、エラーが発生した直前の帳票ファイルまでを出力します。

対処の参照先

帳票ファイル

eurps コマンド

帳票ファイル名

ActiveX オブジェクト

ReportFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReportFileName メソッド（複数帳票指定の場合は setMultiReportFileName メソッド）

レベル
Error

終了コード
12

KEEU008-E

特殊編集レベルとして認識できないデータがありました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

特殊編集レベルに、1 ~ 99 以外の値が指定されました。

対処

特殊編集レベルには、1 ~ 99 の値を指定してください。

なお、複数の帳票ファイルが指定されている場合は、エラーが発生した直前の帳票ファイルまでを出力します。

レベル
Error

終了コード
12

KEEU009-E

不正なファイル名（ファイル名）が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- ファイル名の長さが上限を超えています。
- 指定するファイルの個数が正しくありません。
- ドライブ名のある相対パスが指定されました。
- ドライブ名を省略したフルパスが指定されました。

対処

次のように対処してください。

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名に指定できる文字数は、次のとおりです。
 - Windows 環境の場合
フルパスで指定するときは 259 文字以内
相対パス、またはファイル名だけで指定するときは 255 文字以内
 - UNIX / Linux 環境の場合
フルパスで 1,023 バイト以内
- 指定した内容を、もう一度見直してください。

対処の参照先

扱えるファイルの種類

帳票ファイル,
データファイル,
文書情報設定ファイル,
文書しおり定義ファイル,
しおり定義ファイル,
出力ファイル,
接続情報ファイル,
可変記号値定義ファイル,
EUR フォントファイル,
出力ページ情報ファイル,
置き換え表管理情報ファイル,
置き換え表ファイル,
Acrobat JavaScript ファイル,
Acrobat JavaScript 定義ファイル,
ビューアプレファレンス定義ファイル,

プリンタ定義ファイル ,
 テスト印刷設定ファイル ,
 外字ファイル

eurps コマンド

/bmf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -bmf オプション),
 /cryf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -cryf オプション),
 /dif オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -dif オプション),
 /df オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -df オプション),
 /jsc オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -jsc オプション),
 /mfd オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション),
 /mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション),
 /rif オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -rif オプション),
 /pnf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pnf オプション),
 /pvp オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pvp オプション),
 /pi オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pi オプション)

環境変数 , または環境設定ファイル

EURPS_REPORTPATH ,
 EURPS_MAPDATAPATH ,
 EURPS_USERDATAPATH ,
 EURPS_DISTINFOPATH ,
 EURPS_MULTI_REPORTSETPATH ,
 EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH ,
 EURPS_BOOKMARKPATH ,
 EURPS_CRYPTOFILEPATH ,
 EURPS_DOCINFOPATH ,
 EURPS_REPLACEITEMCNTLPATH ,
 EURPS_REPLACEITEMPATH ,
 EURPS_SCRIPTFILEPATH ,
 EURPS_SCRIPTCNTLFILEPATH ,
 EURPS_VIEWERPREFERENCEFILEPATH ,
 EURPS_PRINTERINFPATH ,
 EURPS_PDL_EXGOTFONTPATH ,
 EURPS_PDL_EXMINFONTPATH
 EURPS_GAIJIFONT

環境変数 , または環境設定ファイル (ESC/P 用環境変数)

EURPS_J84MA16 ,
 EURPS_J84MA24 ,
 EURPS_J84MA48 ,
 EURPS_J84MA72 ,
 EURPS_J84MA96 ,
 EURPS_J84MK16 ,
 EURPS_J84MK24 ,
 EURPS_J84MK48 ,
 EURPS_J84MK72 ,
 EURPS_J84MK96 ,

EURPS_J84GA16 ,
 EURPS_J84GA24 ,
 EURPS_J84GA48 ,
 EURPS_J84GA72 ,
 EURPS_J84GA96 ,
 EURPS_J84GK16 ,
 EURPS_J84GK24 ,
 EURPS_J84GK48 ,
 EURPS_J84GK72 ,
 EURPS_J84GK96

ActiveX オブジェクト

BookmarkFileName プロパティ ,
 BookmarkFilePath プロパティ ,
 CryptoFileName プロパティ ,
 CryptoFilePath プロパティ ,
 DataFileName プロパティ ,
 DataFilePath プロパティ ,
 DBInfoFilePath プロパティ ,
 DBInfoFileName プロパティ ,
 DistributeFileName プロパティ ,
 DistributeFilePath プロパティ ,
 DocBookmarkFileName プロパティ ,
 DocInfoFileName プロパティ ,
 DocInfoFilePath プロパティ ,
 MultiFormInfoDefFileName プロパティ ,
 MultiFormInfoDefFilePath プロパティ ,
 MultiReportSetFileName プロパティ ,
 MultiReportSetFilePath プロパティ ,
 OutFileName プロパティ ,
 PrintedPageNumberFileName プロパティ ,
 PrinterinfName プロパティ ,
 PrinterinfPath プロパティ ,
 ReplaceItemCntlFileName プロパティ ,
 ReplaceItemCntlFilePath プロパティ ,
 ReportFileName プロパティ ,
 ReportFilePath プロパティ ,
 ScriptCntlFileName プロパティ ,
 ScriptCntlFilePath プロパティ ,
 UserDataFileName プロパティ ,
 UserDataFilePath プロパティ ,
 ViewerPreferenceFileName プロパティ ,
 ViewerPreferenceFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setBookmarkFileName メソッド (複数帳票指定の場合は setMultiBookmarkFileName メソッド) ,

setBookmarkFilePath メソッド ,
 setCryptoFileName メソッド ,
 setCryptoFilePath メソッド ,
 setDataFileName メソッド (複数帳票指定の場合は setMultiDataFileName メソッド) ,
 setDataFilePath メソッド ,
 setDBInfoFilePath メソッド ,
 setDBInfoFileName メソッド ,
 setDistributeFileName メソッド ,
 setDistributeFilePath メソッド ,
 setDocBookmarkFileName メソッド ,
 setDocInfoFileName メソッド ,
 setDocInfoFilePath メソッド ,
 setMultiFormInfoDefFileName メソッド ,
 setMultiFormInfoDefFilePath メソッド ,
 setMultiReportSetFileName メソッド ,
 setMultiReportSetFilePath メソッド ,
 setOutFileName メソッド ,
 setPrintedPageNumberFileName メソッド ,
 setReplaceItemCntlFileName メソッド ,
 setReplaceItemCntlFilePath メソッド ,
 setReportFileName メソッド (複数帳票指定の場合は setMultiReportFileName メソッド) ,
 setReportFilePath メソッド ,
 setScriptCntlFileName メソッド ,
 setScriptCntlFilePath メソッド ,
 setUserDataFileName メソッド (複数帳票指定の場合は setMultiUserDataFileName メソッド) ,
 setUserDataFilePath メソッド ,
 setViewerPreferenceFileName メソッド ,
 setViewerPreferenceFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

16

KEEU010-E

指定した文書情報設定ファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、文書情報設定ファイルが読み込めません。

- 指定した文書情報設定ファイルがありません。
- 指定した文書情報設定ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する文書情報設定ファイル名を指定してください。
- 指定する文書情報設定ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

文書情報設定ファイル

eurps コマンド

/bmf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -bmf オプション)

ActiveX オブジェクト

DocInfoFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDocInfoFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU011-E

同時に指定できないオプションが指定されています。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因があります。

- /message オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -message オプション) と /nomessage オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -nomessage オプション) が同時に指定されています。
- /pf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pf オプション) と /dsf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -dsf オプション) が同時に指定されています。

対処

次のように対処してください。

- /message オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -message オプション), または /nomessage オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -nomessage オプション) のどちらかを指定してください。
- /pf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pf オプション), または /dsf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -dsf オプション) のどちらかを指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

/message オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -message オプション),

/nomessage オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -nomessage オプション),

/pf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pf オプション),

/dsf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -dsf オプション),

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション),

/pnf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pnf オプション)

レベル

Error

終了コード

16

KEEU012-E

プリンタ定義ファイルのプリンタ (プリンタ名) で省略不可のキーワード (キーワード) が指定されていません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

指定されていなければならないキーワードが、プリンタ定義ファイルに指定されていません。

対処

プリンタ定義ファイルの指定を見直し、メッセージに表示されているキーワードを指定してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

レベル

Error

終了コード

16

KEEU013-E

プリンタ定義ファイルのプリンタ (プリンタ名) に不正なプリンタ定義情報 (キーワード) が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

プリンタ定義ファイルに指定されているキーワードの値が正しくありません。

対処

キーワードに指定する値を見直し、正しい値を指定してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

レベル

Error

終了コード

16

KEEU014-E

指定した仕分け定義情報ファイル（仕分け定義情報ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、仕分け定義情報ファイルが読み込めません。

- 指定した仕分け定義情報ファイルがありません。
- 指定した仕分け定義情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する仕分け定義情報ファイル名を指定してください。
- 指定する仕分け定義情報ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル

eurps コマンド

/dsf オプション

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_DISTINFOPATH

ActiveX オブジェクト

DistributeFileName プロパティ，

DistributeFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDistributeFileName メソッド，

setDistributeFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU019-E

指定した仕分け定義情報ファイル（仕分け定義情報ファイル名）に定義されているキーフィールドが帳票中に存在しません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

指定した仕分け定義情報ファイルに定義されているキーフィールドと、帳票中のフィールドの対応が取れていません。

対処

仕分け定義情報ファイルの定義内容を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル
eurps コマンド
 /dsf オプション
ActiveX オブジェクト
 DistributeFileName プロパティ
JavaBeans 起動部品
 setDistributeFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU020-E

指定した仕分け定義情報ファイル（仕分け定義情報ファイル名）の指定内容に誤りがあります。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

指定した仕分け定義情報ファイルには、次のような要因があります。

- 仕分け定義情報ファイルに何も記述されていません。
- 指定したユーザパスワードの文字列が、32 バイト（Shift JIS でのバイト）を超えています。
- 指定したユーザパスワードに、指定できない文字が使われています。
- 出力先ファイル名の指定がありません。
- 指定したキー数と仕分けキーフィールドの数が合いません。
- 指定したキー数と仕分けキーフィールドのデータ数が合いません。
- 指定した「仕分けキーフィールド名のデータ」とすべて同じ行が複数指定されています。
- 仕分けキーフィールド名が複数指定されています。

対処

仕分け定義情報ファイルの指定内容を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル
eurps コマンド
 /dsf オプション
ActiveX オブジェクト
 DistributeFileName プロパティ
JavaBeans 起動部品
 setDistributeFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU023-E

Windows 環境の場合：不正なトレイコードが指定されました。

UNIX / Linux 環境の場合：不正なカセット番号が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

- Windows 環境の場合
Windows 対応プリンタで使用できないトレイコードが指定されています。
- UNIX / Linux 環境の場合
カセット番号の指定で、1 ~ n (プリンタ定義ファイルのキーワード Cassettes で指定した値) 以外の値が指定されています。

対処

次のように対処してください。

- Windows 環境の場合
給紙トレイ一覧ツールを実行してください。給紙トレイ一覧ツールを実行するには、EUR 製品のプログラムメニューから [ツール] - [給紙トレイ一覧] を選択します。
給紙トレイ一覧ツールを実行すると、[給紙トレイ一覧] ダイアログが表示されます。[給紙トレイ一覧] ダイアログには、出力先プリンタの給紙トレイ名と、対応する給紙トレイコードの一覧が表示されます。正しいトレイコードを指定してください。
- UNIX / Linux 環境の場合
カセット番号には、1 ~ n (プリンタ定義ファイルのキーワード Cassettes で指定した値) の値を指定してください。カセット番号が正しい場合は、プリンタ定義ファイルのキーワード Cassettes の設定値を見直し、正しい値を指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

/tc オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -tc オプション)

ActiveX オブジェクト

TrayCode プロパティ

JavaBeans 起動部品

setTrayCode メソッド

レベル

Error

終了コード

16

KEEU024-E

指定したフォントファイル (フォントファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

Windows, HP-UX, AIX の場合に表示されるメッセージです。

次に示す要因によって、外字ファイル (*.tte) またはフォントファイル (*.pcf) が読み込めません。

- 指定した外字ファイルまたはフォントファイルがありません。
- 指定した外字ファイルまたはフォントファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する外字ファイル名またはフォントファイル名を指定してください。
- 指定する外字ファイルまたはフォントファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_GAIJIFONT,
EURPS_PDL_EXMINFONTPATH,
EURPS_PDL_EXGOTFONTPATH

環境変数, または環境設定ファイル (ESC/P 用環境変数)

EURPS_J84MA16,
EURPS_J84MA24,
EURPS_J84MA48,
EURPS_J84MA72,
EURPS_J84MA96,
EURPS_J84MK16,
EURPS_J84MK24,
EURPS_J84MK48,
EURPS_J84MK72,
EURPS_J84MK96,
EURPS_J84GA16,
EURPS_J84GA24,
EURPS_J84GA48,
EURPS_J84GA72,
EURPS_J84GA96,
EURPS_J84GK16,
EURPS_J84GK24,
EURPS_J84GK48,
EURPS_J84GK72,
EURPS_J84GK96

レベル

Error

終了コード

8

KEEU025-E

指定した文書しおり定義ファイルまたはしおり定義ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、文書しおり定義ファイル、またはしおり定義ファイルのどちらかが読み込めません。

- 指定した文書しおり定義ファイル名、またはしおり定義ファイルがありません。
- 指定した文書しおり定義ファイル名、またはしおり定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する文書しおり定義ファイル名、またはしおり定義ファイル名を指定してください。
- 指定する文書しおり定義ファイル名、またはしおり定義ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

文書しおり定義ファイル

しおり定義ファイル

eurps コマンド

/bmf オプション（UNIX / Linux 環境の場合は -bmf オプション）、
しおり定義ファイル名

環境変数、または環境設定ファイル

EURPS_BOOKMARKPATH

ActiveX オブジェクト

BookmarkFileName プロパティ、
BookmarkFilePath プロパティ、
DocBookmarkFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setBookmarkFileName メソッド（複数帳票指定の場合は setMultiBookmarkFileName メソッド）、
setBookmarkFilePath メソッド、
setDocBookmarkFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU026-E

オプション（オプション名）が指定されていません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

/bmf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -bmf オプション), またはしおり定義ファイル名を指定しているのに, /bm オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -bm オプション) が指定されていません。

対処

しおり付き PDF 形式ファイルを出力する場合は, /bm オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -bm オプション) を指定してください。

/bm オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -bm オプション) を指定しないと, /bmf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -bmf オプション) の文書しおり定義ファイル名, またはしおり定義ファイル名を指定しても, しおり付き PDF 形式ファイルに出力しません。

対処の参照先

eurps コマンド

/bm オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -bm オプション)

レベル

Error

終了コード

16

KEEU027-E

指定したしおり定義ファイル (ファイル名) の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- しおり定義ファイルに, キーワードの指定がありません。
- キーワード NAME が複数行指定されています。
- キーワード BREAKFLD が 6 行以上指定されています。
- キーワード BREAKFLD に, 同一のフィールド名が指定されています。
- キーワード NAME, および BREAKFLD のオプション指定に誤りがあります。
- しおり定義ファイルに, NAME と BREAKFLD 以外のキーワードが指定されています。

対処

しおり定義ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

しおり定義ファイル

eurps コマンド

しおり定義ファイル名

ActiveX オブジェクト

BookmarkFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setBookmarkFileName メソッド (複数帳票指定の場合は setMultiBookmarkFileName メソッド)

ド)

レベル

Error

終了コード

12

KEEU028-E

指定した文書しおり定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ=U：コマンド=C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 文書しおり定義ファイルに、キーワードの指定がありません。
- キーワード TITLE が複数行指定されています。
- キーワード SCALE が複数行指定されています。
- キーワード BOOKMARK が複数行指定されています。
- キーワード TITLE, SCALE, および BOOKMARK のオプション指定に誤りがあります。
- しおり定義ファイルに、TITLE, SCALE, BOOKMARK 以外のキーワードが指定されています。

対処

文書しおり定義ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

文書しおり定義ファイル

eurps コマンド

/bmf オプション（UNIX / Linux 環境の場合は -bmf オプション）

ActiveX オブジェクト

DocBookmarkFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDocBookmarkFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU029-E

指定した暗号化設定ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ=U：コマンド=C

要因

次に示す要因によって、暗号化設定ファイルが読み込めません。

- 指定した暗号化設定ファイルがありません。
- 指定した暗号化設定ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する暗号化設定ファイルを指定してください。
- 指定する暗号化設定ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

eurps コマンド

/cryf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -cryf オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_CRYPTOFILEPATH

ActiveX オブジェクト

CryptoFileName プロパティ,

CryptoFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setCryptoFileName メソッド,

setCryptoFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU030-E

指定した暗号化設定ファイル (ファイル名) の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 暗号化設定ファイルに、キーワードの指定がありません。
- キーワード OwnerPassword に文字列 (パスワード) が指定されていないのに、キーワード DisablePrint, DisableChange, DisableCopy, および DisableAdd のオプションが指定されています。
- キーワード OwnerPassword, または UserPassword のどちらにも文字列 (パスワード) が指定されていません。
- キーワード OwnerPassword, または UserPassword に指定する文字列 (パスワード) の長さが、32 バイト (Shift JIS でのバイト) を超えています。
- キーワード OwnerPassword, または UserPassword の文字列 (パスワード) に指定できる文字以外の文字が指定されています。
- キーワード OwnerPassword, または UserPassword が複数指定されています。
- キーワード DisablePrint, DisableChange, DisableCopy, および DisableAdd のオプション指定に誤りがあります。

- 暗号化設定ファイルに、OwnerPassword、UserPassword、DisablePrint、DisableChange、DisableCopy、DisableAdd、および EncryptionMode 以外のキーワードが指定されています。
- キーワード EncryptionMode の指定値が正しく指定されていません。

対処

次のように対処してください。

- 暗号化設定ファイルの指定内容を確認してください。
- キーワード DisablePrint、DisableChange、DisableCopy、および DisableAdd のオプションを指定する場合は、キーワード OwnerPassword に文字列（パスワード）を指定してください。
- キーワード OwnerPassword、または UserPassword のどちらかに、文字列（パスワード）を指定してください。
- キーワード OwnerPassword、または UserPassword に指定する文字列（パスワード）の長さは、32 バイト（Shift JIS でのバイト）までです。
- キーワード OwnerPassword、または UserPassword の文字列（パスワード）に指定できる文字は、次のとおりです。
半角数字：0 ~ 9
半角英字：A ~ Z a ~ z
半角記号：!"#\$%&'()*+,-./:;<=>@[¥]^_`{|}~
半角空白
- キーワード OwnerPassword、または UserPassword は、一つだけ指定してください。
- キーワード DisablePrint、DisableChange、DisableCopy、および DisableAdd に指定するオプションは、大文字と小文字を区別しています。「Yes」または「No」で指定してください。
- キーワード EncryptionMode に指定するオプションは、全角文字と半角文字を区別しています。「1」または「2」で指定してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

eurps コマンド

/cryf オプション（UNIX / Linux 環境の場合は -cryf オプション）

環境変数、または環境設定ファイル

EURPS_CRYPTOFILEPATH

ActiveX オブジェクト

CryptoFileName プロパティ、

CryptoFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setCryptoFileName メソッド、

setCryptoFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU031-E

指定した PDF 仕分け定義ファイルに該当するデータの定義がありません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

PDF 形式ファイルを仕分け出力するとき、指定された PDF 仕分け定義ファイルに一致するデータが定義されていません。

対処

PDF 仕分け定義ファイルの指定内容を確認してください。

- 指定したキーフィールド名が合っているかどうかを確認してください。
- 指定したキーフィールドのデータ値が合っているかどうかを確認してください。

対処の参照先

PDF 仕分け定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU032-E

PDF 仕分け出力時、出力するファイル（ファイル名）は既に存在します。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 出力するファイルがすでにあります。
- PDF 仕分け定義ファイルに、同じ出力ファイル名が指定されています。
- PDF 仕分け定義ファイルに指定されているキーフィールドに不具合があるため、すでに出力したファイル名で出力しようとしてしました。

対処

PDF 仕分け定義ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

PDF 仕分け定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU033-E

オーナーパスワードおよびユーザパスワードの指定がありません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

PDF 形式ファイルの暗号化を行う指定に対して、暗号化設定ファイル、および PDF 仕分け定義ファイルの中に、オーナパスワード、およびユーザパスワードの指定がありません。

対処

次のように対処してください。

- PDF 形式ファイルを暗号化仕分け出力する場合
暗号化設定ファイルと PDF 仕分け定義ファイルの指定内容を確認してください。
- PDF 形式ファイルを暗号化する場合
暗号化設定ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 仕分け定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU034-E

オーナパスワードとユーザパスワードには同じパスワードを指定できません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

PDF 形式ファイルの暗号化を行う指定に対して、暗号化設定ファイル、および PDF 仕分け定義ファイルの中で、オーナパスワードとユーザパスワードに同じパスワードが指定されています。

対処

次のように対処してください。

- PDF 形式ファイルを暗号化仕分け出力する場合
暗号化設定ファイルのオーナパスワードと PDF 仕分け定義ファイルのユーザパスワードの指定内容を確認してください。
- PDF 形式ファイルを暗号化する場合
暗号化設定ファイルのオーナパスワードとユーザパスワードの指定内容を確認してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 仕分け定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU035-E

指定した帳票セット指定ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、帳票セット指定ファイルが読み込めません。

- 指定した帳票セット指定ファイルがありません。
- 指定した帳票セット指定ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する帳票セット指定ファイルを指定してください。
- 指定する帳票セット指定ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション（UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ，

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド，

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU036-E

指定した帳票セット指定ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、EUR の起動処理を中止します。

- 指定された帳票セット指定ファイルの内容に誤りがあります。
- 帳票セットが一つも指定されていません。
- 帳票セットの指定のうち、帳票ファイル名が指定されていません。

対処

帳票セット指定ファイルの指定内容を確認したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ,

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド,

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU037-E

指定した複数様式情報定義ファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって, 複数様式情報定義ファイルが読み込めません。

- 指定した複数様式情報定義ファイルがありません。
- 指定した複数様式情報定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する複数様式情報定義ファイルを指定してください。
- 指定する複数様式情報定義ファイルに, 読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ,

MultiFormInfoDefFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,

setMultiFormInfoDefFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU038-E

指定した複数様式情報定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（エラー番号：nn 行：yy）

詳細情報

ユーザ=U：コマンド=C

要因

このメッセージは、「(エラー番号：nn)」に示されたエラー番号によって要因が異なります。複数様式情報定義ファイルに不正行が一つある場合は、エラー番号のあとに、不正行を「行：yy」で示します。不正行が複数ある場合は、エラー番号だけを表示します。

エラー番号とその要因を次に示します。

表 11-1 エラー番号と要因

エラー番号	要 因
1	必ず指定するキーワードの指定がありません。 <ul style="list-style-type: none"> group 文（様式グループ番号の指定）の指定がありません。 formfilename 文（帳票ファイル名の指定）、または subgroup 文（サブ様式グループ番号の指定）の指定がありません。
2	不正なキーワードが指定されました。
3	区切り文字の数が不正です。
4	オペランドに数字以外の文字が指定されました。 <ul style="list-style-type: none"> group に指定する様式グループ番号の値が、数字（整数）ではありません。
5	オペランドの指定が不正です。 <ul style="list-style-type: none"> { } の対応が取れていません。 キーワードのオプション指定に誤りがあります。 group 文の様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に、KBNF または EOFN 以外の値が指定されています。 subgroup 文の様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に、KBNF 以外の値が指定されています。 様式間遷移条件（formtransfercondition）のキーブレイク改ページ指定（keybreaktopform）に、ON または OFF 以外の値が指定されています。 group 文の様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）に、NPNF、KBNF または EOFN 以外の値が指定されています。 subgroup 文の様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）に、NPNF、または KBNF 以外の値が指定されています。 様式遷移条件（formfilename）の両面印刷空白ページ挿入指定（printnewpaper）に、ON または OFF 以外の値が指定されています。 様式遷移条件（formfilename）のページ番号リセット指定（resetpagenumber）に、ON または OFF 以外の値が指定されています。 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF が指定されていますが、様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）には EOFN が指定されています。 group 文と subgroup 文の様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）のフィールド名（fieldname）に同じ文字列が指定されています。
6	ファイルの途中で EOF を検出しました。

エラー番号	要 因
7	キーワードが複数指定されました。
8	グループ番号が昇順に指定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> 複数様式グループ内の様式グループ番号 (group) が昇順になっていません。 group 文の中に複数のサブ様式グループが指定されている場合、サブ様式グループ番号 (subgroup) が group 文の中で昇順になっていません。
9	フィールド名の指定が要らないのに、フィールド名が指定されています。 <ul style="list-style-type: none"> 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に EOFN が指定されていますが、キーブレイク対象フィールド (fieldname) に指定があります。 様式間遷移条件 (formtransfercondition) のキーブレイク改ページ指定 (keybreaktopform) に OFF が指定されていますが、キーブレイク対象フィールド (fieldname) に指定があります。
10	フィールド名の指定が要るのに、フィールド名が指定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF が指定されていますが、キーブレイク対象フィールド (fieldname) の指定がありません。
11	不正な給紙トレイ番号が指定されました。
12	同時に指定できないキーワードが指定されました。 <ul style="list-style-type: none"> group 文 (様式ファイル名の指定) の中に subgroup 文 (サブ様式グループ番号の指定) と formfilename 文 (様式ファイル名の指定) が同時に指定されています。 group 文 (様式ファイル名の指定) の中に subgroup 文 (サブ様式グループ番号の指定) と formtransfercondition 文 (様式間遷移条件の指定) が同時に指定されています。

対処

複数様式情報定義ファイルの記述を見直したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ,

MultiFormInfoDefFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,

setMultiFormInfoDefFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU039-E

帳票セット指定ファイルと複数様式情報定義ファイル間で記述に誤りがあります。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 複数様式情報定義ファイルの formfilename に記述されている様式ファイル名（帳票ファイル名）と、帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイル名が異なります。
- 複数様式情報定義ファイルの formfilename に記述されている様式ファイル（帳票ファイル名）と、帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイルの数が異なります。
- 複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の formfilename に記述されている様式ファイル（帳票ファイル名）に対応しているデータファイル（マッピングデータファイル、ユーザ定義データファイル）が異なります。

対処

帳票セット指定ファイルと複数様式情報定義ファイルの記述を見直したあと、プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション）

/mrs オプション（UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数、または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH ,

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ ,

MultiFormInfoDefFilePath プロパティ ,

MultiReportSetFileName プロパティ ,

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド ,

setMultiFormInfoDefFilePath メソッド ,

setMultiReportSetFileName メソッド ,

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU040-E

複数様式帳票で仕分け機能の指定に誤りがあります。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 各様式ファイル（帳票ファイル）での仕分けフィールド名が異なります。
- 各様式ファイル（帳票ファイル）での仕分けフィールドの属性が異なります。
- 仕分けフィールドの設定がない様式が混在しています。
- 複数様式帳票で PDF 形式ファイルを仕分け出力する場合の複数様式情報定義ファイルで、様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に、KBNF（キープレイク改ページ）が指定されていません。

対処

複数様式帳票を仕分け出力する場合は、すべての様式が同一の仕分けフィールド名称であり、かつ同一のデータ属性が定義されているときに出力されます。

各様式ファイルの設定内容を見直したあと、再度 EUR サーバ帳票出力機能を実行してください。

複数様式帳票で PDF 形式ファイルを仕分け出力する場合は、複数様式情報定義ファイルで、様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）として、KBNF（キープレイク改ページ）を指定してください。

対処の参照先

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ，

MultiFormInfoDefFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド，

setMultiFormInfoDefFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU041-E

複数様式帳票でしおり定義ファイルに異なるファイルが指定されています。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 様式グループ内の様式で、しおり定義ファイルに同じファイルが指定していません。
- 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF（キープレイク改ページ）が指定されていますが、同一のしおり定義ファイルが指定されていません。

- 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に EOFN (ファイル終端) が指定されていますが、様式グループ内で同一のしおり定義ファイルが指定されていません。

対処

次のように対処してください。

- 様式グループ内で同一のしおり定義ファイルが定義されているかどうかを見直してください。
- 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF (キーブレイク改ページ) が指定されている場合、すべての様式で同一のしおり定義ファイルが定義されていないと出力しません。すべての様式で同一のしおり定義ファイルが定義されているかどうかを見直してください。
- 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に EOFN (ファイル終端) が指定されている場合、様式グループ内で同一のしおり定義ファイルが定義されていないと出力しません。様式グループ内で同一のしおり定義ファイルが定義されているかどうかを見直してください。

対処の参照先

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ,

MultiFormInfoDefFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,

setMultiFormInfoDefFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU042-E

様式グループ内では集計行の指定は統一してください。(エラー番号)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の formfilename が複数記述されている帳票ファイル (フォームシートファイル) に集計行が指定されていますが、各帳票ファイルで次の要因のどれかについて異なる定義がされています。

表 11-2 エラー番号と要因

エラー番号	要因
01	総集計の指定の有無が統一されていません。
02	キー集計の指定の個数が統一されていません。
03	キー集計のキーに指定したアイテムの数が統一されていません。
04	キー集計のキーに指定したアイテムのフィールド名が統一されていません。
05	ページ集計の指定の有無が統一されていません。
06	「1件のときキー集計行を生成しない」の指定の有無が統一されていません。

ただし、集計ページの指定、集計行の位置固定の指定については、各帳票ファイルで異なっても正しく出力されます。

対処

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内に複数の帳票ファイルが指定されており、かつ各帳票ファイルに集計行がある場合は、上記の要因に記述した集計行の指定が同じになるようにフォームシートファイルの設定を見直してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ,

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド,

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU043-E

様式遷移条件に KBNF を指定する場合は、フォームシートで指定するキーブレイクは統一してください。

詳細情報

ユーザ =U: コマンド =C

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の transfercondition に記述されている遷移条件に KBNF が指定されていますが、各様式ファイル (帳票ファイル) で異なるキーブレイクが指定されています。

対処

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内に複数の様式ファイルが指定されており、かつ各様式ファイルの transfercondition に遷移条件「KBNF」を指定する場合は、同じキーで改ページされるように帳票ファイルの設定を見直してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション),

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH,

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ,

MultiFormInfoDefFilePath プロパティ,

MultiReportSetFileName プロパティ,

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,

setMultiFormInfoDefFilePath メソッド,

setMultiReportSetFileName メソッド,

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU044-E

様式グループ遷移条件または様式間遷移条件の指定に KBNF が指定されているが、フォームシートにキーブレイクの指定がありません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の transfercondition に記述されている遷移条件に KBNF が指定されていますが、様式ファイル (帳票ファイル) にキーブレイクが指定されていません。

対処

複数様式情報定義ファイルの transfercondition に遷移条件「KBNF」を指定する場合は、キーブレイクが指定されている帳票ファイルを指定してください。また、指定する帳票ファイルは、同じキーで改ページされるように設定されているかどうかを見直してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション),

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH,

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ,

MultiFormInfoDefFilePath プロパティ,

MultiReportSetFileName プロパティ,

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,

setMultiFormInfoDefFilePath メソッド,

setMultiReportSetFileName メソッド,

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU046-E

複数様式で指定されたデータファイルのプロパティに誤りがあります。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- [データのプロパティ] ダイアログ - [データ情報] タブで設定する「空レコードを無視する」指定が統一されていません。
- [データのプロパティ] ダイアログ - [データ情報] タブで設定する「文字コード (0x00) だけのレコードを無視する」指定が統一されていません。
- 基準レコード位置の指定が統一されていません。
- 基準レコード幅に 1 以外の値が指定されています。

対処

複数のデータファイルを指定して、複数様式で帳票出力する場合は、データファイルのデータ情報を合わせてください。

また、基準レコード幅を設定した帳票は、複数様式では出力できません。基準レコード幅の値は「1」を指定してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ,

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド,

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU047-E

様式グループの遷移条件に KBNF が指定されているが、複数様式情報定義ファイルでのキーブレイク指定が統一されていません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

様式グループ内, またはサブ様式グループ内で, 様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF (キーブレイク改ページ) が指定されていますが, 様式ファイル名に対する遷移条件 (transfercondition) とキーブレイク対象フィールド名 (fieldname) が対応していないので, EUR の起動処理を中断します。

対処

様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF を指定する場合は, 様式グループ内, またはサブ様式グループ内に指定する fieldname には, 同じキーブレイク対象フィールド名を指定し, 様式ファイル名に対する遷移条件 (transfercondition) に KBNF を指定してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション),

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH,

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ,
 MultiFormInfoDefFilePath プロパティ,
 MultiReportSetFileName プロパティ,
 MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,
 setMultiFormInfoDefFilePath メソッド,
 setMultiReportSetFileName メソッド,
 setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU048-E

複数様式では帳票ヘッダ領域の指定はできません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

帳票ヘッダ領域のある帳票ファイルを、複数様式で出力しようとした。

対処

帳票ヘッダ領域のある帳票ファイルは、複数様式での出力はできません。帳票ファイルを編集し直すか、帳票ヘッダ領域が設定されていない帳票を指定したあと、再度 EUR サーバ帳票出力機能を実行してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ,
 MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド,
 setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU049-E

様式遷移条件に KBNF を指定する場合は、フォームシートで指定するフィールド属性は統一してください。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

指定された帳票ファイルが、同じキーフィールドの属性で改ページするように設計されていないので、EUR の起動処理を中断します。

対処

様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件 (transfercondition) に KBNF を指定する場合は、様式グループ内に指定する fieldname には、同じフィールド属性のキーブレイク対象フィールド名を指定し、様式ファイル名に対する遷移条件 (transfercondition) に KBNF を指定してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mfd オプション),

/mrs オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -mrs オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH,

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ,

MultiFormInfoDefFilePath プロパティ,

MultiReportSetFileName プロパティ,

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,

setMultiFormInfoDefFilePath メソッド,

setMultiReportSetFileName メソッド,

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU050-E

アイテム枠の指定した桁数を超えるデータが指定されています。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

出力されるデータが、アイテム枠内に収まっていません。

対処

次のように対処してください。

- 入力データの桁数が、正しいかどうかを確認してください。
- EUR 帳票作成機能のレポート編集ウィンドウで、アイテム枠に指定した桁数を増やすなどの編集をして、入力データが表示されるようにしてください。

レベル

Error

終了コード

12

KEEU053-E

指定した接続情報ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、接続情報ファイルが読み込めません。

- 指定した接続情報ファイルがありません。
- 指定した接続情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する接続情報ファイル名を指定してください。
- 指定する接続情報ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

接続情報ファイル

eurps コマンド

/dif オプション（UNIX / Linux の場合は -dif オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_DBINFOPATH

ActiveX オブジェクト

DBInfoFileName プロパティ，

DBInfoFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDBInfoFileName メソッド，

setDBInfoFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU054-E

指定した可変記号値定義ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、可変記号値定義ファイルが読み込めません。

- 指定した可変記号値定義ファイルがありません。
- 指定した可変記号値定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する可変記号値定義ファイル名を指定してください。
- 指定する可変記号値定義ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

可変記号値定義ファイル

レベル

Error

終了コード

8

KEEU055-E

指定した接続情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（エラーコード：キーワード）

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

接続情報ファイルの内容が不正です。

このメッセージは「エラーコード」に示されたエラーコードによって要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

表 11-3 エラーコードと要因

エラーコード	要 因
1	「キーワード」に示されたキーワードが指定されていません。
2	<ul style="list-style-type: none"> • 「キーワード」に示されたキーワードの値が不正です。 • 「キーワード」に示されたキーワードに値が指定されていません。
3	不正な「キーワード」が指定されました。
4	「キーワード」のキーワードが複数指定されました。

エラーコード	要 因
5	「キーワード = 値」の形式で指定されていません。

注 エラーコード「5」のときは、キーワードは表示されません。
 キーワードには、次に示すキーワードのどれかが表示されます。

- DABrokerHost
- DBType
- SendBufferSize
- TimeoutInterval
- Hostname
- ConnectInfoUser
- Password
- QueryExclusiveString
- EncryptPassword

対処

- 次のように対処してください。
- キーワードの指定を見直してください。
 - 「キーワード = 値」の書式で指定してください。

対処の参照先

接続情報ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU056-E

指定した可変記号値定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（エラーコード：変数名）

詳細情報

ユーザ = U : コマンド = C

要因

可変記号値定義ファイルの内容が不正です。
 なお、このメッセージは「(エラーコード)」に示されたコード番号によって要因の詳細が異なります。
 コード番号とその要因を次に示します。

表 11-4 コード番号と要因

コード番号	要 因
1	「変数名」に示す未知の変数名が指定されています。
2	「変数名」に示す変数に変数値が指定されていません。
3	「可変記号名 = 可変記号値」の書式で指定されていません。
4	「変数名」に示す変数に使用できない可変記号値が使用されています。

EURPS ログファイルに、要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと、その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
数値データのけた落ちが発生しました	有効範囲を超えた値が指定されました。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	<ul style="list-style-type: none"> 文字定数の中のアポストロフィが二つ続けて指定されていません。 文字列なしの定数 (") が指定されました。
指定された値は列の属性と合っていない	指定された値は列の属性と合いません。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	有効範囲を超えた値が指定されました。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	列の定義長または指定範囲を超えています。

対処

次のように対処してください。

- 可変記号名の指定を見直してください。
- 「可変記号名 = 可変記号値」の書式で指定してください。
- 可変記号値の指定を見直してください。
- EURPS ログファイルに表示されたメッセージによって、次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
数値データのけた落ちが発生しました	値を範囲内で指定してください。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	<ul style="list-style-type: none"> アポストロフィを文字データとして使う場合は、二つ続けて指定してください。 文字列を指定してください。
指定された値は列の属性と合っていない	値を変更して、列の属性と合わせてください。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。

各条件の設定できる値については、マニュアル「EUR データベース連携ガイド」を参照してください。

対処の参照先

可変記号値定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU059-E

指定した出力ページ情報ファイル（ファイル名）に出力できません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ = U : コマンド = C

要因

次に示す要因によって、出力ページ情報ファイルへの出力ができません。

- 指定した出力先ファイルがなく、また、その出力先フォルダには書き込み権限がありません。

- 指定した出力先ファイルはあるが、ファイルに書き込み権限がありません。
- ファイルの出力先デバイスに、空き容量がありません。

対処

次のように対処してください。

- 出力先フォルダに、書き込み権限を与えてください。
- 既存の出力先ファイルに上書きする場合は、ファイルに書き込み権限を与えてください。
- ファイル出力先のデバイスの空き容量を増やしてください。

対処の参照先

eurps コマンド

/pnf オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -pnf オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_TRACE

ActiveX オブジェクト

PrintedPageNumberFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setPrintedPageNumberFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU060-E

指定した置き換え表管理情報ファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、置き換え表管理情報ファイルが読み込めません。

- 指定した置き換え表管理情報ファイルがありません。
- 指定した置き換え表管理情報ファイルはあるが、ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する置き換え表管理情報ファイル名を指定してください。
- 指定する置き換え表管理情報ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

eurps コマンド

/rif オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -rif オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_REPLACEITEMCNTLPATH

ActiveX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ,

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReplaceItemCntlFileName メソッド,
setReplaceItemCntlFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU061-E

指定した置き換え表ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、置き換え表ファイルが読み込めません。

- 指定した置き換え表ファイルがありません。
- 指定した置き換え表ファイルはあるが、ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する置き換え表ファイル名を指定してください。
- 指定する置き換え表ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

環境変数，または環境設定ファイル
EURPS_REPLACEITEMPATH

ActiveX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ,
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReplaceItemCntlFileName メソッド,
setReplaceItemCntlFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU062-E

指定した置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 置き換え表名のサイズが上限を超えています。
- 置き換え表ファイル名のサイズが上限を超えています。
- 置き換え表ファイル名がフルパス、または相対パスで指定されています。
- データエントリが 0 件です。
- データエントリはありますが、1 行のデータに奇数個の引用符 (") が指定されています。
- データエントリはありますが、置き換え表名が指定されていないデータがあります。
- データエントリはありますが、置き換え表ファイル名が指定されていないデータがあります。
- 置き換え表名、または置き換え表ファイル名の中に改行コードが指定されています。

対処

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名に指定できる文字数は、次のとおりです。
 - Windows 環境の場合
 - フルパスで指定するときは 259 文字以内
 - 相対パス、またはファイル名だけで指定するときは 255 文字以内
 - UNIX / Linux 環境の場合
 - フルパスで 1,023 バイト以内
- データは 1 件以上エントリしてください。
- データの引用符は、対になるように偶数個指定してください。
- 指定した内容を、もう一度見直してください。

対処の参照先

置き換え表管理情報ファイル

eurps コマンド

置き換え表管理情報ファイル名

環境変数、または環境設定ファイル

EURPS_REPLACEITEMCNTLPATH

ActiveX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ、

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReplaceItemCntlFileName メソッド、

setReplaceItemCntlFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU063-E

指定した置き換え表ファイル (ファイル名) の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U: コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- キーデータ，または置き換えデータのサイズが上限を超えています。
- キーデータ，または置き換えデータの中に改行コードが指定されています。
- データエントリが 0 件です。
- データエントリはありますが，キーデータが指定されていないデータがあります。
- データエントリはありますが，置き換えデータが指定されていないデータがあります。
- キーデータと置き換えデータがコンマで区切られていないデータがあります。

対処

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名に指定できる文字数は，次のとおりです。
 - Windows 環境の場合
 - フルパスで指定するときは 259 文字以内
 - 相対パス，またはファイル名だけで指定するときは 255 文字以内
 - UNIX / Linux 環境の場合
 - フルパスで 1,023 バイト以内
- データの引用符は，対になるように偶数個指定してください。
- データは 1 件以上エントリしてください。
- 指定した内容を，もう一度見直してください。

対処の参照先

置き換え表ファイル

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_REPLACEITEMPATH

ActiveX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ，

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReplaceItemCntlFileName メソッド，

setReplaceItemCntlFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU064-E

暗号処理に失敗しました。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

暗号処理に失敗しました。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
32

KEEU066-E

指定した Acrobat JavaScript ファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報
ユーザ =U : コマンド =C

要因
指定した Acrobat JavaScript ファイルが開けません。

対処

- 存在する Acrobat JavaScript ファイル名を指定してください。
- Acrobat JavaScript ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU067-E

指定した Acrobat JavaScript 定義ファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報
ユーザ =U : コマンド =C

要因
指定した Acrobat JavaScript 定義ファイルが開けません。

対処

- 存在する Acrobat JavaScript 定義ファイル名を指定してください。
- Acrobat JavaScript 定義ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU068-E

指定した Acrobat JavaScript 定義ファイル (ファイル名) の内容が不正です。

詳細情報
ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- イベント名が不正です。
- Acrobat JavaScript 定義ファイル名が指定されていません。
- イベント名が重複しています。

対処

- 正しいイベント名を指定してください。
- 正しい Acrobat JavaScript 定義ファイル名を指定してください。
- イベント名と Acrobat JavaScript 定義ファイル名は、必ず 1 対 1 で指定してください。
- 重複しているイベント名を変更してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU069-E

指定したビューアプレファレンス定義ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

指定したビューアプレファレンス定義ファイルが開けません。

対処

- 存在するビューアプレファレンス定義ファイルを指定してください。
- ビューアプレファレンス定義ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU070-E

指定したビューアプレファレンス定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- キー名が不正です。
- 設定値が不正です。
- キー名が重複しています。

対処

- 正しいキー名を指定してください。

- 正しい設定値を指定してください。
- 重複しているキー名を変更してください。

レベル
Error

終了コード
12

KEEU075-E

バーコードパターンファイル（ファイル名）を入力できません。（エラーコード）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定されたファイルの入力処理でエラーが発生しました。

対処

- 存在するバーコードパターンファイルを指定してください。
- バーコードパターンファイルに読み込み権限を付けてください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU076-E

バーコードパターンファイル（ファイル名）が不正です。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定されたバーコードパターンファイルの内容に誤りがあります。

対処
バーコードパターンファイルの内容を見直してください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU077-E

プリンタ（プリンタ名）とバーコードパターンファイル（ファイル名）が適合しません。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因

指定されたプリンタに対応したバーコードパターンファイルがありません。

対処

正しいバーコードパターンファイルを指定してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU078-E

指定したプリンタ定義ファイル(ファイル名)が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、プリンタ定義ファイルが読み込めません。

- 指定したプリンタ定義ファイルがありません。
- コマンドを実行するユーザが、指定したプリンタ定義ファイルを読み込む権限を持っていません。

対処

次のように対処してください。

- 存在するプリンタ定義ファイルを指定してください。
- 指定するプリンタ定義ファイルに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_PRINTERINFPATH

ActiveX オブジェクト

PrinterinfName プロパティ,

PrinterinfPath プロパティ

レベル

Error

終了コード

8

KEEU079-E

指定したプリンタ(プリンタ名)では、文字幅計算方法に動的モードを指定できません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

文字幅計算方法に動的モードを指定して、PostScript 対応プリンタで出力しようとした。

PostScript 対応プリンタは、文字幅計算方法に動的モードを指定できません。

対処

出力するプリンタを変更するか、文字幅計算方法を静的モードに変更したあと、再度 EUR サーバ帳票出力機能を実行してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/fwm オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -fwm オプション)

環境変数、または環境設定ファイル

EURPS_FONT_WIDTH_MODE

ActiveX オブジェクト

FontWidthMode プロパティ

JavaBeans 起動部品

setFontWidthMode メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU083-E

XLSX 形式ファイルに出力できない項目が帳票に含まれているので、出力できません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

Excel 形式ファイルに出力できない項目が帳票内に含まれているため、出力できません。コマンドの実行を終了します。

次に示す要因が考えられます。

- 帳票内に特殊編集行のアイテムが含まれています。
- 貼付域外にはみ出したアイテムが含まれています。
- 繰り返し下限位置より下に繰り返しアイテムが存在します。
- 繰り返し右端位置より右に繰り返しアイテムが存在します。

対処

次のように対処してください。

- 帳票から特殊編集行のアイテムを取り除いてください。
- アイテムを貼付域内に配置してください。
- 繰り返しアイテムを繰り返し下限位置より上に配置してください。
- 繰り返しアイテムを繰り返し右端位置より左に配置してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU085-E

指定したテスト印刷設定ファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

指定したテスト印刷設定ファイルがオープンできないため、テスト印刷設定ファイルが読み込めませんでした。コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。「ファイル名」には読み込めなかったテスト印刷設定ファイル名を出力します。

対処

次のように対処してください。

- 存在するテスト印刷設定ファイルを指定してください。
- 存在するパス名を指定してください。
- テスト印刷設定ファイルに読み込み権限を与えてください。
- パスが正しいか確認してください。

対処の参照先

環境変数, または環境設定ファイル
EURPS_TESTPRINTFILE

レベル

Error

終了コード

8

KEEU086-E

指定したテスト印刷設定ファイル (ファイル名) のセクション (セクション名) に不正なテスト印刷設定情報 (キー名 = 設定値) が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

テスト印刷設定ファイルの設定値に誤りがあるため、コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。

「ファイル名」には指定したテスト印刷設定ファイル名を出力します。

「セクション名」にはエラーが発生したセクション名を出力します。

「キー名」にはエラーが発生したキー名を出力します。

「設定値」にはエラーが発生した設定値を有効な文字数分まで出力します。

対処

正しい設定値を指定してください。テスト印刷設定ファイルの設定方法については、マニュアル「EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編」を参照してください。

レベル

Error

終了コード

12

KEEU087-E

指定したテスト印刷設定ファイル(ファイル名)に TESTPRINT セクションが指定されていません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

テスト印刷設定ファイルで指定を省略できない TESTPRINT セクションが省略されたため、コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。
「ファイル名」には指定したテスト印刷設定ファイル名を出力します。

対処

TESTPRINT セクションを指定してください。テスト印刷設定ファイルの設定方法については、マニュアル「EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編」を参照してください。

レベル

Error

終了コード

12

KEEU088-E

指定したテスト印刷設定ファイル(ファイル名)のセクション(セクション名)で省略不可のキー(キー名)が指定されていません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

テスト印刷設定ファイルで指定を省略できないキーが省略されたため、コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。
「ファイル名」には指定したテスト印刷設定ファイル名を出力します。
「セクション名」にはエラーが発生したセクション名を出力します。
「キー名」にはエラーが発生したキー名を出力します。

対処

正しいキーを指定してください。テスト印刷設定ファイルの設定方法については、マニュアル「EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編」を参照してください。

レベル

Error

終了コード

12

KEEU089-E

指定したテスト印刷設定ファイル (ファイル名) の SECTIONS キーで指定したセクション (セクション名) が指定されていません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

テスト印刷設定ファイルの SECTIONS キーで指定したセクションが指定されていないため、コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。

「ファイル名」には指定したテスト印刷設定ファイル名を出力します。

「セクション名」にはエラーが発生したセクション名を出力します。

対処

正しいセクションを指定してください。テスト印刷設定ファイルの設定方法については、マニュアル「EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編」を参照してください。

レベル

Error

終了コード

12

KEEU093-E

XLSX 形式ファイルが出力できませんでした。ページ単位でシートを分けない場合、XX。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

Excel 形式ファイルを出力できません。

メッセージの XX には、次のどれかが表示されます。

- 繰り返し種別に縦方向を設定してください
- 繰り返し個数を自動設定にしてください
- 集計行の位置固定を解除してください
- レコード数が 0 件でないマッピングデータファイルを指定してください

次に示す要因が考えられます。

- 繰り返し種別に縦方向以外が設定されています。
- 繰り返し個数に任意の値が設定されています。
- 集計行に位置固定が設定されています (繰り返し下限位置が設定されています)。
- マッピングデータファイルが指定されていません。
- 指定したマッピングデータファイルのレコード数が 0 件です。

対処

次のように対処してください。

- 繰り返し種別に縦方向を設定してください。
- 繰り返し個数を自動的に設定してください。
- 集計行の位置固定を解除してください。
- マッピングデータファイルが指定されているかどうかを確認してください。

- レコード数が0件でないマッピングデータファイルを指定してください。

レベル

Error

終了コード

8

12 KEEU100 ~ KEEU199

KEEU100 ~ KEEU199 のメッセージについて説明します。

12.1 KEEU100 ~ KEEU199 のメッセージ

12.1 KEEU100 ~ KEEU199 のメッセージ

KEEU100-E

メモリ不足が発生しました。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

実行中にメモリ不足が発生しました。

対処

ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、再度 EUR サーバ帳票出力機能を実行してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU101-E

PDF 変換中にエラーが発生しました。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

PDF 変換の処理でエラーが発生しました。

対処

- 出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。
- libpdftrap.log が生成された場合は、ファイルを採取して保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU102-E

印刷処理中にエラーが発生しました。(エラーコード：システムエラーメッセージ)

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

印刷処理でエラーが発生しました。

対処

次のように対処してください。

Windows 環境の場合

- プリンタドライバなどの環境を確認してください。
例えば、ほかのプログラムプロダクトで正常に印刷できるかどうか、プリンタドライバが最新のもので印刷できるかどうかを確認してください。
- EUR サーバ帳票出力機能の実行ユーザに対して、プリンタ、およびプリンタスプールフォルダへのアクセス権があるかどうかを確認してください。
- 保守情報を採取して、保守員に連絡してください。保守情報の採取については、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

UNIX / Linux 環境の場合

保守情報を採取して、保守員に連絡してください。保守情報の採取については、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

なお、UNIX / Linux 環境でこのエラーが発生した場合は、システムエラーメッセージは表示されません。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU103-E

プリンタが存在しません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって印刷ができません。

Windows 環境の場合

- 通常使うプリンタが設定されていません。
- 指定されたプリンタがありません。

UNIX / Linux 環境の場合

- 指定されたプリンタ定義ファイルがありません。
- 指定されたプリンタ定義ファイルが読み込めません。

対処

次のように対処してください。

Windows 環境の場合

- 通常使うプリンタを設定しておいてください。
- 印刷出力ができるプリンタを指定してください。

UNIX / Linux 環境の場合

- 存在するプリンタ定義ファイルを指定してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

eurps コマンド

/p オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -p オプション)

ActiveX オブジェクト

PrinterName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setPrinterName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU104-E

指定された付加製品がインストールされていません。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

EUR Developer , EUR Server Standard , EUR Server Enterprise , または EUR Server - Cipher option がインストールされていない環境で , EUR 形式ファイルの出力 , PDF 形式ファイルの出力 , または PDF 形式ファイルの暗号化出力が指定されました。

対処

実行したい機能に応じて , 次の製品をインストールしてください。

- EUR 形式ファイルの出力 : EUR Developer , EUR Server Standard , または EUR Server Enterprise
- PDF 形式ファイルの出力 : EUR Developer , EUR Server Standard , または EUR Server Enterprise
- PDF 形式ファイルの暗号化出力 : EUR Server Standard または EUR Server Enterprise , および EUR Server - Cipher option

対処の参照先

eurps コマンド

/t オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -t オプション) ,

/cry オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -cry オプション)

ActiveX オブジェクト

Crypto プロパティ ,

OutputType プロパティ

JavaBeans 起動部品

setCrypto メソッド ,

setOutputType メソッド

レベル

Error

終了コード
32

KEEU105-E

起動に失敗しました。(エラーコード：システムエラーメッセージ)

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

EUR サーバ帳票出力機能を起動したとき、ライブラリのロード処理でエラーが発生しました。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード
32

KEEU106-E

実行に必要なファイル(ファイル名)が読み込めません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって、バーコードの出力処理に必要なファイルが読み込めません。

- バーコードの出力処理に必要なファイル(eurcbp24：カスタマバーコードパターンファイル)がありません。
- コマンドを実行するユーザが、バーコードの出力処理に必要なファイルを読み込む権限を持っていません。

対処

- 次のフォルダに、バーコードの出力処理に必要なファイル(eurcbp24：カスタマバーコードパターンファイル)があるかどうかを確認してください。

ファイルがない場合は、EUR Developer または EUR Server を再インストールしてください。

Windows 環境の場合

EUR Developer または EUR Server のインストール先フォルダ ¥Print¥Fonts

UNIX / Linux 環境の場合

/opt/eur/print/fonts ディレクトリ

- コマンドを実行するユーザに、読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

インストール後に作成されるフォルダ

レベル

Error

終了コード

32

KEEU107-E

仕分け定義情報ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

仕分け定義情報ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

対処

仕分け定義情報ファイルの指定内容を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル

eurps コマンド

/dsf オプション

ActiveX オブジェクト

DistributeFileName プロパティ、

DistributeFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDistributeFileName メソッド、

setDistributeFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU111-E

出力コマンドを起動できませんでした。

詳細情報

ユーザ =U : システム errno=E : 出力コマンド =0 : コマンド =C

要因

プリンタ定義ファイルのキーワード Command に指定したコマンドの文字列に誤りがあったので、UNIX / Linux 環境での PDL ファイル出力ができません。

対処

キーワード Command に指定したコマンドの文字列を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

レベル
Error

終了コード
8

KEEU112-E

出力コマンドの実行時にエラーが発生しました。

詳細情報

ユーザ=U：出力コマンド終了コード=X：出力コマンドプロセスID=P：出力コマンド=0：コマンド=C

要因

UNIX / Linux 環境で PDL ファイルを出力するとき、プリンタ定義ファイルのキーワード Command に指定したコマンドがエラー終了しました。

対処

ログに出力されたコマンドの出力メッセージ、およびコマンドの終了コードを参照して、キーワード Command に指定したコマンドの文字列を見直してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

eurps ログ

環境変数、または環境設定ファイル
EURPS_LOGFILEPATH

レベル
Error

終了コード
8

KEEU116-E

一時ファイルが出力できませんでした。(保守情報)

詳細情報

ユーザ=U：コマンド=C

要因

次に示す要因によって、一時ファイルが出力できません。

- ディスク容量が不足したため、一時ファイルのオープン、およびクローズができません。
- 一時ファイルの出力先フォルダに書き込み権限がありません。

対処

次のように対処したあと、プログラムを再度実行してください。

- 不要なファイルを削除するなどして、ディスク容量を確保してください。
- 一時ファイルの出力先フォルダに、書き込み権限を与えてください。

KEEU119-E

データベースアクセスの実行中にエラーが発生しました。

要因

eurps ログファイルに、要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと、その要因を次に示します。

表 12-1 メッセージと要因

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
メモリが不足しています。	メモリが不足しました。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	一時ファイルの出力先フォルダに書き込み権がありません。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> 一時ファイルのオープンに失敗しました。 一時ファイルの作成に失敗しました。
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目に設定した文字列の長さが制限値を超えました。
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ：aa...aa コード：nnn,mmm	データベースアクセス定義でデータの抽出中に、エラーが発生しました。
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	SQL 文の長さが上限値を超えました。
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号に対する実行値がありません。

対処

表示されたメッセージによって、次のように対処してください。

表 12-2 メッセージと対処方法

ログファイルに表示されるメッセージ	対処
メモリが不足しています。	ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、再実行してください。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> メッセージに表示されている一時ファイルの出力先フォルダに、書き込み権を与えてください。 保守用の情報を「(error=nnn)」に表示します。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	<ul style="list-style-type: none"> 一時ファイルの出力先フォルダの空き容量を見直してください。 保守用の情報を「(error=nnn)」に表示します。
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目 (aa...aa) に指定した文字列が上限値の nnn バイトを超えていないかどうかを見直してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対処		
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ：aa...aa コード：nnn,mmm	表示されたコードによって、次のように対処してください。		
	コード		説明
	nnn (リターンコード)	mmm (詳細コード)	
	-1001 -1003 -1008	DABroker, または接続先データベースのエラーコード, もしくは 0	DABroker, または接続先データベースでエラーが発生したことを示します。 「メッセージ：aa...aa」には, エラーの内容が表示されます。 詳細コードと表示されるメッセージについては, 次に示すマニュアルを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 詳細コードが KFDBxxxx の場合 DABroker のマニュアル • 詳細コードが KFPxxxx の場合 マニュアル「HiRDB メッセージ」 • 詳細コードが ORA-xxxx の場合 Oracle のマニュアル
-1004	接続管理情報のコード	接続情報に誤りがないかどうかを見直してください。	
-1005 -1009	システムコールのエラー値	プログラムの呼び出しでエラーが発生したことを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続先 DABroker を起動させてください。 • 接続先 DABroker のホスト名, または IP アドレスを正しく設定してください。 • 接続先 DABroker にホスト名を使用している場合 hosts ファイルにホスト名を指定してください。 hosts ファイルに指定したホスト名の IP アドレスを正しく設定してください。 • 接続先 DABroker に IP アドレスを使用している場合 hosts ファイルにホスト名を指定し, 接続先 DABroker にホスト名を使用してください。 • services ファイルに DABROKER_SV を指定してください。 • services ファイルに指定した DABROKER_SV のポート番号, および通信プロトコル種別を正しく指定してください。 • hosts ファイル, および services ファイルにアクセス権を与えてください。 • 応答監視時間内に, DABroker から応答がなかったことを示します。 	

ログファイルに表示されるメッセージ	対処		
	-1006	領域管理情報のコード	メモリが不足しています。ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、再実行してください。
	-1010	10083	応答監視時間内に、DABrokerから応答がなかったことを示します。接続先のDABrokerが起動されているかどうかを確認してください。また、接続先のDABrokerのホスト名、またはIPアドレスに誤りがないかどうかを確認してください。
SQL文の長さがnnnバイトを超えました。	設定した条件式の長さが、上限値を超えていないかどうかを見直してください。		
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号値定義ファイルを指定したあと、再実行してください。		

レベル

Error

終了コード

10

KEEU122-E

EPF 変換中にエラーが発生しました。（エラーコード）

要因

EPF 変換の内部処理でエラーが発生しました。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU123-E

出力ページの上限值 (999999 ページ) を超えたため処理を終了します。

要因

出力ページが上限値 999,999 ページを超えています。

対処

入力データを分割してから、再度実行してください。出力ページの上限については、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

レベル

Error

終了コード
8

KEEU124-E

XLSX 形式ファイルへの変換中にエラーが発生しました。(XX)

要因

Excel 変換の内部処理 (Excel 生成部品の関数呼び出し) でエラーが発生したため、コマンドの実行を終了します。

次に示す要因が考えられます。

- ファイルに対するアクセス権がありません。
- メモリ不足が発生しました。
- 言語に対応する UTF-8 ロケールが実行 OS にインストールされていません。

XX には、Excel 生成部品の関数のエラーコード (Windows 環境の場合は GetLastError 関数の戻り値、UNIX / Linux 環境の場合は errno 変数の値) が表示されます。

対処

EPS-XLSX ログに記載されているエラー情報を確認し、障害要因を取り除いてください。EPS-XLSX ログについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

レベル

Error

終了コード
8

KEEU125-E

指定した EURPS_EXCELTMPATH の値が不正です。

要因

環境変数 EURPS_EXCELTMPATH に不正な値が指定されているため、コマンドの実行を終了します。

次に示す要因が考えられます。

- ネットワークパスが指定されています。
- ASCII 以外の文字が含まれています。
- 存在しないディレクトリが指定されています。
- フルパス名として不正な値が指定されています。

対処

要因を取り除いて再実行してください。

レベル

Error

終了コード
8

13 KEEU300 ~ KEEU399

KEEU300 ~ KEEU399 のメッセージについて説明します。

13.1 KEEU300 ~ KEEU399 のメッセージ

13.1 KEEU300 ~ KEEU399 のメッセージ

KEEU300-W

帳票に正しく出力されない項目がありました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

このメッセージは、標準エラー出力 (eurps コマンド実行時), Err.Description プロパティ (ActiveX 起動部品実行時), getMessage メソッド (JavaBeans 起動部品実行時) に出力されます。

次に示す要因によって、帳票に正しく出力されない項目がありました。

- 文字アイテムのアイテム枠が小さいため、指定したデータがアイテム枠内に収まる分だけ出力されました。
- 数値アイテムのアイテム枠が小さく、指定したデータがアイテム枠内に収まらないため、データが「***」で出力されました。
- バーコードアイテムのアイテム枠が小さいため、バーコードが出力されません。
- フィールドのデータ型に合わないデータを入力したため、データが欠損値 (空白) で出力されました。
- 画像ファイルがない、EUR サーバ帳票出力機能ではサポートしていない画像ファイルである、または画像ファイルが壊れたため、画像データが出力されません。
- 指定した帳票ファイルが、上位バージョンの機能を使用して作成されているため、実行時の EUR Developer, EUR Server のバージョンで出力できる範囲で帳票が出力されました。
- バーコードデータに使用できない文字、または誤った桁数を指定したため、バーコードが出力されません。
- 集計行のアイテムが表示できない位置に配置されているため、出力されません。
- 日付変換用システムファイルが正しくありません。
- 指定した置き換え表ファイルに、置き換えデータが 1 件も登録されていないため、出力されません。
- 指定した置き換え表ファイルにキーデータがないか、または不正なデータが指定されているため、出力されません。

対処

出力する帳票の設定内容を見直したあと、再度帳票出力を実行してください。

また、環境変数、または環境設定ファイル (Windows 環境の場合は EURPS_ENV, UNIX / Linux 環境の場合は eurps_env) 中の変数 EURPS_REPORT_WARNING に「NO」を設定したあと、再度帳票出力を実行することで、このメッセージを出力しないようにすることもできます。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU301-W

ページ (ページ番号) で、データ種別 (M または U) の項目名 (フィールド名称) のデータ (出力するデータ) を表示できませんでした。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

次に示す要因によって、エラーが発生しました。

- アイテムのサイズに対してデータが多いです。
- バーコードのデータが正しくありません。
- データ種別に出力される項目の意味を次に示します。

M : マッピングデータ

U : ユーザ定義データ

- フィールド名称は、次の形式で出力されます。

集計アイテムの場合

合計の場合 : &SUM(&FD;! フィールド名称 !)

平均の場合 : &AVR(&FD;! フィールド名称 !)

最大の場合 : &MAX(&FD;! フィールド名称 !)

最少の場合 : &MIN(&FD;! フィールド名称 !)

件数の場合 : &CNT(&FD;! フィールド名称 !)

キー集計でキーに指定されたフィールドの場合

&FLD(&FD;! フィールド名称 !)

集計アイテムやキー集計でキーに指定されたフィールド以外の場合は、フィールド名称だけが出力されます。

対処

アイテム枠を大きくする、またはバーコードデータが正しいか見直したあと、再度実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

注意

- 固定アイテムは対象となりません。
- 繰り返し対象にバーコードアイテムが指定されている場合、特殊編集行を使用すると次のことが発生します。
 - データを表示できません。
 - ユーザ定義データのフィールド名を表示できません。
 - マッピングデータのフィールド名を表示できません。

KEEU302-W

データ種別 (M または U) の、項目名 (フィールド名称) のデータ (出力するデータ) を変換できませんでした。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

フィールドのデータ型とデータの内容が適合しません。

- データ種別に出力される項目の意味を次に示します。

M : マッピングデータ

U : ユーザ定義データ

- フィールド名称は、次の形式で出力されます。

集計アイテムの場合

合計の場合： &SUM(&FD:! フィールド名称!)

平均の場合： &AVR(&FD:! フィールド名称!)

最大の場合： &MAX(&FD:! フィールド名称!)

最少の場合： &MIN(&FD:! フィールド名称!)

件数の場合： &CNT(&FD:! フィールド名称!)

キー集計でキーに指定されたフィールドの場合

&FLD(&FD:! フィールド名称!)

集計アイテムやキー集計でキーに指定されたフィールド以外の場合は、フィールド名称だけが出力されます。

対処

データの内容またはフィールドのデータ型を見直したあと、再度実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU303-W

表示できないアイテムがありました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

集計行のアイテムが表示できない位置に配置されています。

対処

集計行に関する書式を見直したあと、再度実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU304-W

フォームシートは上位バージョンで作成されています。本バージョン機能で出力します。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

フォームシートを作成した製品 (EUR Designer または EUR Developer) が、EUR サーバ帳票出力機能を実行した製品 (EUR Developer または EUR Server) より新しいバージョンでした。

対処

EUR サーバ帳票出力機能を実行する製品 (EUR Developer または EUR Server) に適合する製品

(EUR Designer または EUR Developer) を使用してフォームシートを作成し直したあと、再度実行してください。

レベル
Warning

終了コード
4

KEEU305-W

画像ファイル (ファイル名) を読み込むことができません。

詳細情報
ユーザ =U : コマンド =C

要因
次に示す要因によって、画像を読み込むことができません。

- 画像が入力できません。
- データに指定したファイル名が誤っています。
- 画像フォルダの値が誤っています。
- アクセス権がありません。
- 画像ファイルの内容が正しくありません。
- 画像ファイルが壊れています。
- EUR サーバ帳票出力機能でサポートしていない画像です。

対処
エラーの要因を取り除き、再度実行してください。

レベル
Warning

終了コード
4

KEEU308-W

日付を変換できません。

詳細情報
ユーザ =U : コマンド =C

要因
日付変換用システムファイルが正しくありません。

対処
EUR Developer または EUR Server を再インストールして、再度実行してください。

レベル
Warning

終了コード
4

KEEU320-W

重なっているために XLSX 形式ファイルに出力できない項目がありました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

アイテムが重なっているために Excel 形式ファイルに出力できなかった項目があります。出力できなかった項目は、EPS-XLSX ログに出力されます。

対処

次のどちらかで対処してください。

- アイテムの重なりを考慮して帳票を設計し直し、帳票出力を再実行してください。
- 変換元帳票または EPS-XLSX ログを基に、手動で帳票を二次加工してください。

Excel 形式ファイルへ出力できないアイテムの配置については、マニュアル「EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編」を参照してください。EPS-XLSX ログについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU321-W

出力シートの上限值 (100 シート) を超えました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

出力シートが上限値の 100 シートを超えたため、超過したシートを出力しないで処理を終了しました。

印刷開始ページ (先頭または /s オプションで指定されたシート) から 100 シート分までは、Excel 形式ファイルに出力されます。

対処

次のどちらかの方法で対処してください。

- 入力データを分割して、再実行してください。
- オプションの指定で開始 / 終了ページを指定して、再実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU322-W

Excel シートの行数が繰り返しの上限値 (10000) を超えました。

詳細情報

ユーザ =U : コマンド =C

要因

Excel 形式ファイルの出力時に、Excel シートの行数が繰り返しの上限値の 10000 行を超えたため、超過した行を出力しないで処理を終了しました。
10000 行分までは、Excel 形式ファイルに出力されます。

対処

次のどちらかの方法で対処してください。

- 入力データを分割して、再実行してください。
- 帳票に改ページを設定して、再実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU350-W

接続情報ファイルの内容が無視されました。

要因

eurps ログファイルに、要因を示すメッセージが出力されます。出力されるメッセージと、その要因を次に示します。

ログファイルに出力されるメッセージ	要因
QueryExclusiveString に指定された文字列を読み捨てました	接続先データベースが HiRDB 以外の場合、排他オプションは指定できません。

対処

キーワード QueryExclusiveString を削除してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU351-W

帳票データ (帳票ファイル名、データ種別、可変記号値定義ファイル名) のデータベースから抽出した件数が 0 です。

要因

データ種別に示すデータの抽出結果が 0 件だったため、帳票を出力しませんでした。

- データ種別に出力される項目の意味を次に示します。
 - M : マッピングデータ
 - U : ユーザ定義データ
- このメッセージは、環境変数 EURPS_DONT_PRINT_IF_DB_RESULT_EMPTY に「YES」が設定されている場合に出力されます。

対処

抽出条件を変更して、再実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU352-W

出力すべき帳票セットがありません。

要因

すべての帳票でデータの抽出結果が0件だったため、帳票を出力しませんでした。

このメッセージは、環境変数 EURPS_DONT_PRINT_IF_DB_RESULT_EMPTY に「YES」が設定されている場合に出力されます。

対処

抽出条件を変更して、再実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

14 KEEU400 ~ KEEU499

KEEU400 ~ KEEU499 のメッセージについて説明します。

14.1 KEEU400 ~ KEEU499 のメッセージ

14.1 KEEU400 ~ KEEU499 のメッセージ

KEEU400-I ~ KEEU404-I のメッセージは、次に示す履歴を eurps ログに出力するときだけ使用されません。

- Windows 版 EUR サーバ帳票出力機能の起動と終了の履歴
- UNIX / Linux 版 EUR サーバ帳票出力機能で PDL ファイルに出力するときの eurps コマンドの起動と終了の履歴

eurps コマンド実行時の標準エラー出力、ActiveX 起動部品による実行時の Err オブジェクトの Description プロパティ、および JavaBeans 起動部品による実行時の EURPSException オブジェクトの getMessage メソッドには設定されません。

KEEU400-I

EUR Print Service を起動しました。

詳細情報

ユーザ = U : コマンド = C

説明

このメッセージは、EUR サーバ帳票出力機能が起動されたことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU401-I

EUR Print Service の出力が終了しました。

詳細情報

ユーザ = U : 終了コード = E : ページ数 = P : コマンド = C

説明

このメッセージは、EUR サーバ帳票出力機能が次に示す状況で終了されたことを示します。

終了コードが 0 のとき

コマンドが正常終了しました。

終了コードが 4 のとき

警告が発生しました。

この場合の警告とは、次に示すように、出力結果がユーザの意図したものと異なる場合を指します。警告が発生しても、コマンドは実行されて、帳票の出力が行われます。ただし、環境変数、または環境設定ファイル (Windows 環境の場合は EURPS_ENV, UNIX / Linux 環境の場合は eurps_env) 中の変数 EURPS_REPORT_WARNING に「NO」が設定されている場合は、終了コード 0 を返します。

- 文字アイテムのアイテム枠が小さいため、指定したデータがアイテム枠内に収まる分だけ出力されました。
- 数値アイテムのアイテム枠が小さく、指定したデータがアイテム枠内に収まらないため、デー

タが「***」で出力されました。

- バーコードアイテムのアイテム枠が小さいため、バーコードが出力されません。
- アイテムが出力できる範囲を超えているため、まったく出力されないか、または出力できる範囲に収まる分だけ出力されました。
- フィールドのデータ型に合わないデータを入力したため、データが欠損値（空白）で出力されました。
- 画像ファイルがない、EUR サーバ帳票出力機能ではサポートしていない画像ファイルである、または画像ファイルが壊れたため、画像データが出力されません。
- 指定した帳票ファイルが、上位バージョンの機能を使用して作成されているため、実行時の EUR Developer または EUR Server のバージョンで出力できる範囲で帳票が出力されました。
- バーコードデータに使用できない文字、または誤った桁数を指定したため、バーコードが出力されません。
- 集計行のアイテムが表示できない位置に配置されているため、出力されません。
- 日付変換用システムファイルが正しくありません。
- 指定した置き換え表ファイルに、置き換えデータが 1 件も登録されていないため、出力されません。
- 指定した置き換え表ファイルにキーデータがないか、または不正なデータが指定されているため、出力されません。

レベル

Information

終了コード

0, または 4

KEEU402-I

EUR Print Service で出力が中断しました。

詳細情報

ユーザ = U : 終了コード = E : ページ数 = P : コマンド = C

説明

このメッセージは、EUR サーバ帳票出力機能が次に示す状況で処理が中断されたことを示します。

- 終了コードが 8 のとき
システムエラーが発生しました。
- 終了コードが 12 のとき
データエラーが発生しました。
- 終了コードが 16 のとき
コマンドの文法にエラーがあります。
- 終了コードが 32 のとき
上記以外のエラーが発生しました。

レベル

Information

終了コード

8, 12, 16, または 32

KEEU403-I

出力コマンドを起動しました。

詳細情報

ユーザ =U : 出力コマンドプロセス ID=P : 出力コマンド =0 : コマンド =C

説明

UNIX / Linux 環境の場合だけ表示されるメッセージです。
このメッセージは、プリンタ定義ファイルのキーワード Command に指定したコマンドを起動したことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU404-I

出力コマンドが正常終了しました。

詳細情報

ユーザ =U : 出力コマンドプロセス ID=P : 出力コマンド =0 : コマンド =C

説明

UNIX / Linux 環境の場合だけ表示されるメッセージです。
このメッセージは、プリンタ定義ファイルのキーワード Command に指定したコマンドが終了コード 0 で正常終了したことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU405-I

ログファイルの出力先フォルダ (フォルダ名) が作成できません。(エラーコード) (Windows 環境の場合)
cannot create log directory ディレクトリ名 (エラーコード) (UNIX / Linux 環境の場合)

説明

このメッセージは、eurps ログの出力先フォルダを作成できなかったことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU406-I

ログファイル (ファイル名) に書き込みできません。(エラーコード) (Windows 環境の場合)

cannot write ファイル名 (エラーコード) (UNIX / Linux 環境の場合)

説明

このメッセージは、eurps ログの出力先フォルダは存在しますが、eurps ログファイルを出力できなかったことを示します。

eurps ログについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU407-I

トレースファイルに書き込みできません。(エラーコード) (Windows 環境の場合)

cannot write trace file(エラーコード) (UNIX / Linux 環境の場合)

説明

このメッセージは、トレースファイルを出力できなかったことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU410-I

印刷ジョブ n でページ p1-p2 を出力しました。

説明

このメッセージは、印刷ジョブ分割を指定した場合、印刷ジョブを生成するたびに出力されます。

- n には 1 から始まる連番を表示します。
- p1 には分割された印刷ジョブの開始ページが表示されます。
- p2 には分割された印刷ジョブの終了ページが表示されます。
- p1-p2 は印刷ジョブに出力したページの範囲を示します。なお、複数様式で空白ページを挿入した場合、p1-p2 で示す範囲には空白ページ分も含まれます。

レベル

Information

終了コード

なし

15 KEEU500 ~ KEEU599

KEEU500 ~ KEEU599 のメッセージについて説明します。

15.1 KEEU500 ~ KEEU599 のメッセージ

15.1 KEEU500 ~ KEEU599 のメッセージ

KEEU500-E

プロパティ（プロパティ名）の指定値に誤りがあります。

詳細情報

なし

要因

ActiveX オブジェクトを使用して帳票出力するとき、プロパティに誤った値が指定されています。

対処

エラーが発生したプロパティに、正しい値を指定してください。

対処の参照先

ActiveX オブジェクト

レベル

Error

終了コード

2016

KEEU501-E

プロパティ（プロパティ名）が指定されていません。

詳細情報

なし

要因

ActiveX オブジェクトを使用して帳票出力するとき、指定しなければならないプロパティが指定されていません。

対処

プロパティの指定を見直し、メッセージに表示されているプロパティを指定してください。

対処の参照先

ActiveX オブジェクト

OutFileName プロパティ、

ReportFileName プロパティ

レベル

Error

終了コード

2016

KEEU502-E

EUR Print Service が起動できません。(エラーコード: システムエラーメッセージ)

詳細情報

なし

要因

ActiveX オブジェクトを使用して帳票出力するとき、起動処理中にエラーが発生しました。

対処

システムエラーメッセージの内容に従って対処してください。

対処の参照先

ActiveX オブジェクト

レベル

Error

終了コード

2008

KEEU503-E

プロパティ (プロパティ名) と同時に指定できないプロパティが指定されています。

詳細情報

なし

要因

ActiveX オブジェクトを使用して帳票出力するとき、同時に指定できないプロパティが指定されています。

対処

プロパティの指定を見直し、どちらか一つを指定してください。同時に指定できないプロパティについては、バージョン 8 対応のマニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル

Error

終了コード

16

KEEU504-E

An attempt to load string resource DLL has failed.

詳細情報

なし

要因

メソッド実行時に起動部品の文字列リソース DLL のロード処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Designer または EUR Server を再インストールしてください。

レベル

Error

終了コード

16

16 KEEU600 ~ KEEU699

KEEU600 ~ KEEU699 のメッセージについて説明します。

16.1 KEEU600 ~ KEEU699 のメッセージ

16.1 KEEU600 ~ KEEU699 のメッセージ

KEEU600-E

メソッドの指定値に誤りがあります。(メソッド名)

詳細情報

なし

要因

JavaBeans 起動部品を使用して帳票出力するとき、メソッドに誤った値が指定されています。

- 指定したファイル名やファイルのパスに「"」が含まれています。
- 指定できる範囲外の値が設定されました。

対処

エラーが発生したメソッドに、正しい値を指定してください。

対処の参照先

JavaBeans 起動部品

レベル

Error

終了コード

16

KEEU601-E

メソッドが指定されていません。(メソッド名)

詳細情報

なし

要因

JavaBeans 起動部品を使用して帳票出力するとき、指定しなければならないメソッドが指定されていません。

対処

メソッドの指定を見直し、メッセージに表示されているメソッドを指定してください。

対処の参照先

JavaBeans 起動部品

setOutFileName メソッド、

setReportFileName メソッド (複数帳票指定の場合は setMultiReportFileName メソッド)

レベル

Error

終了コード

16

KEEU603-E

同時に指定できないメソッドが指定されています。(メソッド名,メソッド名)

詳細情報

なし

要因

JavaBeans 起動部品の方法に、同時に指定できないメソッドが指定されています。

対処

メソッドの指定を見直し、どちらか一つのメソッドを指定してください。同時に指定できないメソッドについては、バージョン 8 対応のマニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル

Error

終了コード

16

KEEU604-E

プロパティファイルに項目が存在しません。(項目名)

詳細情報

なし

要因

次に示す要因が考えられます。

- プロパティファイル (EURPSManager.properties) はありますが、必要な項目が設定されていません。
- プロパティファイル (EURPSManager.properties) がありません。また、システムプロパティ (EURPSManager.CommandPath) にも必要な項目が設定されていません。
- プロパティファイル (EURPSManager.properties) がクラスパスに指定されたフォルダにありません。

対処

次のように対処してください。

- メッセージに表示されている項目を、プロパティファイル (EURPSManager.properties)、またはシステムプロパティ (EURPSManager.CommandPath) に設定してください。
- プロパティファイル (EURPSManager.properties) のあるフォルダを、クラスパスに追加してください。

対処の参照先

JavaBeans 起動部品の構成

EURPSManager クラスのコンストラクタ

レベル

Error

終了コード

8

KEEU605-E

プロパティファイルが読み込めません。(システムエラーメッセージ)

詳細情報

なし

要因

プロパティファイル (EURPSManager.properties) に読み込み権限がありません。

対処

プロパティファイル (EURPSManager.properties) に読み込み権限を与えてください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU606-E

未サポートのメソッドが指定されています。(メソッド名)

詳細情報

なし

要因

UNIX / Linux 環境の場合だけ表示されるメッセージです。

UNIX / Linux 対応の EUR サーバ帳票出力機能で使用できないメソッドが指定されました。

対処

メソッドの指定を見直し、正しいメソッドを指定してください。

対処の参照先

JavaBeans 起動部品

setDistributionInfoFile メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU607-E

例外が発生しました。(例外メッセージ)

詳細情報

なし

要因

JavaBeans 起動部品の実行時に、EUR で特定できない Java の例外が発生しました。

対処

例外メッセージの内容に従って、アプリケーション側で対処してください。

レベル

Error

終了コード

8

17 KEEU700 ~ KEEU799

KEEU700 ~ KEEU799 のメッセージについて説明します。

17.1 KEEU700 ~ KEEU799 のメッセージ

17.1 KEEU700 ~ KEEU799 のメッセージ

KEEU700-E

EUR 形式ファイル出力処理でエラーが発生しました。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ = U : コマンド = C

要因

このメッセージは、エラーコードによってエラーの要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

表 17-1 エラーコードと要因

エラーコード	要 因
1	次に示す要因によって、EUR 形式ファイルを出力できません。 <ul style="list-style-type: none"> 指定した帳票ファイルがありません。 指定した帳票ファイルが読み込めません。
2	次に示す要因によって、EUR 形式ファイルを出力できません。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したマッピングデータファイルがありません。 指定したマッピングデータファイルが読み込めません。
3	次に示す要因によって、EUR 形式ファイルを出力できません。 <ul style="list-style-type: none"> 指定したユーザ定義データファイルがありません。 指定したユーザ定義データファイルが読み込めません。
4	次に示す要因によって、EUR 形式ファイルを出力できません。 <ul style="list-style-type: none"> 帳票ファイル、またはデータファイルに指定されている画像ファイルがありません。 帳票ファイル、またはデータファイルに指定されている画像ファイルが読み込めません。 出力先ファイル名に「*.eup」以外の拡張子を持つファイルを指定して、複数の帳票ファイルを EUR 形式ファイルに出力しようとした。 データファイルに指定されている画像ファイルが、フルパス、または相対パスで指定されていません。
5	メモリ不足が発生しました。
7	出力先フォルダに書き込み権限がないので、EUR 形式ファイルを出力できません。 既存の EUR 形式ファイルに書き込み権限がないので、ファイルの上書きができません。
8	圧縮処理中にエラーが発生しました。
9	EUR 形式ファイル作成中にエラーが発生しました。
10	次に示す要因によって、EUR 形式ファイルを出力できません。 <ul style="list-style-type: none"> 指定した複数様式情報定義ファイルがありません。 指定した複数様式情報定義ファイルが読み込めません。 指定した複数様式情報定義ファイルが 0 バイトでした。
11	次に示す要因によって、EUR 形式ファイルを出力できません。 <ul style="list-style-type: none"> 指定した置き換え表ファイルが存在しません。 指定した置き換え表ファイルが読み込めません。
12	次に示す要因によって、EUR 形式ファイルを出力できません。 <ul style="list-style-type: none"> 指定した置き換え表管理情報ファイルが存在しません。 指定した置き換え表管理情報ファイルが読み込めません。

対処

対処方法を次に示します。

表 17-2 エラーコードと対処方法

エラーコード	対処方法
1	次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> 存在する帳票ファイル名を指定してください。 指定する帳票ファイルに、読み込み権限を与えてください。
2	次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> 存在するマッピングデータファイル名を指定してください。 指定するマッピングデータファイルに、読み込み権限を与えてください。
3	次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> 存在するユーザ定義データファイル名を指定してください。 指定するユーザ定義データファイルに、読み込み権限を与えてください。
4	次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> 存在する画像ファイル名を指定してください。または、存在する画像ファイルを実行環境に用意してください。 画像ファイルに、読み込み権限を与えてください。 複数の帳票ファイルを EUR 形式ファイルに出力する場合は、出力先ファイル名に「*.eup」の拡張子を持つファイルを指定してください。 データファイルに指定する画像ファイルは、ファイル名で指定してください。画像ファイルのパスは、環境変数 EURPS_IMAGEPATH、または環境設定ファイル（Windows 環境の場合は EURPS_ENV、UNIX / Linux 環境の場合は eurps_env）の変数 EURPS_IMAGEPATH に指定してください。
5	ほかのアプリケーションを終了させるなどして、実行に必要なメモリを確保してください。
7	次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> 出力先フォルダに、書き込み権限を与えてください。 ファイルの上書きをする場合は、既存の EUR 形式ファイルに書き込み権限を与えてください。
8	Windows 環境の場合 システムの一時フォルダ のデバイス空き容量を確認し、空き容量がない場合は、不要なファイルを削除してください。 UNIX / Linux 環境の場合 /var/opt/eur ディレクトリのデバイス空き容量を確認し、空き容量がない場合は、不要なファイルを削除してください。
9	ほかのアプリケーションを終了させるなどして、再度実行してください。
10	次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> 存在する複数様式情報定義ファイル名を指定してください。 指定する複数様式情報定義ファイルに、読み込み権限を与えてください。 複数様式情報を定義したファイルを指定して、再度実行してください。
11	次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> 存在する置き換え表ファイル名を指定してください。 指定する置き換え表ファイルに、読み込み権限を与えてください。
12	次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> 存在する置き換え表管理情報ファイル名を指定してください。 指定する置き換え表管理情報ファイルに、読み込み権限を与えてください。

注

システムの一部フォルダについては、[システムのプロパティ] ダイアログで環境変数 TMP または TEMP の設定を確認してください。

なお、出力先は環境変数 TMP または TEMP の設定によって次の順に決定されます。

1. 環境変数 TMP で指定されているフォルダ
2. 環境変数 TMP が指定されていない場合、環境変数 TEMP で指定されているフォルダ
3. 環境変数 TMP と TEMP がどちらも指定されていない場合、Windows のフォルダ

レベル

Error

終了コード
8

18 KEEU800 ~ KEEU899

KEEU800 ~ KEEU899 のメッセージについて説明します。

18.1 KEEU800 ~ KEEU899 のメッセージ

18.1 KEEU800 ~ KEEU899 のメッセージ

KEEU800-E

eurecpdf コマンド実行中にエラーが発生しました。(エラー番号 : エラーメッセージ : エラー発生場所)

詳細情報

コマンド = C

要因

PDF パスワード暗号化ツールでエラーが発生しました。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU801-E

メモリ不足が発生しました。(エラー番号 : エラーメッセージ : エラー発生場所)

詳細情報

コマンド = C

要因

次に示す要因が考えられます。

- PDF パスワード暗号化の処理中にメモリ不足が発生しました。
- 接続情報パスワード暗号化の処理中にメモリ不足が発生しました。
- LDAP 接続情報パスワード暗号化の処理中にメモリ不足が発生しました。

対処

ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、次の処理を実行してください。

- PDF ファイルのパスワードの暗号化
- 接続情報ファイルのデータベースパスワードの暗号化
- EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の LDAP パスワードの暗号化

レベル

Error

終了コード

8

KEEU802-E

指定したファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラー番号 : エラーメッセージ : エラー発生場所)

詳細情報

コマンド = C

要因

次に示す要因によって、暗号化設定ファイル、PDF 仕分け定義ファイル、接続情報ファイル、または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) が読み込めません。

- パスワードの暗号化に必要な暗号化設定ファイル、PDF 仕分け定義ファイル、接続情報ファイル、または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) がありません。
- コマンドを実行するユーザが、パスワードの暗号化に必要な暗号化設定ファイル、PDF 仕分け定義ファイル、接続情報ファイル、または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) を読み込む権限を持っていません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する暗号化設定ファイル名、PDF 仕分け定義ファイル名、接続情報ファイル名、または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル名 (EURPMLS.ini) を指定してください。
- 指定する暗号化設定ファイル、PDF 仕分け定義ファイル、接続情報ファイル、または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) に、読み込み権限を与えてください。
- 暗号化設定ファイル、PDF 仕分け定義ファイル、接続情報ファイル、または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の指定内容を見直したあと、再度実行してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 形式ファイル

接続情報ファイル

EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini)

eurps コマンド

/ecrypk オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -ecrypk オプション)

環境変数、または環境設定ファイル

EURPS_OUTPUTPATH

ActiveX オブジェクト

EncryptionPasswordKey プロパティ

JavaBeans 起動部品

setEncryptionPasswordKey メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU803-E

指定した出力ファイル (ファイル名) に出力できません。(エラー番号: エラーメッセージ: エラー発生場所)

詳細情報

コマンド = C

要因

次に示す要因によって、ファイルへの出力ができません。

- 指定した出力ファイルは、すでに存在しています。
- ファイルの出力先デバイスに、空き容量がありません。

対処

次のように対処してください。

- 指定した出力ファイルを確認してください。
- ファイル出力先のデバイスの空き容量を増やしてください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 形式ファイル

接続情報ファイル

EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini)

eurps コマンド

/ecrypk オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -ecrypk オプション)

環境変数, または環境設定ファイル

EURPS_OUTPUTPATH

ActiveX オブジェクト

EncryptionPasswordKey プロパティ

JavaBeans 起動部品

setEncryptionPasswordKey メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU804-E

指定したファイル (ファイル名) の内容が不正です。

詳細情報

コマンド = C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定した暗号化設定ファイル, PDF 仕分け定義ファイル, 接続情報ファイル, または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) に, 暗号化パスワード, または復号化パスワードが設定されていません。
- 指定した暗号化設定ファイル, PDF 仕分け定義ファイル, 接続情報ファイル, または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の暗号化パスワード, または復号化パスワードが正しくありません。

対処

暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，接続情報ファイル，または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の指定内容を確認してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 形式ファイル

接続情報ファイル

EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini)

eurps コマンド

/ecrypik オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -ecrypik オプション)

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_OUTPUTPATH

ActiveX オブジェクト

EncryptionPasswordKey プロパティ

JavaBeans 起動部品

setEncryptionPasswordKey メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU805-E

省略不可のオプション (オプション名) が指定されていません。

詳細情報

コマンド = C

要因

コマンド構文に，パスワードの暗号化に必要なオプションが指定されていません。

対処

コマンド構文の指定を見直し，再度実行してください。

対処の参照先

eurps コマンド

/ecrypik オプション (UNIX / Linux 環境の場合は -ecrypik オプション)

レベル

Error

終了コード

16

KEEU806-E

不正なオプション（オプション名）が指定されました。

詳細情報

コマンド = C

要因

次に示す要因が考えられます。

- コマンド構文に指定したパスワードの暗号化オプションが不正です。
- コマンド構文に指定したパスワードの暗号化オプションのパラメタが不正です。

対処

次のように対処してください。

- コマンド構文の指定を見直し、正しいオプションを指定してください。
- コマンド構文のオプションの指定を見直し、正しいパラメタを指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

/ecrypk オプション（UNIX / Linux 環境の場合は -ecrypk オプション）

レベル

Error

終了コード

16

KEEU807-E

不正なファイルパス（ファイルパス名）が指定されました。

詳細情報

コマンド = C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 暗号化設定ファイル名、PDF 仕分け定義ファイル名、接続情報ファイル名、または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル名（EURPMLS.ini）の長さが上限を超えています。
- 指定した暗号化設定ファイル、PDF 仕分け定義ファイル、接続情報ファイル、または EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル（EURPMLS.ini）がありません。

対処

次のように対処してください。

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名に指定できる文字数は、次のとおりです。
 - Windows 環境の場合
フルパスで指定するときは 259 文字以内
相対パス、またはファイル名だけで指定するときは 255 文字以内
 - UNIX / Linux 環境の場合
フルパスで 1,023 バイト以内
- 指定した内容を、もう一度見直してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 形式ファイル

接続情報ファイル

EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini)

レベル

Error

終了コード

16

KEEU808-E

暗号処理に失敗しました。(エラーコード)

詳細情報

コマンド = C

要因

PDF ファイル, または接続情報ファイルのパスワード暗号化処理でエラーが発生しました。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

32

KEEU809-E

起動に失敗しました。(エラーコード: システムエラーメッセージ)

詳細情報

コマンド = C

要因

PDF ファイル, または接続情報ファイルのパスワードの暗号化処理中に, 暗号化ライブラリのロード処理でエラーが発生しました。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

32

KEEU810-E

eurecdif コマンド実行中にエラーが発生しました。(エラーコード：システムエラーメッセージ)

詳細情報

コマンド = C

要因

接続情報パスワード暗号化ツールでエラーが発生しました。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

8

19 KEEU900 ~ KEEU999

KEEU900 ~ KEEU999 のメッセージについて説明します。

19.1 KEEU900 ~ KEEU999 のメッセージ

19.1 KEEU900 ~ KEEU999 のメッセージ

KEEU900-I

サービスを開始しました。

説明

EUR Application Service を正常に開始しました。

レベル

Information

KEEU901-I

サービスを停止しました。

説明

EUR Application Service を正常に停止しました。

レベル

Information

KEEU902-E

サービスを開始できませんでした。

要因

エラーが発生したため、EUR Application Service を開始できませんでした。

対処

ログファイルを採取して、保守員に連絡してください。

対処の参照先

インストール先フォルダ ¥Log
euraps.log

レベル

Error

KEEU903-E

サービスを登録できませんでした。

要因

エラーが発生したため、EUR Application Service を正しく構成できませんでした。

対処

ログファイルを採取して、保守員に連絡してください。

対処の参照先

インストール先フォルダ ¥Log

euraps.log

レベル
Error

KEEU904-E

サービスを削除できませんでした。

要因

エラーが発生したため、EUR Application Service を正しく削除できませんでした。

対処

ログファイルを採取して、保守員に連絡してください。

対処の参照先

インストール先フォルダ ¥Log
euraps.log

レベル
Error

20 KEEU1000 ~ KEEU1099

KEEU1000 ~ KEEU1099 のメッセージについて説明します。

20.1 KEEU1000 ~ KEEU1099 のメッセージ

20.1 KEEU1000 ~ KEEU1099 のメッセージ

KEEU1001-I

サービスを開始しました。

説明

ファイル監視サービスを正常に開始しました。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU1002-I

サービスを停止しました。

説明

ファイル監視サービスを正常に停止しました。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU1003-I

ジョブを起動しました。

説明

ファイル監視サービスのジョブを正常に起動しました。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU1004-I

ジョブを終了しました。

説明

ファイル監視サービスのジョブを正常に終了しました。

レベル

Information

終了コード
なし

KEEU1005-W

EUR Server Adapter を実行しているときに警告が発生しました。

要因

EUR Server - Adapter の実行中に警告が発生しました。

対処

EUR Server - Adapter のイベントログ、または EUR Server - Adapter のログファイル (EURPMADP.log) を参照してください。

レベル

Warning

終了コード
なし

KEEU1006-E

メモリ不足が発生しました。

要因

実行中にメモリ不足が発生しました。

対処

次のどちらかで対処してください。

- ほかのアプリケーションを終了してください。
- メモリを増設してください。

レベル

Error

終了コード
なし

KEEU1007-S

サービスマネージャーを開けません。

要因

サービスの制御中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード
なし

KEEU1008-S

サービスをオープンできません。

要因

サービスの制御中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード

なし

KEEU1009-S

ハンドラがインストールされていません。

要因

サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード

なし

KEEU1010-S

不正なサービス要求です。

要因

サービス制御イベントの振り分け中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード

なし

KEEU1011-S

サービスを開始できません。

要因

サービスの起動中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード

なし

KEEU1012-S

サービスを停止できません。

要因

サービスの停止中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード

なし

KEEU1013-S

サービスを作成できません。

要因

サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード

なし

KEEU1014-S

サービスを削除できません。

要因

サービスの登録解除中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード
なし

KEEU1015-S

サービスを定義できません。

要因
サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処
EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル
System Error

終了コード
なし

KEEU1016-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因
レジストリの内容に不正があります。

対処
EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル
System Error

終了コード
なし

KEEU1018-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。

要因
ファイル監視サービスのログファイル書き込みでエラーが発生しました。

対処
次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイルの ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

レベル
System Error

終了コード
なし

KEEU1019-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因
ファイル監視サービスの文字列リソース DLL のロード処理でエラーが発生しました。

対処
EUR Server - Adapter を再インストールしてください。

レベル
System Error

終了コード
なし

KEEU1020-S

システムエラーが発生しました。

要因
内部処理でエラーが発生しました。

対処
出力されたログファイルを採取し、システム管理者に連絡してください。

レベル
System Error

終了コード
なし

KEEU1023-E

EUR Server Adapter の起動に失敗しました。

要因
EUR Server - Adapter の実行でエラーが発生しました。

対処
EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル
System Error

終了コード
なし

KEEU1024-E

EUR Server Adapter を実行しているときにエラーが発生しました。

要因

EUR Server - Adapter の実行中にエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter のログファイル (EURPMADP.log) を確認してください。

レベル

System Error

終了コード

なし

KEEU1025-E

監視定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

要因

監視定義ファイル (monitordef.conf) の読み込みでエラーが発生しました。

対処

次のどちらかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eurfm.ini) の PATH セクションの FMC キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

レベル

System Error

終了コード

なし

KEEU1026-W

保持期限を過ぎたファイルの削除中に警告が発生しました。

要因

ファイルの削除中に警告が発生しました。

対処

ログファイルを参照し、要因を調査してください。

レベル

Warning

終了コード

なし

KEEU1027-E

指定された監視管理フォルダが存在しません。

要因

次の要因が考えられます。

- 監視管理フォルダが存在しません。
- サブフォルダの作成に失敗しています。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eurfm.ini) の PATH セクションの FMC キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダのアクセス権を確認してください。
- ログファイルを参照し、要因を調査してください。

レベル

Error

終了コード

なし

KEEU1028-E

ファイルを照合フォルダから完了フォルダへの移動時にエラーが発生しました。

要因

次の要因が考えられます。

- ファイルの移動でエラーが発生しました。
- 一時フォルダの作成に失敗しました。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eurfm.ini) の PATH セクションの FMC キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダおよびサブフォルダのアクセス権を確認してください。
- ログファイルを参照し、要因を調査してください。

レベル

Error

終了コード

なし

KEEU1029-E

制御情報付データファイルまたはマッピングデータファイルの解析に失敗しました。

要因

制御情報付データファイルの解析時にエラーが発生しました。

対処

制御情報付データファイルの形式を確認してください。

レベル
Error

終了コード
なし

KEEU1031-E

ジョブ実行スレッドの生成に失敗しました。

要因
ジョブ実行スレッドの生成ができません。

対処
出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
なし

KEEU1032-E

マッピングデータファイルが照合パターンと一致しませんでした。

要因
マッピングデータファイルが照合パターンと一致していません。

対処
マッピングデータファイル名と照合パターンを確認してください。

レベル
Error

終了コード
なし

KEEU1033-W

帳票自動出力の後処理で警告が発生しました。

要因
帳票自動出力後のファイルの削除、またはフォルダの削除で警告が発生しました。

対処
EUR 製品以外のプログラムがファイル、またはフォルダをオープンしていないかを確認してください。

KEEU1034-E

監視処理でエラーが発生しました。

要因

監視処理でエラーが発生しました。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eurfm.ini) の PATH セクションの FMC キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダおよびサブフォルダのアクセス権を確認してください。
- ログファイルを参照し、要因を調査してください。

レベル

Error

終了コード

なし

KEEU1035-W

ログファイルのオープンに失敗しました。

要因

ログファイルが開けません。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eurfm.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- EUR 製品以外のプログラムが、ログファイルをオープンしていないかを確認してください。

レベル

Warning

終了コード

なし

KEEU1036-E

監視管理フォルダのサブフォルダの作成に失敗しました。

要因

監視管理フォルダのサブフォルダ（監視フォルダ、照合フォルダ、完了フォルダ）が作成できません。

対処

次のどちらかで対処してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- 監視管理フォルダの書き込み権限を確認してください。

レベル

Error

終了コード

なし

KEEU1037-E

監視定義ファイルのフォーマットが不正です。

要因

監視定義ファイル (monitordef.conf) の形式に誤りがあります。

対処

次のどちらかで対処してください。

- 監視定義ファイルのエンコーディングを確認してください。
- 監視定義ファイルの構文を確認してください。

レベル

Error

終了コード

なし

KEEU1038-E

指定された起動パラメタファイルが存在しません。

要因

監視定義ファイル (monitordef.conf) の照合パターンで決定した起動パラメタファイルが存在しません。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eurfm.ini) の PATH セクションの RUNPARAM キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダのアクセス権限を確認してください。
- ログファイルを参照し、要因を確認してください。

レベル

Error

終了コード

なし

21 KEEU1500 ~ KEEU1599

KEEU1500 ~ KEEU1599 のメッセージについて説明します。

21.1 KEEU1500 ~ KEEU1599 のメッセージ

21.1 KEEU1500 ~ KEEU1599 のメッセージ

KEEU1501-I

ジョブを起動しました。

説明

ジョブ実行プログラムのジョブを起動しました。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU1502-I

ジョブを終了しました。

説明

ジョブ実行プログラムのジョブを終了しました。

レベル

Information

終了コード

0, 4, 8

KEEU1505-W

eurpmc コマンドで警告が発生しました。eurpmc のログファイルを確認してください。

要因

eurpmc コマンドの実行で警告が発生しました。

対処

eurpmc のログファイルを確認してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU1506-E

eurpmc コマンドでエラーが発生しました。eurpmc のログファイルを確認してください。

要因

eurpmc コマンドでエラーが発生しました。

対処

eurpmc のログファイルを確認してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1507-E

メモリ不足が発生しました。(XX:YY)

要因

メモリ不足が発生しました。

対処

ほかのアプリケーションを終了してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1509-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

レジストリに不正があります。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

System Error

終了コード

8

KEEU1511-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。

要因

帳票自動出力のログファイルの書き込みができません。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eurivk.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。

- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

レベル

System Error

終了コード

8

KEEU1512-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因

文字列リソース DLL のロード処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter を再インストールしてください。

レベル

System Error

終了コード

8

KEEU1513-E

eurpmc コマンドの実行に失敗しました。(XX:YY)

要因

eurpmc コマンドの実行でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1514-E

制御情報付データファイル(XX)の内容が不正です(YY)。

要因

制御情報付データファイルの形式に誤りがあります。

メッセージの XX, YY には次の内容が表示されます。

- XX: 制御情報付データファイルのフルパス
- YY: エラー要因

対処

次のどちらかで対処してください。

- 制御情報付データファイルのエンコーディングを確認してください。

- 制御情報付データファイルの構文を確認してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1515-E

起動パラメタファイル (XX) の内容が不正です (YY)。

要因

起動パラメタファイルの形式に誤りがあります。

メッセージの XX, YY には次の内容が表示されます。

- XX: 起動パラメタファイルのフルパス
- YY: エラー要因

対処

次のどれかで対処してください。

- 起動パラメタファイルのエンコーディングを確認してください。
- 指定できないパラメタが指定されていないかを確認してください。
- 指定が必須のパラメタが指定されているかを確認してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1520-E

指定されたファイル (XX) の読み込みに失敗しました。(YY:ZZ)

要因

ファイルの読み込みができません。

メッセージの XX には、読み込みに失敗したファイルのフルパスが表示されます。

対処

次のどちらかで対処してください。

- 指定したファイルが存在するか確認してください。
- ファイルの読み込みアクセス権を確認してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1521-E

マッピングデータファイル (XX) の生成に失敗しました。(YY)

要因

マッピングデータファイルの生成ができません。
メッセージの XX には、生成に失敗したマッピングデータファイルのフルパスが表示されます。

対処

次のどちらかで対処してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1522-E

帳票セット指定ファイル (XX) の生成に失敗しました。(YY)

要因

帳票セット指定ファイルの生成ができません。
メッセージの XX には、生成に失敗した帳票セット指定ファイルのフルパスが表示されます。

対処

次のどちらかで対処してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1524-E

予期せぬエラーが発生しました。(XX:YY)

要因

内部処理でエラーが発生しました。
メッセージの XX には、エラー要因が表示されます。

対処

出力されているログファイルを採取し、システム管理者に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1525-E

引数の指定に誤りがあります。(XX:YY)

要因

- ファイルパスの文字数が上限を超えています。
メッセージの XX, YY には次の内容が表示されます。
- XX : エラー要因
 - YY : ファイル名

対処

ファイルパスの文字数を確認してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU1526-W

ログファイルのオープンに失敗しました。

要因

ログファイルが開けません。

対処

- 次のどれかで対処してください。
- 環境設定ファイル (eurivk.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
 - フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
 - EUR Server 製品以外のプログラムが、ログファイルをオープンしていないかを確認してください。

レベル

Warning

終了コード

なし

22 KEEU3000 ~ KEEU3099

KEEU3000 ~ KEEU3099 のメッセージについて説明します。

22.1 KEEU3000 ~ KEEU3099 のメッセージ

22.1 KEEU3000 ~ KEEU3099 のメッセージ

KEEU3001-I

ジョブを起動しました。

説明

BSP-RM 連携コマンド (eursmpr コマンド) のジョブを起動しました。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU3002-I

ジョブを終了しました。

説明

BSP-RM 連携コマンド (eursmpr コマンド) のジョブを終了しました。

レベル

Information

終了コード

0, 4, 8, 3008, 3012, 3016, 3032

KEEU3005-W

eurpmc コマンドで警告が発生しました。eurpmc のログファイルを確認してください。

要因

eurpmc コマンドの実行で警告が発生しました。

対処

eurpmc のログファイルを確認してください。

終了コード

4

レベル

Warning

KEEU3006-E

eurpmc コマンドでエラーが発生しました。eurpmc のログファイルを確認してください。

要因

eurpmc コマンドの実行でエラーが発生しました。

対処

eurpmc のログファイルを確認してください。

終了コード

8

レベル

Error

KEEU3007-E

メモリ不足が発生しました。(XX:YY)

要因

メモリが不足しています。

対処

ほかのアプリケーションを終了してください。

終了コード

3008

レベル

Error

KEEU3009-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

レジストリに不正があります。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

終了コード

3032

レベル

System Error

KEEU3011-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。

要因

ログファイルに書き込めません。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eursmpr.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。

- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

終了コード
3008

レベル
System Error

KEEU3012-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因
文字列リソース DLL のロード処理でエラーが発生しました。

対処
EUR Server - Adapter を再インストールしてください。

終了コード
3032

レベル
System Error

KEEU3013-E

eurpmc コマンドの実行に失敗しました。(XX:YY)

要因
eurpmc コマンドの実行でエラーが発生しました。

対処
EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

終了コード
3032

レベル
Error

KEEU3014-E

制御情報付データファイル(XX)の内容が不正です(YY)。

要因
制御情報付データファイルの形式に誤りがあります。
メッセージの XX, YY には次の内容が表示されます。

- XX: 制御情報付データファイルのフルパス
- YY: エラー要因

対処
次のどちらかで対処してください。

- 制御情報付データファイルのエンコーディングを確認してください。

- 制御情報付データファイルの構文を確認してください。

終了コード
3012

レベル
Error

KEEU3015-E

起動パラメタファイル (XX) の内容が不正です (YY)。

要因

起動パラメタファイルの形式に誤りがあります。

メッセージの XX, YY には次の内容が表示されます。

- XX: 起動パラメタファイルのフルパス
- YY: エラー要因

対処

次のどれかで対処してください。

- 起動パラメタファイルのエンコーディングを確認してください。
- 指定できないパラメタが指定されていないかを確認してください。
- 指定が必須のパラメタが指定されているかを確認してください。

終了コード
3012

レベル
Error

KEEU3016-E

引数の指定に誤りがあります。(XX:YY)

要因

次に示す要因が考えられます。

- 引数の数が不正です。
- ファイルパスの文字数が上限を超えました。

メッセージの XX, YY には次の内容が表示されます。

- XX: エラー要因
- YY: 引数の数, またはファイル名

対処

次のどちらかで対処してください。

- 引数の数を確認してください。
- ファイルパスの文字数を確認してください。

終了コード
3016

レベル
Error

KEEU3019-E

一時フォルダが存在しません。

要因

一時フォルダが存在しません。

対処

次のどちらかで対処してください。

- 一時フォルダが存在するかどうかを確認してください。
- 一時フォルダの読み込み権限を確認してください。

終了コード

3008

レベル

Error

KEEU3020-E

一時フォルダの作成に失敗しました。

要因

一時フォルダが作成できません。

対処

次のどちらかで対処してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

終了コード

3008

レベル

Error

KEEU3021-E

指定されたファイル (XX) の読み込みに失敗しました。(YY:ZZ)

要因

指定されたファイルの読み込みに失敗しました。

メッセージの XX には、読み込みに失敗したファイルのフルパスが表示されます。

対処

次のどちらかで対処してください。

- 指定したファイルが存在するかどうかを確認してください。
- ファイルのアクセス権限を確認してください。

終了コード

3008

レベル

Error

KEEU3022-E

マッピングデータファイル (XX) の生成に失敗しました。(YY)

要因

マッピングデータファイルの生成に失敗しました。
メッセージの XX には、生成しようとしたマッピングデータファイルのフルパスが表示されます。

対処

次のどちらかで対処してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

終了コード

3008

レベル

Error

KEEU3023-E

帳票セット指定ファイル (XX) の生成に失敗しました。(YY)

要因

帳票セット指定ファイルの生成に失敗しました。
メッセージの XX には、生成しようとした帳票セット指定ファイルのフルパスが表示されます。

対処

次のどちらかで対処してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

終了コード

3008

レベル

Error

KEEU3024-E

一時ファイル (XX) の削除に失敗しました。(YY)

要因

一時フォルダ、または一時ファイルの削除に失敗しました。
メッセージの XX には、削除に失敗したファイルのフルパスが表示されます。

対処

フォルダのアクセス権限を確認してください。

終了コード

3008

レベル
Error

KEEU3025-E

予期せぬエラーが発生しました。(XX:YY)

要因

内部処理でエラーが発生しました。
メッセージの XX には、エラー要因が表示されます。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。

終了コード

3032

レベル
Error

KEEU3026-W

ログファイルのオープンに失敗しました。

要因

ログファイルのオープンに失敗しました。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイル (eursmpr.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- EUR 製品以外のプログラムがログファイルをオープンしていないかを確認してください。

終了コード

なし

レベル
Warning

23 KEEU4000 ~ KEEU4099

KEEU4000 ~ KEEU4099 のメッセージについて説明します。

23.1 KEEU4000 ~ KEEU4099 のメッセージ

23.1 KEEU4000 ~ KEEU4099 のメッセージ

KEEU4001-I

要因

蓄積（正常終了）

レベル

Information

KEEU4002-I

要因

蓄積ファイル操作（正常終了）

レベル

Information

KEEU4003-E

要因

蓄積（エラー終了）

レベル

Error

KEEU4004-E

要因

蓄積ファイル操作（エラー終了）

レベル

Error

KEEU4005-W

要因

ユーザ認証失敗（ユーザ管理ファイルによる認証）

レベル

Warning

KEEU4006-E

要因

ユーザ認証失敗（LDAP 認証または配送印刷のログイン）

レベル
Error

KEEU4007-I

要因
EUR Server - Spool Service 起動

レベル
Information

KEEU4008-I

要因
EUR Server - Spool Service 停止

レベル
Information

24 KEEU F0001 ~ KEEU F0999

KEEU F0001 ~ KEEU F0999 のメッセージについて説明します。

24.1 KEEU F0001 ~ KEEU F0999 のメッセージ

24.1 KEEU F0001 ~ KEEU F0999 のメッセージ

KEEU F0201-E

コマンド引数に誤りがあります。

要因

コマンドの引数，または，コマンド引数が足りません。

対処

コマンド構文の指定を見直し，再度実行してください。

対処の参照先

EUR フォントファイル

レベル

Error

KEEU F0401-E

指定されたデータが不正です。

要因

コマンド引数に指定されたデータが，次に示す要因によって不正です。

- 指定した PCF フォントファイルがありません。
- 指定した PCF フォントファイルの文字コードが JIS X 0212 でないなど，EDF ファイル作成条件に問題があります。
- /size に 96 までの 8 の倍数以外の数値，または文字が指定されました。

対処

次のように対処してください。

- 存在する PCF フォントファイルを指定してください。
- EDF ファイルの作成条件に合うファイルを指定してください。
- /size には，96 までの 8 の倍数の数値を指定してください。

レベル

Error

KEEU F0601-W

指定されたベースフォント (フォント名) が存在しません。(フォント名) フォントを仮定します。

要因

指定したベースフォントが見つかりません。

対処

指定したベースフォントを見直して，再度実行してください。

レベル

Warning

KEEU F0801-E

メモリ不足です。

要因

処理を行うための十分なメモリを確保できません。

対処

使用できるメモリ量を増やし、再度実行してください。

レベル

Error

KEEU F0802-E

ファイルの作成に失敗しました。

要因

次の要因でファイルを作成できません。

- 指定されたファイル名称でファイルを作成できません。
- ディスクの空き容量が不足しています。
- フォルダ (UNIX / Linux 環境の場合はディレクトリ) への書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- ファイル名称をファイルシステムで利用できる名称にしてください。
- 十分な空き領域があるかどうか確認してください。
- 既存のフォルダ (UNIX / Linux 環境の場合はディレクトリ) に書き込む場合は、書き込み権限を与えてください。

レベル

Error

KEEU F0803-E

文字イメージ処理に失敗しました。

要因

内部処理でエラーが発生しました。

対処

保守コードを採取して、保守員に連絡してください。

レベル

Error

25 KEEY001 ~ KEEY099

KEEY001 ~ KEEY099 のメッセージについて説明します。

25.1 KEEY001 ~ KEEY099 のメッセージ

25.1 KEEY001 ~ KEEY099 のメッセージ

KEEY001-E

不明なオプション (オプション名) が指定されました。

要因

存在しないオプションが指定されました。

対処

オプション名の指定に誤りがないかどうかを見直してください。

終了コード

8

KEEY002-E

(オプション名) オプションの値の指定がありません。

要因

値の指定が必要なオプションに値を指定していません。

対処

オプションに値を指定してください。

終了コード

8

KEEY003-E

(オプション名) オプションの値が不正です。

要因

オプションに指定されている値の形式または範囲に誤りがあります。

対処

- 指定したオプションの値の形式を見直してください。
- 指定したオプションの値の範囲を見直してください。

終了コード

8

KEEY004-E

オプション (オプション名) が指定されていません。

要因

Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) または Spool Service 制御コマンド (eurpmlsctrl コマンド) の実行時に指定が必須のオプションが指定されていません。

対処
オプションを指定してください。

終了コード
8

KEEY005-E

同時に指定できないオプション (オプション名) と (オプション名) が指定されています。

要因
同時に指定できないオプションが指定されました。

対処
指定したオプションを見直してください。

終了コード
8

KEEY006-E

指定した識別名は存在しません。 [識別名]

要因
存在しない識別名が指定されました。

対処
指定した EUR Server Service の識別名を見直してください。

終了コード
8

KEEY007-W

識別名が登録されていません。

要因
識別名が登録されていません。

対処
Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) で登録情報を確認し、EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

終了コード
4

KEEY008-E

指定した識別名は存在します。 [識別名]

要因
登録済みの識別名を指定しました。

対処

重複しない識別名を登録してください。

終了コード

8

KEEY009-W

自動起動対象は存在しません。

要因

EUR Server Service の自動起動が設定されていません。

対処

Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) で登録情報を確認し, EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

終了コード

4

KEEY010-W

指定した環境設定ファイルパスは存在します。

要因

指定した環境設定ファイルはすでに使用しています。

対処

Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) で登録情報を確認し, EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

終了コード

4

KEEY020-E

プログラムはすでに起動しています。[識別名]

要因

指定されたプログラムはすでに起動しています。
指定された識別名のプログラムはすでに起動しています。

対処

- 識別名を指定した場合は, 指定した識別名を見直してください。
- 「/kind ALL」または「/kind AUTOONLY」を指定した場合は, Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) で登録情報を確認し, EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

終了コード

8

KEEY021-E

プログラムは起動または停止処理中です。[識別名]

要因

指定されたプログラムは起動処理中または停止処理中のため、起動できません。
指定された識別名のプログラムは起動処理中または停止処理中のため、起動できません。

対処

- 識別名を指定した場合は、指定した識別名を見直してください。
- 「/kind ALL」または「/kind AUTOONLY」を指定した場合は、Server Service 制御コマンド（eurpmctrl コマンド）で登録情報を確認し、EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

終了コード

8

KEEY022-E

プログラムはすでに停止しています。[識別名]

要因

指定されたプログラムはすでに停止しています。
指定された識別名のプログラムはすでに停止しています。

対処

- 識別名を指定した場合は、指定した識別名を見直してください。
- 「/kind ALL」または「/kind AUTOONLY」を指定した場合は、Server Service 制御コマンド（eurpmctrl コマンド）で登録情報を確認し、EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

終了コード

8

KEEY023-E

プログラムは起動または停止処理中です。[識別名]

要因

指定されたプログラムは起動処理中または停止処理中のため、停止できません。
指定された識別名のプログラムは起動処理中または停止処理中のため、停止できません。

対処

- 識別名を指定した場合は、指定した識別名を見直してください。
- 「/kind ALL」または「/kind AUTOONLY」を指定した場合は、Server Service 制御コマンド（eurpmctrl コマンド）で登録情報を確認し、EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

終了コード

8

KEEY024-E

プロセス管理ファイルの読み込みでエラーが発生しました。[識別名]

要因

プロセス管理ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCTRL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

8

KEEY025-E

EUR Server Service の起動でエラーが発生しました。[識別名]

要因

EUR Server Service の起動でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server Service のログファイルを参照してください。
- Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) で登録情報を確認し、EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

終了コード

8

KEEY026-E

EUR Server Service の停止でエラーが発生しました。[識別名]

要因

EUR Server Service の停止でエラーが発生しました。

対処

EUR Server Service のログファイルを参照してください。

終了コード

8

KEEY027-E

起動管理定義ファイルの書き込みでエラーが発生しました。

要因

起動管理定義ファイルの書き込みでエラーが発生しました。

対処

- ディスクの空き容量を確認してください。
- Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) の場合
Windows 環境のときは、EUR Server のインストール先フォルダの書き込み権限を確認してください。
UNIX / Linux 環境のときは、/var/opt/eur/server の書き込み権限を確認してください。
- Spool Service 制御コマンド (eurpmlsctrl コマンド) の場合
/var/opt/eur/spool の書き込み権限を確認してください。

終了コード

8

KEEY028-E

起動管理定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

要因

起動管理定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

対処

- Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) の場合
Windows 環境のときは、EUR Server のインストール先フォルダの読み込み権限を確認してください。
UNIX / Linux 環境のときは、/var/opt/eur/server の読み込み権限を確認してください。
- Spool Service 制御コマンド (eurpmlsctrl コマンド) の場合
/var/opt/eur/spool の読み込み権限を確認してください。

終了コード

8

KEEY030-E

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリが不足しています。

対処

ほかのアプリケーションを終了してください。

終了コード

8

KEEY031-S

環境設定ファイルに不正があります。詳細コード = [nnnnnn] (Windows 環境の場合)

Environment setting file is invalid. Detailed code = [nnnnnn] (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

次の要因が考えられます。

- 環境設定ファイルがありません。

- 環境設定ファイルに読み込み権限がありません。
- 環境設定ファイルの必須項目が指定されていません。

対処

詳細コード (nnnnnn) に従って、環境設定ファイルを見直してください。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

終了コード

8

KEEY032-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。(Windows 環境の場合)

Failed to write to the log file. (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

ログファイルに書き込みできません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCTRL.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

終了コード

8

KEEY033-I

コマンドを起動しました。

要因

コマンドを起動しました。

KEEY034-I

コマンドを終了しました。

要因

コマンドを終了しました。

KEEY035-W

Failed to write to the log file.

要因

ログファイルが開けません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCTRL.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。

- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- EUR Server 製品以外のプログラムが、ログファイルをオープンしていないかを確認してください。

KEEY036-I

EUR Server Service が起動しました。[識別名]

要因

[識別名] の EUR Server Service が起動しました。

KEEY037-I

EUR Server Service が停止しました。[識別名]

要因

[識別名] の EUR Server Service が停止しました。

KEEY038-E

指定した識別名は起動中のため変更できません。[識別名]

要因

指定した識別名のプログラムは起動中のため変更できません。

対処

- 指定した識別名を見直してください。
- 指定した識別名のプログラムを停止してください。

終了コード

8

KEEY039-E

起動管理定義が最大登録件数に達しています。

要因

EUR Server Service の起動管理定義が最大登録件数に達しているため、起動管理定義を追加できません。

対処

EUR Server Service の起動管理定義を見直して、不要な起動管理定義があれば削除してください。なお、起動管理定義は最大 5 件まで登録できます。

終了コード

8

KEEY040-E

EUR Server Service の呼び出しでエラーが発生しました。[識別名]

要因

EUR Server Service の呼び出しでエラーが発生しました。

対処

Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) のログファイルを参照してください。

終了コード

8

KEEY041-E

サービスの情報取得に失敗しました。

要因

サービスのオープンまたは情報取得でエラーが発生しました。

対処

Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) のログファイルを参照してください。

終了コード

8

KEEY042-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因

Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) 実行時に、内部処理でエラーが発生しました。
なお、nnn には保守情報が表示されます。

対処

EUR Server をインストールし直してください。

終了コード

8

KEEY043-S

EUR Print Service がインストールされていません。詳細コード = [nnnnnn]

要因

次の要因が考えられます。

- レジストリの内容に不正があります。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。
- EUR Print Service が正しくインストールされていません。

対処

EUR Print Service が正しくインストールされているかを確認してください。

終了コード

8

KEEY044-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

レジストリの内容に不正があります。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

対処

EUR Server Service が正しくインストールされているかを確認してください。

終了コード

8

KEEY050-E

コマンド実行でタイムアウトが発生しました。

要因

コマンド実行でタイムアウトが発生しました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCTRL.ini) の TIMEOUT セクションの各キーに指定されている値を修正してください。
- EUR Server Service のログファイルを参照してください。

終了コード

8

KEEY051-I

EUR Spool Service が起動しました。[識別名]

要因

EUR Server - Spool Service が起動しました。

終了コード

0

KEEY052-I

EUR Spool Service が停止しました。[識別名]

要因

EUR Server - Spool Service が停止しました。

終了コード

0

KEEY053-E

EUR Spool Service の起動でエラーが発生しました。[識別名]

要因

EUR Server - Spool Service の起動でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service のログファイルを参照してください。

終了コード

8

KEEY054-E

EUR Spool Service の停止でエラーが発生しました。[識別名]

要因

EUR Server - Spool Service の停止でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service のログファイルを参照してください。

終了コード

8

KEEY055-E

EUR Spool Service の呼び出しでエラーが発生しました。[識別名]

要因

EUR Server - Spool Service の呼び出しでエラーが発生しました。

対処

Spool Service 制御コマンド (eurpmlsctrl コマンド) のログファイルを参照してください。

終了コード

8

26 KEEY101 ~ KEEY199

KEEY101 ~ KEEY199 のメッセージについて説明します。

26.1 KEEY101 ~ KEEY199 のメッセージ

26.1 KEEY101 ~ KEEY199 のメッセージ

KEEY101-E

クライアントプリンタクラス定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

クライアントプリンタクラス定義ファイルが読み込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

101

KEEY102-E

一時フォルダの作成に失敗しました。

要因

一時フォルダ (EUR Client の作業フォルダ) が作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

102

KEEY103-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

103

KEEY104-E

印刷データファイルのフォーマットが不正です。

要因

印刷データファイルの形式に誤りがあります。

対処

EPF 形式ファイルを指定する URL に EPF 形式ファイル以外のファイルを指定していないかを確認してください。

詳細コード

104

KEEY105-E

一時フォルダの削除に失敗しました。

要因

一時フォルダ (EUR Client の作業フォルダ) が削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

105

KEEY106-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

106

KEEY107-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

107

KEEY108-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

108

KEEY109-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

109

KEEY110-E

EPF 形式ファイルの解析中にエラーが発生しました。

要因

次の要因が考えられます。

- EPF 形式ファイルの解析時にエラーが発生しました。
- EPF 形式ファイルの解析時に一時ファイルが作成できません。

対処

- フォルダの書き込み権限を確認してください。
- 出力されている EPF 形式ファイルとログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

110

KEEY111-E

印刷データファイルの作成に失敗しました。

要因

印刷データファイルが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

111

KEEY112-E

印刷データファイルの削除に失敗しました。

要因

印刷データファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード

112

KEEY113-E

プレビュー画面の起動に失敗しました。

要因

プレビュー画面が表示できません。

対処

EUR Client が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード

113

KEEY115-E

原因不明のエラーで処理が中断されました。EUR Server Service または EUR Spool Service の状態を確認してください。

要因

- 帳票サーバまたはスプールサーバとのデータ送受信中にエラーが発生したため、処理が中断されました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server Service が起動されているかを確認してください。
- EUR Server - Spool Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。

なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

詳細コード
115

KEEY117-E

出力先選択画面の起動に失敗しました。

要因
印刷ダイアログが表示できません。

対処
出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
117

KEEY118-E

プリンタ情報の取得または設定に失敗しました。

要因
次の要因が考えられます。

- プリンタ情報が取得できません。
- プリンタの設定に誤りがあります。

対処

- プリンタドライバが正しくインストールされているかを確認してください。
- プリンタが存在するかどうかを確認してください。
- プリンタの名称が Shift-JIS エンコーディングで表現されているかを確認してください。

詳細コード
118

KEEY119-S

メモリ不足が発生しました。

要因
メモリが不足しています。

対処

- ほかのアプリケーションを終了してください。
- メモリを増設してください。

詳細コード
119

KEEY120-E

印刷データファイルの解析に失敗しました。

要因

印刷データのファイルの解析時にエラーが発生しました。

対処

EPF 形式ファイルを指定する URL に EPF 形式ファイル以外のファイルを指定していないかを確認してください。

詳細コード

120

KEEY125-S

ソケットの接続要求の受け入れに失敗しました。

要因

ソケット接続エラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

125

KEEY126-E

印刷ジョブの開始に失敗しました。

要因

印刷が実行できないため、指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

126

KEEY127-E

印刷ページの追加に失敗しました。

要因

印刷ページの追加ができないため、指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

127

KEEY128-E

印刷に失敗しました。

要因

印刷時にエラーが発生しました。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

128

KEEY129-E

印刷ページの終了に失敗しました。

要因

印刷ページの終了ができないため、指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

129

KEEY130-E

印刷ジョブの終了に失敗しました。

要因

印刷が終了できないため、指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

130

KEEY132-E

印刷開始ページの入力値が不正です。正しい値を入力してください。

要因

次の要因が考えられます。

- EUR Web Plug-In の PrintStartPage パラメタまたは eurpmcepfviewer コマンドの /s オプションに指定する印刷開始ページに、1 ~ 999,999 以外の値が入力されています。
- EUR Web Plug-In の PrintStartPage パラメタまたは eurpmcepfviewer コマンドの /s オプションの指定はありますが、印刷開始ページ値が指定されていません。

対処

PrintStartPage パラメタまたは /s オプションの印刷開始ページ値が正しいかを確認するため、システム管理者に連絡してください。

詳細コード
132

KEEY133-S

システムエラーが発生しました。

要因

次の要因が考えられます。

- EUR Client Service を二重起動しています。
- 初期化中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

- すでに EUR Client Service を起動していないかどうかを確認してください。また、複数のユーザがログインしたり、ユーザ切り替えによって複数のユーザが同時にログインしたりして、EUR Client Service が二重に起動していないかどうかを確認してください。
- EUR Client Service を起動していない場合は、ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
133

KEEY134-S

環境設定ファイルに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

次の要因が考えられます。

- 環境設定ファイルがありません。
- 環境設定ファイルに読み込み権限がありません。
- 環境設定ファイルの必須項目が指定されていません。

対処

詳細コード (nnnnnn) に従って、環境設定ファイルを見直してください。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

詳細コード
134

KEEY135-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。

要因

ログファイルに書き込みできません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。

- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

詳細コード
135

KEEY136-I

ジョブを起動しました。

要因
指定したジョブが起動しました。

KEEY137-I

ジョブを終了しました。

要因
指定したジョブが終了しました。

KEEY138-E

印刷終了ページの入力値が不正です。正しい値を入力してください。

要因
次の要因が考えられます。

- EUR Web Plug-In の PrintEndPage パラメタまたは eurpmcepfviewer コマンドの /e オプションに指定する印刷終了ページに、1 ~ 999,999 以外の値が入力されています。
- EUR Web Plug-In の PrintEndPage パラメタまたは eurpmcepfviewer コマンドの /e オプションの指定はありますが、印刷終了ページ値が指定されていません。

対処
PrintEndPage パラメタまたは /e オプションの印刷終了ページ値が正しいかを確認するため、システム管理者に連絡してください。

詳細コード
138

KEEY139-E

出力プリンタがクライアントマシン上に存在しません。

要因
クライアントプリンタクラスで設定されたプリンタ名がクライアント PC に登録されていません。

対処

- クライアントプリンタクラスの設定を見直してください。
- クライアント PC に登録されたプリンタ名を確認してください。

詳細コード
139

KEEY140-E

指定されたプリンタ名がクライアントマシン上に存在しません。

要因

指定されたプリンタ名がクライアント PC に登録されていません。

対処

- 指定したクライアントプリンタ名を確認してください。
- クライアント PC に登録されたプリンタ名を確認してください。

詳細コード

140

KEEY141-E

印刷データファイルの URL が不正です。

要因

指定した印刷データファイルの URL に誤りがあります。

対処

EPF 形式ファイルを指定した URL が正しいかどうかを確認してください。

詳細コード

141

KEEY142-E

印刷データファイルの取得に失敗しました。

要因

印刷データファイルが取得できません。

対処

- EPF 形式ファイルを指定した URL が正しいかどうかを確認してください。
- EUR Web Plug-In の EPFFileURL パラメタに、動的に EPF 形式ファイルを生成してダウンロードするようにユーザプログラムの URL を指定している場合は、HTTP レスポンスの HTTP ヘッダについて、次のことを確認してください。
 - ContentLength 項目を指定しているか。
 - ContentLength 項目に実際のファイルサイズよりも小さい値を指定していないか。
- EUR Web Plug-In の EPFTempDataMode パラメタに 1 を指定している場合、ダウンロードしようとした EPF 形式ファイルのファイルサイズが、EPFDataMaxSize パラメタで指定した値を超えていないかどうかを確認してください。
EUR Web Plug-In のパラメタについては、マニュアル「EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編」を参照してください。
- Web/AP サーバの状態を確認してください。
- 帳票管理 GUI の使用中にこのエラーが発生した場合は、プレビューまたは印刷しようとした EPF 形式ファイルのファイルサイズが、環境設定ファイル (EURPM.ini) の OPTION セクションに指定されている EPFDATAMAXSIZE キーの値を超えていないかどうかを確認してください。

詳細コード
142

KEEY143-S

一時フォルダ名の取得に失敗しました。

要因
一時フォルダの作成中に内部処理でエラーが発生しました。

対処
ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
143

KEEY144-E

一時ファイル名の取得に失敗しました。

要因
一時ファイルの作成中に内部処理でエラーが発生しました。

対処
ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
144

KEEY145-E

http 転送でエラーが発生しました。

要因
データの通信中にエラーが発生しました。

対処
出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
145

KEEY146-E

印刷開始ページの入力値が印刷終了ページの入力値より大きいです。

要因
次の要因が考えられます。
• EUR Web Plug-In の PrintStartPage パラメタ (印刷開始ページ) の指定値が、PrintEndPage パ

ラメタ（印刷終了ページ）の指定値よりも大きい。

- eurpmcepfviewer コマンドの /s オプションの指定値（印刷開始ページ）が、/e オプションの指定値（印刷終了ページ）よりも大きい。

対処

パラメタまたはオプションの指定値が正しいかを確認するため、システム管理者に連絡してください。

詳細コード

146

KEEY148-E

指定された印刷結果報告 URL が不正です。

要因

印刷結果を報告する URL に誤りがあります。

対処

指定した URL に、サーバ上の正しい URL を指定しているかを確認してください。

詳細コード

148

KEEY149-E

印刷結果の送信に失敗しました。

要因

印刷結果を送信できません。

対処

- Web/AP サーバの状態を確認してください。
- 印刷結果を報告する URL が正しいかどうかを確認してください。

詳細コード

149

KEEY150-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因

EUR Client Service の起動時に、内部処理でエラーが発生しました。

なお、nnn には保守情報が表示されます。

対処

EUR Client をインストールし直してください。

詳細コード

150

KEEY151-E

バージョン不整合を検知しました。

要因

製品のバージョンが不一致です。

対処

EUR Server のバージョン番号を確認してください。

詳細コード

151

KEEY153-E

プロパティの指定値に誤りがあります。(プロパティ名)

要因

プロパティの指定値が不正です。

対処

プロパティの指定を見直してください。

詳細コード

153

KEEY154-W

印刷ダイアログでキャンセルが選択されました。

要因

印刷ダイアログでキャンセルを選択しました。処理を終了します。

詳細コード

154

KEEY155-E

EPF 形式ファイルの一時ファイルの生成に失敗しました。

要因

EPF 形式ファイルの一時ファイルが生成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

155

KEEY156-E

プレビュー表示に失敗しました。

要因

プレビュー画面が表示できません。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

156

KEEY157-E

クライアントでコネクション数が限界値をオーバーしました。

要因

同時に接続できる最大数を超えています。

対処

再度実行してください。

詳細コード

157

KEEY159-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

レジストリの内容に不正があります。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

対処

EUR Client が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード

159

KEEY161-I

EUR Client Service を開始しました。

要因

EUR Client Service を開始しました。

KEEY162-I

EUR Client Service を終了しました。

要因

EUR Client Service を終了しました。

KEEY163-I

印刷を完了しました。

要因

印刷が正常に終了しました。

KEEY164-W

ログファイルのオープンに失敗しました。

要因

ログファイルが開けません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCL.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- EUR 製品以外のプログラムがログファイルを使用していないか確認してください。

KEEY165-E

印刷データファイルの URL の文字列が上限を超えました。

要因

印刷データファイルの URL の長さが、上限の 2,038 バイトを超えました。

対処

- EPF 形式ファイルを指定した URL の長さを確認してください。
- 帳票管理 GUI の使用中にこのエラーが発生した場合は、次のどちらかの操作を実施して、再度実行してください。
 - ・ 選択しているスプールデータの数を減らしてください。
 - ・ [一つの帳票として印刷する] チェックボックスのチェックを外してください。

KEEY166-E

プリンタ名の指定に誤りがあります。

要因

次の要因が考えられます。

- eurpmcepfviewer コマンドの /pr オプションで指定したプリンタ名の長さが、上限の 80 バイトを超えています。
- eurpmcepfviewer コマンドの /pr オプションの指定はありますが、プリンタ名が指定されていません。

対処

プリンタ名の指定を見直してください。

KEEY167-E

トレイ名の指定に誤りがあります。

要因

次の要因が考えられます。

- eurpmcepfviewer コマンドの /tr オプションで指定したトレイ名の長さが、上限の 80 バイトを超えています。
- eurpmcepfviewer コマンドの /tr オプションの指定はありますが、トレイ名が指定されていません。

対処

トレイ名の指定を見直してください。

KEEY168-E

プリンタクラス名の指定に誤りがあります。

要因

次の要因が考えられます。

- eurpmcepfviewer コマンドの /prc オプションで指定したプリンタクラス名の長さが、上限の 80 バイトを超えています。
- eurpmcepfviewer コマンドの /prc オプションの指定はありますが、プリンタクラス名が指定されていません。

対処

プリンタクラス名の指定を見直してください。

KEEY169-E

EPF 形式ファイル名の指定に誤りがあります。

要因

次の要因が考えられます。

- eurpmcepfviewer コマンドで指定した EPF 形式ファイル名の長さが、上限の 255 バイトを超えています。
- eurpmcepfviewer コマンドで /r オプションを指定しているのに、EPF 形式ファイル名が指定されていません。
- eurpmcepfviewer コマンドで EPF 形式ファイル名を複数指定しました。

対処

eurpmcepfviewer コマンドの指定を見直してください。

KEEY170-E

EPF 形式ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

EPF 形式ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。

- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

KEEY171-E

EURPMCEPFViewer の起動に失敗しました。

要因

次の要因が考えられます。

- クライアント PC での印刷またはプレビュー表示でエラーが発生しました。
- eurpmcepfviewer コマンドの実行時にエラーが発生しました。

対処

EUR Client が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY172-E

不明なオプション (オプション名) が指定されました。

要因

eurpmcepfviewer コマンドの実行時に存在しないオプションが指定されました。

対処

オプション名の指定に誤りがないかどうかを見直してください。

KEEY175-E

HTTP 通信でエラーが発生しました。(nnn)

要因

HTTP 通信でエラーが発生しました。

nnn の内容と意味を次に示します。

401 または 404 : HTTP 通信エラー

402 : その他 HTTP エラー (Web サーバが混雑している可能性があります)

対処

- 配送サービスの URL に、サーバ上の正しい URL を指定しているかどうかを確認してください。
- 配送サービスが正常に起動しているかどうかを確認してください。
- 配送サービスの Web サーバが正常に起動しているかどうかを確認してください。
- EUR Client Service を再起動してください。
- Web サーバが混雑している可能性があるため、ログインでエラーが発生した場合、しばらく時間を置いてから再度実行してください。

KEEY177-E

ログイン処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

ログイン処理でエラーが発生しました。

nnn の内容と意味を次に示します。

500 ~ 599 : EUR Server - Spool Service Adapter のエラー

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

KEEY178-E

配送印刷処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

配送印刷の処理中にエラーが発生しました。

nnn の内容と意味を次に示します。

762 : セッションが無効

902 : 指定した出力先が存在しない

対処

詳細コードが 762 の場合

- EUR Client Service を再起動してください。

詳細コードが 902 の場合

- 帳票に指定したプリンタクラスが構成定義ファイルに定義されているかどうかを確認してください。
- 構成定義ファイルに指定されているプリンタが正しくインストールされているかどうかを確認してください。

KEEY179-E

帳票一覧処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

帳票の一覧の取得中にエラーが発生しました。

nnn の内容と意味を次に示します。

500 ~ 599 : EUR Server - Spool Service Adapter のエラー

772 : セッションが無効

対処

セッションの無効によるエラーの場合、EUR Client Service を再起動してください。そのほかのエラーの場合はログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

KEEY180-E

配送サービスの URL が不正です。

要因

指定した配送サービスの URL に誤りがあります。

対処

配送サービスの URL に、サーバ上の正しい URL を指定しているかどうかを確認してください。

詳細コード

180

KEEY181-E

プリンタ (プリント名) への印刷に失敗しました。

要因

印刷先に設定されているプリンタが次のパラメタの指定によって制御されているため、帳票を自動印刷できません。

- 除外プリンタまたは除外ドライバ
- 許可プリンタまたは許可ドライバ

対処

EUR Web Plug-In の ExclusionPrinterName プロパティ , ExclusionPrinterDriver プロパティ , PermissionPrinterName プロパティおよび PermissionPrinterDriver プロパティの指定を見直して、自動印刷するプリンタが除外プリンタ / ドライバまたは許可プリンタ / ドライバに指定されていないかを確認してください。

詳細コード

181

KEEY182-E

認証に失敗しました。正しいユーザ名、パスワードを入力してください。

要因

ユーザ名またはパスワードが不正です。

対処

正しいユーザ名またはパスワードを指定してください。

詳細コード

182

KEEY183-E

サーバが混雑しています。しばらく時間を置いてから再度お試しください。

要因

EUR Server - Spool Service の接続上限数を超過しています。

対処

しばらく時間を置いてから再実行してください。

詳細コード

183

KEEY184-I

ログインを開始しました。

要因

配送印刷のログイン処理を開始しました。

詳細コード

184

KEEY185-I

ログインを完了しました。

要因

配送印刷のログイン処理を完了しました。

詳細コード

185

KEEY186-I

帳票一覧を開始しました。

要因

帳票一覧の取得を開始しました。

詳細コード

186

KEEY187-I

帳票一覧を完了しました。

要因

帳票一覧の取得を完了しました。

詳細コード

187

27 KEEY201 ~ KEEY299

KEEY201 ~ KEEY299 のメッセージについて説明します。

27.1 KEEY201 ~ KEEY299 のメッセージ

27.1 KEEY201 ~ KEEY299 のメッセージ

KEEY201-E

プロパティ (プロパティ名) の指定値に誤りがあります。

要因

プロパティの指定値が不正です。

対処

プロパティの指定を見直してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-201

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

201

KEEY202-E

プロパティ (プロパティ名) が指定されていません。

要因

必須のプロパティの値が指定されていません。

対処

- プロパティの指定を見直してください。
- 次のどちらかで帳票サーバの IP アドレスを指定してください。
 - PMServerAddress プロパティ
 - 環境設定ファイル (EURPMADP.ini) の IPADDRESS セクションの EURPM キー

終了コード

ActiveX 起動部品

-202

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

202

KEEY203-E

マッピングデータファイルの読み込みに失敗しました。

要因

マッピングデータファイルまたは可変記号値定義ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名の指定を確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限があるかどうかを確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-203

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
203

KEEY204-E

ユーザ定義データファイルの読み込みに失敗しました。

要因

ユーザ定義データファイルまたは可変記号値定義ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名の指定を確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限があるかどうかを確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-204

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
204

KEEY205-E

パラメタに誤りがあります。

要因

メソッド、または関数に指定したパラメタの形式が不正です。

対処

メソッド、または関数に指定したパラメタを見直してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-205

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
205

KEEY206-E

必須パラメタの指定がありません。

要因

メソッド、または関数で、必須パラメタが指定されていません。

対処

メソッド、または関数に指定したパラメタを見直してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-206

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

206

KEEY207-E

サーバプリンタ名の指定がありません。

要因

サーバのプリンタ名の指定がありません。

対処

プリンタのトレイ名を指定するにはプリンタ名を指定してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-207

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

207

KEEY208-E

原因不明のエラーで処理が中断されました。EUR Server Service の状態を確認してください。

要因

- EUR Server Service とのデータ送受信中にエラーが発生したため、処理が中断されました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server Service が起動されているかどうかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPMADP.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-208

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

208

KEEY209-W

印刷処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

詳細コード (nnn) に対応する印刷処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-209

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

209

KEEY210-S

環境設定ファイルに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

次の要因が考えられます。

- 環境設定ファイルがありません。
- 環境設定ファイルに読み込み権限がありません。
- 環境設定ファイルの必須項目が指定されていません。

対処

詳細コード (nnnnnn) に従って、環境設定ファイルを見直してください。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-210

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

210

KEEY211-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。

要因

ログファイルに書き込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMADP.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

注

EUR Server - Adapter の実行ユーザがインターネットゲストアカウント (IUSR_XXXXX) の場合、ログファイル (EURPMADP.log) のデフォルトの出力先 (EUR Server - Adapter のインストールフォルダ下の Log フォルダ) には書き込み権限がありません。インターネットゲストアカ

ウントに書き込み権限を与えるか、インターネットゲストアカウントに書き込み権限がある別のフォルダを指定してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-211

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

211

KEEY212-E

EUR Server Service への接続に失敗しました。

要因

EUR Server Service との通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPMADP.ini) の IPADDRESS セクションの EURPM キーに指定されている IP アドレスを確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-212

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

212

KEEY213-I

ジョブを起動しました。

要因

指定したジョブが起動しました。

終了コード

ActiveX 起動部品

-213

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

213

KEEY214-I

ジョブを終了しました。

要因

指定したジョブが終了しました。

終了コード

ActiveX 起動部品

-214

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

214

KEEY215-S

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリが不足しています。

対処

- ほかのアプリケーションを終了してください。
- メモリを増設してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-215

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

215

KEEY216-E

通信タイムアウトが発生しました。

要因

通信中にタイムアウトになりました。

対処

- EUR Server Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPMADP.ini) の TIMEOUT セクションのキーの値を見直してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-216

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

216

KEEY217-S

システムエラーが発生しました。

要因

次の要因が考えられます。

- 初期化中に内部処理でエラーが発生しました。
- データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。
- 内部テーブルの操作中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル

ル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-217

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
217

KEEY218-E

出力先一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

出力先一覧を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品
-218

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
218

KEEY219-E

プリンタクラス一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

プリンタクラス一覧を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品
-219

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
219

KEEY221-E

印刷処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

印刷処理を実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-221

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

221

KEEY222-E

クライアントプリンタ名の指定がありません。

要因

プリンタのトレイ名を指定しましたが、プリンタ名を指定していません。

対処

プリンタのトレイ名を指定するにはプリンタ名を指定してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-222

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

222

KEEY223-E

PDF 形式ファイル出力処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

PDF 形式ファイルの出力中にエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品
-223

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
223

KEEY224-W

PDF 形式ファイル出力処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

PDF 形式ファイルの出力中に警告が発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品
-224

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
224

KEEY225-E

EPF 形式ファイル出力処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

EPF 形式ファイルの出力中にエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品
-225

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
225

KEEY226-W

EPF 形式ファイル出力処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

EPF 形式ファイルの出力中に警告が発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-226

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

226

KEEY227-E

PDF 形式ファイルの初期化に失敗しました。

要因

PDF 形式ファイルの初期化中にエラーが発生しました。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- 出力ファイルパスが指定されているかを確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-227

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

227

KEEY228-E

EPF 形式ファイルの初期化に失敗しました。

要因

EPF 形式ファイルの初期化中にエラーが発生しました。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

- 出力ファイルパスが指定されているかを確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-228

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
228

KEEY229-E

PDF 形式ファイルの作成に失敗しました。

要因

PDF 形式ファイルが作成できません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-229

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
229

KEEY230-E

EPF 形式ファイルの作成に失敗しました。

要因

EPF 形式ファイルが作成できません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-230

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
230

KEEY231-E

指定された PDF 形式ファイルはほかの人が使用中です。

要因

指定した PDF 形式ファイルはほかのユーザが使用しています。

対処

- 別のファイル名を指定してください。
- ほかのユーザがファイルの処理を終了してから、再度実行してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-231

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
231

KEEY232-E

指定された EPF 形式ファイルはほかの人が使用中です。

要因

指定した EPF 形式ファイルはほかのユーザが使用しています。

対処

- 別のファイル名を指定してください。
- ほかのユーザがファイルの処理を終了してから、再度実行してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-232

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
232

KEEY233-E

帳票セット指定ファイルのフォーマットが不正です。

要因

帳票セット指定ファイルの形式に誤りがあります。

対処

ファイルの内容を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-233

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
233

KEEY234-E

帳票セット指定ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

帳票セット指定ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-234

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
234

KEEY235-E

しおり定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

しおり定義ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-235

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
235

KEEY236-E

文書しおり定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

文書しおり定義ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-236

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
236

KEEY237-E

EUR Server Service で接続数が限界値をオーバーしました。

要因

同時に接続できる帳票サーバの最大数を超過しています。

対処

再度実行してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-237

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
237

KEEY238-E

EUR Spool Service で接続数が限界値をオーバーしました。

要因

同時に接続できるスプールサーバの最大数を超過しています。

対処

再度実行してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-238

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
238

KEEY239-E

EUR Client Service で接続数が限界値をオーバーしました。

要因

同時に接続できる EUR Client Service の最大数を超過しています。

対処

再度実行してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-239

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
239

KEEY241-E

指定された EUR 形式ファイルはほかの人が使用中です。

要因

指定した EUR 形式ファイルはほかのユーザが使用しています。

対処

- 別のファイル名を指定してください。
- ほかのユーザがファイルの処理を終了してから、再度実行してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-241

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
241

KEEY242-E

EUR 形式ファイルの初期化に失敗しました。

要因

EUR 形式ファイルの初期化中にエラーが発生しました。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- 出力ファイルパスが指定されているかを確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-242

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
242

KEEY243-E

EUR 形式ファイル出力処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

EUR 形式ファイルの出力中にエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品
-243

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
243

KEEY244-W

EUR 形式ファイル出力処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

EUR 形式ファイルの出力中に警告が発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log , EURPMPrintAX.log , EURPMPreViewAX.log

300 ~ 399 : EURPM.log

400 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品
-244

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
244

KEEY245-E

EUR 形式ファイルの作成に失敗しました。

要因

EUR 形式ファイルが作成できません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-245

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
245

KEEY246-E

EUR Server Service のバージョンが不正です。

要因

EUR Server Service と EUR Server - Adapter のバージョンが一致していません。

対処

EUR Server Service と EUR Server - Adapter のバージョンを同じにしてください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-246

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

246

KEEY247-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

レジストリの内容に不正があります。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

対処

EUR Server - Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-247

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

247

KEEY248-E

暗号化設定ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

暗号化設定ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-248

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

248

KEEY249-E

指定されたマッピングデータファイルが存在しません。

要因

マッピングデータファイルまたは可変記号値定義ファイルがありません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-249

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
249

KEEY250-E

指定されたユーザ定義データファイルが存在しません。

要因

ユーザ定義データファイルまたは可変記号値定義ファイルがありません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-250

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
250

KEEY251-E

指定されたしおり定義ファイルが存在しません。

要因

しおり定義ファイルがありません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-251

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
251

KEEY252-E

指定された文書しおり定義ファイルが存在しません。

要因

文書しおり定義ファイルがありません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-252

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
252

KEEY253-E

指定された暗号化設定ファイルが存在しません。

要因

暗号化設定ファイルがありません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-253

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
253

KEEY255-E

プリンター一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

プリンター一覧の取得中にエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

301 ~ 399 : EURPM.log

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-255

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

255

KEEY256-E

トレー一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

トレー一覧の取得中にエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

301 ~ 399 : EURPM.log

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-256

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

256

KEEY257-E

蓄積処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

蓄積処理中にエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

301 ~ 399 : EURPM.log

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-257

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

257

KEEY258-W

蓄積処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積処理中に警告が発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

301 ~ 399 : EURPM.log

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-258

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

258

KEEY259-E

PDF 仕分け定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

PDF 仕分け定義ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-259

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

259

KEEY260-E

指定された PDF 仕分け定義ファイルが存在しません。

要因

PDF 仕分け定義ファイルがありません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-260

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

260

KEEY261-E

EPF 形式ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

EPF 形式ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-261

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

261

KEEY262-E

指定された EPF 形式ファイルが存在しません。

要因

EPF 形式ファイルがありません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-262

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

262

KEEY263-E

XLSX 形式ファイル出力処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

Excel 形式ファイルの出力中にエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

300 ~ 399 : EURPM.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-263

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

263

KEEY264-W

XLSX 形式ファイル出力処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

Excel 形式ファイルの出力中に警告が発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

300 ~ 399 : EURPM.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-264

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

264

KEEY265-E

指定された XLSX 形式ファイルはほかの人が使用中です。

要因

指定した Excel 形式ファイルはほかのユーザが使用しています。

対処

- 別のファイル名を指定してください。
- ほかのユーザがファイルの処理を終了してから、再度実行してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-265

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

265

KEEY266-E

XLSX 形式ファイルの初期化に失敗しました。

要因

Excel 形式ファイルの初期化中にエラーが発生しました。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- 出力ファイルパスが指定されているかを確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-266

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

266

KEEY267-E

XLSX 形式ファイルの作成に失敗しました。

要因

Excel 形式ファイルが作成できません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-267

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

267

KEEY269-E

統合対象 EPF 形式ファイルの指定数が有効範囲外です。

要因

統合対象の EPF 形式ファイルの数が、指定できる範囲を超えています。

対処

統合対象の EPF 形式ファイルの数を見直して、再度実行してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-269

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

269

KEEY270-E

複数 EPF 形式ファイルの統合処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

複数の EPF 形式ファイルの統合処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

300 ~ 399 : EURPM.log

終了コード

ActiveX 起動部品

-270

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

270

KEEY271-E

統合対象 EPF 形式ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

統合対象の EPF 形式ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-271

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

271

KEEY272-E

指定された統合対象 EPF 形式ファイルが存在しません。

要因

統合対象の EPF 形式ファイルがありません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-272

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

272

KEEY273-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因

メソッド、または関数の実行時に、内部処理でエラーが発生しました。
なお、nnn には保守情報が表示されます。

対処

EUR Server - Adapter をインストールし直してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-273

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
273

KEEY274-E

仕分け / 分割定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

仕分け定義ファイル、または分割定義ファイルが読み込めません。

対処

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品
-274

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品
274

KEEY275-W

出力すべき帳票セットがありません。(950)

要因

データベースからのデータの抽出結果が 0 件でした。
このメッセージは、EUR Print Service の環境変数
EURPS_DONT_PRINT_IF_DB_RESULT_EMPTY に「YES」が設定されている場合に出力されま
す。

対処

データベースからのデータの抽出条件を確認してください。

終了コード

ActiveX 起動部品

-275

Java 起動部品・COBOL 起動部品・コマンド起動部品

275

KEEY276-W

Server Adapter の EUR Web Plug-In 情報ファイル [EUR Web Plug-In 情報ファイル名] から [セクション名][キー名] を取得できませんでした。

要因

EUR Web Plug-In 情報ファイルから情報を取得できませんでした。

対処

- EUR Web Plug-In 情報ファイルがあるかどうかを確認してください。
- EUR Web Plug-In 情報ファイルに、メッセージに表示されたセクション名およびキー名の指定があるかどうかを確認してください。

終了コード

なし

28 KEEY301 ~ KEEY399

KEEY301 ~ KEEY399 のメッセージについて説明します。

28.1 KEEY301 ~ KEEY399 のメッセージ

28.1 KEEY301 ~ KEEY399 のメッセージ

KEEY301-E

出力先定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

出力先定義ファイルが読み込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

301

KEEY302-E

指定された出力ファイルの出力先フォルダが存在しません。

要因

出力ファイルの出力先フォルダがありません。

対処

- 出力先フォルダ名が正しいかどうかを確認してください。
- 出力先フォルダがあるかどうかを確認してください。
- 出力先フォルダの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

302

KEEY303-E

EUR Spool Service への接続に失敗しました。

要因

EUR Server - Spool Service との通信中にエラーが発生しました。

対処

- EUR Server - Spool Service が起動されているかを確認してください。
- 出力先定義ファイルの内容を確認してください。
- スプールサーバの IP アドレス (出力先) の指定を確認してください。

詳細コード

303

KEEY304-E

印刷データファイルの読み込みに失敗しました。

要因

印刷データファイルが読み込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

304

KEEY305-E

印刷データファイルの削除に失敗しました。

要因

印刷データファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード

305

KEEY306-E

出力先定義ファイルが存在しません。

要因

出力先定義ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

306

KEEY307-E

EUR Client Service への接続に失敗しました。

要因

EUR Client Service との通信中にエラーが発生しました。

対処

- EUR Client Service が起動されているかを確認してください。
- クライアント PC の IP アドレスの指定を確認してください。

詳細コード
307

KEEY308-E

出力先拠点サーバが特定できません。

要因

出力先に指定した拠点サーバ（スプールサーバ）が見つかりません。

対処

- 出力先定義を確認してください。
- 出力先定義にデフォルト出力先の定義があるかどうかを確認してください。
- 出力先の指定を確認してください。

詳細コード
308

KEEY309-S

ソケットの接続要求の受け入れに失敗しました。

要因

ソケット接続エラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
309

KEEY310-E

EUR Print Service の起動に失敗しました。

要因

EUR Print Service が起動できません。

対処

EUR Print Service が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード
310

KEEY311-E

PDF 仕分け定義ファイルの作成に失敗しました。

要因

PDF 仕分け定義ファイルが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

311

KEEY312-E

PDF 仕分け定義ファイルの削除に失敗しました。

要因

PDF 仕分け定義ファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード

312

KEEY313-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

313

KEEY314-S

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリ不足が発生しました。

対処

ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと、再度 EUR Server Service を実行してください。また、必要に応じてメモリを増設してください。

詳細コード

314

KEEY315-E

一時フォルダの作成に失敗しました。

要因

一時フォルダが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

315

KEEY316-E

原因不明のエラーで処理が中断されました。EUR Server Adapter の状態を確認してください。

要因

- EUR Server - Adapter とのデータ送受信中にエラーが発生したため、処理が中断されました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server - Adapter を実行する業務アプリケーションが起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

KEEY317-E

原因不明のエラーで処理が中断されました。EUR Spool Service の状態を確認してください。

要因

- スプールサーバとのデータ送受信中にエラーが発生したため、処理が中断されました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server - Spool Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

KEEY318-E

原因不明のエラーで処理が中断されました。EUR Client Service の状態を確認してください。

要因

- クライアント PC とのデータ送受信中にエラーが発生したため、処理が中断されました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Client Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

KEY322-S

システムエラーが発生しました。

要因

プロセスのデーモン化に失敗しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

322

KEY323-E

一時フォルダの削除に失敗しました。

要因

一時フォルダが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダの削除権限を確認してください。

詳細コード

323

KEY324-E

指定された Acrobat JavaScript 定義ファイルが存在しません。

要因

Acrobat JavaScript 定義ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの SCRIPTCNT キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。

- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード
324

KEEY325-E

指定されたビューアプレファレンス定義ファイルが存在しません。

要因

ビューアプレファレンス定義ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの PREFERENCE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード
325

KEEY327-E

プロセス管理ファイルの削除でエラーが発生しました。

要因

プロセス管理ファイルの削除でエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCTRL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダの削除権限を確認してください。

詳細コード
327

KEEY328-E

プロセス管理ファイルの書き込みでエラーが発生しました。

要因

プロセス管理ファイルの書き込みでエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMCTRL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード
328

KEEY329-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

329

KEEY330-E

EUR Server Service と EUR Client Service との間で通信エラーが発生しました。

要因

- EUR Server Service と EUR Client Service との通信中にエラーが発生しました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Client Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再実行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

詳細コード

330

KEEY331-E

指定された統合対象 EPF 形式ファイルのサイズの合計が上限値 (2GB) を超えています。

要因

統合対象の EPF 形式ファイルを印刷用データ形式に変換したときのファイルサイズの合計が、上限の 2GB を超えているため、統合処理でエラーが発生しました。

対処

統合対象の EPF 形式ファイルの数を減らして、再度実行してください。

詳細コード

331

KEEY332-E

指定された統合対象 EPF 形式ファイルはファイル出力環境が異なります。

要因

解像度 (DPI 値) が異なる印刷データ (EPF 形式ファイル) を統合しようとしたため、統合処理でエ

ラーが発生しました。

対処

- 統合対象の EPF 形式ファイルを出力し直してください。
- 同じ解像度 (DPI 値) で出力した EPF 形式ファイルだけを統合対象に指定して、再度実行してください。

詳細コード

332

KEEY333-E

ページ数の合計が上限値 (999,999 ページ) を超えています。

要因

統合対象の EPF 形式ファイルのページ数の合計が、上限の 999,999 ページを超えているため、統合処理でエラーが発生しました。

対処

統合対象の EPF 形式ファイルの数を減らして、再度実行してください。

詳細コード

333

KEEY334-E

指定された統合対象 EPF 形式ファイルのフォーマットが不正です。

要因

統合対象の EPF 形式ファイルの形式に誤りがあるため、統合処理でエラーが発生しました。

対処

EPF 形式ファイル以外のファイルを指定していないかを確認してください。

詳細コード

334

KEEY335-E

EUR Server Service と EUR Spool Service との間で通信エラーが発生しました。

要因

- EUR Server Service と EUR Server - Spool Service との通信中にエラーが発生しました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server - Spool Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

詳細コード
335

KEEY336-E

古いバージョンの EUR Print Service がインストールされています。

要因
EUR Print Service のバージョンが不正です。

対処
前提環境のバージョンの EUR Print Service をインストールしてください。

詳細コード
336

KEEY337-E

EUR Print Service を実行しているときにエラーが発生しました。

要因
EUR Print Service が実行できません。

対処
EUR Print Service のイベントログ，または eurps ログを参照してください。

詳細コード
337

KEEY338-E

複数 EPF 形式ファイルの統合処理に失敗しました。

要因
EPF 形式ファイルの統合中に内部処理でエラーが発生しました。

対処
ログファイルを採取して，システム管理者に連絡してください。ログファイルについては，マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
338

KEEY339-E

指定された帳票ファイルが存在しません。

要因
帳票ファイルがありません。

対処
• 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの FORM キーに指定されているフォルダを

確認してください。

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- フォルダの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

339

KEEY340-S

システムエラーが発生しました。

要因

初期化中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY341-S

システムエラーが発生しました。

要因

初期化中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY342-S

ハンドラがインストールされていません。

要因

サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY343-I

サービスを停止しました。(Windows 環境の場合)

The service was stopped. (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

サービスが停止されました。

KEEY344-S

不正なサービス要求です。

要因

サービス制御イベントの振り分け中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY345-I

サービスを開始しました。(Windows 環境の場合)

The service was started. (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

サービスが開始されました。

KEEY346-S

サービスマネージャーを開けません。

要因

サービスの制御中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY347-S

サービスをオープンできません。

要因

サービスの制御中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY348-S

サービスを開始できません。

要因

サービスの起動中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY349-S

サービスを作成できません。

要因

サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY350-S

サービスを削除できません。

要因

サービスの登録解除中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY351-S

サービスを定義できません。

要因

サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY352-S

環境設定ファイルに不正があります。詳細コード = [nnnnnn] (Windows 環境の場合)

Environment setting file is invalid. Detailed code =[nnnnnn] (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

次の要因が考えられます。

- 環境設定ファイルがありません。
- 環境設定ファイルに読み込み権限がありません。
- 環境設定ファイルの必須項目が指定されていません。

対処

詳細コード (nnnnnn) に従って、環境設定ファイルを見直してください。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

KEEY353-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。(Windows 環境の場合)

Failed to write to the log file. (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

ログファイルが書き込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。

- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

KEEY354-S

システムエラーが発生しました。(Windows 環境の場合)

A system error occurred. (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

初期化中に内部処理でエラーが発生しました。
ポート番号がすでに使用されています。

対処

- ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PORT セクションの EURPM キーに指定されているポート番号を確認してください。
- Server Service 制御コマンド (eurpmctrl コマンド) で登録情報を確認し、EUR Server Service の起動管理定義を見直してください。

KEEY355-I

ジョブを起動しました。

要因

指定したジョブが起動しました。

KEEY356-I

ジョブを終了しました。

要因

指定したジョブが終了しました。

KEEY357-W

ログファイルのオープンに失敗しました。(Windows 環境の場合)

Failed to write to the log file. (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

ログファイルがオープンできません。

対処

- 環境設定ファイルの ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- EUR Server Service 以外のプログラムがログファイルをオープンしていないか、確認してください。

KEEY358-E

指定された EUR Print Service の環境設定ファイルが存在しません。

要因

環境設定ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの EURPSENV キーに指定されているフォルダを確認してください。
- 起動部品または環境設定ファイル (EURPM.ini) の ENV セクションの PSENVFILENAME キーに指定されているファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

358

KEEY359-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因

帳票サーバの起動時に、内部処理でエラーが発生しました。
なお、nnn には保守情報が表示されます。

対処

EUR Server をインストールし直してください。

詳細コード

359

KEEY360-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

360

KEEY361-E

印刷管理サーバプリンタクラス定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

印刷管理サーバプリンタクラス定義ファイル (帳票サーバプリンタクラス定義ファイル) が読み込め

ません。

対処

- 環境設定ファイルの PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

361

KEEY362-E

印刷管理サーバプリンタクラス定義ファイルが存在しません。

要因

印刷管理サーバプリンタクラス定義ファイル（帳票サーバプリンタクラス定義ファイル）がありません。

対処

- 環境設定ファイル（EURPM.ini）の PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

362

KEEY363-E

出力プリンタが存在しません。

要因

帳票サーバのプリンタクラス定義によって決定したプリンタ名が、OS 上に登録されていません。

対処

- 帳票サーバのプリンタクラス定義を確認してください。
- OS のプリンタ登録名を確認してください。

詳細コード

363

KEEY364-E

指定されたプリンタ名が存在しません。

要因

指定されたプリンタ名が OS 上に登録されていません。

対処

- 指定した帳票サーバのプリンタ名を確認してください。
- OS のプリンタ登録名を確認してください。

詳細コード
364

KEEY365-E

プリンタ情報の取得または設定に失敗しました。

要因

プリンタ情報の取得または設定で、エラーが発生しました。

対処

- プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。
- プリンタが存在するかどうかを確認してください。
- プリンタの名称が Shift-JIS エンコーディングで表現されているかを確認してください。
- トレイ名を直接指定している場合は、プリンタに指定したトレイ名が存在するかどうかを確認してください。

詳細コード
365

KEEY366-E

出力先プリンタが特定できません。

要因

出力先プリンタが特定できません。

対処

- 帳票サーバのプリンタクラス定義を確認してください。
- 帳票サーバのプリンタクラスにデフォルトプリンタクラスの定義があるか、確認してください。
- プリンタクラスの指定値を確認してください。

詳細コード
366

KEEY367-E

EUR Server Service が UNIX/Linux の場合は使用できません。

要因

帳票サーバが UNIX / Linux 環境のため、エラーが発生しました。

対処

次の機能は、帳票サーバが UNIX / Linux 環境の場合、使用できません。

- 帳票サーバのプリンター一覧取得機能
- 帳票サーバのトレイ一覧取得機能

詳細コード
367

KEEY368-E

指定された印刷日時出力定義ファイルが存在しません。

要因

印刷日時出力定義ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの PRINTDATE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- 起動部品または環境設定ファイル (EURPM.ini) の FILE セクションの PRINTDATE キーに指定されているファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

368

KEEY369-E

仕分け / 分割実行時の一時ファイルの操作に失敗しました。

要因

一時ファイルを作成, または削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード

369

KEEY370-E

指定した仕分け定義ファイルに該当するデータの定義がありません。

要因

仕分け定義ファイルの指定内容と一致するページがないため, 帳票を出力できません。

対処

- 仕分け定義ファイルの内容を確認してください。
- マッピングデータファイルの内容を確認してください。

詳細コード

370

KEEY371-E

仕分け / 分割定義ファイルが指定されていません。

要因

仕分け定義ファイル, または分割定義ファイルが指定されていません。

対処

- EUR Server Service のサービスごとに仕分けや分割をする場合
環境設定ファイル (EURPM.ini) の FILE セクションの SPLIT キーの指定を見直してください。
- 印刷ジョブごとに仕分けや分割をする場合
プロパティの指定を見直してください。
- 仕分けや分割をしない場合
プロパティの指定, および環境設定ファイル (EURPM.ini) の OPTION セクションの SPLITMODE キーの指定を見直してください。

詳細コード

371

KEEY372-E

指定された仕分け / 分割定義ファイルが存在しません。

要因

仕分け定義ファイル, または分割定義ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの SPLIT キーに指定されているフォルダを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の FILE セクションの SPLIT キーに指定されているファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。
- 印刷ジョブごとに仕分けや分割をする場合は, プロパティの指定を見直してください。
- 仕分けや分割をしない場合は, プロパティの指定, および環境設定ファイル (EURPM.ini) の OPTION セクションの SPLITMODE キーの指定を見直してください。

詳細コード

372

KEEY373-E

指定された印刷先は存在しません。

要因

次の要因が考えられます。

- 仕分け定義ファイル, または分割定義ファイルで指定した印刷先が, 印刷先定義ファイルで定義されていません。
- 印刷先定義ファイルの形式に誤りがあります。
- 印刷先定義ファイルが読み込めません。

対処

- 仕分け定義ファイル, 分割定義ファイル, および印刷先定義ファイルの内容を確認してください。
- 印刷先定義ファイルがあるかどうかを確認してください。
- 印刷先定義ファイルの読み込み権限を確認してください。

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。

詳細コード
373

KEEY374-E

指定された複数様式情報定義ファイルが存在しません。

要因
複数様式情報定義ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの MULTI キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード
374

KEEY375-E

転送データファイルの作成に失敗しました。

要因
転送データファイルが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード
375

KEEY376-E

転送データファイルの削除に失敗しました。

要因
転送データファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの書き込み権限を確認してください。

詳細コード
376

KEEY377-E

帳票セット指定ファイルの作成に失敗しました。

要因

帳票セット指定ファイルが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

377

KEEY378-E

帳票セット指定ファイルの削除に失敗しました。

要因

帳票セット指定ファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード

378

KEEY379-E

バージョン不整合を検知しました。

要因

EUR Server - Adapter , EUR Server - Spool Service , または EUR Client のバージョンが不一致です。

対処

正しいバージョンの製品をインストールしてください。

詳細コード

379

KEEY380-W

仕分け定義ファイルに指定していないデータがあります。

要因

仕分けして蓄積しようとした帳票に、不一致ページ (仕分け定義ファイルで指定した仕分けキーフィールド名のデータと一致しないデータが現れたページ)、または総集計ページがあります。このメッセージは、仕分け定義ファイルで不一致ページ、および総集計ページを出力しない設定にし

ている場合に出力されます。

対処

- 仕分け定義ファイルの内容を確認してください。
- 不一致ページが出力されないように帳票を設計している場合は、マッピングデータファイルの内容を確認してください。

詳細コード

380

KEEY381-E

仕分け / 分割指定した蓄積実行中に印刷先 [AAAA] でエラーが発生しました。(nnn)

処理が完了しているジョブはありません。

要因

蓄積処理中にエラーが発生しました。

AAAA : 印刷先名

nnn : エラーコード

対処

エラーコード (nnn) に対応するメッセージの説明を参照して、必要な対処を実施してください。

詳細コード

381

KEEY382-E

EUR Server Service でコネクション数が限界値をオーバーしました。

要因

同時に接続できる帳票サーバの最大数を超過しています。

対処

再度実行してください。

詳細コード

382

KEEY384-E

指定した文書情報設定ファイルが存在しません。

要因

文書情報設定ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの DOCINFO キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード
384

KEEY386-E

文書情報設定ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

文書情報設定ファイルが読み込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの DOCINFO キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード
386

KEEY387-W

仕分け / 分割指定した蓄積実行中に印刷先 [AAAA] でエラーが発生しました。(nnn)

N/M ジョブの処理が完了しました。

要因

蓄積処理中にエラーが発生しました。蓄積処理が完了していない印刷ジョブがあります。

AAAA : 印刷先名

nnn : エラーコード

M : すべての印刷ジョブ数

N : 蓄積完了ジョブ数

対処

エラーコード (nnn) に対応するメッセージの説明を参照して、必要な対処を実施してください。

詳細コード
387

KEEY388-S

EUR Print Service がインストールされていません。詳細コード = [nnnnnn] (Windows 環境の場合)

EUR Print Service is not installed.Detailed code = [nnnnnn] (UNIX / Linux 環境の場合)

要因

次の要因が考えられます。

- レジストリに不正があります。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。
- EUR Print Service が正しくインストールされていません。

対処

EUR Print Service が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード

388

KEEY389-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

レジストリに不正があります。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード

389

KEEY390-S

サービスを停止できません。

要因

サービスの停止中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY391-E

指定された仕分け / 分割定義ファイルのフォーマットが不正です。

要因

仕分け定義ファイル、または分割定義ファイルの形式に誤りがあります。

対処

ファイルの内容を確認してください。

詳細コード

391

KEEY392-E

指定された置き換え表管理情報ファイルが存在しません。

要因

置き換え表管理情報ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの REPLACEITEM キーに指定されている

フォルダを確認してください。

- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

392

KEEY393-W

EUR Print Service を実行しているときに警告が発生しました。

要因

EUR Print Service で警告が発生しました。

対処

EUR Print Service のイベントログ，または eurps ログを参照してください。

詳細コード

393

KEEY394-E

指定された接続情報ファイルが存在しません。

要因

接続情報ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの DBINFO キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

394

KEEY395-E

文書しおり定義ファイルの作成に失敗しました。

要因

文書しおり定義ファイルが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード
395

KEEY396-E

文書しおり定義ファイルの削除に失敗しました。

要因

文書しおり定義ファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード
396

KEEY397-E

暗号化設定ファイルの作成に失敗しました。

要因

暗号化設定ファイルが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード
397

KEEY398-E

暗号化設定ファイルの削除に失敗しました。

要因

暗号化設定ファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード
398

KEEY399-E

仕分け / 分割定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

仕分け定義ファイル，または分割定義ファイルが読み込めません。

対処

- プロパティの指定を見直してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の PATH セクションの SPLIT キー，および TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の FILE セクションの SPLIT キーに指定されているファイル名が正しいかどうかを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

399

29 KEEY401 ~ KEEY499

KEEY401 ~ KEEY499 のメッセージについて説明します。

29.1 KEEY401 ~ KEEY499 のメッセージ

29.1 KEEY401 ~ KEEY499 のメッセージ

KEEY401-E

拠点プリンタクラス定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

拠点プリンタクラス定義ファイルが読み込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

401

KEEY402-S

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリが不足しています。

対処

- ほかのアプリケーションを終了してください。
- メモリを増設してください。

詳細コード

402

KEEY403-E

古いバージョンの EUR Print Service がインストールされています。

要因

EUR Print Service のバージョンが不正です。

対処

前提環境のバージョンの EUR Print Service をインストールしてください。

詳細コード

403

KEEY404-E

一時フォルダの作成に失敗しました。

要因

一時フォルダが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

404

KEEY405-E

出力プリンタが存在しません。

要因

拠点プリンタクラス定義で指定したプリンタ名がスプールサーバに登録されていません。

対処

- 拠点プリンタクラスの設定を確認してください。
- スプールサーバに登録されたプリンタ名を確認してください。

詳細コード

405

KEEY406-E

指定されたプリンタ名が存在しません。

要因

指定されたプリンタ名がスプールサーバに登録されていません。

対処

- 指定したスプールサーバのプリンタ名を確認してください。
- スプールサーバに登録されたプリンタ名を確認してください。

詳細コード

406

KEEY407-E

拠点プリンタクラス定義ファイルが存在しません。

要因

拠点プリンタクラス定義ファイルがありません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルがあるかどうかを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

407

KEEY408-E

印刷ジョブの開始に失敗しました。

要因

印刷が実行できないため、指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

408

KEEY409-E

印刷ページの追加に失敗しました。

要因

印刷ページの追加ができないため、指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

409

KEEY410-E

印刷に失敗しました。

要因

指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

410

KEEY411-E

印刷ページの終了に失敗しました。

要因

印刷ページの終了ができないため、指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

411

KEEY412-E

印刷ジョブの終了に失敗しました。

要因

印刷が終了できないため、指定したプリンタで印刷できません。

対処

プリンタが印刷できる状態になっているかを確認してください。

詳細コード

412

KEEY413-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

413

KEEY414-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

414

KEEY415-E

プリンタ情報の取得または設定に失敗しました。

要因

次の要因が考えられます。

- プリンタ情報が取得できません。
- プリンタの設定に誤りがあります。

対処

- プリンタドライバが正しくインストールされているかを確認してください。
- プリンタが存在するかどうかを確認してください。

- プリンタの名称が Shift-JIS エンコーディングで表現されているかを確認してください。

詳細コード

415

KEEY416-E

出力先プリンタが特定できません。

要因

出力先に指定したプリンタが見つかりません。

対処

- 拠点プリンタクラスの設定を確認してください。
- 拠点プリンタクラスにデフォルトプリンタクラスが定義されているかを確認してください。
- 拠点プリンタクラスの指定値を確認してください。

詳細コード

416

KEEY417-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

417

KEEY418-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

418

KEEY419-E

EUR Print Service の起動に失敗しました。

要因

EUR Print Service が起動できません。

対処

EUR Print Service が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード

419

KEEY420-E

印刷データファイルの削除に失敗しました。

要因

印刷データファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード

420

KEEY421-E

一時フォルダの削除に失敗しました。

要因

一時フォルダが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダの削除権限を確認してください。

詳細コード

421

KEEY422-E

EPF 形式ファイルの解析中にエラーが発生しました。

要因

EPF 形式ファイルの解析時にエラーが発生しました。

対処

出力されている EPF 形式ファイルとログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。
ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

422

KEEY423-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

423

KEEY424-I

ジョブを起動しました。

要因

指定したジョブが起動しました。

KEEY425-I

ジョブを終了しました。

要因

指定したジョブが終了しました。

KEEY426-E

原因不明のエラーで処理が中断されました。EUR Server Service または EUR Spool Service Adapter の状態を確認してください。

要因

- 帳票サーバまたはアダプタとのデータ送受信中にエラーが発生したため、処理が中断されました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server Service が起動されているかを確認してください。
- EUR Server - Spool Service Adapter を実行するユーザプログラムが起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

詳細コード

426

KEEY427-S

ソケットの接続要求の受け入れに失敗しました。

要因

ソケット接続エラーが発生しました。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

427

KEEY428-E

蓄積ファイルの作成に失敗しました。

要因

蓄積ファイル（スプールデータ）が作成できません。

対処

- 環境設定ファイル（EURPMLS.ini）の PATH セクションの ESF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。
- 複数の EUR Server - Spool Service が蓄積フォルダを共有している場合、環境設定ファイル（EURPMLS.ini）の OPTION セクションに指定されている ESFID キーの値が EUR Server - Spool Service 間で重複していないかを確認してください。

詳細コード

428

KEEY429-E

蓄積ファイルの削除に失敗しました。（ジョブ ID）

要因

蓄積ファイル（スプールデータ）が削除できません。

対処

- 環境設定ファイル（EURPMLS.ini）の PATH セクションの ESF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ジョブ ID で示されるスプールデータの削除権限を確認してください。

詳細コード

429

KEEY430-S

蓄積ファイルの上限を超えました。

要因

蓄積ファイル（スプールデータ）の最大数を超えています。

対処

スプールサーバに格納するスプールデータの数を見直して、システム構成を変更してください。

詳細コード

430

KEEY431-E

指定されたジョブ ID の蓄積ファイルは存在しません。（ジョブ ID）

要因

すでに削除した蓄積ファイル（スプールデータ）のジョブ ID が指定されています。

対処

指定したジョブ ID に誤りがないかを確認してください。

詳細コード

431

KEEY432-E

指定した印刷方式は実行が許可されていません。（ジョブ ID）

要因

実行が許可されていない印刷方式が指定されています。

対処

- 指定した印刷方式を確認してください。
- ジョブ ID で示されるスプールデータの実行可能印刷方式を確認してください。

詳細コード

432

KEEY433-E

印刷データファイルの作成に失敗しました。

要因

印刷データファイルが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル（EURPMLS.ini）の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

433

KEEY434-E

蓄積ファイルの印刷実行回数が印刷上限回数を超えるため印刷できません。(ジョブ ID)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)の印刷実行回数が印刷上限回数を超過しました。

対処

ジョブ ID で示されるスプールデータの印刷上限回数を見直してください。必要があれば印刷上限回数を変更してください。

詳細コード

434

KEEY435-E

蓄積ファイルは取得不可属性のため取得できません。(ジョブ ID)

要因

取得属性が取得不可の蓄積ファイル(スプールデータ)が指定されています。

対処

ジョブ ID で示されるスプールデータの取得属性を見直してください。必要があれば取得属性を変更してください。

詳細コード

435

KEEY436-E

蓄積期限日に過去の日付は指定できません。

要因

蓄積できません。

対処

蓄積期限日を蓄積する日以降に設定してください。

詳細コード

436

KEEY437-E

EUR Print Service を実行しているときにエラーが発生しました。

要因

EUR Print Service が実行できません。

対処

EUR Print Service のイベントログ, または eurps ログを参照してください。

詳細コード

437

KEEY438-E

EUR 形式ファイルの解凍に失敗しました。

要因

EUR 形式ファイルが解凍できません。

対処

出力されている EUR 形式ファイルとログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。
ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

438

KEEY439-E

EUR 形式ファイルの解凍一時ファイルの削除に失敗しました。

要因

EUR 形式ファイルの解凍一時ファイルが削除できません。

対処

出力されている EUR 形式ファイルとログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。
ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

439

KEEY440-E

帳票振り分け定義ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

帳票振り分け定義ファイルが読み込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

440

KEEY441-W

EUR Print Service を実行しているときに警告が発生しました。

要因

EUR Print Service で警告が発生しました。

対処

EUR Print Service のイベントログ、または eurps ログを参照してください。

詳細コード
441

KEEY442-S

システムエラーが発生しました。

要因

初期化中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY443-S

システムエラーが発生しました。

要因

初期化中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY444-S

ハンドラがインストールされていません。

要因

サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY445-I

サービスを停止しました。

要因

サービスを停止しました。

KEEY446-S

不正なサービス要求です。

要因

サービス制御イベントの振り分け中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY447-I

サービスを開始しました。

要因

サービスを開始しました。

KEEY448-S

サービスマネージャーを開けません。

要因

サービスの制御中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY449-S

サービスをオープンできません。

要因

サービスの制御中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY450-S

サービスを開始できません。

要因

サービスの起動中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY451-S

サービスを作成できません。

要因

サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY452-S

サービスを削除できません。

要因

サービスの登録解除中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY453-S

サービスを定義できません。

要因

サービスの登録中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY454-S

環境設定ファイルに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

次の要因が考えられます。

- 環境設定ファイルがありません。
- 環境設定ファイルに読み込み権限がありません。
- 環境設定ファイルの必須項目が指定されていません。

対処

詳細コード (nnnnnn) に従って、環境設定ファイルを見直してください。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

KEEY455-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。

要因

ログファイルに書き込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

KEEY456-S

システムエラーが発生しました。

要因

初期化中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについ

ては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

KEEY457-E

印刷データファイルの読み込みに失敗しました。

要因

印刷データファイルが読み込めません。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

457

KEEY458-E

EUR Client Service への接続に失敗しました。

要因

EUR Server - Spool Service と EUR Client Service との通信中にエラーが発生しました。

対処

- EUR Client Service が起動されているかを確認してください。
- クライアント PC の IP アドレスの指定を確認してください。

詳細コード

458

KEEY459-E

EUR Spool Service と EUR Client Service との間で通信エラーが発生しました。

要因

- EUR Server - Spool Service と EUR Client Service との通信中にエラーが発生しました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Client Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

詳細コード

459

KEEY460-E

蓄積ファイルの読み込みに失敗しました。(ジョブ ID)

要因

蓄積ファイル（スプールデータ）が読み込めません。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

460

KEEY461-E

蓄積ファイルの書き込みに失敗しました。（ジョブ ID）

要因

蓄積ファイル（スプールデータ）の出力中にエラーが発生しました。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

461

KEEY462-E

原因不明のエラーで処理が中断されました。EUR Client Service の状態を確認してください。

要因

- クライアントとのデータ送受信中に、原因不明のエラーで処理が中断されました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Client Service が起動されているかどうかを確認してください。
- 環境設定ファイル（EURPMLS.ini）の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく（8 ~ 64）して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

詳細コード

462

KEEY463-E

EPF 形式ファイル印刷機能の起動に失敗しました。

要因

EPF 形式ファイル印刷機能のプロセス起動時にエラーが発生しました。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
463

KEEY464-E

EPF 形式ファイル印刷を実行しているときにエラーが発生しました。

要因

EPF 形式ファイル印刷機能のプロセス起動時にエラーが発生しました。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード
464

KEEY465-W

ログファイルのオープンに失敗しました。

要因

ログファイルをオープンできませんでした。

対処

- 環境設定ファイルの ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。
- EUR Server 製品以外のプログラムがログファイルをオープンしていないか、確認してください。

KEEY466-I

EUR Client Service でエラーが発生しました。内容 =(内容) ユーザ名 =(ユーザ名) ジョブ ID=(ジョブ ID)

要因

EUR Client Service で印刷時に出力先が不明、または印刷エラーが発生しました。

対処

- 帳票に指定したプリンタクラスがクライアントの構成定義に定義されているか確認してください。
- クライアントの構成定義に指定されているプリンタが正しくインストールされているか確認してください。

KEEY467-E

帳票セット指定ファイルの作成に失敗しました。

要因

帳票セット指定ファイルを作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

467

KEEY468-E

帳票セット指定ファイルの削除に失敗しました。

要因

帳票セット指定ファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード

468

KEEY469-E

帳票セット指定ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

帳票セット指定ファイルが読み込めません。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

469

KEEY470-S

システムエラーが発生しました。

要因

帳票セット指定ファイルの解析中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

出力されているログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

470

KEEY471-W

ユーザの認証に失敗しました。

要因

ユーザの認証に失敗しました。

対処

- ユーザ定義を見直してください。
- 指定したユーザ名および確認キーを確認してください。

詳細コード

471

KEEY472-S

システムエラーが発生しました。

要因

データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

472

KEEY473-S

システムエラーが発生しました。

要因

UNIX / Linux 環境で表示されるメッセージです。
プロセスのデーモン化に失敗しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

473

KEEY475-E

プロセス管理ファイルの削除でエラーが発生しました。

要因

UNIX / Linux 環境で表示されるメッセージです。
プロセス管理ファイルの削除でエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLCTRL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- フォルダの削除権限を確認してください。

詳細コード
475

KEY476-E

プロセス管理ファイルの書き込みでエラーが発生しました。

要因

UNIX / Linux 環境で表示されるメッセージです。
プロセス管理ファイルの書き込みでエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLCTRL.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード
476

KEY477-E

バージョン不整合を検知しました。

要因

EUR Server Service と EUR Server - Spool Service のバージョンが不一致です。

対処

バージョン番号を確認してください。

詳細コード
477

KEY478-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因

スプールサーバの起動時に、内部処理でエラーが発生しました。
なお、nnn には保守情報が表示されます。

対処

EUR Server - Spool Service をインストールし直してください。

詳細コード
478

KEY479-E

EUR Spool Service で接続数が増え、限界値をオーバーしました。

要因

同時に接続できるスプールサーバの最大数を超えています。

対処

再度実行してください。

詳細コード

479

KEEY484-E

指定されたファイルサイズの合計が上限値 (2GB) を超えています。

要因

統合対象の蓄積ファイル (スプールデータ) を印刷用データ形式に変換したときのファイルサイズの合計が、上限の 2GB を超えているため、統合処理でエラーが発生しました。

対処

統合対象のスプールデータの数を減らして、再度実行してください。

詳細コード

484

KEEY485-E

指定されたファイルはファイル出力環境が異なります。

要因

解像度 (DPI 値) が異なる印刷データを統合しようとしたため、統合処理でエラーが発生しました。

対処

- 統合対象の蓄積ファイル (スプールデータ) を出力し直してください。
- 同じ解像度 (DPI 値) で出力したスプールデータだけを統合対象に指定して、再度実行してください。

詳細コード

485

KEEY486-E

ページ数の合計が上限値 (999,999 ページ) を超えています。

要因

統合対象の蓄積ファイル (スプールデータ) のページ数の合計が、上限の 999,999 ページを超えているため、統合処理でエラーが発生しました。

対処

統合対象のスプールデータの数を減らして、再度実行してください。

詳細コード

486

KEEY487-E

ログイン処理でエラーが発生しました。

要因

ログイン処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

487

KEEY488-E

文書情報設定ファイル作成に失敗しました。

要因

文書情報設定ファイルが作成できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

488

KEEY489-E

文書情報設定ファイルの削除に失敗しました。

要因

文書情報設定ファイルが削除できません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの削除権限を確認してください。

詳細コード

489

KEEY490-E

分割取得一時ファイルに不正がありました。

要因

スプールデータの一覧を取得するときに、作業用ファイルの作成、読み込み、または書き込みでエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の OPTION セクションに指定されている SPLOUTLINELIMIT キーの値を大きくして再試行してください。

詳細コード

490

KEEY491-S

EUR Print Service がインストールされていません。詳細コード = [nnnnnn]

要因

次の要因が考えられます。

- レジストリが不正です。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。
- EUR Print Service が正しくインストールされていません。

対処

EUR Print Service が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード

491

KEEY492-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

レジストリが不正です。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コードについては、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード

492

KEEY493-S

サービスを停止できません。

要因

サービスの停止中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

KEEY494-E

EUR Spool Service が UNIX/Linux の場合は使用できません。

要因

スプールサーバが UNIX / Linux 環境のため、エラーが発生しました。

対処

スプールサーバが UNIX / Linux 環境の場合、次の操作はできません。

- スプールサーバでの印刷
- 拠点プリンタクラスの設定
- 帳票振り分け定義の設定
- スプールサーバの拠点プリンタクラスの一覧取得
- スプールサーバのプリンタの一覧取得
- スプールサーバのプリンタのトレイの一覧取得
- LDAP 認証機能

詳細コード

494

KEEY495-E

ユーザ管理ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

ユーザ管理ファイルが読み込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの読み込み権限を確認してください。

詳細コード

495

KEEY496-E

配送帳票の操作中にエラーが発生しました。

要因

配送印刷する帳票の更新でエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の PATH セクションの POB キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ファイルの書き込み権限、および削除権限を確認してください。

詳細コード

496

KEEY497-E

宛先定義ファイルの読み込みに失敗しました。(詳細メッセージ)

要因

宛先定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました。
詳細メッセージの内容を次に示します。

- システムエラー
- ファイルオープンエラー
- フォーマット不正 [(行),(列),(要因)]

フォーマット不正の要因に表示される内容と意味を次に示します。

区切り文字混在：コンマとタブが混在しています。

行数上限：定義された宛先の行数が上限を超えています。

ユーザ数上限：定義された宛先のユーザ数が上限を超えています。

禁止文字：禁止文字を使用しています。

未指定：要素の指定がありません。

文字上限：文字数の上限を超えています。

対処

- 宛先定義ファイルのフォーマットが正しいかどうかを確認してください。
- 宛先定義ファイルに禁止文字を使用していないかどうかを確認してください。
- ファイルのアクセス権限を確認してください。

詳細コード

497

KEEY498-E

LDAP サーバへの接続に失敗しました。

要因

LDAP サーバへの接続でエラーが発生しました。

対処

- LDAP サーバの URL が正しいかどうかを確認してください。
- LDAP サーバにアクセスできるかどうかを確認してください。
- LDAP サーバ接続の認証用のユーザ ID またはパスワードが正しいかどうかを確認してください。

詳細コード

498

KEEY499-W

操作ユーザはユーザ管理ファイルに定義されていません。

要因

ユーザがユーザ管理ファイルに定義されていません。

対処

ユーザ管理ファイルでユーザが定義されているかどうかを確認してください。

詳細コード
499

30 KEEY501 ~ KEEY599

KEEY501 ~ KEEY599 のメッセージについて説明します。

30.1 KEEY501 ~ KEEY599 のメッセージ

30.1 KEEY501 ~ KEEY599 のメッセージ

KEEY501-E

プロパティ (プロパティ名) の指定値に誤りがあります。

要因

プロパティの指定値が不正です。

対処

プロパティの指定を見直してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-501

SS-Java 起動部品
501

KEEY502-E

プロパティ (プロパティ名) が指定されていません。

要因

必須のプロパティの値が指定されていません。

対処

プロパティの指定を見直してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-502

SS-Java 起動部品
502

KEEY503-E

原因不明のエラーで処理が中断されました。EUR Spool Service の状態を確認してください。

要因

- スプールサーバとのデータ送受信中にエラーが発生したため、処理が中断されました。
- バッファが不足したため、ソケット通信でエラーが発生しました。

対処

- EUR Server - Spool Service が起動されているかを確認してください。
- 環境設定ファイル (EURPMLSADP.ini) の OPTION セクションに指定されている SOCKBUFFSIZE キーの値を小さく (8 ~ 64) して再試行してください。
なお、指定した値によっては、通信性能が変わることがあります。通信性能が劣化する場合は値を変更してチューニングしてください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-503

SS-Java 起動部品
503

KEY504-E

印刷開始ページの入力値が印刷終了ページの入力値より大きいです。

要因

- SS-ActiveX 起動部品の場合
PrintStartPage プロパティ (印刷開始ページ) の指定値が, PrintEndPage プロパティ (印刷終了ページ) の指定値よりも大きい。
- SS-Java 起動部品の場合
setPrintStartPage メソッド (印刷開始ページ) の指定値が, setPrintEndPage メソッド (印刷終了ページ) の指定値よりも大きい。

対処

指定値が正しいかを確認するため, システム管理者に連絡してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-504

SS-Java 起動部品
504

KEY505-S

環境設定ファイルに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

次の要因が考えられます。

- 環境設定ファイルがありません。
- 環境設定ファイルに読み込み権限がありません。
- 環境設定ファイルの必須項目が指定されていません。

対処

詳細コード (nnnnnn) に従って, 環境設定ファイル (EURPMLSADP.ini) を見直してください。詳細コードについては, 「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-505

SS-Java 起動部品
505

KEEY506-S

ログファイルの書き込みに失敗しました。

要因

ログファイルに書き込めません。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLSADP.ini) の ERROR セクションの LOGFILE キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

注

EUR Server - Spool Service Adapter の実行ユーザがインターネットゲストアカウント (IUSR_XXXXX) の場合、ログファイル (EURPMLSADP.log) のデフォルトの出力先 (EUR Server - Spool Service Adapter のインストールフォルダ下の Log フォルダ) には書き込み権限がありません。インターネットゲストアカウントに書き込み権限を与えるか、インターネットゲストアカウントに書き込み権限がある別のフォルダを指定してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-506

SS-Java 起動部品
506

KEEY507-E

EUR Spool Service への接続に失敗しました。

要因

EUR Server - Spool Service との通信でエラーが発生しました。

対処

- プロパティの指定を見直してください。
- 環境設定ファイル (EURPMLSADP.ini) の IPADDRESS セクションの EURPMLS キーに指定されている IP アドレスを確認してください。
- EUR Server - Spool Service が起動されているかを確認してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-507

SS-Java 起動部品
507

KEEY508-I

ジョブを起動しました。

要因

指定したジョブが起動しました。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-508

SS-Java 起動部品
508

KEEY509-I

ジョブを終了しました。

要因

指定したジョブが終了しました。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-509

SS-Java 起動部品
509

KEEY510-S

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリが不足しています。

対処

- ほかのアプリケーションを終了してください。
- メモリを増設してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-510

SS-Java 起動部品
510

KEEY511-E

通信タイムアウトが発生しました。

要因

通信中にタイムアウトになりました。

対処

- 環境設定ファイル (EURPMLSADP.ini) の TIMEOUT セクションの各キーに指定されている値を修正してください。
- EUR Server - Spool Service が起動されているかを確認してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-511

SS-Java 起動部品
511

KEEY512-S

システムエラーが発生しました。

要因

次の要因が考えられます。

- 初期化中に内部処理でエラーが発生しました。
- データの送受信中に内部処理でエラーが発生しました。
- 内部テーブルの操作中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-512

SS-Java 起動部品
512

KEEY513-E

蓄積ファイル一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)一覧を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-513

SS-Java 起動部品
513

KEEY515-E

プリンタクラス一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

プリンタクラス一覧を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-515

SS-Java 起動部品

515

KEEY516-E

プリンター一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

プリンター一覧を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-516

SS-Java 起動部品

516

KEEY517-E

トレイ一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

トレイ一覧を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-517

SS-Java 起動部品

517

KEEY518-E

蓄積ファイルの取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS:ActiveX 起動部品

-518

SS:Java 起動部品

518

KEEY519-E

蓄積ファイルの印刷処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を印刷する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

100 ~ 199 : EURPMCL.log, EURPMPrintAX.log, EURPMPreViewAX.log

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS:ActiveX 起動部品

-519

SS:Java 起動部品

519

KEEY520-E

蓄積ファイルの属性取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)の属性を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-520

SS-Java 起動部品
520

KEEY521-E

蓄積ファイルの属性設定処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)の属性を設定する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-521

SS-Java 起動部品
521

KEEY522-E

蓄積ファイルの削除処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を削除する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-522

SS-Java 起動部品
522

KEEY523-E

蓄積ファイルの初期化に失敗しました。

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を初期化できません。

対処

- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダおよびファイルの書き込み権限を確認してください。

終了コード

SS·ActiveX 起動部品
-523

SS·Java 起動部品
523

KEEY524-E

蓄積ファイルの作成に失敗しました。

要因

蓄積ファイル（スプールデータ）を作成できません。

対処

- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

終了コード

SS·ActiveX 起動部品
-524

SS·Java 起動部品
524

KEEY525-E

EUR Spool Service でコネクション数が限界値をオーバーしました。

要因

同時に接続できるスプールサーバの最大数を超えています。

対処

再度実行してください。

終了コード

SS·ActiveX 起動部品
-525

SS·Java 起動部品
525

KEEY526-S

レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]

要因

レジストリの内容に不正があります。nnnnnn は、レジストリの詳細コードを示します。詳細コード

については、「付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード」を参照してください。

対処

EUR Server - Spool Service Adapter が正しくインストールされているかを確認してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-526

SS-Java 起動部品
526

KEEY527-E

指定された蓄積ファイルはほかの人が使用中です。

要因

指定した蓄積ファイル（スプールデータ）はほかのユーザが使用しています。

対処

ほかのユーザがスプールデータの操作処理を終了してから、再度実行してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-527

SS-Java 起動部品
527

KEEY528-E

属性値設定プロパティが一つも指定されていません。

要因

スプールデータの属性設定メソッドを呼び出しましたが、属性値設定プロパティが一つも設定されていません。

対処

属性値設定プロパティは、必ず一つ設定してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-528

SS-Java 起動部品
528

KEEY529-E

EUR Client Service で接続数が増え、限界値をオーバーしました。

要因

同時に接続できるクライアントの最大数を超過しています。

対処

再度実行してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-529

SS-Java 起動部品
529

KEEY531-E

蓄積ファイルのデータ取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-531

SS-Java 起動部品
531

KEEY532-W

蓄積ファイル一覧取得処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)一覧を取得する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-532

SS-Java 起動部品
532

KEEY533-W

蓄積ファイルの取得処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を取得する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-533

SS-Java 起動部品

533

KEEY534-W

蓄積ファイルの印刷処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を印刷する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-534

SS-Java 起動部品

534

KEEY535-W

蓄積ファイルの属性取得処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)の属性を取得する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-535

SS-Java 起動部品

535

KEEY536-W

蓄積ファイルの属性設定処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)の属性を設定する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-536

SS-Java 起動部品

536

KEEY537-W

蓄積ファイルの削除処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を削除する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-537

SS-Java 起動部品

537

KEEY538-E

指定されたジョブ ID 検索値の数が上限値を超えています。

要因

統合対象の蓄積ファイル(スプールデータ)の数が、上限の 10,000 ファイルを超えています。

対処

統合対象のスプールデータの数を減らして、再度実行してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-538

SS-Java 起動部品
538

KEEY540-S

An attempt to load string resource DLL has failed. Error:[nnn]

要因

メソッドの実行時に、内部処理でエラーが発生しました。
なお、nnn には保守情報が表示されます。

対処

EUR Server - Spool Service Adapter をインストールし直してください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-540

SS-Java 起動部品
540

KEEY541-E

EUR Spool Service のバージョンが不正です。

要因

EUR Server - Spool Service と EUR Server - Spool Service Adapter のバージョンが一致していません。

対処

EUR Server - Spool Service と EUR Server - Spool Service Adapter のバージョンを同じにしてください。

終了コード

SS-ActiveX 起動部品
-541

SS-Java 起動部品
541

KEEY542-W

ユーザ認証に失敗しました。(nnn)

要因

ユーザ認証に失敗しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

801 ~ 899 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-542

SS-Java 起動部品

542

KEEY543-E

配送帳票取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

配送印刷する帳票を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-543

SS-Java 起動部品

543

KEEY544-E

帳票一覧取得処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

帳票の一覧を取得する処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-544

SS-Java 起動部品

544

KEEY545-W

蓄積ファイル一覧取得処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)一覧を取得する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-545

SS-Java 起動部品

545

KEEY546-W

蓄積ファイルの取得処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を取得する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-546

SS-Java 起動部品

546

KEEY547-W

蓄積ファイルの印刷処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を印刷する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-547

SS-Java 起動部品

547

KEEY548-W

蓄積ファイルの属性取得処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)の属性を取得する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-548

SS-Java 起動部品

548

KEEY549-W

蓄積ファイルの属性設定処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)の属性を設定する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-549

SS-Java 起動部品

549

KEEY550-W

蓄積ファイルの削除処理で警告が発生しました。(nnn)

要因

蓄積ファイル(スプールデータ)を削除する処理で警告が発生しました。

対処

詳細コード(nnn)に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-550

SS-Java 起動部品

550

KEEY551-E

ログイン処理でエラーが発生しました。(nnn)

要因

ログイン処理でエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

401 ~ 499 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-551

SS-Java 起動部品

551

KEEY552-E

監査ログファイルの切り替えに失敗しました。(nnn)

要因

監査ログファイルの切り替えでエラーが発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

801 ~ 899 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-552

SS-Java 起動部品

552

KEEY553-W

監査ログ切り替え機能で警告が発生しました。(nnn)

要因

監査ログファイルの切り替えで警告が発生しました。

対処

詳細コード (nnn) に対応するプログラムのログファイルを参照してください。

詳細コードに対応するログファイルを次に示します。

801 ~ 899 : EURPMLS.log

終了コード

SS-ActiveX 起動部品

-553

SS-Java 起動部品

553

31 KEEY601 ~ KEEY699

KEEY601 ~ KEEY699 のメッセージについて説明します。

31.1 KEEY601 ~ KEEY699 のメッセージ

31.1 KEEY601 ~ KEEY699 のメッセージ

KEEY601-E

例外が発生しました。

要因

Java 起動部品を呼び出したときにエラーが発生しました。

対処

Java 起動部品の設定内容を見直してください。

終了コード

601

KEEY602-S

システムエラーが発生しました。(システムエラーメッセージ)

要因

Java 起動部品を呼び出したときに、内部処理でエラーが発生しました。

対処

出力されたメッセージを記録し、システム管理者に調査を依頼してください。

終了コード

602

KEEY603-S

システムエラーが発生しました。(システムエラーメッセージ)

要因

COBOL 起動部品を呼び出したときに、内部処理でエラーが発生しました。

対処

出力されたメッセージを記録し、システム管理者に調査を依頼してください。

終了コード

603

32 KEEY701 ~ KEEY799

KEEY701 ~ KEEY799 のメッセージについて説明します。

32.1 KEEY701 ~ KEEY799 のメッセージ

32.1 KEEY701 ~ KEEY799 のメッセージ

KEEY701-E

例外が発生しました。

要因

SS-Java 起動部品で例外が発生しました。

対処

SS-Java 起動部品の呼び出し処理を見直してください。

終了コード

701

KEEY702-E

メソッド (メソッド名) の値が不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- String 型, または String[] 型を引数とするメソッドに, null が指定されています。
- String[] 型を引数とするメソッドの要素値に, null が指定されています。

対処

null を指定する場合は, 非 null の String 型文字列, または要素値が非 null の String[] 型文字列の配列を引数に指定してください。

終了コード

702

KEEY703-S

システムエラーが発生しました。(システムエラーメッセージ)

要因

SS-Java 起動部品の内部処理で例外が発生しました。

対処

出力されたメッセージを記録して, システム管理者に調査を依頼してください。

終了コード

703

33 KEEY801 ~ KEEY899

KEEY801 ~ KEEY899 のメッセージについて説明します。

33.1 KEEY801 ~ KEEY899 のメッセージ

33.1 KEEY801 ~ KEEY899 のメッセージ

KEEY801-E

コマンド実行時にエラーが発生しました。(xxx)

要因

eurpmlsc コマンドの実行時にエラー (xxx) が発生しました。

対処

(xxx) には EUR Server - Spool Service Adapter のメッセージ ID が出力されます。(xxx) に示すメッセージ ID に従って、オプションの設定を見直してください。詳細メッセージについては、「30.1 KEEY501 ~ KEEY599 のメッセージ」を参照してください。

終了コード

8

KEEY802-E

不明なオプション (オプション名) が指定されました。

要因

存在しないオプションが指定されました。

対処

オプション名の指定に誤りがないかどうかを見直してください。

終了コード

8

KEEY803-E

(オプション名) オプションの値の指定がありません。

要因

値の指定が必要なオプションに値を指定していません。

対処

オプションに値を指定してください。

終了コード

8

KEEY804-E

(オプション名) オプションの値が不正です。

要因

オプションに指定されている値の形式または範囲に誤りがあります。

対処

- 指定したオプションの値の形式を見直してください。
- 指定したオプションの値の範囲を見直してください。

終了コード

8

KEEY805-E

オプション（オプション名）が指定されていません。

要因

eurpmlsc コマンドの実行時に指定が必須のオプションが指定されていません。

対処

オプションを指定してください。

終了コード

8

KEEY806-E

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリが不足しています。

対処

ほかのアプリケーションを終了してください。

終了コード

8

KEEY850-I

印刷待ち配送帳票・印刷中配送帳票の保持期限が切れました。（ジョブ ID）

要因

印刷待ち配送帳票・印刷中配送帳票の保持期限が切れたため、Error フォルダに移動しました。

対処

宛先定義ファイルを見直し、再度配送帳票を登録してください。

詳細コード

850

KEEY851-W

ユーザ認証に失敗しました。

要因

ユーザ認証に失敗しました。

対処

ユーザ管理ファイルによる認証の場合

- ユーザ名, パスワードを確認してください。
- ユーザ管理ファイルの定義を確認してください。

LDAP による認証の場合

- ユーザ名, パスワードを確認してください。
- LDAP サーバのユーザ定義を確認してください。

詳細コード

851

KEEY852-W

配送印刷の設定漏れを検出しました。

要因

EUR Server - Spool Service で配送印刷が無効になっている状態で, EUR Client Service からのログインを受信しました。

対処

配送印刷機能に関する定義を見直してください。

配送印刷機能を有効にする場合

- 宛先定義ファイルを, EUR Server - Spool Service の環境設定ファイルの PATH セクションの CONF キーに指定されているフォルダに配置してください。
- EUR Server - Spool Service の環境設定ファイル (EURPMLS.ini) の OPTION セクションの PERSONALCATEGORY キーを定義してください。

配送印刷機能を無効にする場合

- EUR Client Service の PATH セクションの DELISERVICE キーを削除して, 配送印刷を無効にしてください。

詳細コード

852

KEEY858-E

監査ログファイルの出力に失敗しました。

要因

監査ログファイルの出力でエラーが発生しました。次に示す要因が考えられます。

- 監査ログファイルの作成に失敗しました。
- 監査ログファイルのオープンに失敗しました。
- 監査ログファイルの書き込みに失敗しました。

対処

次のどちらかで対処してください。

- 環境設定ファイルの AUDIT セクションの SPOOLLOG キーに指定されているフォルダに対して, 次の項目を確認してください。

- フォルダが存在するかどうかを確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。

詳細コード
858

KEEY859-E

監査ログファイルの切り替えに失敗しました。

要因

監査ログファイルの切り替えでエラーが発生しました。次に示す要因が考えられます。

- 監査ログファイルの作成に失敗しました。
- 監査ログファイルのオープンに失敗しました。
- 監査ログファイルの書き込みに失敗しました。

対処

次のどれかで対処してください。

- 環境設定ファイルの AUDIT セクションの SPOOLLOG キーに指定されているフォルダに対して、次の項目を確認してください。
 - フォルダが存在するかどうかを確認してください。
 - フォルダの書き込み権限を確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- EUR Server 以外のプログラムが、監査ログファイルをオープンしていないかを確認してください。

詳細コード
859

KEEY860-S

システムエラーが失敗しました。

要因

初期化中に内部処理でエラーが発生しました。

対処

次のどちらかで対処してください。

- システム管理者に連絡してください。
- EUR Server - Spool Service が正しくインストールされているかを確認してください。

詳細コード
860

KEEY861-E

監査ログファイルのバックアップファイル作成時刻が不正です。

要因

環境設定ファイルで指定している、監査ログファイルのバックアップファイル作成時刻の指定に誤りがあります。

対処

環境設定ファイルの AUDIT セクションの SPOOLLOGDATE キーに指定されている値に対して、次の項目を確認してください。

- フォーマットが正しいかどうかを確認してください。
- 指定できる範囲内の値かどうかを確認してください。

詳細コード

861

KEEY862-W

監査ログ出力機能が無効のため監査ログの切り替えができません。

要因

監査ログを出力しない設定で、監査ログの切り替えが実行されました。

対処

環境設定ファイルの AUDIT セクションの SPOOLAUDITLOG キーに指定されている値を確認してください。

詳細コード

862

34 KEEY901 ~ KEEY999

KEEY901 ~ KEEY999 のメッセージについて説明します。

34.1 KEEY901 ~ KEEY999 のメッセージ

34.1 KEEY901 ~ KEEY999 のメッセージ

KEEY901-E

コマンド実行時にエラーが発生しました。(xxx)

要因

eurpmc コマンドの実行時にエラー (xxx) が発生しました。

対処

(xxx) には EUR Server - Adapter の詳細メッセージが出力されます。(xxx) に示す詳細メッセージ ID に従って、オプションの設定を見直してください。詳細メッセージについては、「27.1 KEEY201 ~ KEEY299 のメッセージ」を参照してください。

終了コード

8

KEEY902-E

不明なオプション (オプション名) が指定されました。

要因

存在しないオプションが指定されました。

対処

オプション名の指定に誤りがないかどうかを見直してください。

終了コード

8

KEEY903-E

(オプション名) オプションの値の指定がありません。

要因

値の指定が必要なオプションに値を指定していません。

対処

オプションに値を指定してください。

終了コード

8

KEEY904-E

(オプション名) オプションの値が不正です。

要因

オプションに指定されている値の形式または範囲に誤りがあります。

対処

- 指定したオプションの値の形式を見直してください。
- 指定したオプションの値の範囲を見直してください。

終了コード

8

KEEY905-E

オプション（オプション名）が指定されていません。

要因

eurpme コマンドの実行時に指定が必須のオプションが指定されていません。

対処

指定が必須のオプションを指定してください。

終了コード

8

KEEY906-E

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリが不足しています。

対処

ほかのアプリケーションを終了してください。

終了コード

8

KEEY908-W

コマンド実行時に警告が発生しました。（xxx）

要因

eurpme コマンドの実行時に警告（xxx）が発生しました。

対処

（xxx）には EUR Server - Adapter の詳細メッセージが出力されます。（xxx）に示す詳細メッセージ ID に従って、オプションの設定を見直してください。詳細メッセージについては、「27.1 KEEY201 ~ KEEY299 のメッセージ」を参照してください。

終了コード

4

KEEY909-W

出力すべき帳票セットがありません。（275）

要因

データベースからのデータの抽出結果が 0 件でした。
このメッセージは、EUR Print Service の環境変数
EURPS_DONT_PRINT_IF_DB_RESULT_EMPTY に「YES」が設定されている場合に出力されま
す。

対処

データベースからのデータの抽出条件を確認してください。

終了コード

環境設定ファイル (EURPMADP.ini) で ERROR セクションの DBZEROEXITCODE キーに値を指
定している場合、指定した値が終了コードになります。DBZEROEXITCODE キーに値を指定してい
ない場合は、終了コードとして 4 が出力されます。

KEEY950-W

出力すべき帳票セットがありません。

要因

データベースからのデータの抽出結果が 0 件でした。
このメッセージは、EUR Print Service の環境変数
EURPS_DONT_PRINT_IF_DB_RESULT_EMPTY に「YES」が設定されている場合に出力されま
す。

対処

データベースからのデータの抽出条件を確認してください。

詳細コード

950

KEEY951-E

一時ファイルの操作に失敗しました。

要因

一時ファイルの操作中にエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイルの PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してくださ
い。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。
- ログファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。ログファイルについては、マニユ
アル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

詳細コード

951

KEEY952-E

EPF 形式ファイルの一時ファイルの生成に失敗しました。

要因

EPP 形式ファイルの一時ファイルの生成中にエラーが発生しました。

対処

- 環境設定ファイルの PATH セクションの TEMP キーに指定されているフォルダを確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- フォルダの書き込み権限を確認してください。

詳細コード

952

35 EUR が提供するツールのメッセージ

この章では、EUR が提供するツールのメッセージについて説明します。

35.1 給紙トレイ一覧ツールのメッセージ

35.2 EUR サーバ環境設定ファイルエディタのメッセージ

35.3 複数様式定義作成ツールのメッセージ

35.1 給紙トレイ一覧ツールのメッセージ

プリンター一覧の取得に失敗しました。(システムエラー番号, システムメッセージ)

要因

給紙トレイ一覧ツールの実行時にエラーが発生し、登録されているプリンターの一覧が取得できませんでした。給紙トレイ一覧ツールを終了します。

対処

メッセージに表示されたシステムエラー番号が 122 の場合、給紙トレイ一覧ツールを再実行してください。

それ以外の場合は、システムエラー番号とシステムメッセージを基に対処し、給紙トレイ一覧ツールを再実行してください。

35.2 EUR サーバ環境設定ファイルエディタのメッセージ

EUR サーバ環境設定ファイルエディタの起動に失敗しました。(エラーコード:XX)

要因

次に示す要因によって、EUR サーバ環境設定ファイルエディタを起動できませんでした。

- 動作環境に必要なファイルがありません。
- 動作環境に必要なファイルの読み込み権限がありません。
- 不正なファイルが存在しています。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX : ファイルオープン時のエラーコード (GetLastError 関数から取得)

対処

次のように対処してください。

- 再インストールを実施してください。
- 再インストールしても同じメッセージが出力される場合は、保守員に連絡してください。

環境設定ファイルの保存に失敗しました。(エラーコード:XX)

YY

要因

[ファイル]メニューの[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選択した時に、次に示す要因によってファイルを保存することができませんでした。

- フォルダまたはファイルの書き込み権限がありません。
- ディスクの容量が不足しています。
- その他の予期しない要因が発生しました。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX : ファイル保存失敗時のエラーコード (GetLastError 関数から取得)

YY : エラーコードに対応するメッセージ (FormatMessage 関数から取得)

対処

次のように対処してください。

- 出力先のフォルダまたはファイルに書き込み権限を与えてください。
- ディスク容量を確保してください。
- メッセージ (YY) を参考に、その他のエラー要因を取り除いてください。

環境変数 (XX) が複数定義されています。あとに設定した環境変数が有効になります。

要因

[ファイル]メニューの[開く]で指定された環境設定ファイルに同じ環境変数が複数定義されています。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX：複数定義されている環境変数名

対処

次のように対処してください。

- 重複している環境変数の中に不要なものがある場合は、テキストエディタなどで環境設定ファイル中の不要な定義行を削除したあとで、再度ファイルを読み込んでください。
- 意図的に同じ環境変数を複数定義している場合は、そのまま編集を続けてください。

環境変数 (XX) にこのツールは対応していません。値はチェックされません。

要因

[ファイル] メニューの [開く] で指定された環境設定ファイルに、未知の環境変数が定義されています。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX：未知の環境変数名

対処

次のように対処してください。

- 環境変数名が間違っている場合は、テキストエディタなどで環境設定ファイル中の環境変数名を訂正してください。
- 意図的に未知の環境変数名を定義している場合は、そのまま編集を続けてください。

環境変数 (XX) に指定されたパス (YY) は存在しません。

要因

環境変数の値チェック時に、存在しないパスが環境変数の値に設定されています。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：存在しないパスが設定された環境変数名

YY：対象の環境変数に設定されている値

対処

次のように対処してください。

- 指定したパスのフォルダまたはファイルを作成してください。
- 指定したパスの値が間違っている場合は値を変更してください。
- 他マシンへの配布などを目的に、意図的に存在しないパスを指定している場合は、そのまま編集を続けてください。

環境変数 (XX) の値 (YY) が不正または範囲外です。指定可能な範囲が確認してください。

要因

環境変数の値チェック時に、選択肢にない値または範囲外の文字列が設定されています。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：値が不正、または範囲外の環境変数名

YY：対象の環境変数に設定されている値

対処

次のように対処してください。

- 指定した値が間違っている場合は、値を訂正してください。
- 意図的に選択肢にない値または範囲外の文字列を指定している場合は、そのまま編集を続けてください。

指定された環境設定ファイルを開くことができません。(エラーコード:XX)

YY

要因

[ファイル]メニューの[開く]を選択した時に、次に示す要因によってファイルを開くことができませんでした。

- ファイルの読み込み権限がありません。
- その他の予期しない要因が発生しました。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX : ファイルオープン時のエラーコード (GetLastError 関数から取得)

YY : エラーコードに対応するメッセージ (FormatMessage 関数から取得)

対処

次のように対処してください。

- 環境設定ファイルに読み込み権限を与えてください。
- メッセージ (YY) を参考に、その他のエラー要因を取り除いてください。

35.3 複数様式定義作成ツールのメッセージ

サンプル帳票が見つかりません。

サンプル帳票ファイル：XX

要因

[Step1. 複数様式パターンの選択] ページで [サンプル帳票] ボタンをクリックしたとき、表示できるサンプル帳票が存在しませんでした。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX：サンプル帳票ファイルのフルパス

対処

EUR Developer を再インストールしてください。

サンプル帳票の表示に失敗しました。

エラーコード：XX

メッセージ：YY

要因

[Step1. 複数様式パターンの選択] ページで [サンプル帳票] ボタンをクリックしたとき、EURPMCEPFViewer.exe の起動に失敗しました。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：EURPMCEPFViewer.exe 起動の失敗時のエラーコード (GetLastError 関数から取得)

YY：エラーコードに対応するメッセージ (FormatMessage 関数から取得)

対処

次のように対処してください。

- メッセージ (YY) を参考に、その他のエラー要因を取り除いてください。
 - EUR Developer を再インストールしてください。
-

このツールで設定できる様式数は 40 個までです。

40 個以内になるように様式数を変更してください。

要因

[キー付き入れ子単純繰り返し] パターンのとき [Step2. 様式数の設定] ページで、次の様式の数の合計が 40 個を超えました。

- 先頭の様式
- 入れ子の様式
- 後続の様式

対処

様式の数の合計が 40 個以内になるように指定してください。

環境設定ファイル (EURPM.ini) に定義されている帳票定義ファイルのフォルダ (FORM キー) と異なるパスの帳票定義ファイルが指定されました。

環境設定ファイルに定義されているフォルダ : XX

指定されたフォルダ : YY

通常パスモード (PATHMODE=0) で FORM キーに指定されていないフォルダを指定した場合、プレビューやバッチファイルでの EPF 形式ファイルの生成が正しく動作しない可能性があります。

指定された帳票定義ファイルで作業を続けますか？

要因

[Step3. ファイルの設定] ページの [帳票定義ファイル] テキストボックスで、帳票定義ファイルのフォルダ (FORM キー) と異なるフォルダの帳票定義ファイルを指定しました。

環境設定ファイル (EURPM.ini) の定義が通常パスモード (PATHMODE=0) の場合は、FORM キーで指定したフォルダに帳票定義ファイルを格納する必要があります。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX : 環境設定ファイル (EURPM.ini) の FORM キーに定義されているフォルダ

YY : 指定された帳票定義ファイルのフォルダ

対処

[はい] ボタンまたは [いいえ] ボタンにより、次のように対処が異なります。

[はい] ボタンの場合

次のどちらかの修正をしてから、EUR Server Service を再起動してください。

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) で OPTION セクションの PATHMODE キーの値を 1 に変更する。
- FORM キーに指定するフォルダを変更し、帳票定義ファイルを変更後のフォルダに移動またはコピーする。

[いいえ] ボタンの場合

次のどちらかの修正をしてください。

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) の FORM キーに指定されたフォルダに存在する、帳票定義ファイルのパスを指定する。
- ファイル名だけで指定する。

すでに設定された XX と異なるフォルダが指定されました。

現在の格納フォルダ : YY

指定されたフォルダ : ZZ

このツールでは、使用する XX はすべて同じフォルダに格納されていることを前提とした複数様式定義を出力します。

XX の格納フォルダを指定されたフォルダに変更しますか？

要因

[Step3. ファイルの設定] ページで指定した次のどれかのファイルのパスが、すでに設定されたフォルダと異なります。

- マッピングデータファイル
- 帳票定義ファイル

- ユーザ定義データファイル ,
メッセージの XX , YY , および ZZ の意味は次のとおりです。
XX : ファイルの種類
YY : 設定済みの格納フォルダ
ZZ : 指定されたファイルのフォルダ

対処

- [はい] ボタンまたは [いいえ] ボタンにより , 次のように対処が異なります。
[はい] ボタンの場合
指定済みのファイルを , 変更後のフォルダに移動またはコピーしてください。
- [いいえ] ボタンの場合
次のどちらかの修正をしてください。
 - 現在の格納フォルダのファイルを指定する。
 - ファイル名だけで指定する。

ファイル名として許可しない文字 (XX) が含まれています。

ファイル名を見直してください。

要因

- [Step3. ファイルの設定] ページで指定した次のどれかのファイル名に , 指定できない文字を使用しています。
 - マッピングデータファイル
 - 帳票定義ファイル
 - ユーザ定義データファイル
- メッセージの XX の意味は次のとおりです。
XX : 指定できない文字

対処

ファイル名を見直し , 指定し直してください。

相対パスは指定できません。

ファイル名またはフルパスを指定してください。

要因

- [Step3. ファイルの設定] ページで , 次のどれかのファイルを相対パスで指定しています。
 - マッピングデータファイル
 - 帳票定義ファイル
 - ユーザ定義データファイル

対処

- 次のどちらかの修正をしてください。
 - フルパスで指定する。
 - ファイル名だけで指定する。

No.XX の帳票定義ファイルが重複しています。

同じ帳票定義ファイルは複数定義できません。

要因

[Step3. ファイルの設定] ページで、ファイル名を重複して帳票定義ファイルに指定しています。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX：重複している帳票定義ファイルの項番

対処

帳票定義ファイルの名称を、ユニークになるように指定し直してください。

No.XX の YY を設定してください。

要因

[Step3. ファイルの設定] ページで、次のどちらかのファイルが指定されていません。

- マッピングデータファイル
- 帳票定義ファイル

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：指定していないファイルの項番

YY：指定していないファイルの種類

対処

ファイルを指定してください。帳票定義ファイルの様式数が間違っている場合は、[Step2. 様式数の設定] ページで様式数を変更してください。

WW の生成に失敗しました。

フォルダ名 / ファイル名 : XX

エラーコード : YY

メッセージ : ZZ

要因

[Step7. 複数様式定義の保存] ページの [プレビュー] ボタンまたは [保存 ...] ボタンをクリックしたとき、フォルダまたはファイルの生成に失敗しました。

メッセージの WW, XX, YY, および ZZ の意味は次のとおりです。

WW：失敗したフォルダまたはファイルの種類

XX：フォルダまたはファイルのフルパス

YY：エラーコード (GetLastError 関数から取得)

ZZ：エラーコードに対応するメッセージ (FormatMessage 関数から取得)

対処

メッセージ (ZZ) を参考に、エラー要因を取り除いてください。

複数様式帳票の生成 (eurpmc コマンド実行) 中に警告が発生しました。プレビューを続行します。

メッセージ：XX

要因

[Step7. 複数様式定義の保存] ページの [プレビュー] ボタンをクリックしたとき、EPF ファイル生成中に eurpmc.exe が終了コード 4 (警告) を返して終了しました。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX：標準エラー出力に eurpmc.exe が出力したメッセージ

対処

メッセージ (XX) を参考に、内容に問題がないかどうかを確認してください。問題がある場合はエラー要因を取り除いてください。

複数様式帳票の生成 (eurpmc コマンド実行) 中にエラーが発生しました。プレビューを中止します。

終了コード：XX

メッセージ：YY

要因

[Step7. 複数様式定義の保存] ページの [プレビュー] ボタンをクリックしたとき、EPF ファイル生成中に eurpmc.exe が終了コード 0, 4 以外を返して終了しました。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：eurpmc.exe の終了コード

YY：標準エラー出力に eurpmc.exe が出力したメッセージ

対処

メッセージ (YY) を参考に、エラー要因を取り除いてください。

プレビューに失敗しました。

エラーコード：XX

メッセージ：YY

要因

[Step7. 複数様式定義の保存] ページの [プレビュー] ボタンをクリックしたとき、EURPMCEPFViewer.exe の起動に失敗しました。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：EURPMCEPFViewer.exe 起動失敗時のエラーコード (GetLastError 関数から取得)

YY：エラーコードに対応するメッセージ (FormatMessage 関数から取得)

対処

メッセージ (YY) を参考に、エラー要因を取り除いてください。

WW の削除に失敗しました。

ほかのプログラムで使用中の場合は終了後に削除してください。

フォルダ名 / ファイル名：XX

エラーコード：YY

メッセージ：ZZ

要因

[Step7. 複数様式定義の保存] ページの [プレビュー] ボタンをクリックしたとき、プレビュー終了後の一時ファイルや作業用フォルダの削除に失敗しました。

メッセージの WW, XX, YY, および ZZ の意味は次のとおりです。

WW：失敗したフォルダまたはファイルの種類

XX：フォルダまたはファイルのフルパス

YY：エラーコード (GetLastError 関数から取得)

ZZ：エラーコードに対応するメッセージ (FormatMessage 関数から取得)

対処

メッセージ (ZZ) を参考に、エラー要因を取り除いてから、(XX) に表示されたファイルまたはフォルダを削除してください。

XX は、すでに存在します。

上書きしますか？

要因

[Step7. 複数様式定義の保存] ページの [保存 ...] ボタンをクリックしたとき、すでに存在するファイルを指定しました。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX：存在するファイル

対処

存在しないファイルを指定してください。

An attempt to load string resource DLL has failed.

要因

このツールの起動時に、リソース DLL のロード処理でエラーが発生しました。

対処

EUR Developer を再インストールしてください。

環境設定ファイル (EURPM.ini) に定義されている複数様式情報定義ファイルのフォルダ (MULTI キー) と異なるパスが指定されました。

環境設定ファイルに定義されているフォルダ：XX

指定されたフォルダ：YY

通常パスモード (PATHMODE=0) で MULTI キーに設定したフォルダ以外を指定した場合、バッチファイルでの EPF 形式ファイルの生成が正しく動作しない可能性があります。

指定されたフォルダに保存しますか？

要因

[Step7. 複数様式定義の保存] ページの [保存 ...] ボタンをクリックしたときに表示される「複数様式情報定義ファイルの保存」ダイアログで、複数様式情報定義ファイルのフォルダ (MULTI キー) と異なるフォルダの複数様式情報定義ファイルが指定されました。

環境設定ファイル (EURPM.ini) の定義が通常パスモード (PATHMODE=0) の場合は、MULTI キーで指定したフォルダに複数様式情報定義ファイルを格納する必要があります。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX : 環境設定ファイル (EURPM.ini) の MULTI キーに定義されているフォルダ

YY : 指定された複数様式情報定義ファイルのフォルダ

対処

[はい] ボタンまたは [いいえ] ボタンにより、次のように対処が異なります。

[はい] ボタンの場合

次のどちらかの修正をしてから、EUR Server Service を再起動してください。

- 環境設定ファイル (EURPM.ini) で OPTION セクションの PATHMODE キーの値を 1 に変更する。
- MULTI キーに指定するフォルダを変更する。

[いいえ] ボタンの場合

環境設定ファイル (EURPM.ini) の MULTI キーに指定したフォルダに保存してください。

XX を設定してください。

要因

「 Step4. 様式を切り替えるキーの設定 」 ページで、キーまたはサブキーが設定されていません。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX : 「 キー 」 または 「 サブキー 」

対処

様式を切り替えるキーを指定してください。

付録

付録 A 保守情報の採取

付録 B KEEU001 ~ KEEU999 のメッセージで終了コード 4 を返された場合の要因

付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード

付録 D KEYE で始まるメッセージのエラー発生条件

付録 E このマニュアルの参考情報

付録 A 保守情報の採取

メッセージの対処で、「保守員に連絡してください。」となっていた場合は、次に示す保守情報をできるだけ採取して、保守員に連絡してください。

付録 A.1 EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能の場合

(1) 連絡時に必要な保守情報

連絡時に必要な保守情報を次に示します。

OS，製品のバージョン情報（修正情報およびパッチ情報を含む）

システム構成（ハードウェア構成，ソフトウェア構成）

障害情報（画面のハードコピー，印刷結果，出力ファイルなど）

障害の発生時刻

障害の再現性の有無

障害発生時のオペレーション

- コマンドまたは DLL 関数の実行時に発行したコマンドライン
- 指定したオプション記述ファイル
- OLE オートメーションまたは OCX コントロールでメソッド発行時のプロパティ情報

動作環境

- EUR 帳票作成機能 /EUR クライアント帳票出力機能の動作環境を設定している環境設定ファイル
- プリンタ定義ファイル

各ファイルについては，マニュアル「EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編」を参照してください。

ログファイル

- EUR 帳票作成機能 /EUR クライアント帳票出力機能が出力したログファイル
- ログ採取の方法については，マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

イベントログファイル

- Windows 環境の場合，イベントログ

プリンタ情報

出力先プリンタの次の情報を採取します。

- メーカー名
- プリンタの名称と型番
- ドライバの名称とバージョン情報

入出力ファイル

次のファイルのうち，帳票出力時に指定したファイルを採用します。

- 指定したファイル
- 帳票ファイル，マッピングデータファイル，ユーザ定義データファイル，接続情報ファイル，帳票セット指定ファイル，複数様式情報定義ファイル，画像ファイル，置き換え表管理情報ファイル，置き換え表ファイル，EUR 形式ファイル，オプション記述ファイル

ダンプファイル

異常終了した場合は，次に示す情報も採取してください。

- ワトソン博士のログ，クラッシュダンプ

(2) 障害が再現する場合に追加採取する保守情報

障害が再現する場合は，次に示す情報も採取してください。

PDL ファイル

印刷結果が不正な場合に採取します。

詳細ログ

- ログ採取レベルを「システム履歴」にした状態でのログファイル

(3) データベースと接続している場合に採取する保守情報

データベースに接続して帳票を出力している場合は，次に示す情報も採取してください。

接続先データベースの種別とバージョン

DABroker の動作環境の設定内容

DABroker のトレース情報

付録 A.2 EUR サーバ帳票出力機能の場合

(1) 連絡時に必要な保守情報

連絡時に必要な保守情報を次に示します。

OS，製品のバージョン情報（修正情報およびパッチ情報を含む）

システム構成（ハードウェア構成，ソフトウェア構成）

障害情報（画面のハードコピー，印刷結果，出力ファイルなど）

障害の発生時刻

障害の再現性の有無

障害発生時のオペレーション（コマンド実行時のオプション，起動部品のプロパティ情報，メソッドの引数情報など）

動作環境

- EUR サーバ帳票出力機能の動作環境を設定している環境設定ファイル
- プリント定義ファイル

各ファイルについては，マニュアル「EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編」を参照してください。

ログファイル，トレースファイル

- EUR サーバ帳票出力機能が出力したログファイル
- EUR サーバ帳票出力機能が出力したトレースファイル

各ファイルについては，マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。

イベントログファイル

- Windows 環境の場合：イベントログ
イベントログについては，マニュアル「EUR システム設計ガイド」を参照してください。
- UNIX 環境の場合：syslog

プリンタ情報

出力先プリンタの次の情報を採取します。

- メーカー名
- プリンタの名称と型番
- ドライバの名称とバージョン情報

入出力ファイル

次のファイルのうち、帳票出力時に指定したファイルおよび、帳票を出力したファイルを採取します。

- 指定したファイル
帳票ファイル、マッピングデータファイル、ユーザ定義データファイル、接続情報ファイル、文書情報設定ファイル、文書しおり定義ファイル、しおり定義ファイル、暗号化設定ファイル、プリンタ定義ファイル、PDF 仕分け定義ファイル、帳票セット指定ファイル、複数様式情報定義ファイル、画像ファイル、置き換え表管理情報ファイル、置き換え表ファイル、Acrobat JavaScript ファイル、Acrobat JavaScript 定義ファイル、ビューアプレファレンス定義ファイル、印刷日時出力定義ファイル、分割定義ファイル、仕分け定義ファイル、EPF 形式ファイル、制御情報付データファイル、起動パラメタファイル、監視定義ファイル
- 出力したファイル
出力ページ情報ファイル、EPF 形式ファイル、PDF 形式ファイル、EUR 形式ファイル、CSV 形式ファイル、Excel 形式ファイル

ダンプファイル

異常終了した場合は、次に示す情報も採取してください。

- Windows 環境の場合、ワトソン博士のログ、クラッシュダンプ
- UNIX 環境の場合、core ファイル

(2) 障害が再現する場合に追加採取する保守情報

障害が再現する場合は、次に示す情報も採取してください。

PDL ファイル (スプールファイル)(V8 互換機能)

印刷結果が不正な場合に採取します。

採取する方法は、起動方法によって異なります。次の項目で指定した出力先から採取してください。各項目については、バージョン 8 対応のマニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

- コマンドで起動する場合：/pf オプション
- ActiveX オブジェクトで起動する場合：プロパティ仕様 (OutFileName プロパティ)
- JavaBeans で起動する場合：EURPSManager クラスのメソッド仕様 (setOutFileName メソッド)

詳細ログ

API のトレース情報を採取します。API のトレース情報の採取は、環境変数

「EURPS_TRACE_DRAWAPI」で指定します。EURPS_TRACE_DRAWAPI については、マニュアル「EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編」を参照してください。

(3) データベースと接続している場合に採取する保守情報

データベースに接続して帳票を出力している場合は、次に示す情報も採取してください。

接続先データベースの種別とバージョン

DABroker の動作環境の設定内容

DABroker のトレース情報

付録 B KEEU001 ~ KEEU999 のメッセージで終了コード 4 を返された場合の要因

終了コード 4 が返されたとき、標準エラー出力には次のどちらかのメッセージが出力されます。

- KEEU300-W と詳細メッセージ (KEEU301-W ~ KEEU308-W)
- KEEU320-W, KEEU321-W, KEEU322-W, KEEU350-W

メッセージの出力要因と対処については、「13.1 KEEU300 ~ KEEU399 のメッセージ」を参照してください。

EUR サーバ帳票出力機能で帳票を出力した場合、次の表に示す警告要因が検出されたときは終了コード 4 を返し、詳細メッセージを出力します。EUR 形式ファイルを出力した場合は、項番 6 の警告要因以外は終了コード 0 を返します。

表 B-1 終了コード 4 を返す警告要因

項番	警告要因	出力メッセージ	詳細メッセージ
1	文字アイテムのアイテム枠が小さく、指定したデータがアイテム枠内に収まる分だけ出力されたとき。	KEEU300-W	KEEU301-W
2	数値アイテムのアイテム枠が小さく、指定したデータがアイテム枠内に収まらなくて、データが「***」で出力されたとき。		KEEU301-W
3	バーコードアイテムのアイテム枠が小さく、バーコードが出力されないとき。		KEEU301-W
4	アイテムが出力できる範囲を超えているので、まったく出力されないか、または出力できる範囲に収まる分だけ出力されたとき。		KEEU301-W
5	フィールドのデータ型に合わないデータを入力したため、データが欠損値 (空白) で出力されたとき。		KEEU302-W
6	画像ファイルがない、EUR サーバ帳票出力機能ではサポートしていない画像ファイルである、または画像ファイルが壊れているとき。		KEEU305-W
7	指定した帳票ファイルが、上位バージョンの機能を使用して作成されているため、実行時の EUR Developer, EUR Print Service および EUR Print Service Enterprise のバージョンで出力できる範囲で帳票を出力されたとき。		KEEU304-W
8	バーコードデータに使用できない文字、または誤った桁数を指定したために、バーコードが出力されなかったとき。		KEEU301-W
9	集計行のアイテムが表示できない位置に配置されたとき。		KEEU303-W
10	日付変換用システムファイルが正しくないとき。		KEEU308-W
11	指定した置き換え表ファイルに、置き換えデータを 1 件も登録していなかったとき。		出力しない
12	指定した置き換え表ファイルにキーデータがなかったとき。または不正なデータがあったとき。		出力しない
13	アイテムが不当に重なっていたため、Excel 形式ファイルへ出力できない項目があったとき。	KEEU320-W	出力しない
14	変換するページ数が 100 シートを超えていたとき。	KEEU321-W	出力しない
15	変換する Excel シートの行数が 10000 行を超えていたとき。	KEEU322-W	出力しない
16	接続先データベースが HiRDB ではないのに、接続情報ファイルのキーワード QueryExclusiveString が指定されたとき。	KEEU350-W	出力しない

(1) 警告発生時に終了コード 4 を返さないようにするには

警告が発生しても終了コード 4 を返さないようにするには、環境変数 `EURPS_REPORT_WARNING` に「NO」を設定してください。

`EURPS_REPORT_WARNING` に「NO」を設定すると、警告要因があっても、終了コード 0 を返して終了します。メッセージ `KEEU300-W`、詳細メッセージ (`KEEU301-W` ~ `KEEU308-W`)、`KEEU320-W` ~ `KEEU322-W`、および `KEEU350-W` も出力されません。ただし、EUR 形式ファイルを出力した場合は、`EURPS_REPORT_WARNING` の設定に関係なく、表 B-1 の項番 6 の警告要因があるときは終了コード 4 を返し、それ以外では 0 を返します。

(2) メッセージ `KEEU300-W` が出力されるログ

メッセージ `KEEU300-W` とその詳細メッセージ (`KEEU301-W` ~ `KEEU308-W`) が出力されるログは次のとおりです。

イベントログ

メッセージ `KEEU300-W` と詳細メッセージ (`KEEU301-W` ~ `KEEU308-W`) は、イベントログに出力されません。

eurps ログ

ログ採取レベルによって、メッセージ `KEEU300-W` と詳細メッセージ (`KEEU301-W` ~ `KEEU308-W`) を出力します。ログ採取レベルは、環境変数 `EURPS_LOGFILEPATH` で変更します。詳細メッセージを出力する場合は、「INFO」を指定してください。出力しない場合は、「ERROR」を指定してください。

ログには、次の順序でメッセージが出力されます。

1. `KEEU400-I`
2. `KEEU301-W` ~ `KEEU308-W`
3. `KEEU300-W`
4. `KEEU401-I`

詳細メッセージ (`KEEU301-W` ~ `KEEU308-W`) は、EUR サーバ帳票出力機能を実行するごとに、ログファイルへ最初の 10 件まで出力されます。メッセージ `KEEU300-W` は、最初の 10 件が出力されたあとに出力されます。

付録 C 環境設定ファイルまたはレジストリ不正時の詳細コード

(1) 環境設定ファイル不正時の詳細コード

環境設定ファイルでエラーが発生した場合、次に示すように、KEYY で始まるメッセージに詳細コードが出力されます。

```
KEYY210-S 環境設定ファイルに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]
```

表示される詳細コードとその内容を次に示します。

詳細コード	内 容
210101	IPADDRESS セクションの EURPM キーが不正です。

(2) レジストリ不正時の詳細コード

レジストリでエラーが発生した場合、次に示すように、KEYY で始まるメッセージに詳細コードが出力されます。

```
KEYY159-S レジストリに不正があります。詳細コード = [nnnnnn]
```

表示される詳細コードを次に示します。詳細コードの内容については、管理者へ問い合わせてください。

000001, 000002, 000003, 000004, 000007, 000008, 110001, 110002, 110007, 210001, 210002, 210007, 310001, 310002, 310003, 310004, 310007, 310008, 410001, 410002, 410007, 610001, 610002, 610007

付録 D KEEY で始まるメッセージのエラー発生条件

ここでは、KEEY で始まるメッセージのエラー発生条件について説明します。EUR Server で帳票を出力するプログラムを構築する場合、動作（条件）とその動作を実行したときに出力されるコードの要因を確認しておくことで、エラーを未然に防げます。

付録 D.1 EUR Client でのエラー発生条件

(1) EUR Client Service の場合

クライアント PC から帳票出力するとき、どのような動作をすると、どのエラーが発生するのかを次に示します。エラーが発生した場合、該当するコードを出力先で確認できます。コードの内容については、「26.1 KEEY101 ~ KEEY199 のメッセージ」を参照してください。

表 D-1 EUR Client Service でのエラー発生条件

動作	出力されるコード	エラーの出力先	印刷方式		EPF 形式 ファイル出力
			自動印刷	対話型印刷	
EUR Client Service の起動時	133	メッセージ	×	×	×
	134	メッセージ	×	×	×
	135	メッセージ	×	×	×
	150	メッセージ	×	×	×
	159	メッセージ	×	×	×
	161	イベントログおよびログ	×	×	×
	162	イベントログおよびログ	×	×	×
	164	イベントログ	×	×	×

動作	出力 される コード	エラーの 出力先	印刷方式		EPF 形式 ファイル出力
			自動印刷	対話型印刷	
ActiveX 起動部品の場合：PrintPMReport メソッド (クライアント印刷)	101	ログ		×	
	102	ログ			
Java 起動部品の場合：printReport メソッド (クライアント印刷)	103	ログ			
	105	メッセージ			
COBOL 起動部品の場合：PrintReport 関数 (クライアント印刷)	106	ログ			
	107	ログ			
コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m print (クライアント印刷)	108	ログ			
	109	ログ			
SS-ActiveX 起動部品の場合： PrintSpoolReport メソッド (蓄積クライアント印刷)	110	ログ			
SS-Java 起動部品の場合：printSpoolReport メソッド (蓄積クライアント印刷)	111	ログ			
SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m print (蓄積クライアント印刷)	112	メッセージ			
	113	メッセージ	×		
	115	ログ			
	117	ログ	×		
	118	メッセージ			
	119	ログ	×		
	119	メッセージ			
	120	メッセージ			
	125	ログ			
	126	メッセージ			
	127	メッセージ			
	128	メッセージ			
	129	メッセージ			
	130	メッセージ			
	139	ログ		×	
	140	ログ		×	
	151	ログ			
	157	ログ			
	163	イベントログおよびログ			
ヘルバ起動時	134	メッセージ	×	×	×
	135	メッセージ	×	×	×
	150	メッセージ	×	×	×
	159	メッセージ	×	×	×

動作	出力 される コード	エラーの 出力先	印刷方式		EPF 形式 ファイル出力
			自動印刷	対話型印刷	
ヘルパクライアント印刷（自動印刷時）	101	メッセージ		x	
	110	メッセージ			
	118	メッセージ			
	119	メッセージ			
	126	メッセージ			
	127	メッセージ			
	128	メッセージ			
	129	メッセージ			
	130	メッセージ			
	139	メッセージ			
ヘルパクライアント印刷（プレビュー起動時）	110	メッセージ			
	112	メッセージ			
	119	メッセージ			
ヘルパクライアント印刷（対話型印刷実行時）	110	メッセージ			
	118	メッセージ			
	119	メッセージ			
	126	メッセージ			
	127	メッセージ			
	128	メッセージ			
	129	メッセージ			
	130	メッセージ			
	163	イベントログおよびログ			

動作	出力 される コード	エラーの 出力先	印刷方式		EPF 形式 ファイル出力
			自動印刷	対話型印刷	
eurpmcepfviewer コマンド実行時	101	メッセージ	×	×	
	110	メッセージ	×	×	
	118	メッセージ	×	×	
	119	メッセージ	×	×	
	126	メッセージ	×	×	
	127	メッセージ	×	×	
	128	メッセージ	×	×	
	129	メッセージ	×	×	
	130	メッセージ	×	×	
	134	メッセージ	×	×	
	135	メッセージ	×	×	
	139	メッセージ	×	×	
	150	メッセージ	×	×	×
	159	メッセージ	×	×	
	163	イベントログおよびログ	×	×	
	166	メッセージ	×	×	
	167	メッセージ	×	×	
	168	メッセージ	×	×	
	169	メッセージ	×	×	
	170	メッセージ	×	×	
171	メッセージ	×	×		
172	メッセージ	×	×		
EUR Client Service ログイン時	119	ログ	×	×	×
	175	メッセージ	×	×	×
	176	メッセージ	×	×	×
	177	メッセージ	×	×	×
	180	メッセージ	×	×	×
	157	ログ	×	×	×
配送印刷時	101	メッセージ		×	
	110	メッセージ		×	
	118	メッセージ		×	
	119	メッセージ	×	×	
	126	メッセージ		×	
	127	メッセージ		×	
	128	メッセージ		×	
	129	メッセージ		×	
	130	メッセージ		×	
	134	メッセージ		×	

動作	出力 される コード	エラーの 出力先	印刷方式		EPF 形式 ファイル出力
			自動印刷	対話型印刷	
	139	メッセージ		×	
	159	メッセージ		×	
	175	メッセージ		×	
	176	メッセージ		×	
	178	メッセージ		×	
	180	メッセージ		×	
帳票一覧取得時	119	ログ	×	×	×
	175	メッセージ		×	
	176	メッセージ		×	
	179	メッセージ		×	
	180	メッセージ		×	

(凡例)

：エラー条件が発生する項目です。

×：エラー条件が発生しない項目です。

(2) EUR Web Plug-In の場合

Web 上で帳票出力するとき、どのような動作をすると、どのエラーが発生するのかを次に示します。エラーが発生した場合、該当するコードを出力先で確認できます。コードの内容については、「26.1 KEEY101 ~ KEEY199 のメッセージ」を参照してください。

表 D-2 EUR Web Plug-In でのエラー発生条件

動作	出力 される コード	エラー の出力先	印刷方式		EPF 形式 ファイル出力
			自動印刷	対話型印刷	
EUR Web Plug-In ロード時	102	メッセージ	×	×	×
	150	メッセージ	×	×	×
	135	メッセージ	×	×	×
PrintEPF (印刷時)	104	メッセージ			
	105	メッセージ			
	110	メッセージ			
	112	メッセージ			
	118	メッセージ			
	119	メッセージ			
	126	メッセージ			
	127	メッセージ			
	128	メッセージ			
	129	メッセージ			
	130	メッセージ			
	132	メッセージ			×

動作	出力 される コード	エラー の出力先	印刷方式		EPF 形式 ファイル出力
			自動印刷	対話型印刷	
	138	メッセージ		×	
	135	メッセージ			
	136	ログ			
	137	ログ			
	142	メッセージ			
	143	メッセージ			
	144	メッセージ			
	145	メッセージ			
	146	メッセージ		×	
	148	メッセージ			
	149	メッセージ			
	153	メッセージ			
	154	リターンとログ			
	155	メッセージ			
	165	メッセージ			
	173	メッセージ			
	174	メッセージ			
	181	メッセージ		×	
PreviewEPF (プレビュー時)	105	メッセージ			
	110	メッセージ			
	112	メッセージ			
	119	メッセージ			
	135	メッセージ			
	136	ログ			
	137	ログ			
	142	メッセージ			
	143	メッセージ			
	144	メッセージ			
	145	メッセージ			
	153	メッセージ			
	165	メッセージ			
終了時 (EUR Web Plug-In アンロード時)	105	メッセージ			
	112	メッセージ			

(凡例)

: エラー条件が発生する項目です。

× : エラー条件が発生しない項目です。

付録 D.2 EUR Server - Adapter でのエラー発生条件

業務アプリケーションと連携して帳票出力するとき、どのような動作をすると、どのエラーが発生するのかを次に示します。エラーが発生した場合、該当するコードを出力先で確認できます。コードの内容については、「27.1 KEEY201 ~ KEEY299 のメッセージ」を参照してください。

表 D-3 EUR Server - Adapter でのエラー発生条件

動作	出力されるコード	エラーの出力先
各プロパティ指定時	210	例外
	211	例外
	215	例外
	217	例外
	247	例外
コマンド起動部品固有（コマンド解析時）	902	stderr と exit コード
	903	stderr と exit コード
	904	stderr と exit コード
	905	stderr と exit コード
	906	stderr と exit コード
ActiveX 起動部品の場合：GetDestinationList メソッド（出力先一覧取得） Java 起動部品の場合：getDestinationList メソッド（出力先一覧取得） COBOL 起動部品の場合：GetDestinationList 関数、または GetDestinationList2 関数（出力先一覧取得） コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m getdest（出力先一覧取得）	208	例外
	210	例外
	211	例外
	212	例外
	213	ログ
	214	ログ
	215	例外
	216	例外
	217	例外
	218	例外
	237	例外
	247	例外
	273	例外
	601	例外
	602	例外
603	例外	
901	stderr と exit コード	

動作	出力されるコード	エラーの出力先
ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterClassList メソッド (プリンタクラス一覧取得) Java 起動部品の場合：getPrinterClassList メソッド (プリンタクラス一覧取得) COBOL 起動部品の場合：GetPrinterClassList 関数，または GetPrinterClassList2 関数 (プリンタクラス一覧取得) コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m getprclass (プリンタクラス一覧取得)	205	例外
	206	例外
	208	例外
	210	例外
	211	例外
	212	例外
	213	ログ
	214	ログ
	215	例外
	216	例外
	217	例外
	219	例外
	237	例外
	238	例外
	247	例外
	273	例外
	601	例外
	602	例外
	603	例外
901	stderr と exit コード	
ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterList メソッド (プリンター一覧取得) Java 起動部品の場合：getPrinterList メソッド (プリンター一覧取得) COBOL 起動部品の場合：GetPrinterList 関数 (プリンター一覧取得) コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m getpr (プリンター一覧取得)	205	例外
	206	例外
	208	例外
	210	例外
	211	例外
	212	例外
	213	ログ
	214	ログ
	215	例外
	216	例外
	217	例外
	255	例外
	237	例外
	238	例外
	247	例外
	273	例外
	601	例外
	602	例外
	603	例外
901	stderr と exit コード	
ActiveX 起動部品の場合：GetPMPrinterClassList メソッド (帳票サーバのプリンタクラス一覧取得) Java 起動部品の場合：getPMPrinterClassList メソッド (帳票サーバのプリンタクラス一覧取得) COBOL 起動部品の場合：GetPMPrinterClassList 関数 (帳票サーバのプリンタクラス一覧取得) コマンド起動部品の場合：/m getpmprclass (帳票サーバのプリンタクラス一覧取得)	205	例外
	206	例外
	208	例外
	210	例外
	211	例外
	212	例外
	213	ログ
	214	ログ
	215	例外
	216	例外
	217	例外
	255	例外
	237	例外
	238	例外
	247	例外
	273	例外
	601	例外
	602	例外
	603	例外
901	stderr と exit コード	
ActiveX 起動部品の場合：GetPMPrinterList メソッド (帳票サーバのプリンター一覧取得) Java 起動部品の場合：getPMPrinterList メソッド (帳票サーバのプリンター一覧取得) COBOL 起動部品の場合：GetPMPrinterList 関数 (帳票サーバのプリンター一覧取得) コマンド起動部品の場合：/m getpmpr (帳票サーバのプリンター一覧取得)	205	例外
	206	例外
	208	例外
	210	例外
	211	例外
	212	例外
	213	ログ
	214	ログ
	215	例外
	216	例外
	217	例外
	255	例外
	237	例外
	238	例外
	247	例外
	273	例外
	601	例外
	602	例外
	603	例外
901	stderr と exit コード	

動作	出力されるコード	エラーの出力先	
ActiveX 起動部品の場合：GetTrayList メソッド (トレイ一覧取得) Java 起動部品の場合：getTrayList メソッド (トレイ一覧取得) COBOL 起動部品の場合：GetTrayList 関数 (トレイ一覧取得) コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m gettray (トレイ一覧取得)	205	例外	
	206	例外	
	208	例外	
	210	例外	
	211	例外	
	212	例外	
	ActiveX 起動部品の場合：GetPMTrayList メソッド (帳票サーバのトレイ一覧取得) Java 起動部品の場合：getPMTrayList メソッド (帳票サーバのトレイ一覧取得) COBOL 起動部品の場合：GetPMTrayList 関数 (帳票サーバのトレイ一覧取得) コマンド起動部品の場合：/m getpmtray (帳票サーバのトレイ一覧取得)	213	ログ
		214	ログ
		215	例外
		216	例外
217		例外	
256		例外	
237		例外	
238		例外	
247		例外	
273		例外	
ActiveX 起動部品の場合：GetPrintAXVersion メソッド (EUR-CLP-AX のバージョン番号取得) Java 起動部品の場合：getPrintAXVersion メソッド (EUR-CLP-AX のバージョン番号取得)	601	例外	
	602	例外	
	603	例外	
	901	stderr と exit コード	
	ActiveX 起動部品の場合：GetPrintAXVersion メソッド (EUR-CLP-AX のバージョン番号取得) Java 起動部品の場合：getPrintAXVersion メソッド (EUR-CLP-AX のバージョン番号取得)	210	例外
		211	例外
		213	ログ
		214	ログ
		217	例外
		247	例外
273		例外	
276		ログ	
601		例外	
602		例外	
ActiveX 起動部品の場合：GetPrintAXClassID メソッド (EUR-CLP-AX のクラス ID 取得) Java 起動部品の場合：getPrintAXClassID メソッド (EUR-CLP-AX のクラス ID 取得)	210	例外	
	211	例外	
	213	ログ	
	214	ログ	
	217	例外	
	247	例外	
	273	例外	
	276	ログ	
	601	例外	
	602	例外	

動作	出力されるコード	エラーの出力先
ActiveX 起動部品の場合：GetPreviewAXVersion メソッド (EUR-CLP-PVX のバージョン番号取得) Java 起動部品の場合：getPreviewAXVersion (EUR-CLP-PVX のバージョン番号取得)	210	例外
	211	例外
	213	ログ
	214	ログ
	217	例外
	247	例外
	273	例外
	276	ログ
	601	例外
	602	例外
ActiveX 起動部品の場合：GetPreviewAXClassID メソッド (EUR-CLP-PVX のクラス ID 取得) Java 起動部品の場合：getPreviewAXClassID (EUR-CLP-PVX のクラス ID 取得)	210	例外
	211	例外
	213	ログ
	214	ログ
	217	例外
	247	例外
	273	例外
	276	ログ
	601	例外
	602	例外

次の動作に対応する EUR Server - Adapter でのエラー発生条件を、印刷方式別に表 D-5 に示します。なお、表 D-5 の表見出しの番号に対応する印刷方式を表 D-4 に示します。

ActiveX 起動部品の場合

- PrintPMReport メソッド (スプールサーバ印刷 / クライアント印刷 / 蓄積印刷 / 直接印刷 / クライアント配布印刷)
- OutputPDFReport メソッド (PDF 形式ファイル出力)
- OutputEPFReport メソッド (EPF 形式ファイル出力)
- OutputMergeEPFReport メソッド (複数 EPF 形式ファイル統合出力)
- OutputEURReport メソッド (EUR 形式ファイル出力)
- OutputXLSXReport メソッド (Excel 形式ファイル出力)

Java 起動部品の場合

- printReport メソッド (スプールサーバ印刷 / クライアント印刷 / 蓄積印刷 / 直接印刷 / クライアント配布印刷)
- outputPDFReport メソッド, または getPDFReport メソッド (PDF 形式ファイル出力)
- outputEPFReport メソッド, または getEPFReport メソッド (EPF 形式ファイル出力)
- outputMergeEPFReport メソッド (複数 EPF 形式ファイル統合出力)
- outputEURReport メソッド, または getEURReport メソッド (EUR 形式ファイル出力)
- outputXLSXReport メソッド, または getXLSXReport メソッド (Excel 形式ファイル出力)

COBOL 起動部品の場合

- PrintReport 関数または PrintReport2 関数 (スプールサーバ印刷 / クライアント印刷 / 蓄積印刷 / 直接印刷 / クライアント配布印刷)
- OutputPDFReport 関数 (PDF 形式ファイル出力)
- OutputEPFReport 関数 (EPF 形式ファイル出力)
- OutputMergeEPFReport 関数 (複数 EPF 形式ファイル統合出力)
- OutputEURReport 関数 (EUR 形式ファイル出力)
- OutputXLSXReport 関数 (Excel 形式ファイル出力)

コマンド起動部品の場合

- eurpmc コマンドのオプション /m print (スプールサーバ印刷 / クライアント印刷 / 蓄積印刷 / 直接印刷 / クライアント配布印刷)
- eurpmc コマンドのオプション /m pdf (PDF 形式ファイル出力)
- eurpmc コマンドのオプション /m epf (EPF 形式ファイル出力)
- eurpmc コマンドのオプション /m merge (複数 EPF 形式ファイル統合出力)
- eurpmc コマンドのオプション /m eur (EUR 形式ファイル出力)
- eurpmc コマンドのオプション /m xlsx (Excel 形式ファイル出力)

表 D-4 表見出しの番号と対応する印刷方式

表見出しの番号	対応する印刷方式
1	スプールサーバ印刷 (EPF 形式ファイル)
2	スプールサーバ印刷 (EUR 形式ファイル)
3	クライアント印刷
4	蓄積印刷
5	直接印刷
6	クライアント配布印刷
7	PDF 形式ファイル出力
8	EPF 形式ファイル出力
9	複数 EPF 形式ファイル統合出力
10	EUR 形式ファイル出力
11	Excel 形式ファイル出力

表 D-5 EUR Server - Adapter でのエラー発生条件 (印刷方式別)

出力されるコード	エラーの出力先	印刷方式											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
201	例外												
202	例外												
203	例外						×			×			
204	例外						×			×			
207	例外			×			×	×	×	×	×	×	×
208	例外												
209	例外								×	×	×	×	×
210	例外												

出力されるコード	エラーの出力先	印刷方式										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
211	例外											
212	例外											
213	ログ											
214	ログ											
216	例外											
217	例外											
221	例外											
222	例外	x	x			x		x	x	x	x	x
223	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
224	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
225	例外	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x
226	例外	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x
227	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
228	例外	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x
229	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
230	例外	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x
231	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
232	例外	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x
233	例外						x			x		x
234	例外						x			x		x
235	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
236	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
237	例外									x		
238	例外			x			x	x	x	x	x	x
239	例外	x	x		x	x		x	x	x	x	x
241	例外	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
242	例外	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
243	例外	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
244	例外	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
245	例外	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
246	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
247	例外											
248	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
249	例外						x			x		
250	例外						x			x		
251	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
252	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
253	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
257	例外	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x

出力されるコード	エラーの出力先	印刷方式										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
258	例外	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
259	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
260	例外	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
261	例外	x	x	x	x	x			x	x	x	x
262	例外	x	x	x	x	x			x	x	x	x
263	例外	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
264	例外	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
269	例外	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
270	例外	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
271	例外	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
272	例外	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
273	例外											
274	例外	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
275	例外						x			x		
601	例外											
602	例外											
603	例外											
901	stderr と exit コード											
908	stderr と exit コード											
909	stderr と exit コード						x			x		

(凡例)

- : エラー条件が発生する項目です。
- x : エラー条件が発生しない項目です。

付録 D.3 EUR Server Service でのエラー発生条件

スプールサーバから帳票出力するとき、どのような動作をすると、どのエラーが発生するのかを次に示します。エラーが発生した場合、該当するコードを出力先で確認できます。コードの内容については、「28.1 KEEY301 ~ KEEY399 のメッセージ」を参照してください。

表 D-6 EUR Server Service でのエラー発生条件

動作	出力されるコード	エラーの出力先
サービス登録時	346	メッセージ
	349	メッセージ
	351	メッセージ
サービス登録解除時	346	メッセージ
	347	メッセージ
	350	メッセージ

動作	出力されるコード	エラーの出力先
サービス操作イベント取得時	344	イベントログ
サービス起動時	322	ログ
	328	ログ
	340	イベントログおよびログ
	341	イベントログおよびログ
	342	イベントログ
	345	イベントログまたは syslog
	346	メッセージ
	347	メッセージ
	348	メッセージ
	352	イベントログまたは syslog
	353	イベントログまたは syslog
	354	イベントログまたは syslog, およびログ
	359	イベントログまたは syslog
	388	イベントログまたは syslog
	389	イベントログ
サービス停止時	327	ログ
	343	イベントログまたは syslog
	346	メッセージ
	347	メッセージ
	390	メッセージ
ActiveX 起動部品の場合：GetDestinationList メソッド（出力先一覧取得） Java 起動部品の場合：getDestinationList メソッド（出力先一覧取得） COBOL 起動部品の場合：GetDestinationList 関数，または GetDestinationList2 関数（出力先一覧取得） コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m getdest（出力先一覧取得）	301	ログ
	306	ログ
	309	ログ
	314	ログ
	316	ログ
	329	ログ
	355	ログ
	356	ログ
	379	ログ
	382	ログ

動作	出力されるコード	エラーの出力先
ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterClassList メソッド（プリンタクラス一覧取得） Java 起動部品の場合：getPrinterClassList メソッド（プリンタクラス一覧取得） COBOL 起動部品の場合：GetPrinterClassList 関数，または GetPrinterClassList2 関数（プリンタクラス一覧取得） コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m getprclass（プリンタクラス一覧取得）	301	ログ
	303	ログ
	306	ログ
	308	ログ
	309	ログ
	314	ログ
	316	ログ
	317	ログ
	329	ログ
	335	ログ
	355	ログ
	356	ログ
	379	ログ
	382	ログ
	ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterList メソッド（プリンター一覧取得） Java 起動部品の場合：getPrinterList メソッド（プリンター一覧取得） COBOL 起動部品の場合：GetPrinterList 関数（プリンター一覧取得） コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m getpr（プリンター一覧取得）	301
303		ログ
306		ログ
308		ログ
309		ログ
314		ログ
316		ログ
317		ログ
329		ログ
335		ログ
355		ログ
356		ログ
379		ログ
382		ログ

動作	出力されるコード	エラーの出力先
ActiveX 起動部品の場合：GetTrayList メソッド（トレイ一覧取得） Java 起動部品の場合：getTrayList メソッド（トレイ一覧取得） COBOL 起動部品の場合：GetTrayList 関数（トレイ一覧取得） コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m gettray（トレイ一覧取得）	301	ログ
	303	ログ
	306	ログ
	308	ログ
	309	ログ
	314	ログ
	316	ログ
	317	ログ
	329	ログ
	335	ログ
	355	ログ
	356	ログ
	379	ログ
	382	ログ
	Server Service 制御コマンド（eurpmctrl コマンド）実行時	001
002		ログ
003		ログ
004		ログ
005		ログ
006		ログ
007		ログ
008		ログ
009		ログ
010		ログ
020		ログ
021		ログ
022		ログ
023		ログ
024		ログ
025		ログ
026		ログ
027		ログ
028		ログ
030		ログ
031		syslog
032	syslog	
033	ログ	
034	ログ	
035	イベントログまたは syslog	
036	ログ	

動作	出力されるコード	エラーの出力先
	037	ログ
	038	ログ
	039	ログ
	040	ログ
	041	ログ
	042	イベントログまたは syslog
	043	イベントログまたは syslog
	044	イベントログ
	050	ログ

次の動作に対応する EUR Server Service でのエラー発生条件を、印刷方式別に表 D-8 に示します。なお、表 D-8 の表見出しの番号に対応する印刷方式を表 D-7 に示します。

ActiveX 起動部品の場合

- PrintPMReport メソッド (スプールサーバ印刷 / クライアント印刷 / 蓄積印刷 / 直接印刷 / クライアント配布印刷)
- OutputPDFReport メソッド (PDF 形式ファイル出力)
- OutputEPFReport メソッド (EPF 形式ファイル出力)
- OutputMergeEPFReport メソッド (複数 EPF 形式ファイル統合出力)
- OutputEURReport メソッド (EUR 形式ファイル出力)
- OutputXLSXReport メソッド (Excel 形式ファイル出力)

Java 起動部品の場合

- printReport メソッド (スプールサーバ印刷 / クライアント印刷 / 蓄積印刷 / 直接印刷 / クライアント配布印刷)
- outputPDFReport メソッド, または getPDFReport メソッド (PDF 形式ファイル出力)
- outputEPFReport メソッド, または getEPFReport メソッド (EPF 形式ファイル出力)
- outputMergeEPFReport メソッド (複数 EPF 形式ファイル統合出力)
- outputEURReport メソッド, または getEURReport メソッド (EUR 形式ファイル出力)
- outputXLSXReport メソッド, または getXLSXReport メソッド (Excel 形式ファイル出力)

COBOL 起動部品の場合

- PrintReport 関数または PrintReport2 関数 (スプールサーバ印刷 / クライアント印刷 / 蓄積印刷 / 直接印刷 / クライアント配布印刷)
- OutputPDFReport 関数 (PDF 形式ファイル出力)
- OutputEPFReport 関数 (EPF 形式ファイル出力)
- OutputMergeEPFReport 関数 (複数 EPF 形式ファイル統合出力)
- OutputEURReport 関数 (EUR 形式ファイル出力)
- OutputXLSXReport 関数 (Excel 形式ファイル出力)

コマンド起動部品の場合

- eurpmc コマンドのオプション /m print (スプールサーバ印刷 / クライアント印刷 / 蓄積印刷 / 直接印刷 / クライアント配布印刷)
- eurpmc コマンドのオプション /m pdf (PDF 形式ファイル出力)

- eurpmc コマンドのオプション /m epf (EPF 形式ファイル出力)
- eurpmc コマンドのオプション /m merge (複数 EPF 形式ファイル統合出力)
- eurpmc コマンドのオプション /m eur (EUR 形式ファイル出力)
- eurpmc コマンドのオプション /m xlsx (Excel 形式ファイル出力)

表 D-7 表見出しの番号と対応する印刷方式

表見出しの番号	対応する印刷方式
1	スプールサーバ印刷 (EPF 形式ファイル)
2	スプールサーバ印刷 (EUR 形式ファイル)
3	クライアント印刷
4	蓄積印刷
5	直接印刷
6	クライアント配布印刷
7	PDF 形式ファイル出力
8	EPF 形式ファイル出力
9	複数 EPF 形式ファイル統合出力
10	EUR 形式ファイル出力
11	Excel 形式ファイル出力

表 D-8 EUR Server Service でのエラー発生条件 (印刷方式別)

出力されるコード	エラーの出力先	印刷方式											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
301	ログ			×		×	×	×	×	×	×	×	×
302	ログ	×	×	×	×	×	×			×			
303	ログ			×		×	×	×	×	×	×	×	×
304	ログ									×			
305	ログ									×			
306	ログ			×			×	×	×	×	×	×	×
307	ログ	×	×		×	×		×	×	×	×	×	×
308	ログ			×			×	×	×	×	×	×	×
309	ログ												
310	ログ						×						
311	ログ	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×
312	ログ	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×
313	ログ						×						
314	ログ	×	×	×	×			×	×		×		
315	ログ												
316	ログ												
317	ログ			×		×	×	×	×	×	×	×	×
318	ログ	×	×		×	×		×	×	×	×	×	×

出力されるコード	エラーの出力先	印刷方式										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
323	ログ											
324	ログ	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
325	ログ	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
329	ログ											
330	ログ	x	x		x	x		x	x	x	x	x
331	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
332	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
333	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
334	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
335	ログ			x		x	x	x	x		x	x
336	ログ						x			x		
337	ログ						x			x		
338	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
339	ログ						x			x		
355	ログ											
356	ログ											
358	ログ						x			x		
360	ログ							x	x	x	x	x
363	ログ	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
364	ログ	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
365	ログ	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
366	ログ	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
368	ログ		x			x	x	x		x	x	x
369	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
370	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
371	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
372	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
373	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
374	ログ						x			x		x
375	ログ											
376	ログ											
377	ログ						x			x		x
378	ログ						x			x		x
379	ログ											
380	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
381	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
382	ログ											
384	ログ						x			x		x
386	ログ						x			x		x

出力されるコード	エラーの出力先	印刷方式										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
387	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
391	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
392	ログ		x				x			x		
393	ログ						x			x		
394	ログ						x			x		
395	ログ	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
396	ログ	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
397	ログ	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
398	ログ	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
399	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
950	ログ						x			x		
951	ログ						x	x		x		x
952	ログ						x	x		x		x

(凡例)

: エラー条件が発生する項目です。

x : エラー条件が発生しない項目です。

付録 D.4 EUR Server - Spool Service でのエラー発生条件

帳票出力、または蓄積するとき、どのような動作をすると、どのエラーが発生するのかを次に示します。エラーが発生した場合、該当するコードを出力先で確認できます。コードの内容については、「29.1 KEEY401 ~ KEEY499 のメッセージ」を参照してください。

表 D-9 EUR Server - Spool Service でのエラー発生条件

動作	出力されるコード	エラーの出力先
サービス登録時	448	メッセージ
	451	メッセージ
	453	メッセージ
サービス登録解除時	448	メッセージ
	449	メッセージ
	452	メッセージ
サービス操作イベント取得時	446	イベントログ

動作	出力されるコード	エラーの出力先
サービス起動時	442	イベントログおよびログ
	443	イベントログおよびログ
	444	イベントログ
	447	イベントログ
	448	メッセージ
	449	メッセージ
	450	メッセージ
	454	イベントログ
	455	イベントログ
	456	イベントログおよびログ
	473	ログ
	476	ログ
	478	イベントログ
	491	イベントログ
	492	イベントログ
	497	イベントログ
	498	イベントログ
	858	イベントログおよびログ
	860	イベントログおよびログ
	861	イベントログおよびログ
サービス停止時	445	イベントログ
	448	メッセージ
	449	メッセージ
	475	ログ
	493	メッセージ
ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterClassList メソッド (プリンタクラス一覧取得)	401	ログ
Java 起動部品の場合：getPrinterClassList メソッド (プ リンタクラス一覧取得)	407	ログ
COBOL 起動部品の場合：GetPrinterClassList 関数、ま たは GetPrinterClassList2 関数 (プリンタクラス一覧取 得)	423	ログ
	426	ログ
	427	ログ
コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m getprclass (プリンタクラス一覧取得)	424	ログ
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterClassList メ ソッド (プリンタクラス一覧取得)	425	ログ
SS-Java 起動部品の場合：getPrinterClassList メソッド (プリンタクラス一覧取得)	477	ログ
SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオブ ション /m getprclass (プリンタクラス一覧取得)	479	ログ
	494	ログ

動作	出力されるコード	エラーの出力先
ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterList メソッド（プリンター一覧取得）	401	ログ
Java 起動部品の場合：getPrinterList メソッド（プリンター一覧取得）	407	ログ
COBOL 起動部品の場合：GetPrinterList 関数（プリンター一覧取得）	423	ログ
コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m getpr（プリンター一覧取得）	426	ログ
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterList メソッド（プリンター一覧取得）	427	ログ
SS-Java 起動部品の場合：getPrinterList メソッド（プリンター一覧取得）	424	ログ
SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m getpr（プリンター一覧取得）	425	ログ
	477	ログ
	479	ログ
	494	ログ
ActiveX 起動部品の場合：GetTrayList メソッド（トレイ一覧取得）	401	ログ
Java 起動部品の場合：getTrayList メソッド（トレイ一覧取得）	407	ログ
COBOL 起動部品の場合：GetTrayList 関数（トレイ一覧取得）	423	ログ
コマンド起動部品の場合：eurpmc コマンドのオプション /m gettray（トレイ一覧取得）	426	ログ
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetTrayList メソッド（トレイ一覧取得）	427	ログ
SS-Java 起動部品の場合：getTrayList メソッド（トレイ一覧取得）	424	ログ
SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m gettray（トレイ一覧取得）	425	ログ
	477	ログ
	479	ログ
	494	ログ
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetSpoolFileOutline メソッド（スプールデータ一覧取得）	402	ログ
SS-Java 起動部品の場合：getSpoolFileOutline メソッド（スプールデータ一覧取得）	423	ログ
SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m getoutline（スプールデータ一覧取得）	424	ログ
	425	ログ
	426	ログ
	427	ログ
	471	ログ
	477	ログ
	479	ログ
	490	ログ
	492	ログ
	499	ログ
	858	イベントログおよびログ

動作	出力されるコード	エラーの出力先
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetSpoolFileAttribute メソッド (属性値取得) SS-Java 起動部品の場合：getSpoolFileAttribute メソッド (属性値取得) SS- コマンド起動部品の場合：eurplsc コマンドのオプション /m getattr (属性値取得)	402	ログ
	423	ログ
	424	ログ
	425	ログ
	426	ログ
	427	ログ
	431	ログ
	460	ログ
	471	ログ
	477	ログ
	479	ログ
	492	ログ
	499	ログ
	858	イベントログおよびログ
	SS-ActiveX 起動部品の場合：SetSpoolFileAttribute メソッド (属性値設定) SS-Java 起動部品の場合：setSpoolFileAttribute メソッド (属性値設定) SS- コマンド起動部品の場合：eurplsc コマンドのオプション /m setattr (属性値設定)	402
423		ログ
424		ログ
425		ログ
426		ログ
427		ログ
431		ログ
436		ログ
461		ログ
471		ログ
477		ログ
479		ログ
492		ログ
499		ログ
858		イベントログおよびログ

動作	出力されるコード	エラーの出力先	
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetSpoolFile メソッド（スプールデータに格納されている印刷データのファイル取得）	402	ログ	
	423	ログ	
	SS-Java 起動部品の場合：getSpoolFile メソッド（スプールデータに格納されている印刷データのファイル取得）、memgetSpoolFile メソッド（スプールデータに格納されている印刷データのデータ取得）	424	ログ
		425	ログ
		426	ログ
	SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m get（スプールデータに格納されている印刷データのファイル取得）	427	ログ
		431	ログ
		435	ログ
		460	ログ
		471	ログ
		477	ログ
		479	ログ
		484	ログ
		485	ログ
		486	ログ
	492	ログ	
	499	ログ	
	858	イベントログおよびログ	
	SS-ActiveX 起動部品の場合：ChangeAuditLog メソッド（監査ログ切り替え）	402	ログ
423		ログ	
SS-Java 起動部品の場合：changeAuditLog メソッド（監査ログ切り替え）		424	ログ
		425	ログ
SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m chgadtlog（監査ログ切り替え）		426	ログ
		427	ログ
		477	ログ
		479	ログ
		492	ログ
		859	イベントログおよびログ
		862	イベントログおよびログ
Spool Service 制御コマンド（eurpmlsctrl コマンド）実行時		001	ログ
	002	ログ	
	003	ログ	
	004	ログ	
	020	ログ	
	021	ログ	
	022	ログ	
	023	ログ	
	024	ログ	
	027	ログ	
	028	ログ	

動作	出力されるコード	エラーの出力先
	030	ログ
	031	syslog
	032	syslog
	033	ログ
	034	ログ
	035	イベントログまたは syslog
	050	ログ
	051	ログ
	052	ログ
	053	ログ
	054	ログ

次の動作に対応する EUR Server・Spool Service でのエラー発生条件を、印刷方式別および蓄積操作別に表 D-11 に示します。なお、表 D-11 の表見出しの番号に対応する印刷方式または蓄積操作を表 D-10 に示します。

ActiveX 起動部品の場合

- PrintPMReport メソッド (スプールサーバ印刷 / 蓄積)

Java 起動部品の場合

- printReport メソッド (スプールサーバ印刷 / 蓄積)

COBOL 起動部品の場合

- PrintReport 関数または PrintReport2 関数 (スプールサーバ印刷 / 蓄積)

コマンド起動部品の場合

- eurpmc コマンドのオプション /m print (スプールサーバ印刷 / 蓄積)

表 D-10 表見出しの番号と対応する印刷方式または蓄積操作

表見出しの番号	対応する印刷方式または蓄積操作
1	スプールサーバ印刷 (EPF 形式ファイル)
2	スプールサーバ印刷 (EUR 形式ファイル)
3	クライアント印刷
4	蓄積印刷
5	PDF 形式ファイル出力
6	EPF 形式ファイル出力
7	EUR 形式ファイル出力
8	蓄積スプールサーバ印刷
9	蓄積クライアント印刷
10	スプールデータ一覧取得
11	スプールデータ属性値取得

表見出しの番号	対応する印刷方式または蓄積操作
12	スプールデータ属性値変更
13	スプールデータ削除
14	スプールデータ一括削除

表 D-11 EUR Server - Spool Service でのエラー発生条件 (印刷方式別および蓄積操作別) 1

出力される コード	エラーの出力 先	EUR Server Service からの要求 EUR Server - Spool Service Adapter からの要求													
		印刷方式							蓄積操作						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
401	ログ			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
402	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
403	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
404	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
405	ログ			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
406	ログ			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
407	ログ			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
408	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
409	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
410	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
411	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
412	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
413	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
414	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
415	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
416	ログ			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
417	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
418	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
419	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
420	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
421	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
422	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
423	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
424	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
425	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
426	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
427	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
428	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
430	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
433	ログ			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
436	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

出力される コード	エラーの出力 先	EUR Server Service からの要求 EUR Server - Spool Service Adapter からの要求													
		印刷方式							蓄積操作						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
437	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
438	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
439	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
440	ログ		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
441	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
457	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
458	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
459	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
461	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
462	ログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
463	ログ		x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
464	ログ		x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
467	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
468	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
469	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
470	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
472	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
477	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
479	ログ			x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
488	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
489	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
491	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
492	ログ	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
494	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
495	ログ	x	x	x	x	x	x	x							
858	イベントログ およびログ	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

(凡例)

- : エラー条件が発生する項目です。
- x : エラー条件が発生しない項目です。

次の動作に対応する EUR Server - Spool Service でのエラー発生条件を、印刷方式別および蓄積操作別に表 D-12 に示します。なお、表 D-12 の表見出しの番号に対応する印刷方式または蓄積操作を表 D-10 に示します。

SS-ActiveX 起動部品の場合

- PrintSpoolReport メソッド (蓄積スプールサーバ印刷 / 蓄積クライアント印刷)

SS-Java 起動部品の場合

- printSpoolReport メソッド (蓄積スプールサーバ印刷 / 蓄積クライアント印刷)

SS- コマンド起動部品の場合

- eurpmlsc コマンドのオプション /m print (蓄積スプールサーバ印刷 / 蓄積クライアント印刷)

表 D-12 EUR Server - Spool Service でのエラー発生条件 (印刷方式別および蓄積操作別) 2

出力される コード	エラーの出 力先	EUR Server Service からの要求 EUR Server - Spool Service Adapter からの要求													
		印刷方式							蓄積操作						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
401	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
402	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
404	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
405	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
406	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
407	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
408	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
409	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
410	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
411	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
412	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
415	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
416	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
420	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
421	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
422	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
423	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
424	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
425	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
426	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
427	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
431	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
432	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
433	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
434	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
440	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
458	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
459	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
460	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
461	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
462	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x
463	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
464	ログ	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x

出力される コード	エラーの出 力先	EUR Server Service からの要求 EUR Server - Spool Service Adapter からの要求													
		印刷方式							蓄積操作						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
471	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
477	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
479	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
484	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
485	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
486	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
492	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
494	ログ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x
499	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
858	イベントロ グおよびロ グ	x	x	x	x	x	x	x			x	x	x	x	x

(凡例)

: エラー条件が発生する項目です。

x : エラー条件が発生しない項目です。

次の動作に対応する EUR Server - Spool Service でのエラー発生条件を、印刷方式別および蓄積操作別に表 D-13 に示します。なお、表 D-13 の表見出しの番号に対応する印刷方式または蓄積操作を表 D-10 に示します。

SS-ActiveX 起動部品の場合

- DeleteSpoolFile メソッド (スプールデータ削除 / 期限切れスプールデータ一括削除)

SS-Java 起動部品の場合

- deleteSpoolFile メソッド (スプールデータ削除 / 期限切れスプールデータ一括削除)

SS- コマンド起動部品の場合

- eurpmlsc コマンドのオプション /m del (スプールデータ削除 / 期限切れスプールデータ一括削除)

表 D-13 EUR Server - Spool Service でのエラー発生条件 (印刷方式別および蓄積操作別) 3

出力される コード	エラーの出 力先	EUR Server Service からの要求 EUR Server - Spool Service Adapter からの要求													
		印刷方式							蓄積操作						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
402	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
423	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
424	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
425	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
426	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		

出力されるコード	エラーの出力先	EUR Server Service からの要求 EUR Server - Spool Service Adapter からの要求														
		印刷方式							蓄積操作							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
427	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
431	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
429	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
471	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
477	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
479	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
492	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
499	ログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
858	イベントログおよびログ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		

(凡例)

: エラー条件が発生する項目です。

x : エラー条件が発生しない項目です。

付録 D.5 EUR Server - Spool Service Adapter でのエラー発生条件

スプールデータを操作するとき、どのような動作をすると、どのエラーが発生するのかを次に示します。エラーが発生した場合、該当するコードを出力先で確認できます。コードの内容については、「30.1 KEEY501 ~ KEEY599 のメッセージ」を参照してください。

表 D-14 EUR Server - Spool Service Adapter でのエラー発生条件

動作	出力されるコード	エラーの出力先
各プロパティ指定時	505	例外
	506	例外
	510	例外
	512	例外
	526	例外
	702	例外
コマンド起動部品固有 (コマンド解析時)	802	stderr と exit コード
	803	stderr と exit コード
	804	stderr と exit コード
	805	stderr と exit コード
	806	stderr と exit コード

動作	出力されるコード	エラーの出力先
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetSpoolFileOutline メソッド (スプールデータ一覧取得) SS-Java 起動部品の場合：getSpoolFileOutline メソッド (スプールデータ一覧取得) SS- コマンド起動部品の場合：eurplsc コマンドのオプション /m getoutline (スプールデータ一覧取得)	501	例外
	502	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	513	例外
	525	例外
	526	例外
	532	例外
	540	例外
	545	例外
	701	例外
	703	例外
	801	stderr と exit コード
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetSpoolFileAttribute メソッド (属性値取得) SS-Java 起動部品の場合：getSpoolFileAttribute メソッド (属性値取得) SS- コマンド起動部品の場合：eurplsc コマンドのオプション /m getattr (属性値取得)	501	例外
	502	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	520	例外
	525	例外
	526	例外
	535	例外
	540	例外
	548	例外
	701	例外
	703	例外
	801	stderr と exit コード

動作	出力されるコード	エラーの出力先
SS-ActiveX 起動部品の場合：SetSpoolFileAttribute メソッド (属性値設定) SS-Java 起動部品の場合：setSpoolFileAttribute メソッド (属性値設定) SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m setattr (属性値設定)	501	例外
	502	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	521	例外
	525	例外
	526	例外
	528	例外
	536	例外
	540	例外
	701	例外
	703	例外
	801	stderr と exit コード

動作	出力されるコード	エラーの出力先
SS-ActiveX 起動部品の場合：PrintSpoolReport メソッド (蓄積印刷) SS-Java 起動部品の場合：printSpoolReport メソッド(蓄 積印刷) SS- コマンド起動部品の場合：eurplsc コマンドのオブ ション /m print (蓄積印刷)	501	例外
	502	例外
	503	例外
	504	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	519	例外
	525	例外
	526	例外
	529	例外
	534	例外
	538	例外
	540	例外
	547	例外
701	例外	
703	例外	
801	stderr と exit コード	

動作	出力されるコード	エラーの出力先
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetSpoolFile メソッド（スプールデータに格納されている印刷データのファイル取得） SS-Java 起動部品の場合：getSpoolFile メソッド（スプールデータに格納されている印刷データのファイル取得） SS- コマンド起動部品の場合：eurplsc コマンドのオプション /m get（スプールデータに格納されている印刷データのファイル取得）	501	例外
	502	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	518	例外
	523	例外
	524	例外
	525	例外
	526	例外
	527	例外
	533	例外
	538	例外
	540	例外
541	例外	
546	例外	
701	例外	
703	例外	
801	stderr と exit コード	

動作	出力されるコード	エラーの出力先
SS-ActiveX 起動部品の場合：DeleteSpoolFile メソッド（スプールデータ削除 / 期限切れスプールデータ一括削除） SS-Java 起動部品の場合：deleteSpoolFile メソッド（スプールデータ削除 / 期限切れスプールデータ一括削除） SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m del（スプールデータ削除 / 期限切れスプールデータ一括削除）	501	例外
	502	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	522	例外
	525	例外
	526	例外
	537	例外
	540	例外
	550	例外
	701	例外
	703	例外
	801	stderr と exit コード
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterClassList メソッド（プリンタクラス一覧取得） SS-Java 起動部品の場合：getPrinterClassList メソッド（プリンタクラス一覧取得） SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m getprclass（プリンタクラス一覧取得）	501	例外
	502	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	515	例外
	525	例外
	526	例外
	540	例外
	701	例外
	703	例外
	801	stderr と exit コード

動作	出力されるコード	エラーの出力先
SS-ActiveX 起動部品の場合：GetPrinterList メソッド（プリンター一覧取得） SS-Java 起動部品の場合：getPrinterList メソッド（プリンター一覧取得） SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m getpr（プリンター一覧取得）	501	例外
	502	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	516	例外
	525	例外
	526	例外
	540	例外
	701	例外
	703	例外
	801	stderr と exit コード
	SS-ActiveX 起動部品の場合：GetTrayList メソッド（トレイ一覧取得） SS-Java 起動部品の場合：getTrayList メソッド（トレイ一覧取得） SS- コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオプション /m gettray（トレイ一覧取得）	501
502		例外
503		例外
505		例外
506		例外
507		例外
508		例外
509		例外
510		例外
511		例外
512		例外
517		例外
525		例外
526		例外
540		例外
701		例外
703		例外
801		stderr と exit コード
SS-ActiveX 起動部品の場合：Initialize メソッド（全プロパティクリア） SS-Java 起動部品の場合：initialize メソッド（全プロパティクリア）		508
	509	例外

動作	出力されるコード	エラーの出力先
SS・Java 起動部品の場合：memgetSpoolFile メソッド (スプールデータに格納されている印刷データのデータ取得)	501	例外
	502	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	523	例外
	524	例外
	525	例外
	526	例外
	527	例外
	531	例外
	538	例外
	540	例外
	701	例外
703	例外	
801	stderr と exit コード	
SS・ActiveX 起動部品の場合：ChangeAuditLog メソッド (監査ログ切り替え) SS・Java 起動部品の場合：changeAuditLog メソッド (監査 ログ切り替え) SS・コマンド起動部品の場合：eurpmlsc コマンドのオブ ション /m chgadtlog (監査ログ切り替え)	501	例外
	503	例外
	505	例外
	506	例外
	507	例外
	508	例外
	509	例外
	510	例外
	511	例外
	512	例外
	525	例外
	526	例外
	540	例外
	552	例外
	553	例外
	701	例外
	703	例外
801	stderr と exit コード	

付録 E このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 E.1 関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

(1) EUR のマニュアル

EUR の関連マニュアルを次に示します。

- はじめての帳票作成 (3020-7-532)
EUR 帳票作成機能をまだ使用したことのない人向けに、簡単な帳票を作成する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR システム設計ガイド (3020-7-702)
EUR を使用した帳票システムの計画・設計時に検討が必要な内容について説明しています。
- uCosminexus EUR システム構築ガイド (3020-7-703)
EUR を使用した帳票システムを構築する手順について説明しています。
- uCosminexus EUR 帳票作成 操作ガイド (3020-7-704)
EUR 帳票作成機能を使用して帳票を作成する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR 帳票作成 画面リファレンス (3020-7-705)
EUR 帳票作成機能で表示されるダイアログの内容について説明しています。
- uCosminexus EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票) (3020-7-534)
EUR Form 帳票作成機能を使用して EUR Form 帳票を作成する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編 (3020-7-707)
EUR Designer または EUR Viewer を使用して、クライアント環境で帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR クライアント帳票出力 (3020-7-535)
EUR クライアント帳票出力機能の V8 互換機能を使用して、クライアント環境で帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編 (3020-7-708)
EUR サーバ帳票出力機能を使って帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編 (3020-7-710)
EUR サーバ帳票出力機能を使って帳票を出力するときに使用する API や入力ファイルの設定方法について説明しています。
- uCosminexus EUR サーバ帳票出力 (3020-7-536)
EUR Server の V8 互換機能を使用して、サーバ環境で帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR データベース連携ガイド (3020-7-713)
データベースから抽出したデータを使って帳票を作成および出力する方法、および EUR 帳票作成機能のデータベースアクセス定義ウィンドウを使用する方法について説明しています。また、データベースの操作時に出力されるメッセージについても説明しています。
- uCosminexus EUR 用語集 (3020-7-715)
EUR シリーズマニュアル内で使用する用語について説明しています。なお、この用語集は日立ソフトウェアマニュアル公開サイト、または製品同梱のヘルプ (Windows 版) だけで参照できます。

注

バージョン 8 のマニュアルを提供しています。バージョン 9 の製品に置き換えて参照してください。

(2) 関連ソフトウェアのマニュアル

関連ソフトウェアのマニュアルを次に示します。

- TPBroker ユーザーズガイド (3000-3-660)
- TPBroker Developer's Kit - Extension for C++ プログラマーズガイド (3000-3-680)
- TPBroker Object Transaction Monitor ユーザーズガイド (3000-3-689)
- COBOL2002 使用の手引 手引編 (3000-3-D42)
- COBOL2002 使用の手引 操作編 (3000-3-D43)
- COBOL2002 操作ガイド (3020-3-D47)
- COBOL2002 ユーザーズガイド (3020-3-D48)
- SEWB+/REPOSITORY 辞書設計ガイド (3020-3-698)
- SEWB+/REPOSITORY 辞書設計ガイド (3020-3-N82)
- DBPARTNER2 Client 操作ガイド (3020-6-027)
- DABroker (3020-6-031)
- HiRDB Version 8 UAP 開発ガイド (3020-6-356)
- HiRDB Version 8 メッセージ (3020-6-358)
- HiRDB Version 9 UAP 開発ガイド (3020-6-456)
- HiRDB Version 9 メッセージ (3020-6-458)

(3) このマニュアルでのマニュアル名表記

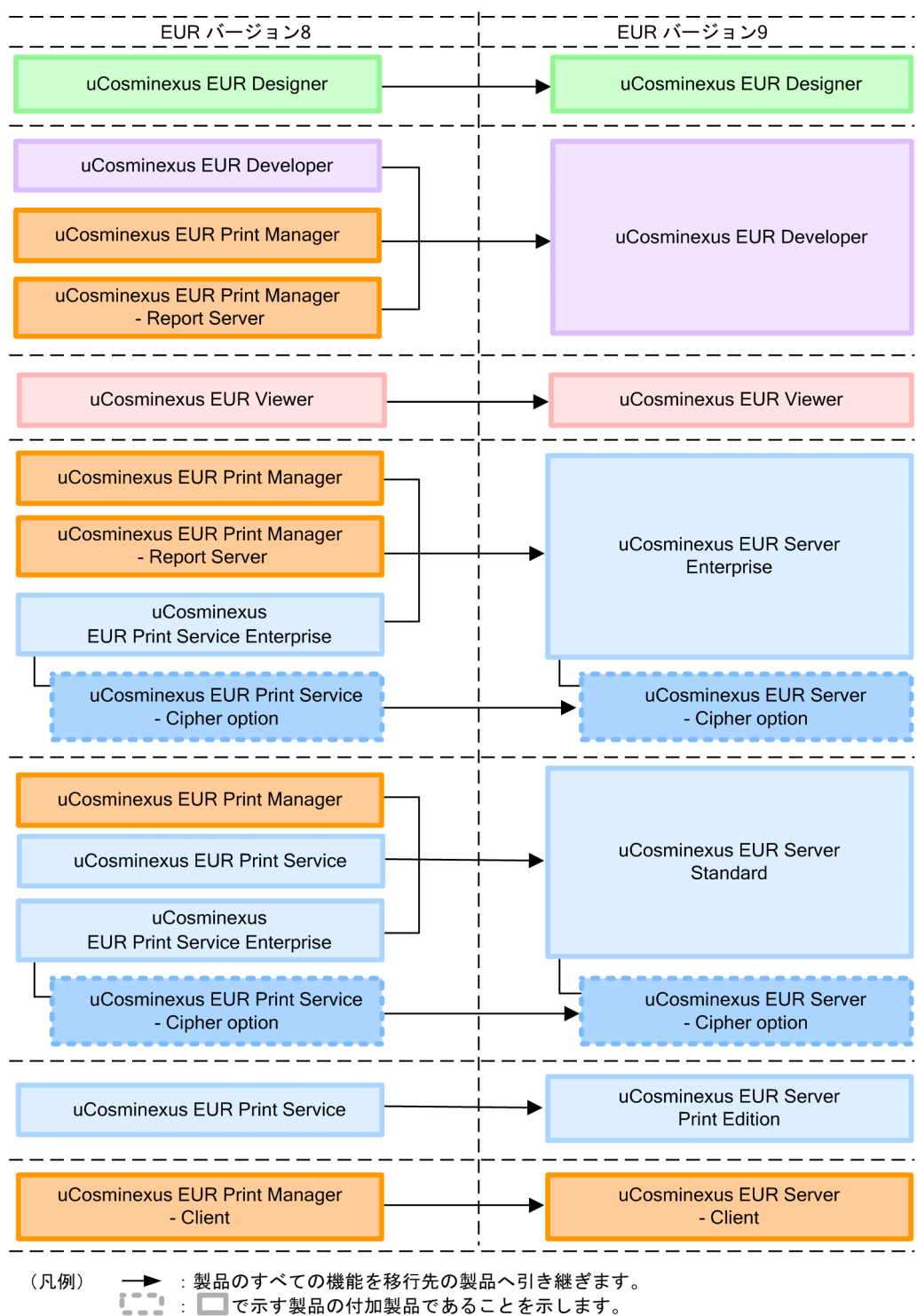
このマニュアルでは、マニュアル名について、次のように表記しています。

マニュアル名	表記
uCosminexus EUR システム設計ガイド	EUR システム設計ガイド
uCosminexus EUR システム構築ガイド	EUR システム構築ガイド
uCosminexus EUR 帳票作成 操作ガイド	EUR 帳票作成 操作ガイド
uCosminexus EUR 帳票作成 画面リファレンス	EUR 帳票作成 画面リファレンス
uCosminexus EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編	EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編
uCosminexus EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編	EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編
uCosminexus EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編	EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編
uCosminexus EUR データベース連携ガイド	EUR データベース連携ガイド
uCosminexus EUR メッセージ	EUR メッセージ
uCosminexus EUR 用語集	EUR 用語集
uCosminexus EUR 概説	EUR 概説
uCosminexus EUR 帳票設計	EUR 帳票設計
uCosminexus EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)	EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)
uCosminexus EUR クライアント帳票出力	EUR クライアント帳票出力
uCosminexus EUR サーバ帳票出力	EUR サーバ帳票出力
uCosminexus EUR Print Manager 帳票出力	EUR Print Manager 帳票出力
uCosminexus EUR Print Manager メッセージ	EUR Print Manager メッセージ

マニュアル名	表記
HiRDB Version 8 UAP 開発ガイド HiRDB Version 9 UAP 開発ガイド	HiRDB UAP 開発ガイド
HiRDB Version 8 メッセージ HiRDB Version 9 メッセージ	HiRDB メッセージ

付録 E.2 EUR バージョン 9 での製品体系の変更

EUR バージョン 9 での製品体系の変更について、次の図に示します。



付録 E.3 EUR バージョン 9 でのマニュアル体系の変更

EUR バージョン 9 では、マニュアル体系を次の表に示す各使用目的に合わせて次のとおり変更しました。

EUR バージョン 8	EUR バージョン 9
次のマニュアルの、システム計画・設計に関連する部分 <ul style="list-style-type: none"> • EUR 概説 • EUR 帳票設計 • EUR クライアント帳票出力 • EUR サーバ帳票出力 • EUR Print Manager 帳票出力 	EUR システム設計ガイド
次のマニュアルの、システム構築に関連する部分 <ul style="list-style-type: none"> • EUR 帳票設計 • EUR クライアント帳票出力 • EUR サーバ帳票出力 • EUR Print Manager 帳票出力 	EUR システム構築ガイド
EUR 帳票設計 (第 1 編 ~ 第 4 編)	EUR 帳票作成 操作ガイド
EUR 帳票設計 (第 5 編)	EUR 帳票作成 画面リファレンス
次のマニュアルの、機能概要を説明している部分、およびコーディング例 <ul style="list-style-type: none"> • EUR サーバ帳票出力 • EUR Print Manager 帳票出力 	EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編
次のマニュアルの、各 API や入力ファイルの設定値を説明している部分 <ul style="list-style-type: none"> • EUR サーバ帳票出力 (7 章のリファレンス部分) • EUR Print Manager 帳票出力 (8 章 ~ 15 章) 	EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編
次のマニュアルの、機能概要、各 API や入力ファイルの設定値を説明している部分 <ul style="list-style-type: none"> • EUR クライアント帳票出力 	EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編
次のマニュアルの、データベースから抽出したデータを使って帳票を作成および出力する方法を説明している部分 <ul style="list-style-type: none"> • EUR 帳票設計 • EUR クライアント帳票出力 • EUR サーバ帳票出力 • EUR メッセージ 	EUR データベース連携ガイド
<ul style="list-style-type: none"> • EUR メッセージ • EUR Print Manager メッセージ 	EUR メッセージ
<ul style="list-style-type: none"> • EUR 概説 (付録 A) • EUR Print Manager 帳票出力 (付録 H) 	EUR 用語集

EUR Server の V8 互換機能を使用する場合は、バージョン 8 対応のマニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。Windows 環境では、インストール先フォルダ ¥Print¥1041¥Help¥eurps.chm に統合ヘルプが格納されています。

クライアント帳票出力機能の V8 互換機能を使用する場合は、バージョン 8 対応のマニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。Windows 環境では、次のフォルダにヘルプが格納されています。

- EUR Designer の場合
EUR Designer のインストール先フォルダ ¥Designer¥1041¥Help¥euroutp.chm
- EUR Viewer の場合
EUR Viewer のインストール先フォルダ ¥1041¥Help¥euroutp.chm

付録 E.4 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、uCosminexus EUR の各製品について、次のように表記しています。

表記		製品名称
EUR Designer		uCosminexus EUR Designer
EUR Developer		uCosminexus EUR Developer
EUR Viewer		uCosminexus EUR Viewer
EUR Server	EUR Server Enterprise	uCosminexus EUR Server Enterprise
	EUR Server Standard	uCosminexus EUR Server Standard
	EUR Server Print Edition	uCosminexus EUR Server Print Edition
EUR Server - Cipher option		uCosminexus EUR Server - Cipher option
EUR Form	EUR Form Service	uCosminexus EUR Form Service
EUR Form Service - Data Store option		uCosminexus EUR Form Service - Data Store option

uCosminexus EUR 以外の製品名称などについては、次のように表記しています。

表記		製品名称
BSP-RM		BSP-RM(R)
COBOL		COBOL2002
DABroker		DABroker 03-17 以降 DABroker 03-21 以降 DABroker(64) 03-20 以降 DABroker(64) 03-21 以降
HiRDB		HiRDB/Run Time Version 8 08-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 8 08-00 以降 HiRDB/Run Time Version 8(64) 08-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 8(64) 08-00 以降 HiRDB/Run Time Version 9 09-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 9 09-00 以降 HiRDB/Developer's Suite Version 9 09-00 以降 HiRDB/Run Time Version 9(64) 09-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 9(64) 09-00 以降 HiRDB Server Version 9 09-00 以降 HiRDB Server with Additional Function Version 9 09-00 以降
IPF		Itanium(R) Processor Family
Linux	Linux(R)	Red Hat Enterprise Linux Server 6 (64-bit x86_64)
Oracle	Oracle 10g	Oracle 10g 10.1.0 Oracle 10g 10.2.0
	Oracle 11g	Oracle Database 11g 11.1.0 Oracle Database 11g R2 11.2.0
SEWB+		Software Engineering Workbench+
uCosminexus Application Server		uCosminexus Application Server Enterprise
		uCosminexus Application Server Standard
UNIX	AIX	AIX V6.1 AIX V7.1
	HP-UX	HP-UX 11i V3(IPF)

このほか、このマニュアルでは、次に示す表記を使用しています。

- EUR の各製品を区別する必要がない場合は、総称して EUR と表記します。
- EUR Designer , EUR Developer の帳票作成機能を「EUR 帳票作成機能」と表記します。
- EUR Developer の EUR Form 帳票作成機能を「EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票)」と表記します。
- EUR Designer , EUR Developer , EUR Viewer のクライアント環境での帳票出力機能を「EUR クライアント帳票出力機能」と表記します。
- EUR Developer , EUR Server Enterprise , EUR Server Standard , EUR Server Print Edition のサーバ環境での帳票出力機能を「EUR サーバ帳票出力機能」と表記します。

付録 E.5 このマニュアルで使用する略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
API	Application Programming Interface
ASP	Active Server Pages
BOM	Byte Order Mark
COBOL	COmmon Business Oriented Language
CPI	Characters Per Inch
CSV	Comma Separated Value
DLL	Dynamic Linking Library
DPI	Dot Per Inch
EAN	European Article Number
EJB	Enterprise JavaBeans
EMF	Enhanced Metafile
EOF	End Of File
EUR	End-User Reporting
GIF	Graphics Interchange Format
GUI	Graphical User Interface
HTTP	Hyper Text Transfer Protocol
ID	IDentifier
IPF	Itanium(R) Processor Family
ISO	International Organization for Standardization
JAN	Japanese Article Number
JDK	Java™ Development Kit
JIS	Japanese Industrial Standards
JPEG	Joint Photographic Experts Group
JSP	Java Server Pages
LAN	Local Area Network
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol
LIPS	LBP Image Processing System
LPI	Lines Per Inch

英略語	英字での表記
MFC	Microsoft Foundation Class
MIME	Multipurpose Internet Mail Extension
MSI	Microsoft Windows Installer
MUI	Multi User Interface
OCR	Optical Character Reader
OCX	OLE Custom Control (OLE Control eXtension)
ODBC	Open Database Connectivity
OLE	Object Linking and Embedding
PCF	Portable Compiled Format
PDF	Portable Document Format
PDL	Page Description Language
PNG	Portable Network Graphics
RPM	RPM Package Manager
SSL	Secure Sockets Layer
TIFF	Tagged Image File Format
TLS	Transport Layer Security
UAP	User Application Program
UPC	Universal Product Code
WAN	Wide Area Network
XML	eXtensible Mark-up Language

付録 E.6 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ $1,024$ バイト, $1,024^2$ バイト, $1,024^3$ バイト, $1,024^4$ バイトです。